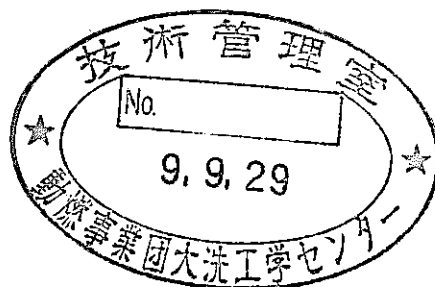


区分変更	
区分番号	＝
平成年月日	平成13年7月31日

「常陽」の安全確保に係る報告

別冊：安全確保に係る設備点検結果

1997年5月



動力炉・核燃料開発事業団
大洗工学センター

本資料の全部または一部を複写・複製・転載する場合は、下記にお問い合わせください。

〒319-1184 茨城県那珂郡東海村大字村松4番地49
核燃料サイクル開発機構
技術展開部 技術協力課

Inquiries about copyright and reproduction should be addressed to:
Technical Cooperation Section,
Technology Management Division,
Japan Nuclear Cycle Development Institute
4-49 Muramatsu, Tokai-mura, Naka-gun, Ibaraki, 319-1184
Japan

© 核燃料サイクル開発機構 (Japan Nuclear Cycle Development Institute)

「常陽」の安全確保に係る報告 別冊；安全確保に係る設備点検結果



佐竹 秀和¹⁾， 富田 直樹¹⁾， 磯崎 和則¹⁾，
川原 啓孝¹⁾， 小川 徹¹⁾ ， 長井 秋則¹⁾，
坂井 茂¹⁾ ， 前田 幸基²⁾， 青木 裕³⁾ ，
前田 彰⁴⁾

要 旨

平成7年12月8日、高速増殖原型炉「もんじゅ」のナトリウム漏えい事故が発生した。当時、高速実験炉「常陽」では第11回定期検査を実施中であったが、安全確認のため、施設の点検、マニュアル類の再確認とその周知徹底、ナトリウム漏えいを想定した総合防災訓練等を実施し、当該事故に係わる安全性の再点検・再評価を行った。また、必要に応じて漏えいナトリウムに係る関連設備の改善やプラント運転管理の見直しを実施してきた。

これらの点検・評価、設備改善等の結果、「常陽」の安全確保は十分満足し得るものと考え、国及び茨城県の確認を経て平成9年3月3日、「常陽」は1年10カ月ぶりに原子炉を起動し、3月24日の定期検査合格証の受領をもって、運転を再開した。

本別冊は、「もんじゅ」事故発生から運転再開に至るまで「常陽」が実施してきた温度計の検査、ナトリウム漏えい対策としての設備改善に関する点検、定期検査見直しによる検査及び関連設備の点検についてこれらの結果をまとめたものである。

-
- 1) 実験炉部原子炉第二課
 - 2) 実験炉部技術課
 - 3) 実験炉部原子炉第一課
 - 4) 実験炉部原子炉第二課 (現：日立エンジニアリング (株))



OFFICIAL USE ONLY
PNC/DN9440 97-009
May, 1997

The Report on JOYO Plant Safety for Sodium Leak and Fire Protection — The result of checks of equipment —

Hidekazu SATAKE¹⁾ , Naoki TOMITA¹⁾ , Kazunori ISOZAKI¹⁾ ,
Hirotaka KAWAHARA¹⁾ , Toru OGAWA¹⁾ , Akinori NAGAI¹⁾ ,
Shigeru SAKAI¹⁾ , Yukinori MAEDA²⁾ , Hiroshi AOKI³⁾ ,
Akira MAEDA⁴⁾

Abstract

On the 8th in December 1995, the secondary sodium leak accident occurred at Prototype Fast Breeder Reactor MONJU. Experimental Fast Reactor JOYO was under the 11th periodical inspection then. Total review of the JOYO plant for check of the sodium leak related equipment, check of manuals, and a practice of disaster prevention for sodium leak, and so on were made to have assurance of plant safety, which was required based on official report of MONJU sodium leak accident. Moreover, we properly improved the equipment and reinvestigated the plant management.

As the result of these checks, evaluations and improvements, plant safety for sodium leak and fire was secured, and JOYO was started reactor operation on the 3rd in March 1997 after the confirmation by Science and Technology Agency (STA) and Ibaraki prefecture, and on 24th, JOYO passed the 11th periodical inspection, and began to operate the JOYO plant duty cycle.

This report describes about the result of those checks of equipment.

-
- 1) JOYO Maintenance Section, Experimental Reactor Division
 - 2) Reactor Technology Section, Experimental Reactor Division
 - 3) JOYO Operation Section, Experimental Reactor Division
 - 4) JOYO Maintenance Section, Experimental Reactor Division
- (Present : HITACHI ENGINEERING CO., LTD)

目 次

はじめに	IV
第1編 温度計の検査	1
I. 温度計ウェルの検査	2
II. ナトリウム温度検出器取り付け部の点検	19
第2編 関連設備の緊急自主点検	28
I. ナトリウム漏えい検出器の動作試験	29
II. 冷却系の外観目視点検	42
III. 防煙ダンパ（主冷却機建物）の動作試験	85
IV. 扉（主冷却機建物）の点検	95
第3編 ナトリウム漏えい対策設備の点検	104
I. シール型（コンプレッションフィッティング型）温度計の点検	105
II. ナトリウム漏えい検出システム（警報表示機能）の点検	107
III. 火災報知システム（警報表示機能）の点検	125
IV. ITV設備の点検	141
V. 受け樋の点検	161
VI. 防煙ダンパ及びインターロックの点検	165
VII. 壁貫通部の点検	177
VIII. 茨城県によるナトリウム漏えい対策設備確認記録	197
第4編 第11回定期検査における検査項目の見直し	248
I. 温度計ウェルの定期検査	249
II. プラント全体に係る検査	271
第5編 その他関連設備の点検	380
I. 火報設備（主冷却機建物）の動作試験	381
II. 空調設備（主冷却機建物）の動作試験	409
III. 防護具の点検	413
IV. 消火設備（主冷却機建物）の点検	427

はじめに

本別冊は、平成7年12月8日に発生した高速増殖原型炉「もんじゅ」ナトリウム漏えい事故を踏まえて、高速実験炉「常陽」で実施してきた温度計の検査、ナトリウム漏えい対策としての設備改善に関する点検、定期検査見直しによる検査及び関連設備の点検についてこれらの結果をまとめたものである。

本書は5編で構成され、第1編及び第2編は、緊急自主点検として実施した温度計ウェルとその関連設備についての点検結果を、第3編は、「もんじゅ」事故を踏まえ「常陽」が実施した設備改善に関する点検結果及び茨城県が実施したナトリウム漏えい対策設備確認記録を、第4編は第11回定期検査で追加された検査の点検結果を、第5編はその他関連する設備の点検結果をそれぞれ記載した（点検の概要を表1に示す）。

以上のいずれの点検においても良好な結果を得ており、「常陽」の安全性は十分確保されているものとする。

表 1 「常陽」の安全確保に係る設備点検の総括表

点検の分類	点検対象	点検項目	点検実施日	点検結果	備考
温度計の検査	2次冷却系設備の温度計ウェル	X線検査	平成8年1月12日～13日	良	
		ファイバースコープによる内面目視検査	平成8年1月30日～31日	良	
		浸透探傷試験(PT)	平成8年1月29日	良	
	2次冷却系設備の温度計取付部	外観目視検査	平成7年12月19日	良	
		浸透探傷試験(PT)	平成7年12月19日	良	
関連設備の緊急自主点検	1次冷却系ナトリウム漏えい検出器	動作試験	平成7年12月18日	良	
	2次冷却系ナトリウム漏えい検出器	動作試験	平成7年12月13日	良	
	1次冷却系機器・配管	外観目視点検	平成7年12月20日～28日	良	
	2次冷却系機器・配管	外観目視点検	平成7年12月20日	良	
	防煙ダンパ(主冷却機建物)	動作確認	平成7年12月19日～27日	良	
		火災試験	平成7年12月19日～27日	良	
		導通試験	平成7年12月19日～27日	良	
扉(主冷却機建物)	開閉点検	平成7年12月19日	良		
ナトリウム漏えい対策設備の改造に係る検査	2次冷却系設備の温度計	外観検査	平成8年4月2日～9日	良	
		絶縁抵抗	平成8年4月2日～9日	良	
		導通検査	平成8年4月2日～9日	良	
	2次Na漏えい監視システム	警報表示機能試験	平成8年12月4日～5日	良	
		再発警報試験	平成8年12月5日	良	
	火災報知システムの火災感知器モニタ	警報表示機能試験	平成8年11月15日	良	
		再発警報試験	平成8年11月15日	良	
	監視カメラシステム	外観検査	平成8年10月21日	良	
		据付検査	平成8年10月29日	良	
		動作検査	平成8年10月29日	良	
		連動検査	平成8年11月15日、18日	良	
	ナトリウム受け樋	外観検査	平成8年11月8日	良	
		員数検査	平成8年11月8日	良	
	防煙ダンパ (主冷却機建物及び原子炉付屋建物)	外観検査	平成8年10月31日	良	
		据付状況検査	平成8年10月31日	良	
		寸法検査	平成8年10月31日	良	
		インターロック機能試験	平成8年11月15日	良	
	壁貫通部のシール	外観検査	平成8年12月11日	良	
		員数検査	平成8年12月11日	良	
	第11回定期検査見直し による定期検査	2次冷却系設備の温度計ウェル	外観検査	平成8年10月29日	良
漏洩検査			平成8年11月12日	良	立合検査
1次冷却系ナトリウム漏洩検出器		点検校正検査	平成8年11月29日	良	立合検査
ナトリウムに接液する機器配管及びライナ		外観検査	平成8年11月11日～13日	良	立合検査
その他設備の点検	火報設備(主冷却機建物)	外観試験	平成8年10月22日	良	
		機能試験	平成8年10月22日	良	
	空調設備(主冷却機建物)	動作試験	平成9年1月5日	良	
	防護具	保管状況確認	平成8年11月7・18・22日	良	
	消火設備(主冷却機建物)	外観点検	平成8年9月9・12日	良	
機能点検		平成8年9月9・12日	良		

第 1 編 温度計の検査

I. 温度計ウェルの検査

1. 概要

温度計ウェルの検査は、「もんじゅ」ナトリウム漏えい事故原因が温度計ウェルの流
力振動で破損したことを踏まえて、緊急自主点検として「常陽」の2次冷却系温度計ウ
ェルに関し以下の項目について検査を行い、その健全性を確認したものである。

2. 検査対象箇所及び検査項目

2次冷却系には、主冷却系配管12点（内、格内窒素雰囲気中4点）、補助系配管4点
（内、格内窒素雰囲気中2点）、純化系配管1点の合計17点の温度計ウェルが設置され
ている。そのうち、窒素雰囲気中に設置されており万が一ナトリウム漏えいが発生して
もナトリウム火災には至らないもの及び小口径配管でカルマン渦発生振動数と固有振動
数が大きく離れており共振の恐れがないことが明らかであるもの（補助系配管口径3B、
純化系配管口径2B）を除く、図I-1に示す2次主冷却系の主冷却機建物内空気雰囲気
に設置している温度計ウェルの全数8点を対象に以下の検査を実施した。また、検査対
象とした温度計ウェル構造を図I-2に示す。

- ① エックス線撮影
- ② ファイバ스코ープによる目視検査
- ③ 溶接部液体浸透探傷検査（PT）

3. 温度計ウェルの検査

3.1 2次主冷却系温度計ウェルのX線撮影

(1) 目的

本作業は、緊急自主点検として「常陽」2次主冷却系ナトリウム配管内部の温度
計ウェルに変形、曲がり等が無いことを確認するために実施したものである。

(2) 撮影条件

温度計ウェルの状況を確認するため、ナトリウム配管内のウェル部分が中心にな
るようフィルムを配置した。撮影時のX線発生装置、フィルム及び温度計ウェルの

位置関係を図 I - 3 に示す。撮影条件は以下のとおりである。尚、X線フィルムには温度計ウェル以外にも配管を構成している部材が写し込まれるため、温度計ウェルとこれら部材との関連を明らかにするために図 I - 4 に 2 次主冷却系配管構造を示す。

撮影年月日 : 平成 8 年 1 月 12 日～13 日
X線発生装置 : 理学電機(株)製 RF-250EG-S2
管電圧 : 240kV (10B 配管撮影時)、245kV (12B 配管撮影時)
X線フィルム : フジフィルム(株)製 #100 (254mm × 305mm)
露出時間 : 4.5min (10B 配管撮影時)、5.0 min (12B 配管撮影時)

(3) 撮影結果

X線フィルムのトレース、撮影状況及び温度計ウェル配置をまとめて図 I - 5 (1/2)(A ループ) 及び図 I - 5 (2/2)(B ループ) に示す。

以上に示す X線撮影フィルムを確認した結果、撮影対象箇所 8 点の温度計ウェルには、変形及び曲がり等の異常は観察されなかった。

なお、本撮影の実施にあたって、模擬試験を実施した。模擬試験では図 I - 6 に示すようにスリットを入れた温度計ウェル模擬試験体を本撮影と同等の撮影体系で X線撮影し、その撮影フィルムよりスリットの写りを確認した。試験結果からは、フィルムの目視観察により、本試験での最小サイズである幅 0.5mm, 深さ 0.8mm のスリットの撮影像を確認している。

なお、実際の温度計ウェルの X線撮影にあたっては、配管に保温材が取付けられているが、本撮影体系における保温材の X線透過率は、配管に比べはるかに大きいと考えられるため、保温材が加わることによる影響は少ないものと考えられる。

3.2 2 次主冷却系温度計ウェルのファイバ스코ープ目視検査

(1) 目的

本作業は、緊急自主点検として「常陽」2 次主冷却系ナトリウム配管温度計ウェル内部にナトリウム漏えい跡、割れ、変形、曲がり等がないことを確認するために実施したものである。

(2) 検査装置及び検査位置

目視検査に使用したファイバ스코ープは、フジクラ製 1.5mm φ でありファイバで

得られた画像をCCD（荷電結合素子）でモニタに撮像するシステム構成となっている。ファイバ스코ープ装置のシステム構成を図I-7に示す。また、目視検査位置は、図I-8に示すようにウェル底部（ウェル先端～（底）1、先端より約5mm上方～（低）2）及び形状変化部内面（形状変化部付近～（中）1、形状変化部より約5mm上方～（中）2）として写真撮影を行った。さらに、温度計をウェルから引き抜いてナトリウム漏えい跡の有無を目視により確認した。

(3) 検査日

平成8年1月30日～31日

(4) 検査結果

ファイバ스코ープによる温度計ウェル内部の観察写真と作業状況をまとめて図I-9に示す。また、ウェルから引き抜いた温度計を図I-10に示す。尚、以上に示す検査の結果、検査対象箇所8点の温度計ウェル内部には、ナトリウム漏えい跡、割れ、変形、曲がり等が無いことを確認した。

3.3 2次主冷却系温度計ウェル溶接部の液体浸透探傷試験

(1) 目的

本検査は、緊急自主点検として「常陽」2次主冷却系ナトリウム配管温度計ウェルと配管との溶接部に対して欠陥の有無を確認するために実施したものである。

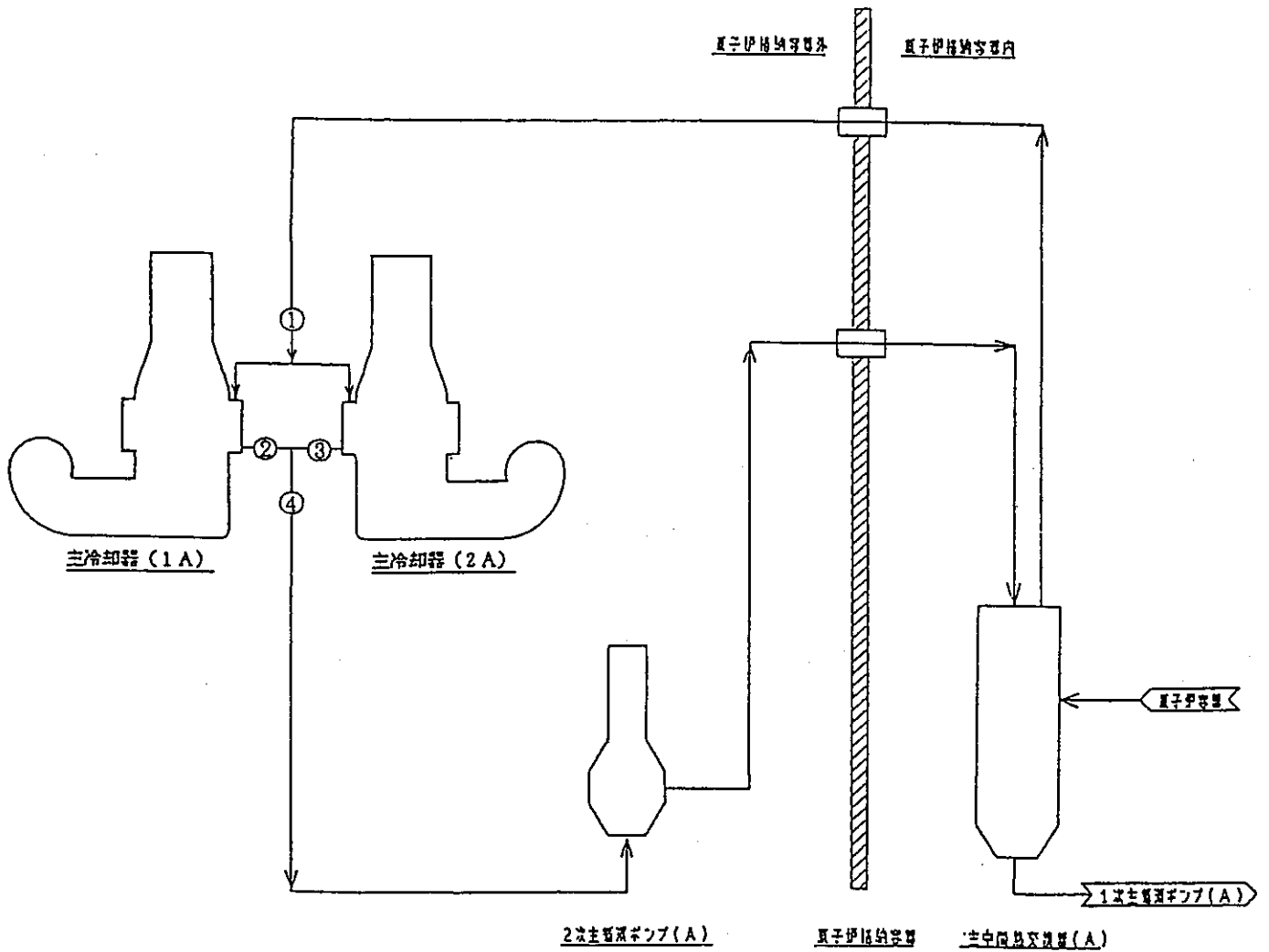
(2) 検査日

平成8年1月29日

(3) 検査結果

液体浸透探傷試験成績表を表I-1に示す。また、温度計ウェル8点の液体浸透探傷試験の状況をまとめて図I-11に示す。

以上に示す検査の結果、検査対象箇所8点の温度計ウェルと配管の溶接部には、有害な欠陥指示模様が認められないことを確認した。



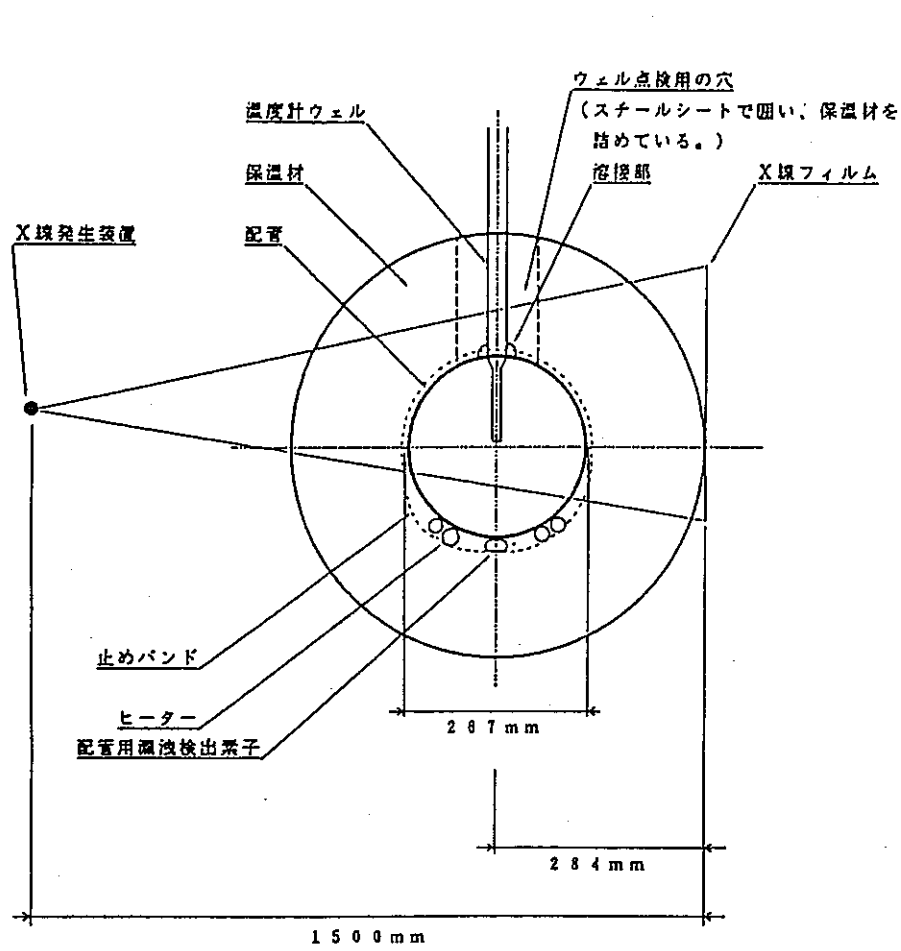
「常陽」2次冷却系設備系統

(注記)

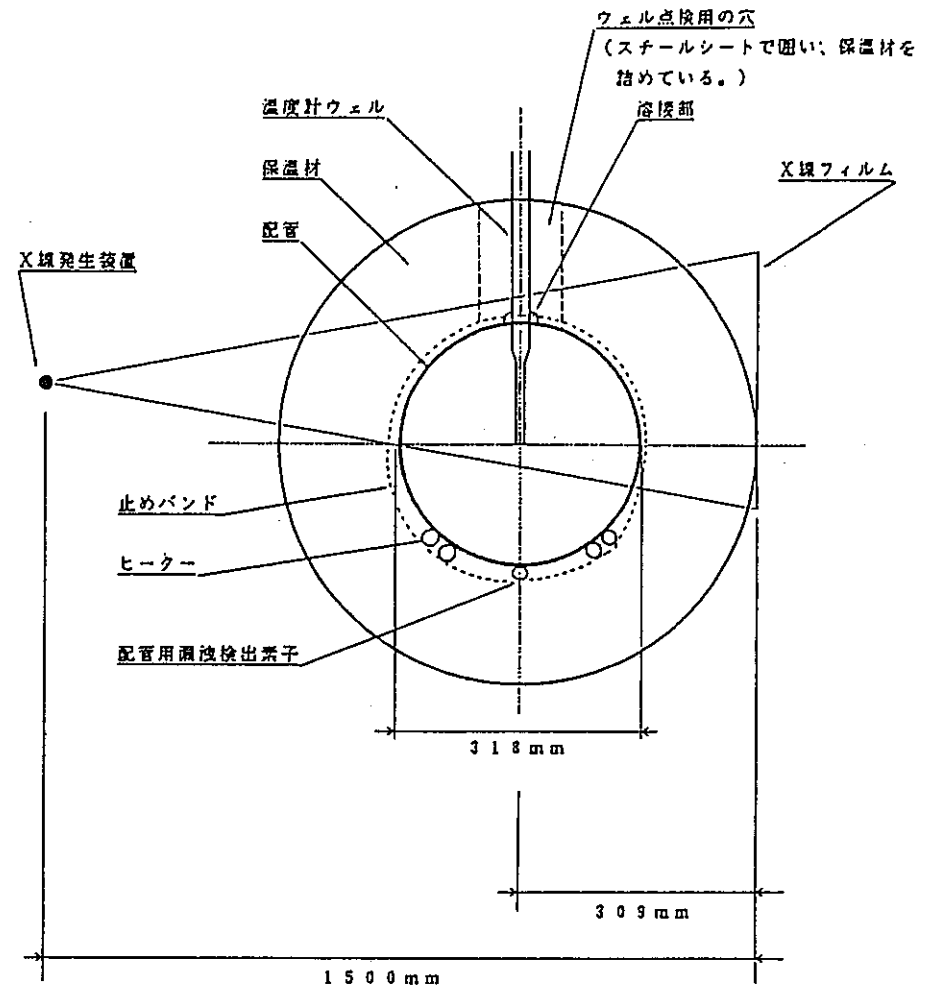
1. 本図は、Aループを示しておりBループも同様である。
2. ①～④は、温度計ウェルの名称を示す。

番 号	温度計ウェル名称 (カッコ内はBループを示す。)	配管サイズ
①	TW-31.2-1A (TW-31.2-1B)	12B
②	TW-31.2-2A-1 (TW-31.2-2B-1)	10B
③	TW-31.2-2A-2 (TW-31.2-2B-2)	10B
④	TW-31.2-3A (TW-31.2-3B)	12B

図 I - 1 温度計ウェル検査対象箇所



温度計ウェルX線撮影配置図 (10B配管の場合)



温度計ウェルX線撮影配置図 (12B配管の場合)

図 I - 3 X線撮影配置

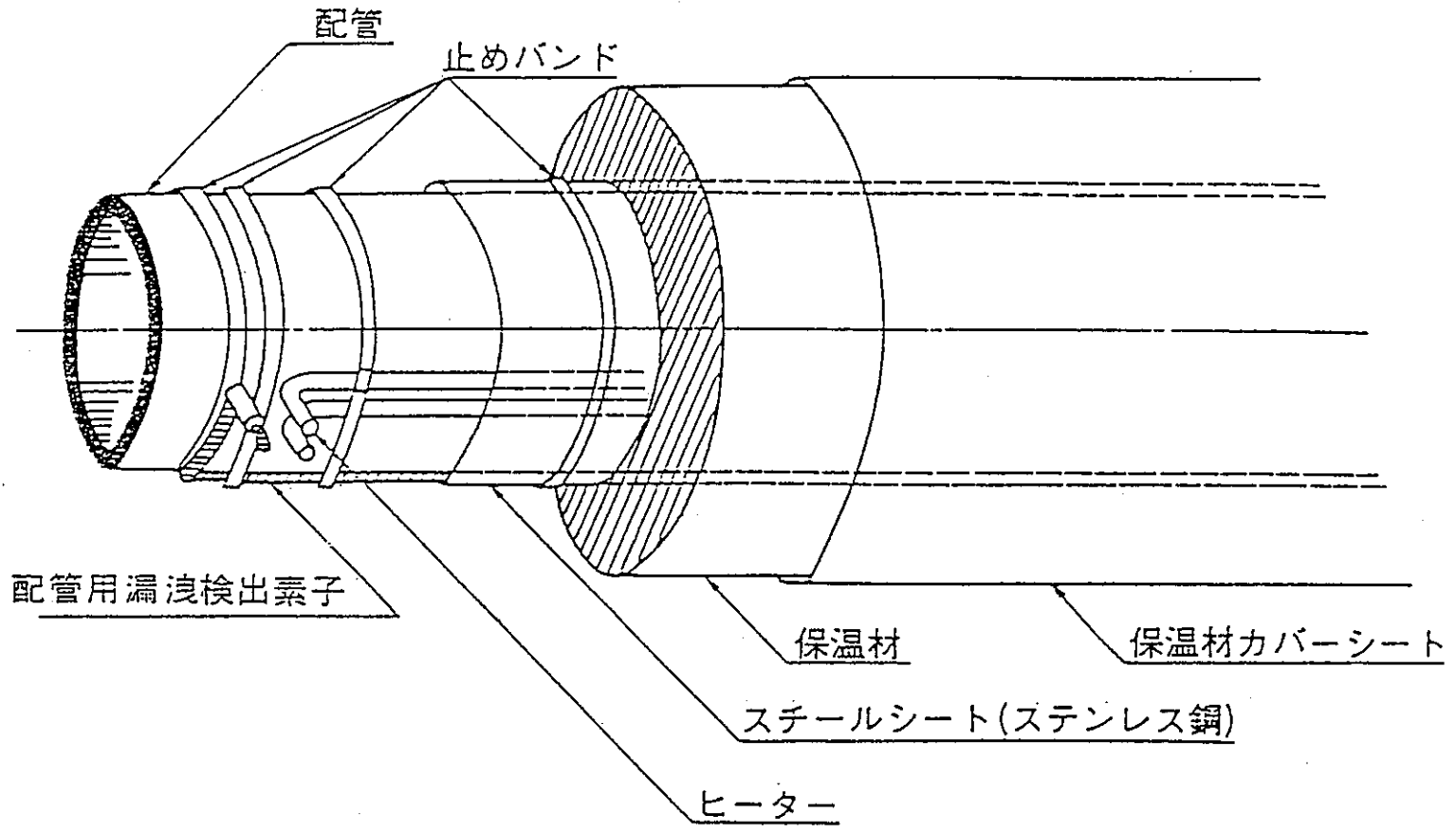
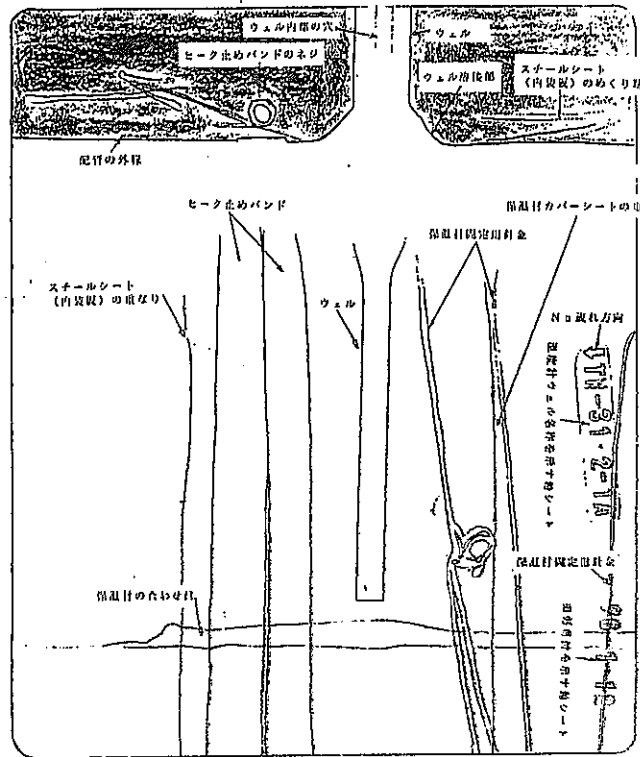
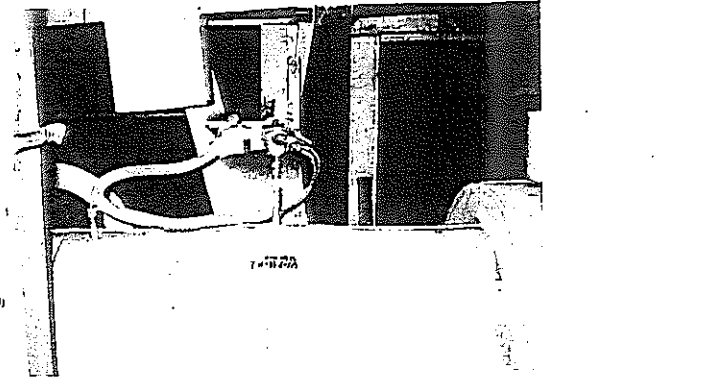


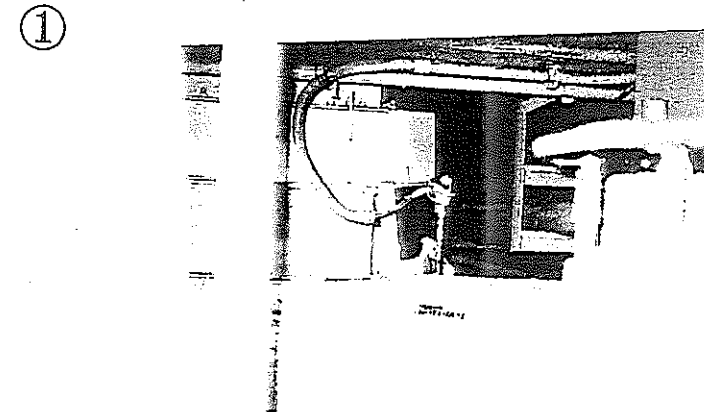
図 I - 4 2次主冷却系配管構造



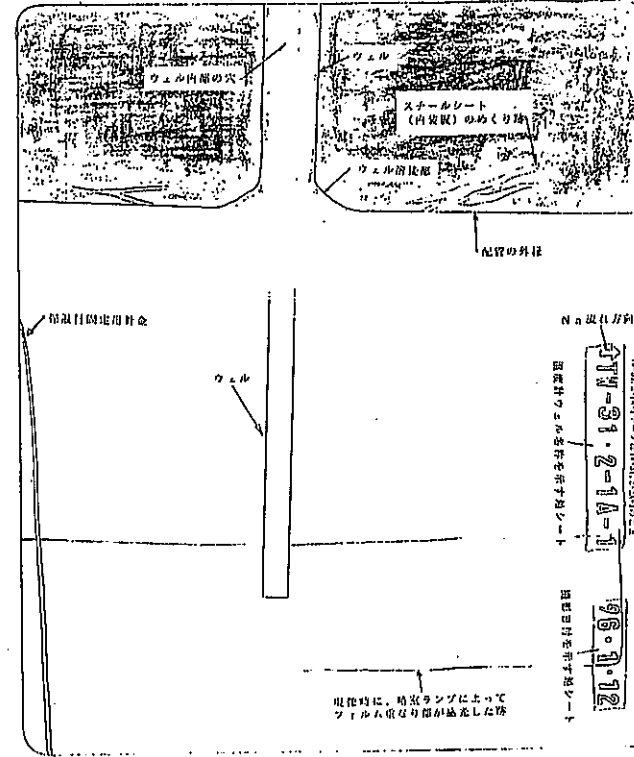
温度計ウェルX線撮影フィルムのスケッチ
(温度計ウェル名称: TW-31.2-1A)



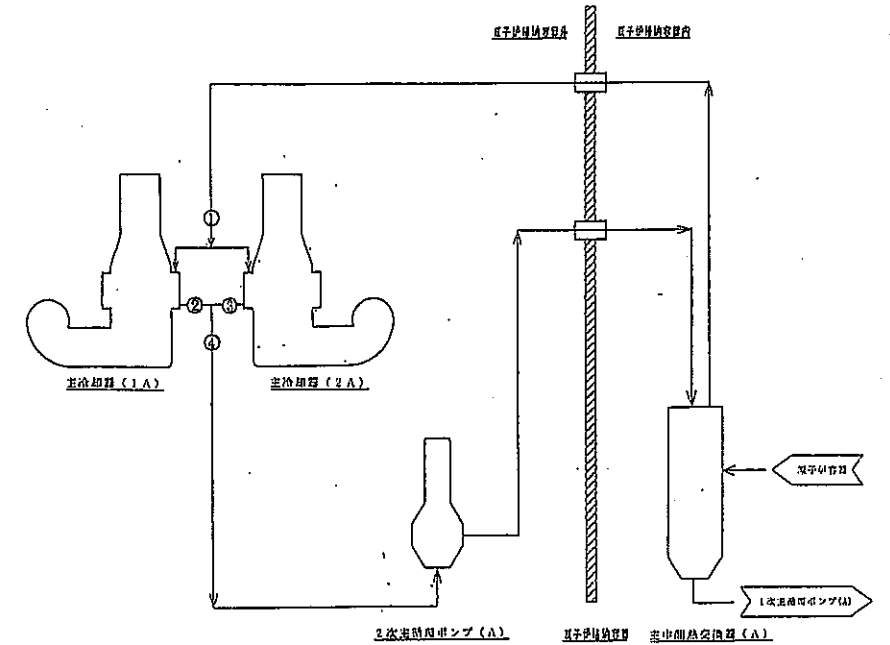
TW-31.2-1A 撮影風景



TW-31.2-2A-1 撮影風景



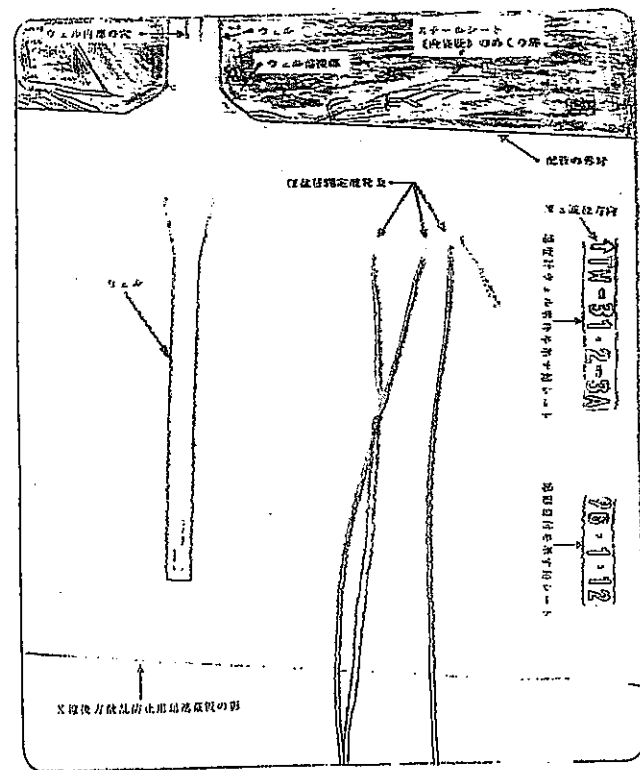
温度計ウェルX線撮影フィルムのスケッチ
(温度計ウェル名称: TW-31.2-2A-1)



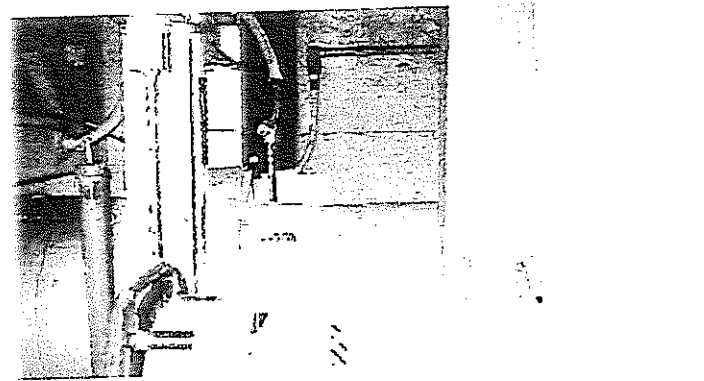
「常陽」2次冷却系設備系統図 (A ループ)

番号	温度計ウェル名称	配管サイズ
①	TW-31.2-1A	12B
②	TW-31.2-2A-1	10B
③	TW-31.2-2A-2	10B
④	TW-31.2-3A	12B

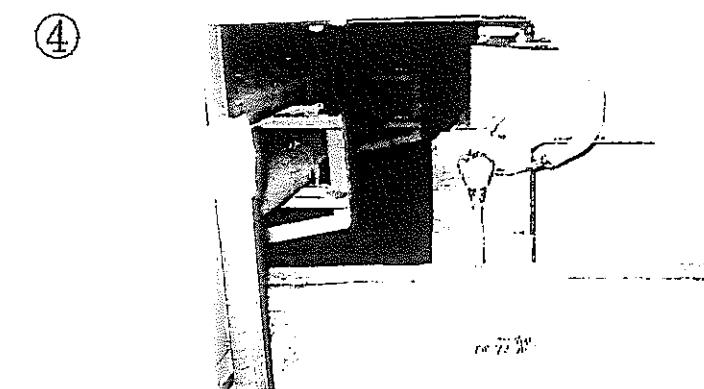
①～④は上記系統図と対応しており、温度計ウェルの取付け位置を示す。



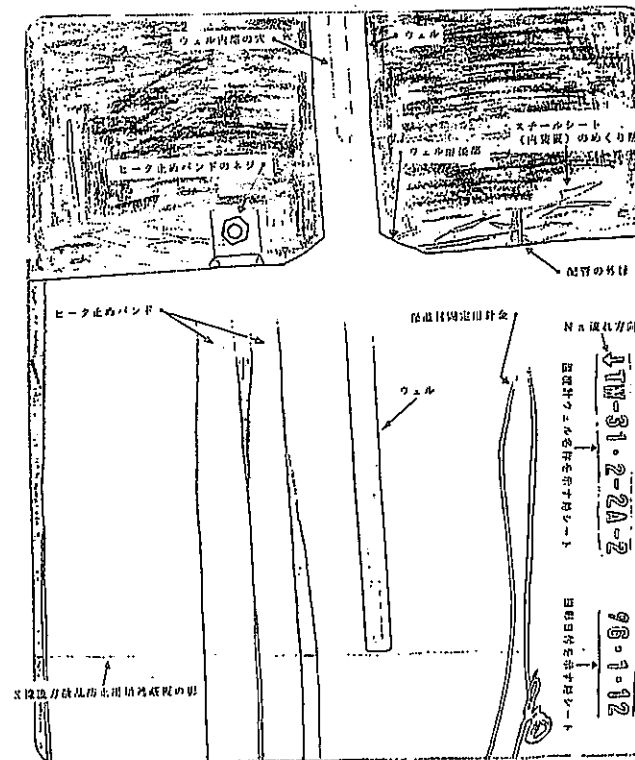
温度計ウェルX線撮影フィルムのスケッチ
(温度計ウェル名称: TW-31.2-3A)



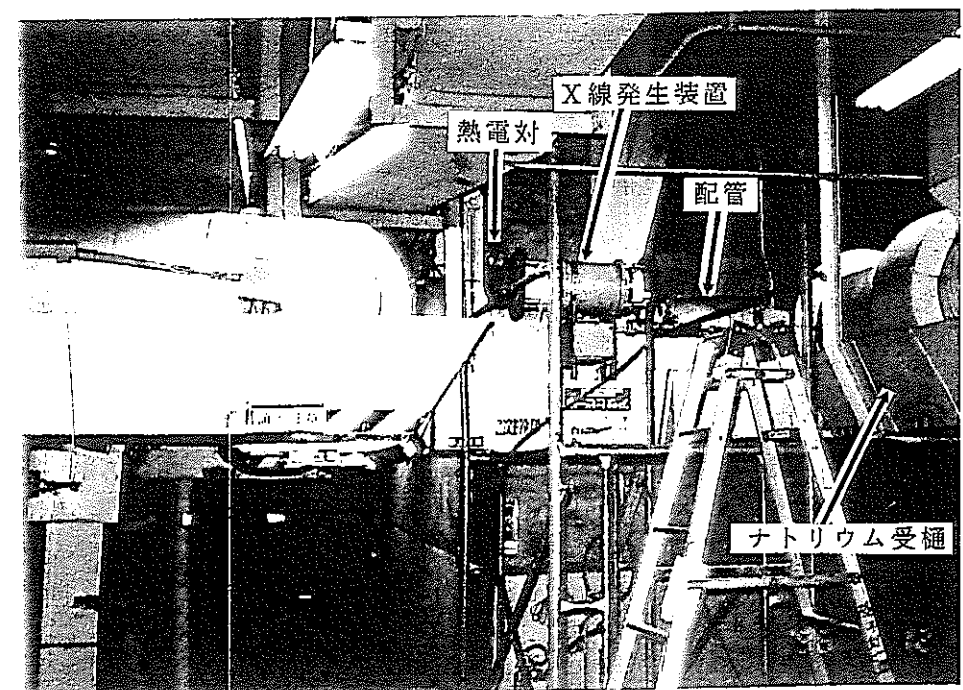
TW-31.2-3A 撮影風景



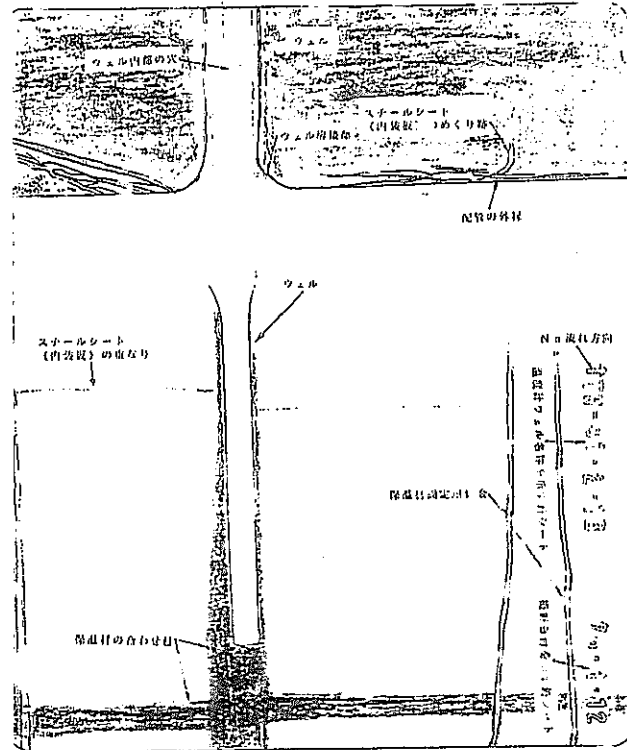
TW-31.2-2A-2 撮影風景



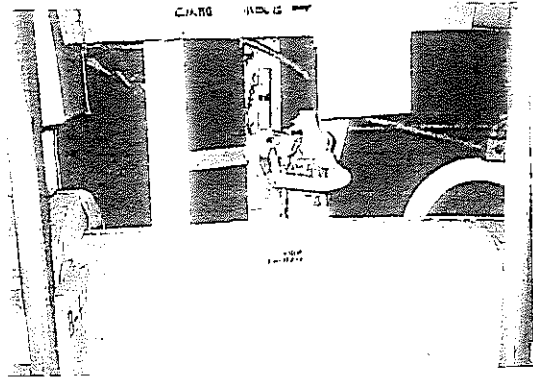
温度計ウェルX線撮影フィルムのスケッチ
(温度計ウェル名称: TW-31.2-2A-2)



撮影現場全体風景 (代表例)
(TW-31.2-3A撮影時)

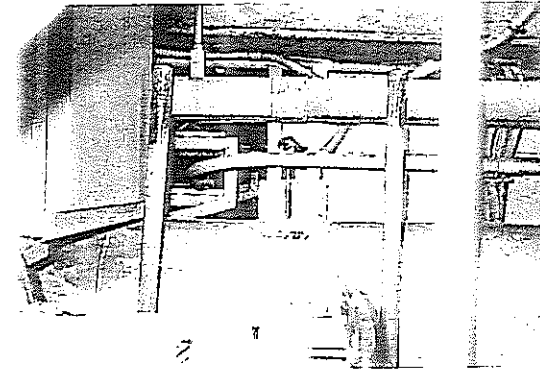


温度計ウェルX線撮影フィルムのスケッチ
(温度計ウェル名称: TW-31.2-1B)



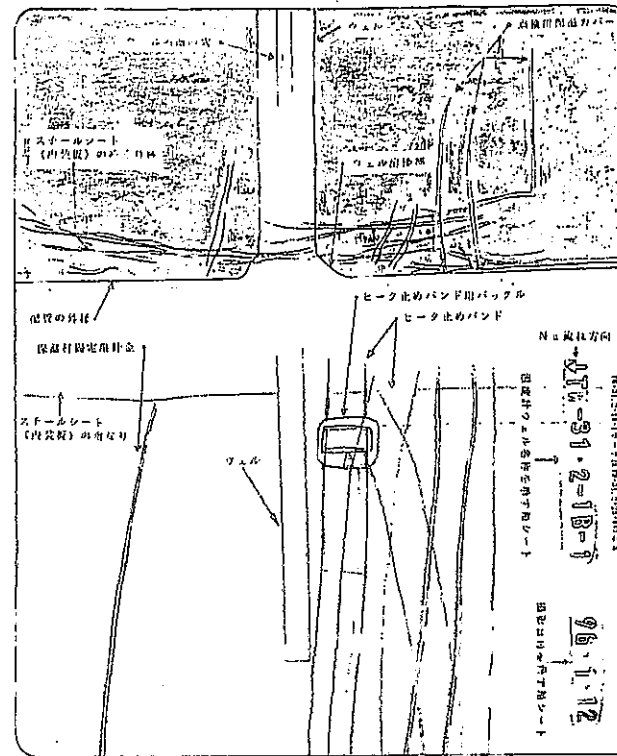
TW-31.2-1B 撮影風景

①

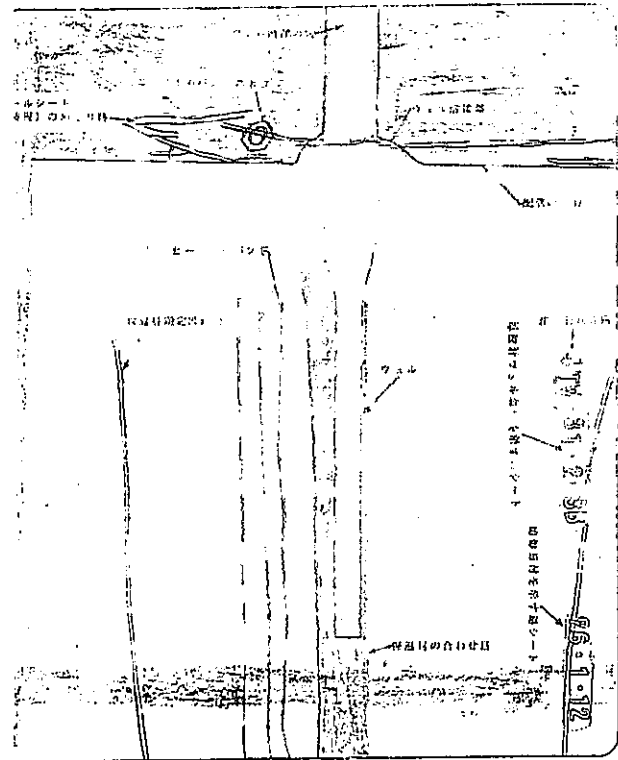


TW-31.2-2B-1 撮影風景

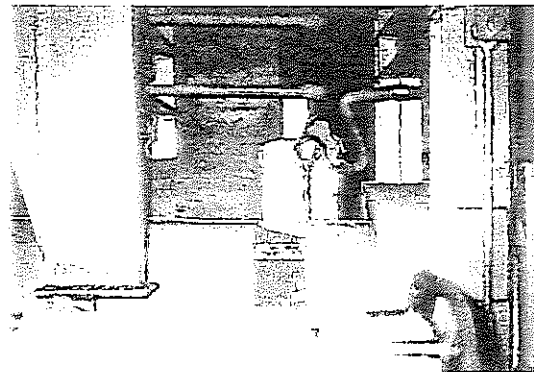
②



温度計ウェルX線撮影フィルムのスケッチ
(温度計ウェル名称: TW-31.2-2B-1)

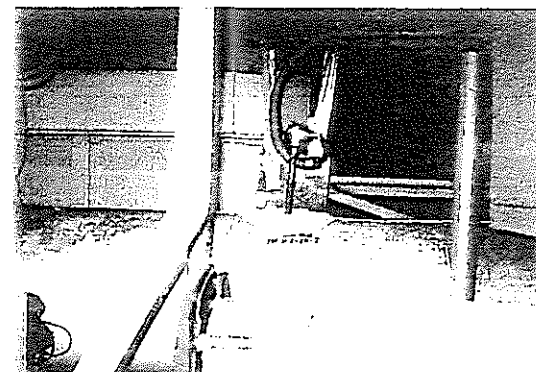


温度計ウェルX線撮影フィルムのスケッチ
(温度計ウェル名称: TW-31.2-3B)



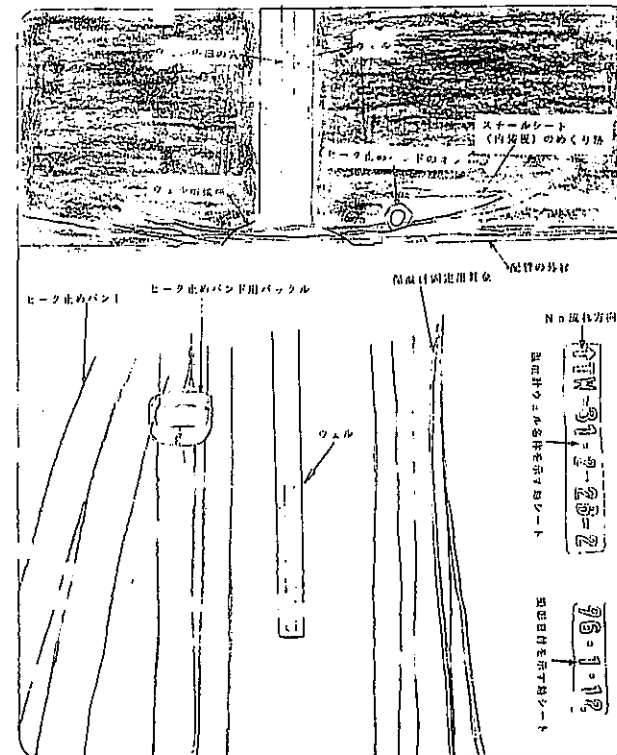
TW-31.2-2B 撮影風景

④

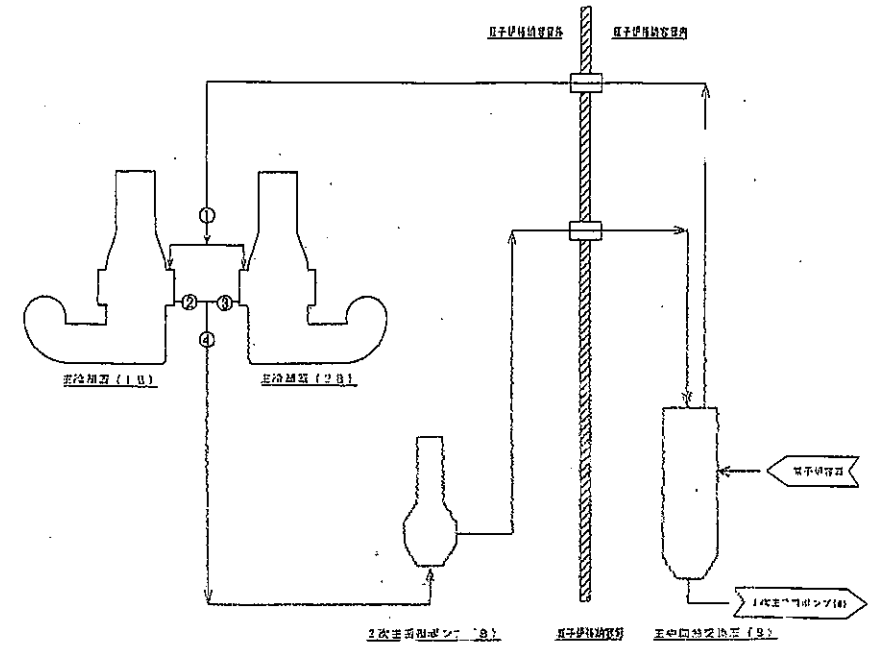


TW-31.2-2B-2 撮影風景

③



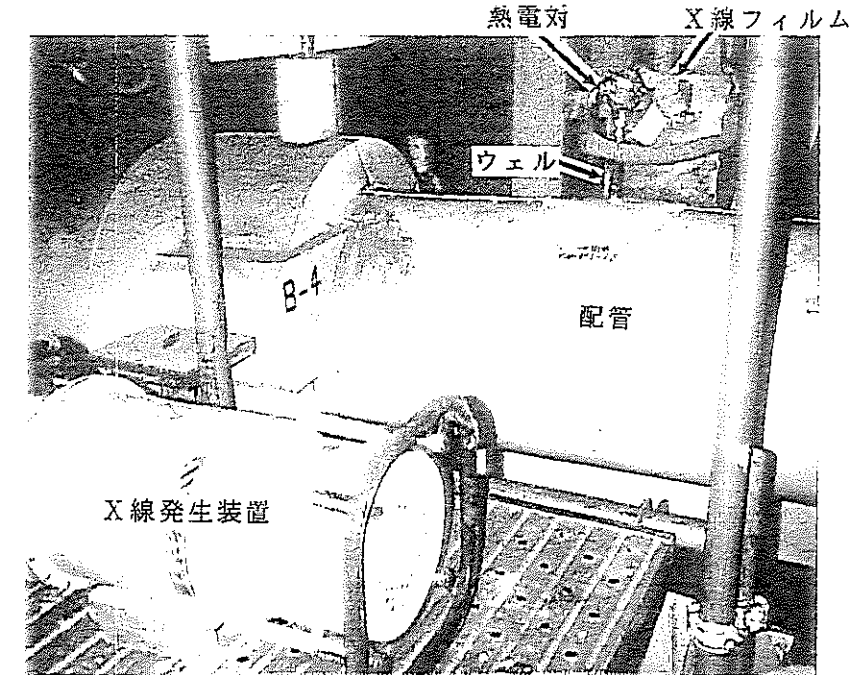
温度計ウェルX線撮影フィルムのスケッチ
(温度計ウェル名称: TW-31.2-2B-2)



「常陽」2次冷却系設備系統図 (Bループ)

番号	温度計ウェル名称	配管サイズ
①	TW-31.2-1B	12B
②	TW-31.2-2B-1	10B
③	TW-31.2-2B-2	10B
④	TW-31.2-3B	12B

①～④は上記系統図と対応しており、温度計ウェルの取付け位置を示す。



撮影現場全体風景 (代表例)
(TW-31.2-1B撮影時)

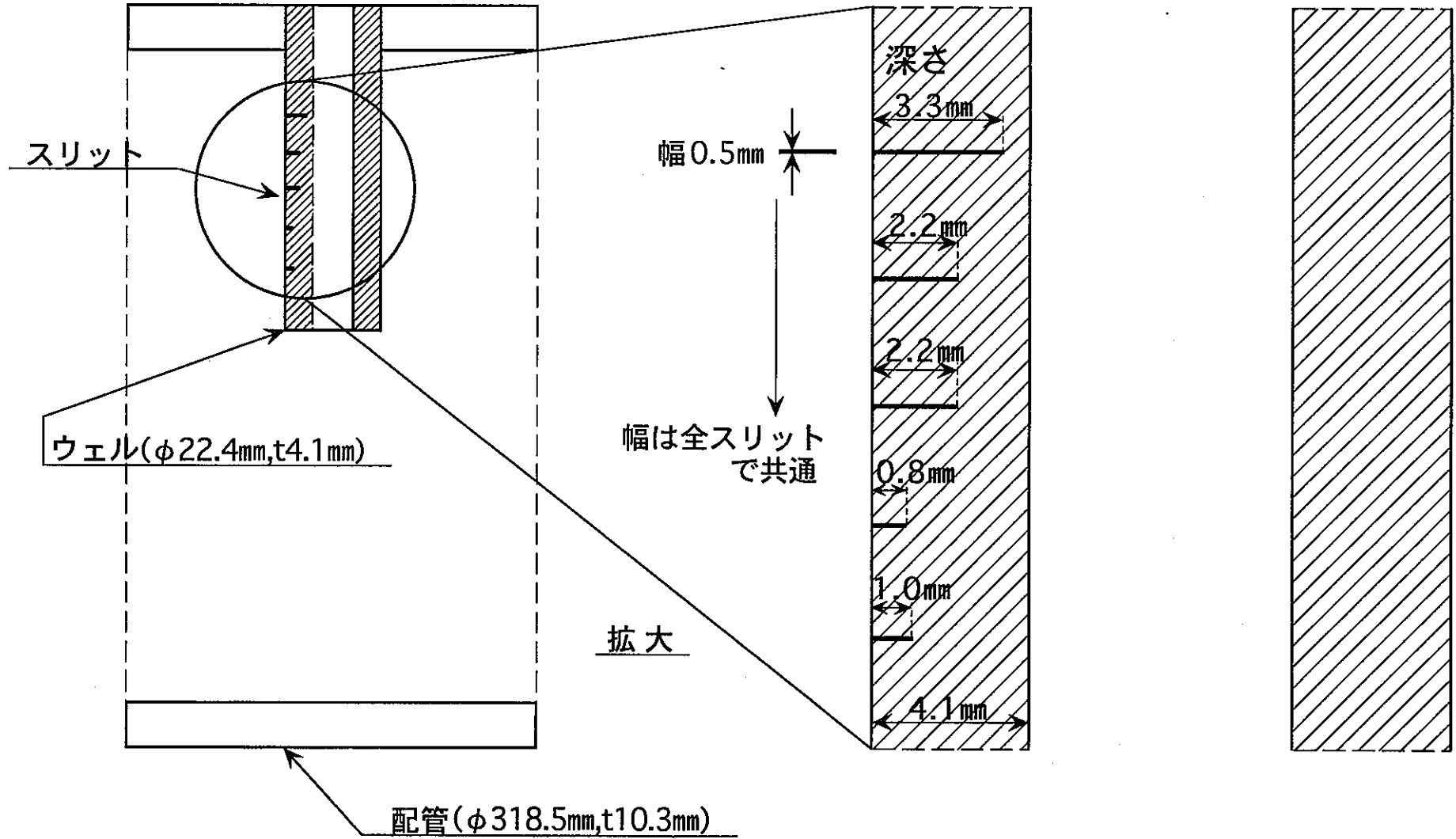


図 1-6 模擬試験体の構造

ファイバ스코ープ装置仕様

製作メーカー : 株式会社フジクラ

ファイバ스코ープ

型式 : FISH/I-150-1000-IPBS
 口径 : $\phi 1.5$ mm
 画素数 : 約10,000画素
 画角 : 55°
 観察距離 : 5~50 mm
 有効長 : 1000 mm

内視鏡システム

型式 : FVS-3000
 撮像方式 : CCD固体撮像素子
 その他 : 35 mmスチルカメラ

Xe光源装置

型式 : FLS-320Xe
 光源 : Xeランプ
 ランプ定格 : 300W

モニタ

型式 : TM-10 COLOR VIDEO MONITOR

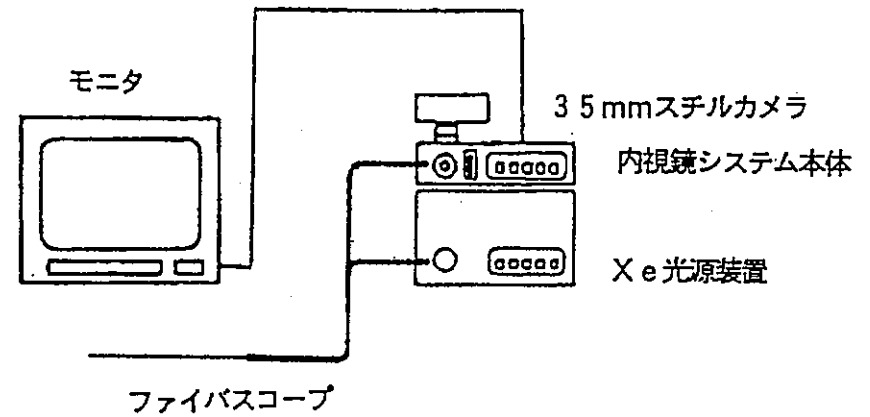
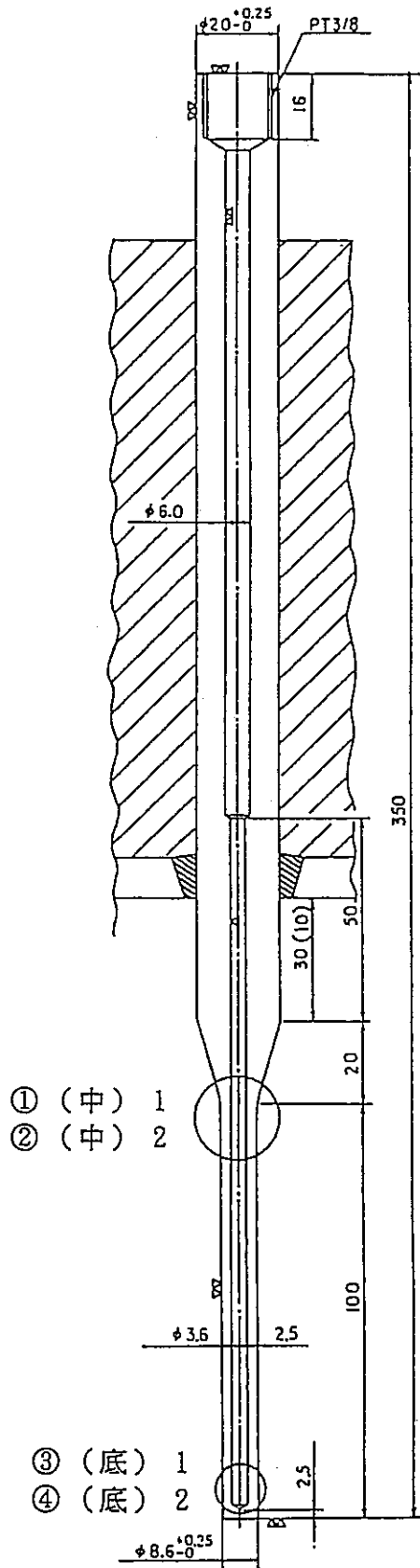


図1-7 ファイバ스코ープ装置システム構成



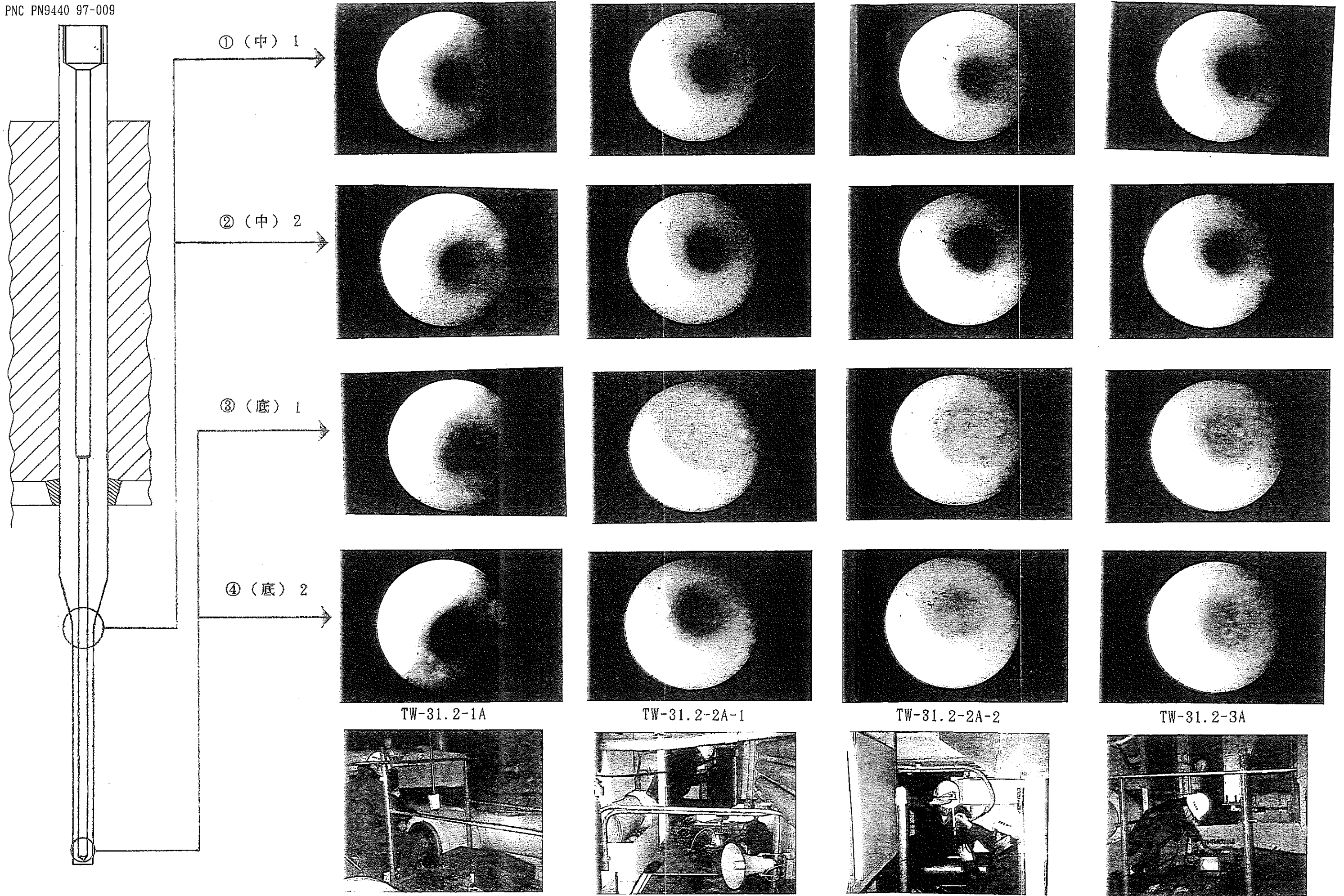
① (中) 1
② (中) 2

③ (底) 1
④ (底) 2

備考:

- (1) ○印は、内面観察範囲を示す。
- (2) () 内は、10Bの値を示す。
- (3) 材質：2 1/4Cr-1Mo

図 1 - 8 温度計ウェル内面目視検査範囲

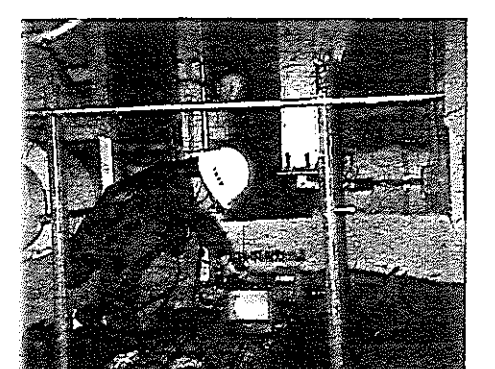
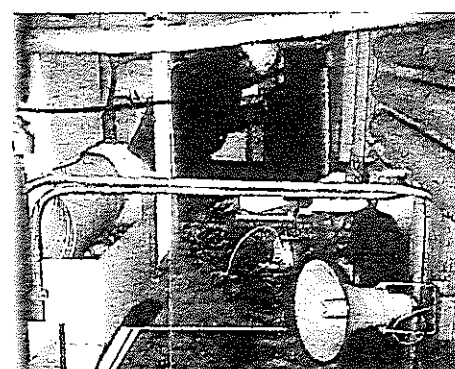
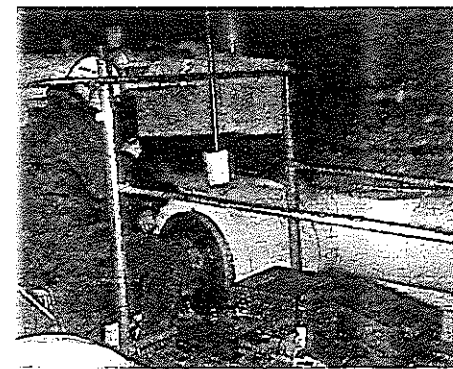


TW-31.2-1A

TW-31.2-2A-1

TW-31.2-2A-2

TW-31.2-3A



TW-31.2-1A 観察状況

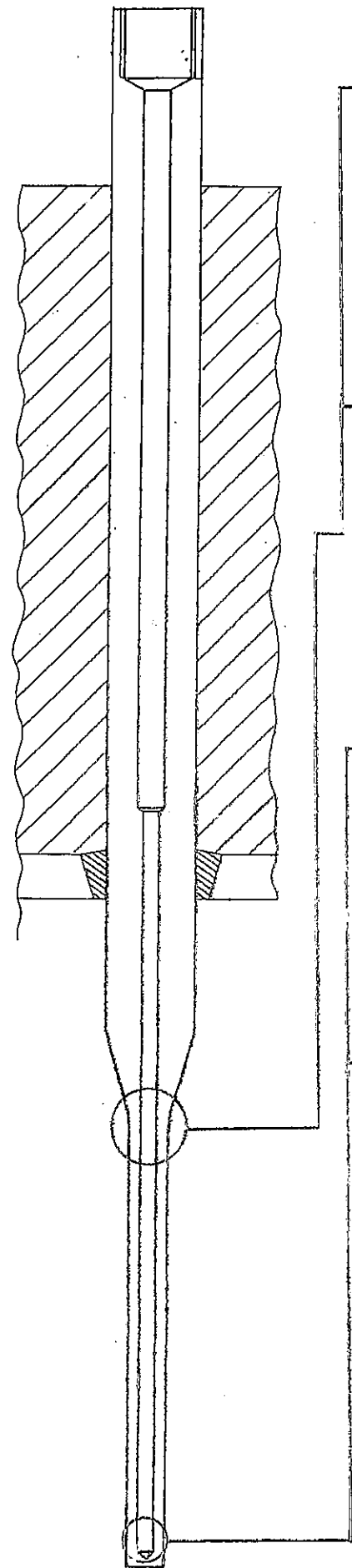
TW-31.2-2A-1 観察状況

TW-31.2-2A-2 観察状況

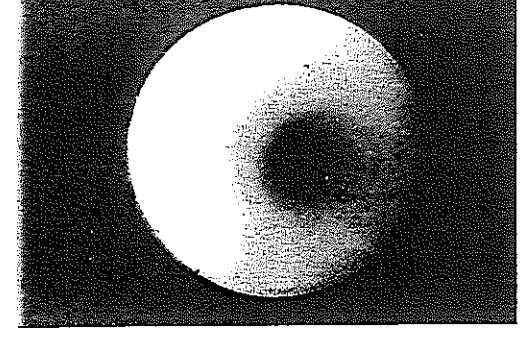
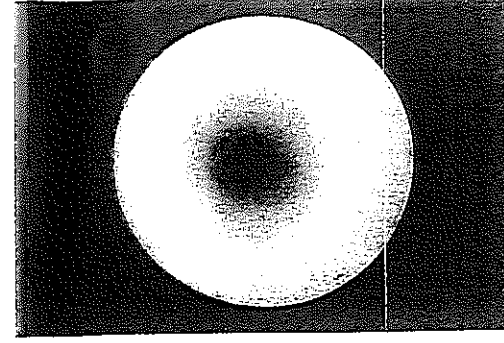
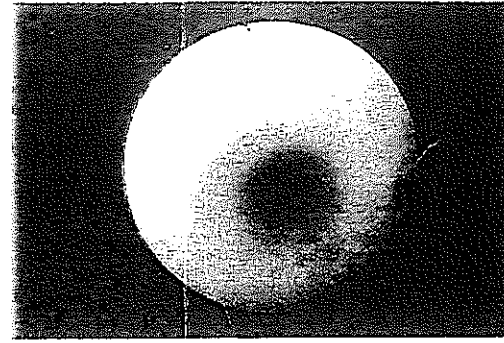
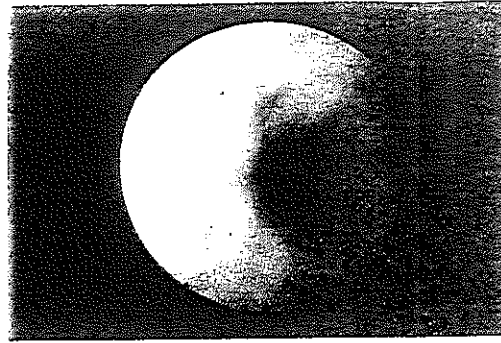
TW-31.2-3A 観察状況

図 1-9 (1/2)

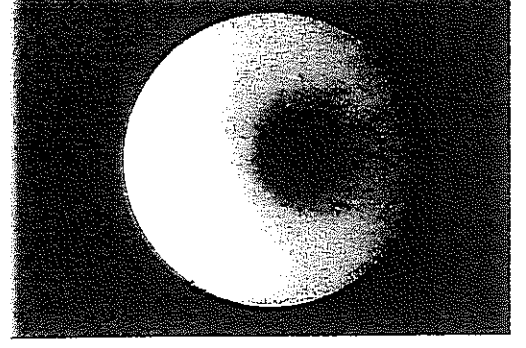
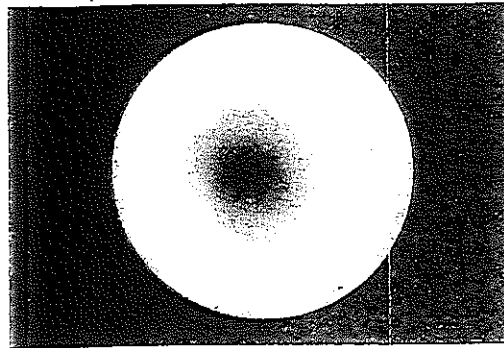
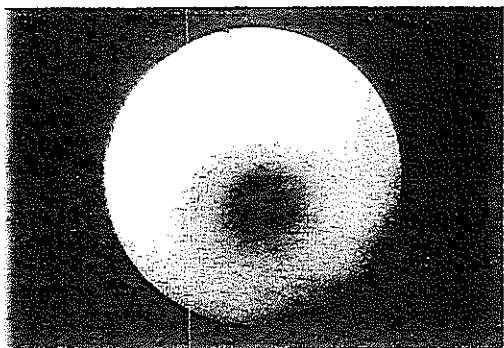
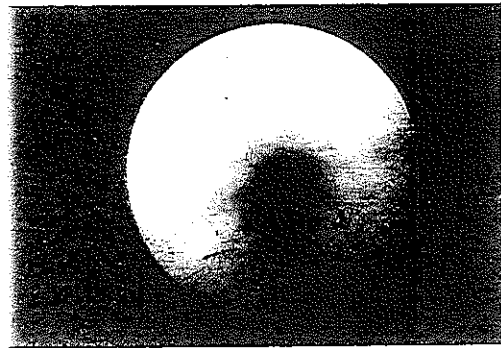
温度計ウェル内部観察写真 (Aループ側)



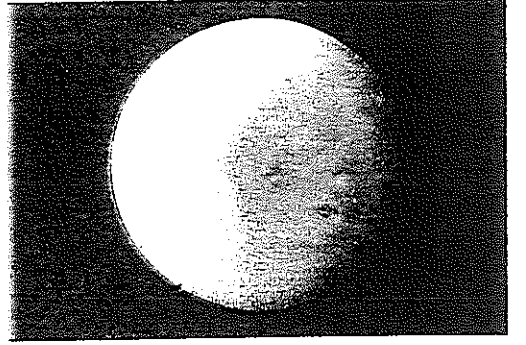
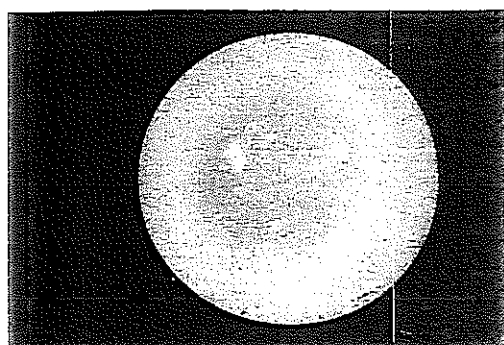
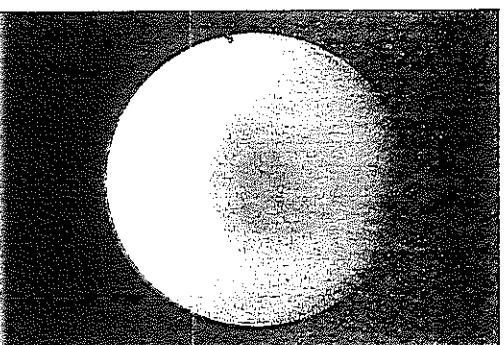
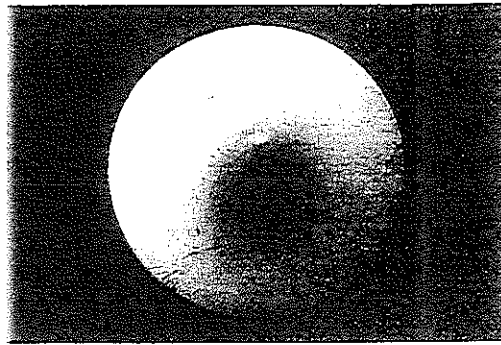
① (中) 1



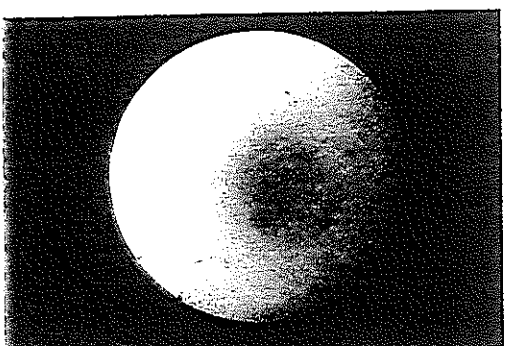
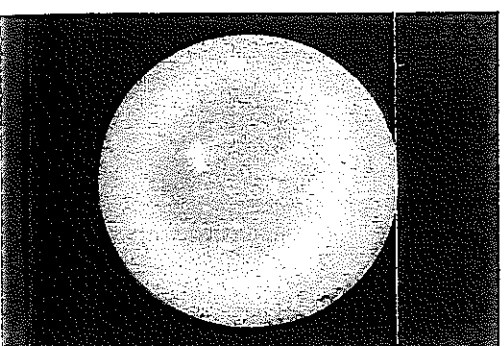
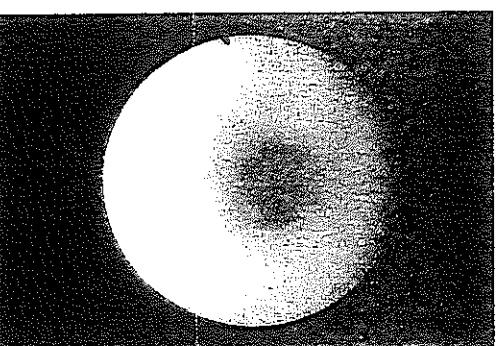
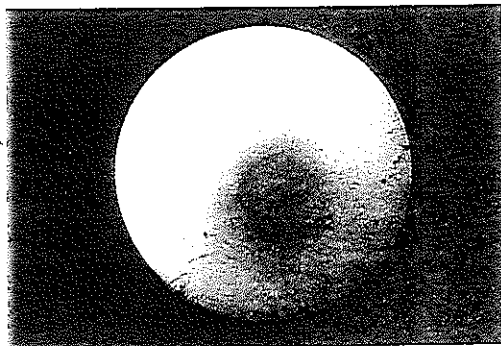
② (中) 2



③ (底) 1



④ (底) 2



TW-31.2-1B

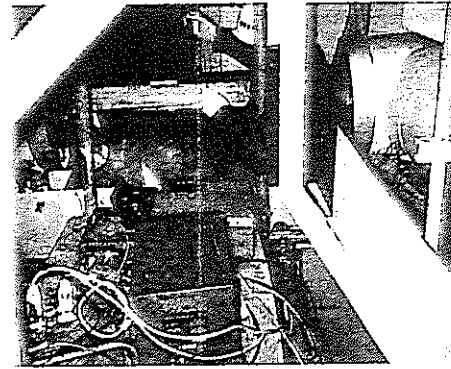
TW-31.2-2B-1

TW-31.2-2B-2

TW-31.2-3B



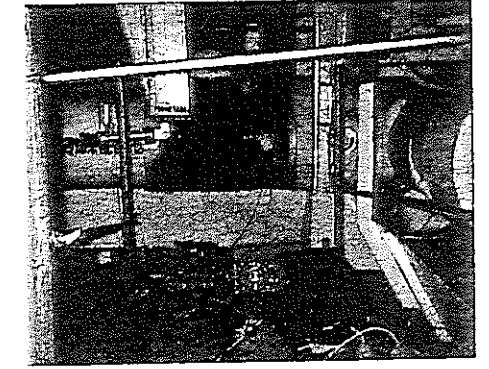
TW-31.2-1B 観察状況



TW-31.2-2B-1 観察状況



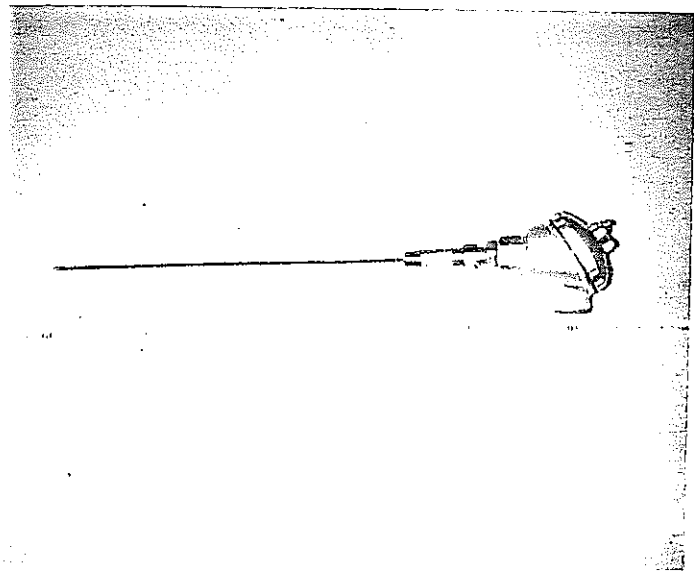
TW-31.2-2B-2 観察状況



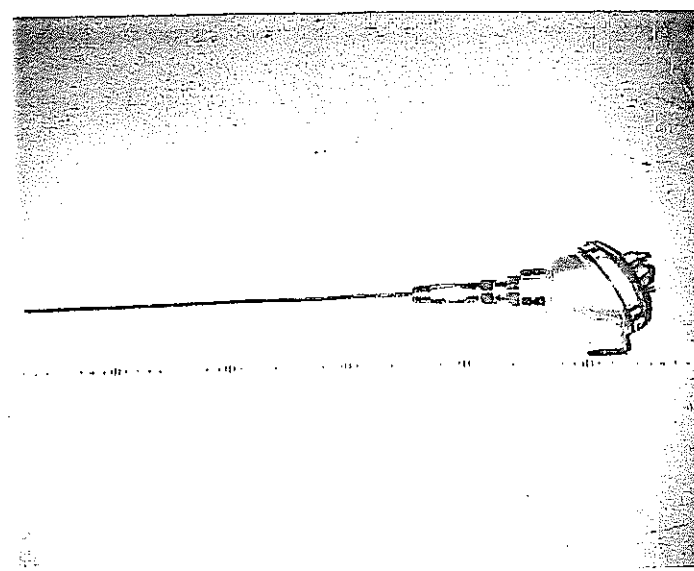
TW-31.2-3B 観察状況

図 1 - 9 (2/2)

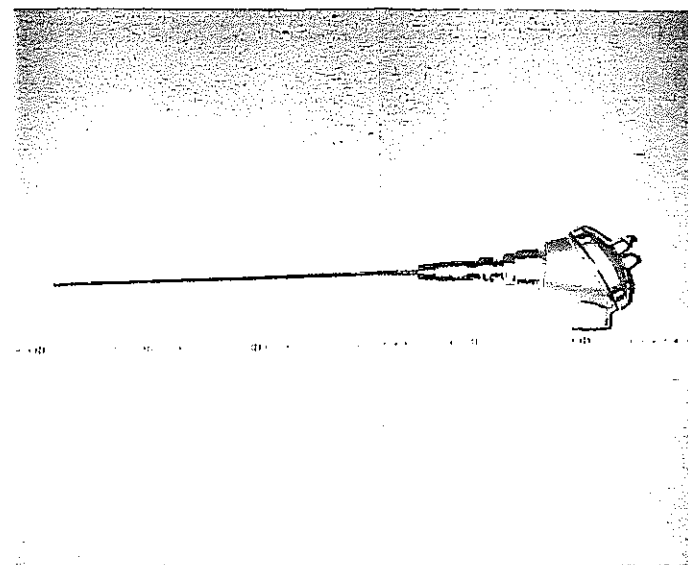
温度計ウェル内部観察写真 (B ループ側)



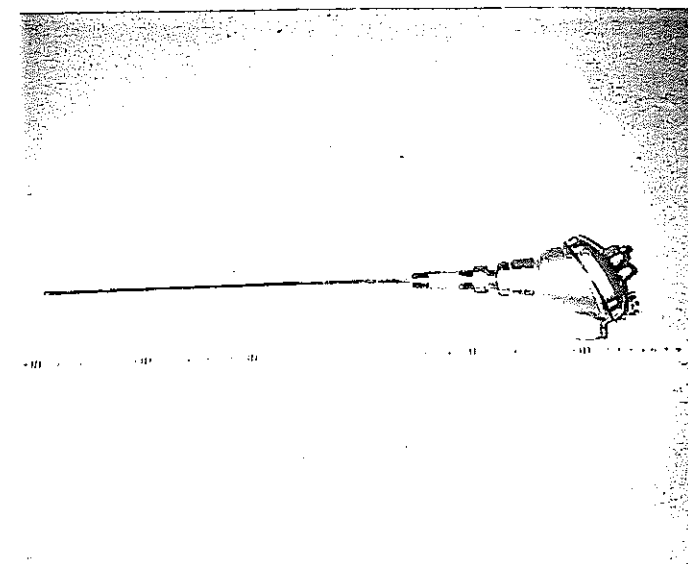
TE31.2-1A



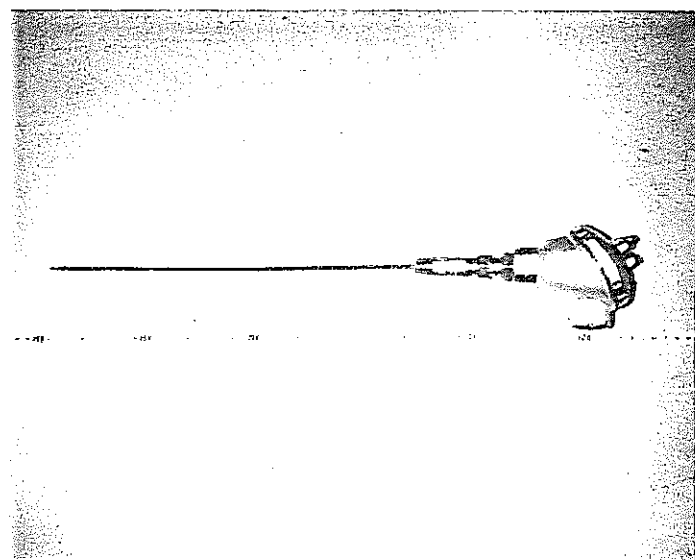
TE31.2-2A-1



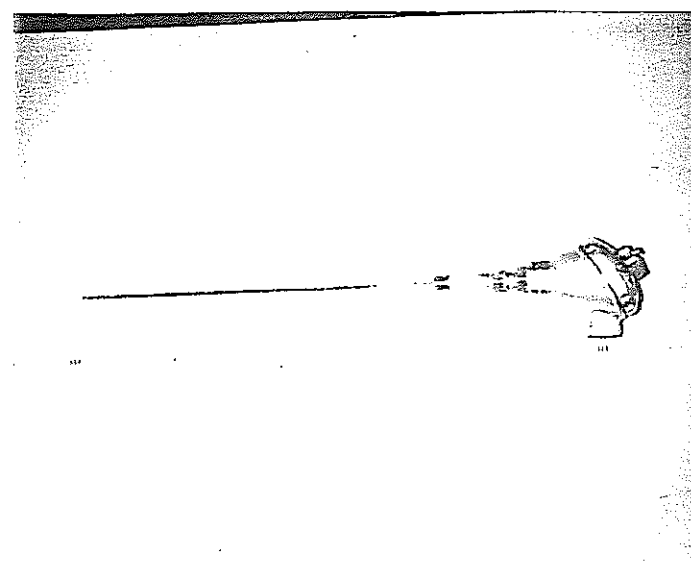
TE31.2-2A-2



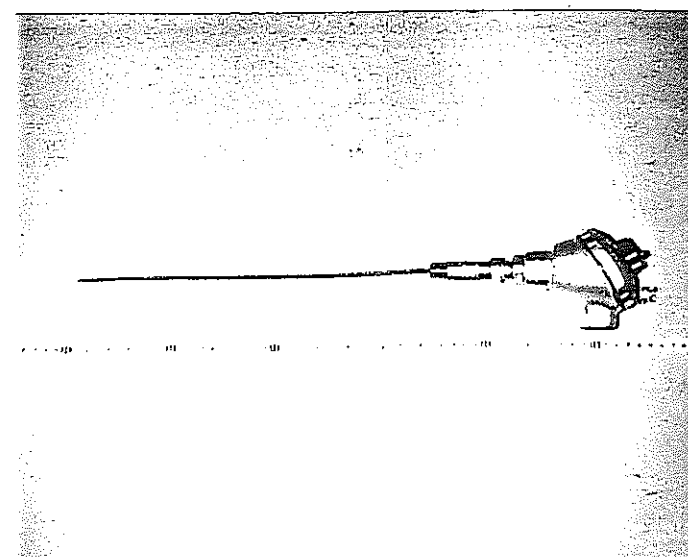
TE31.2-3A



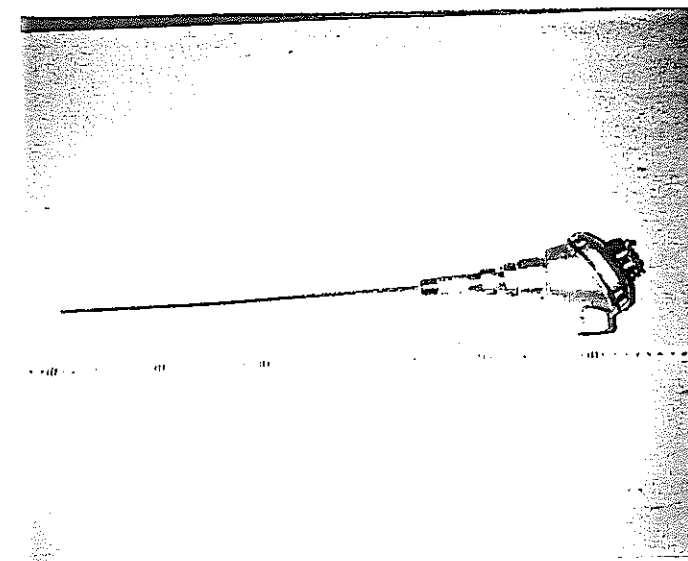
TE31.2-1B



TE31.2-2B-1

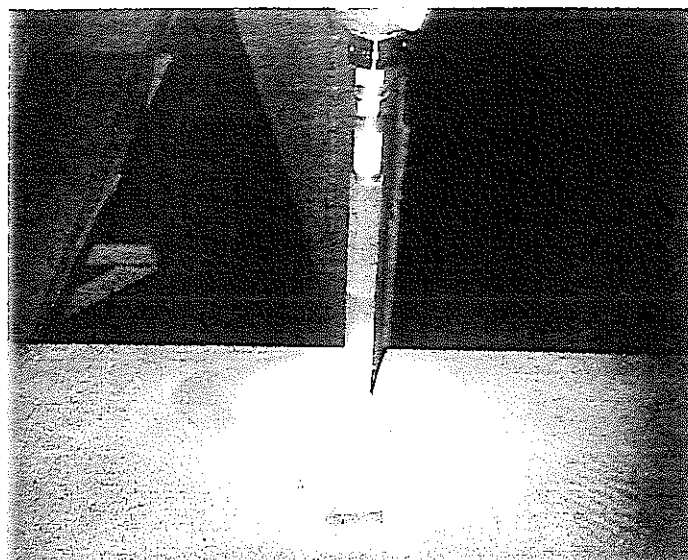


TE31.2-2B-2

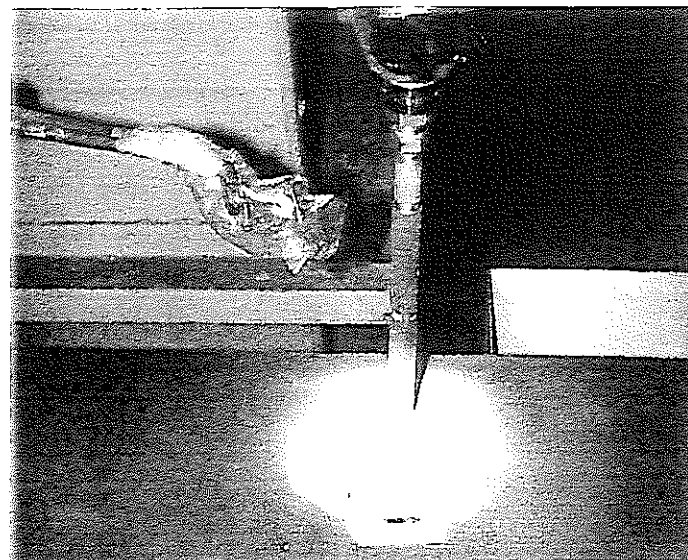


TE31.2-3B

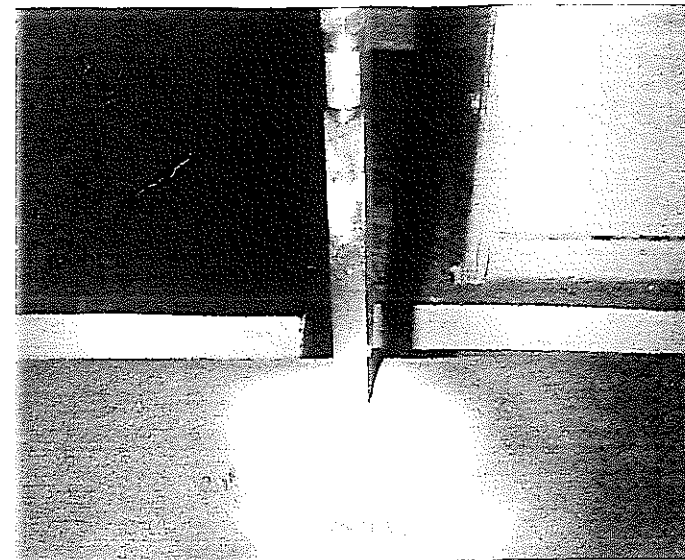
図1-10 引抜き温度計外観



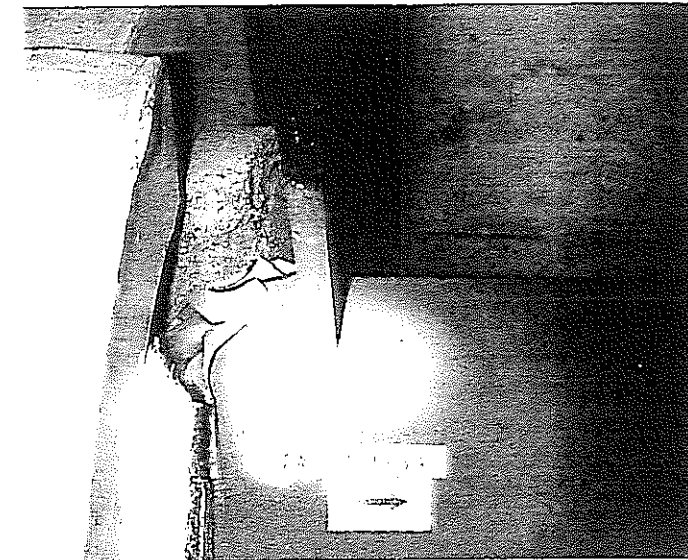
TW-31.2-1A



TW-31.2-2A-1

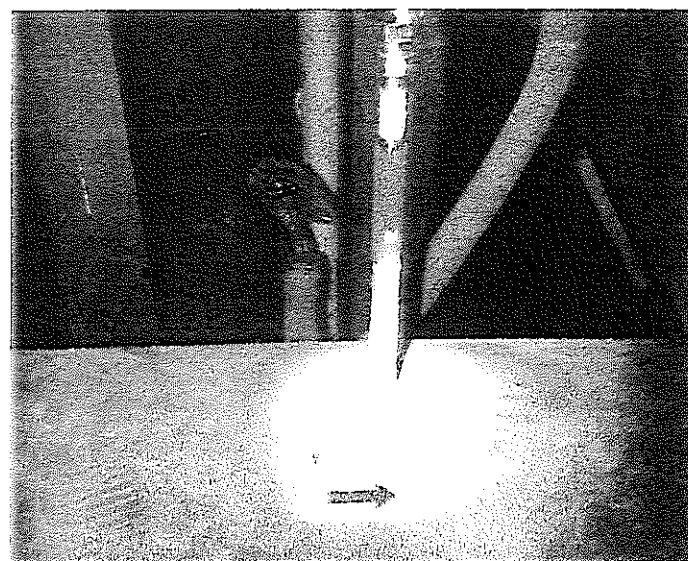


TW-31.2-2A-2

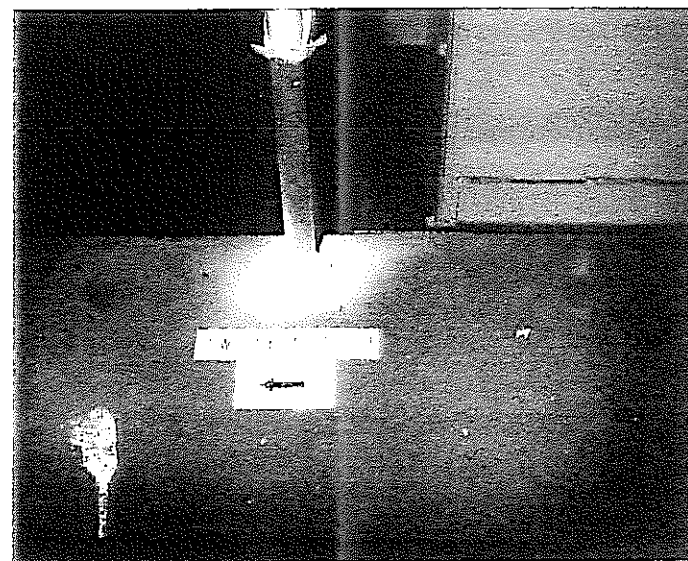


TW-31.2-3A

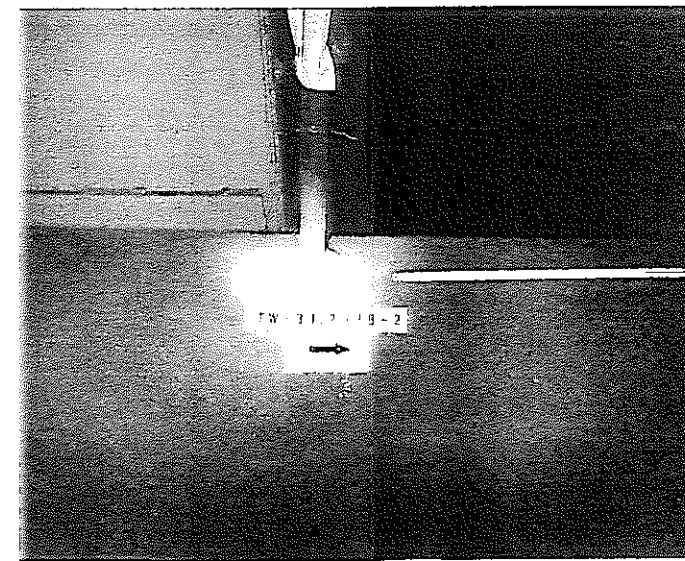
(A ル ー プ)



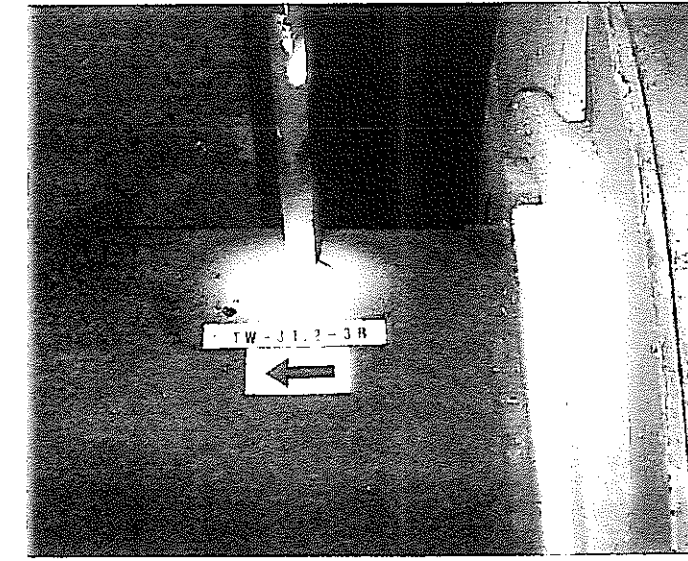
TW-31.2-1B



TW-31.2-2B-1



TW-31.2-2B-2



TW-31.2-3B

(B ル ー プ)

図 1-11 浸透探傷試験状況

表 I - 1 浸透探傷試験成績表

品名	2次主冷却系配管	施設名	高速実験炉「常陽」
部品名	温度計ウェル	動燃検査員	上田多生豊 奇藤隆一
Tag. No	TW-31.2-1A TW-31.2-2A-1 TW-31.2-2A-2 TW-31.2-3A TW-31.2-1B TW-31.2-2B-1 TW-31.2-2B-2 TW-31.2-3B	立会年月日	平成8年1月29日

1. 浸透条件

浸透液	R-1A NT	栄進化学(株)製	浸透時間	20分
現像液	R-1S NT		探傷部温度	6℃
洗浄液	R-1M NT		探傷表面状態	グラインダー仕上
			現像時間	10分

2. 判定基準

試験研究の用に供する原子炉等の溶接の技術基準に関する
総理府令第74号第15条浸透探傷試験による。

3. 探傷結果

良 有害な欠陥指示模様を認めず

4. 判定

合格

試験員：(株) シェイクスピアール 原昌彦

社内検査日	平成8年1月29日
-------	-----------

Ⅱ. ナトリウム温度検出器取り付け部の点検

1. 目的

本点検は、「もんじゅ」事故に伴う緊急自主点検として2次主冷却系配管の温度検出器（T/C）のうち、空気雰囲気に設置されている温度計全数（8点）について、健全性を確認するために実施したものである。

2. 点検内容

各々の温度計について周囲の保温材を取外し、次に示す点検を実施する。

- (1) 目視により、機能上有害な損傷、変形、ナトリウム漏えいがないこと。
- (2) P T（浸透探傷試験）を行い、目視可能な欠陥指示のないこと。

3. 点検実施日

平成7年12月19日

4. 点検結果



各々の温度計について、良好であることを確認した。点検記録Ⅱ-1を添付する。

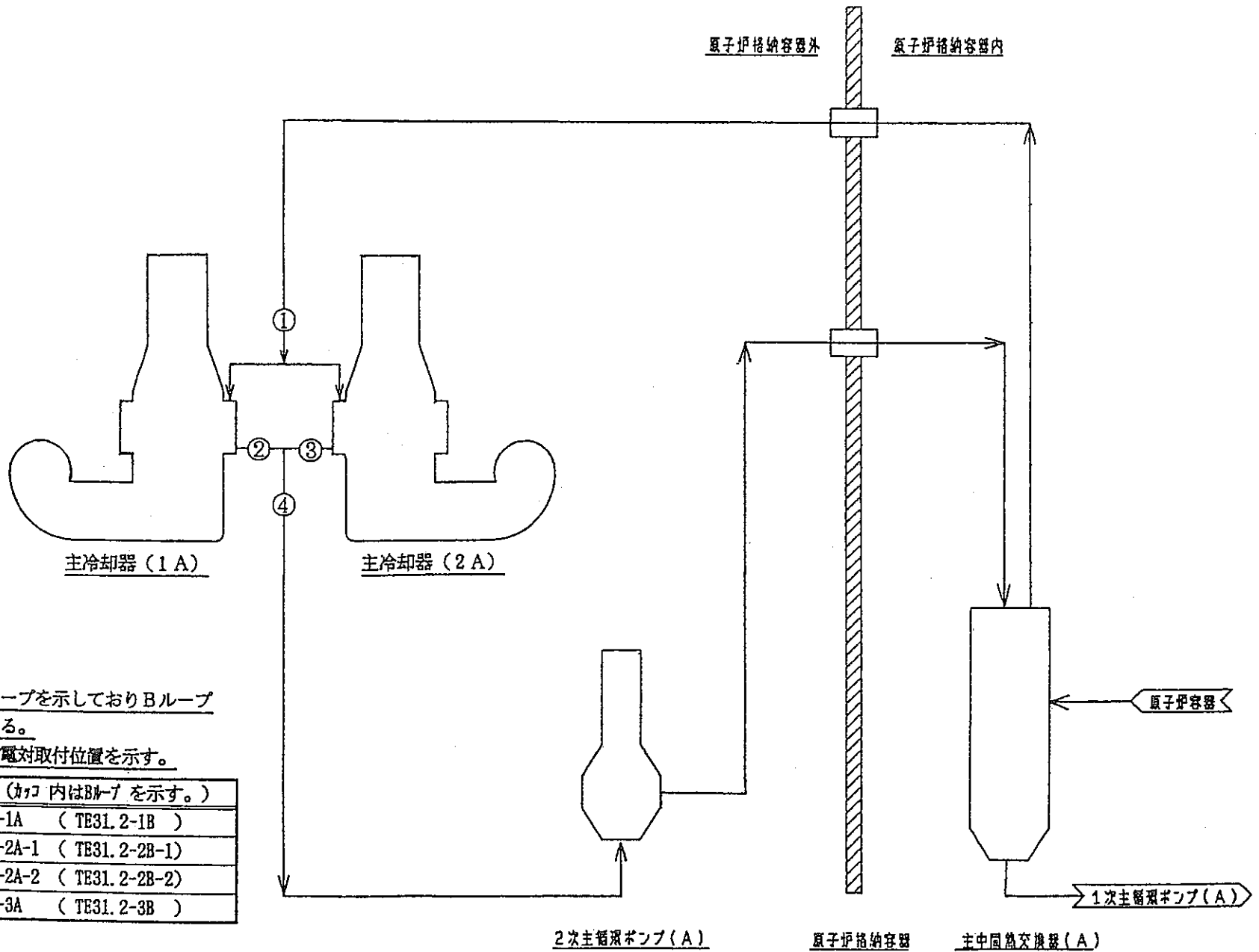
ナトリウム温度検出器(T/C) の取付け部点検記録

点検実施日：平成7年12月19日

点検実施者：実験炉部原子炉第二課

2次系主配管熱電対外観検査記録(1/1)

機器名称	検査項目	判定基準	結果	検査年月日	検査者
TE31.2-2A-1	外観検査	外観検査 機能上有害な損傷, 変形 Na漏洩がないこと。 PT (浸透探傷試験) 目視可能な欠陥指示のないこと。	良	H. 7. 12. 19	
TE31.2-2A-2	外観検査		良	H. 7. 12. 19	
TE31.2-2B-1	外観検査		良	H. 7. 12. 19	
TE31.2-2B-2	外観検査		良	H. 7. 12. 19	
TE31.2-1A	外観検査, PT		良	H. 7. 12. 19	
TE31.2-1B	外観検査, PT		良	H. 7. 12. 19	
TE31.2-3A	外観検査, PT		良	H. 7. 12. 19	
TE31.2-3B	外観検査, PT		良	H. 7. 12. 19	
備考: (1) 熱電対取付位置を添付資料-1に示す。 (2) 熱電対外観状況およびPT実施状況を添付資料-2に示す。					

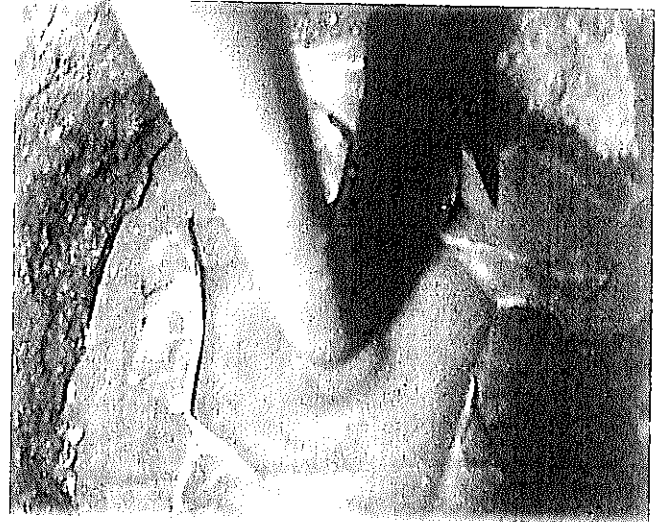
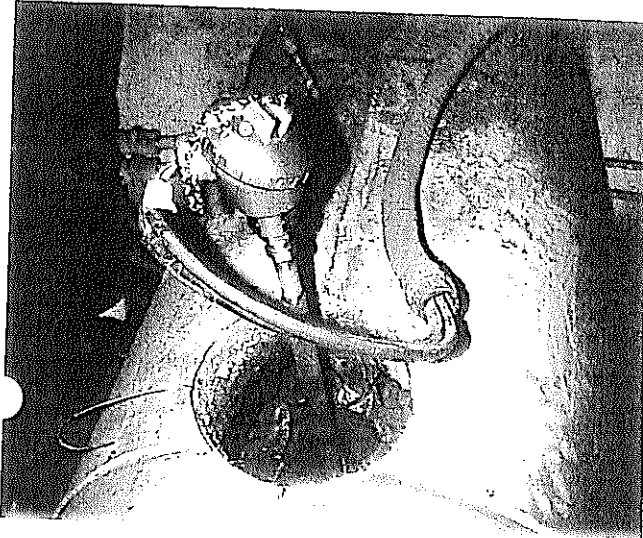


注記

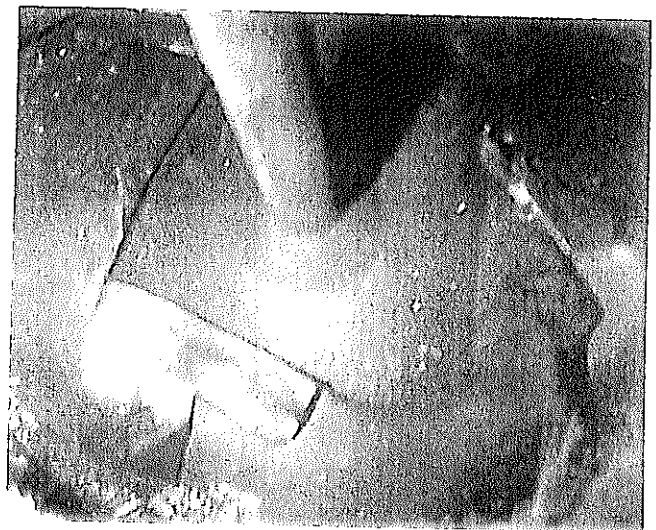
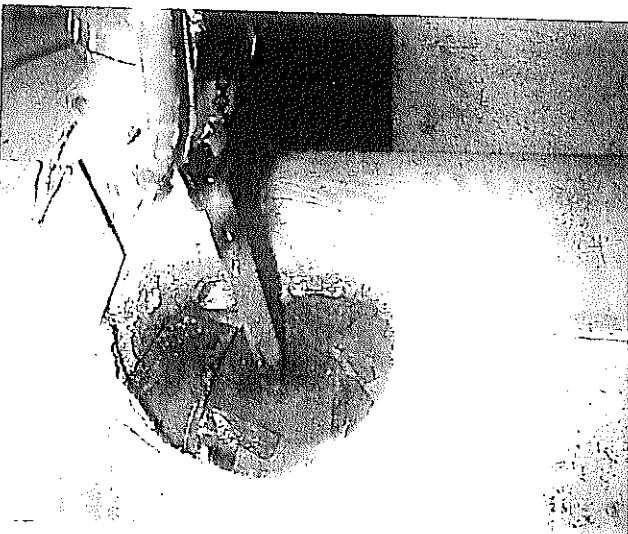
1. 本図はAループを示しておりBループも同一である。
2. ①～④は熱電対取付位置を示す。

番号	機器名称 (カッコ内はBループを示す。)
①	TE31.2-1A (TE31.2-1B)
②	TE31.2-2A-1 (TE31.2-2B-1)
③	TE31.2-2A-2 (TE31.2-2B-2)
④	TE31.2-3A (TE31.2-3B)

添付資料-1 「常陽」 2次冷却系設備系統図



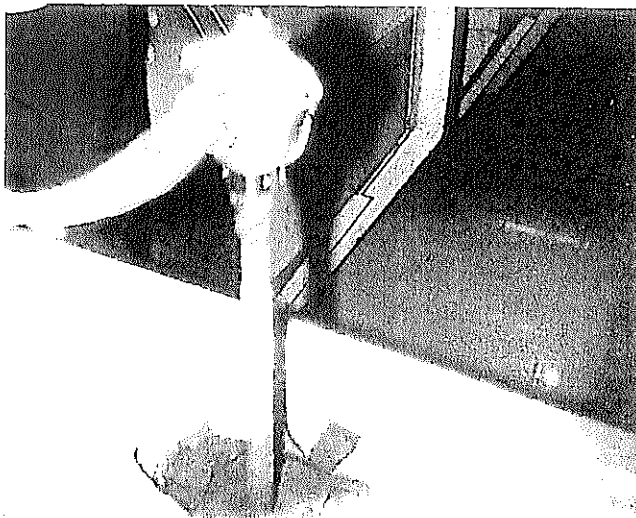
TE31. 2-1A



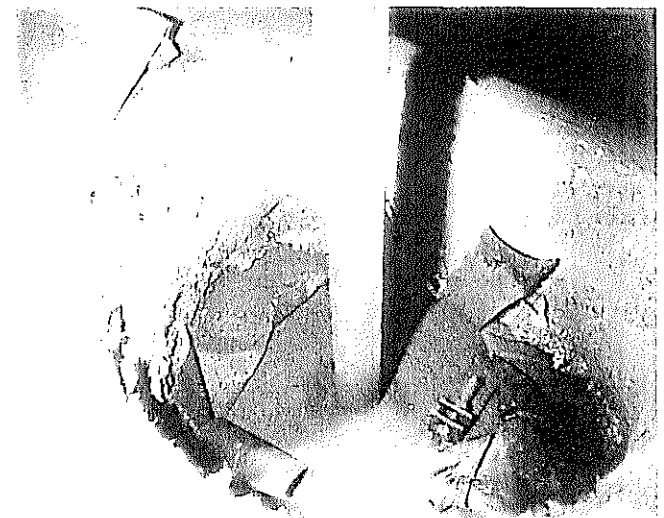
TE31. 2-3A

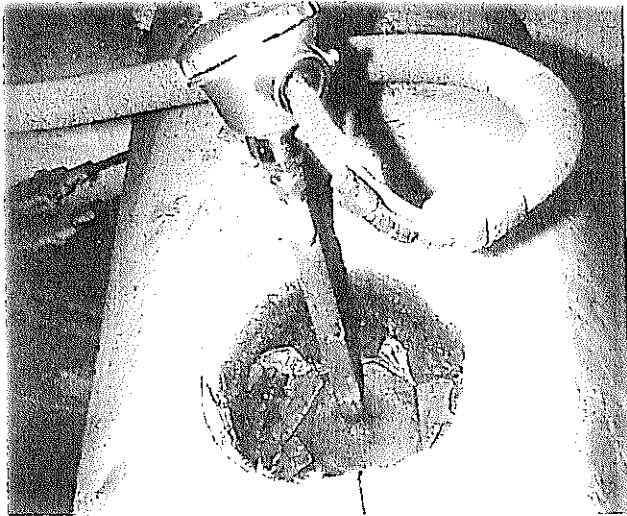


TE31.2-2A-1

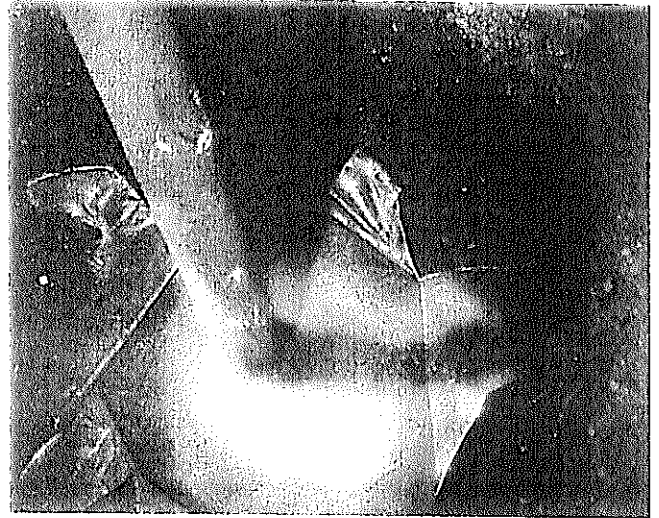


TE31.2-2A-2

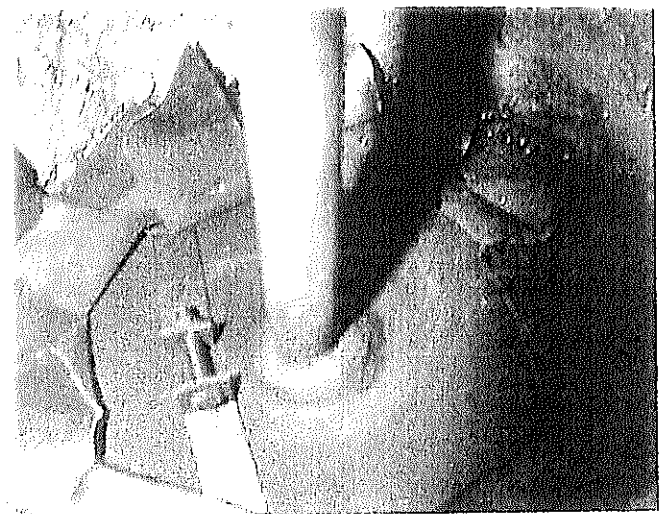


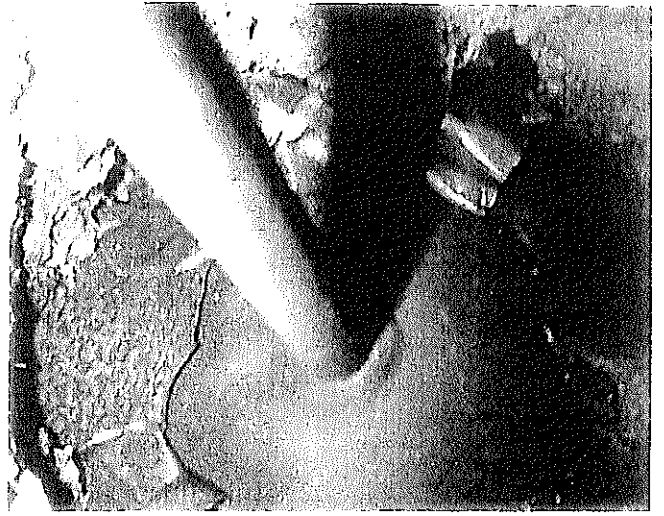
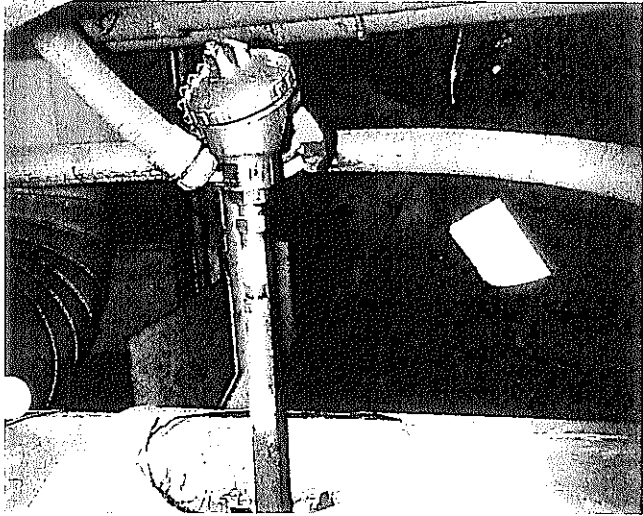


TE31. 2-1B

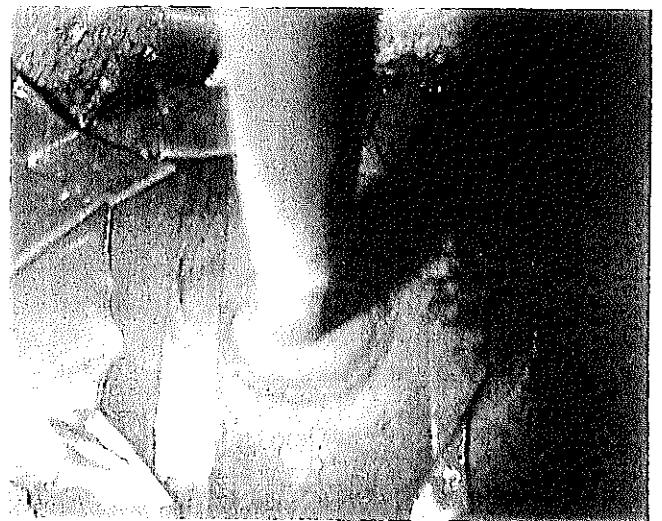
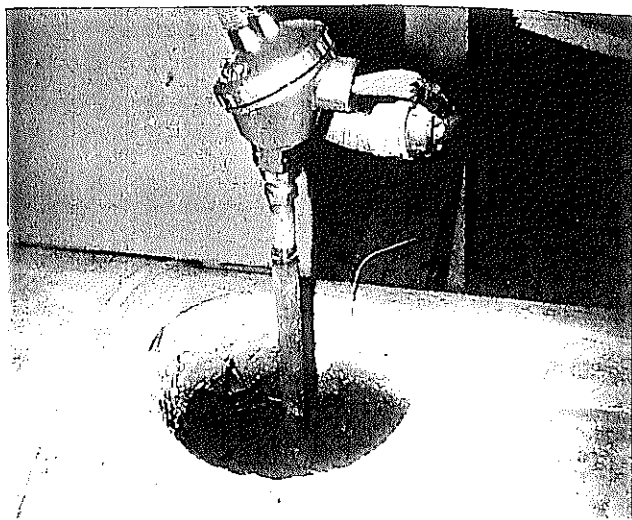


TE31. 2-3B





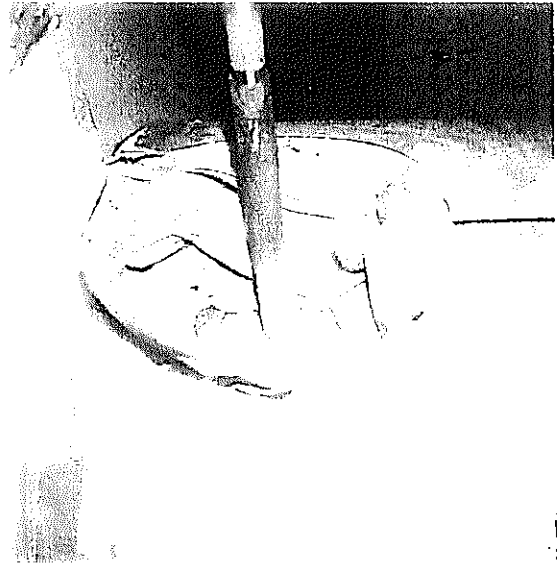
TE31. 2-2B-1



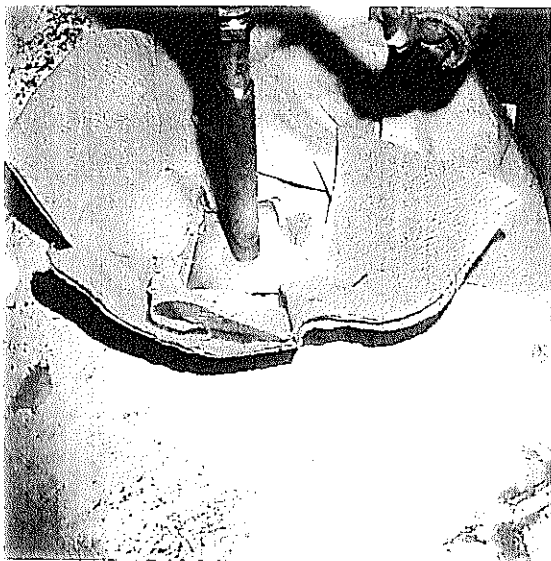
TE31. 2-2B-2



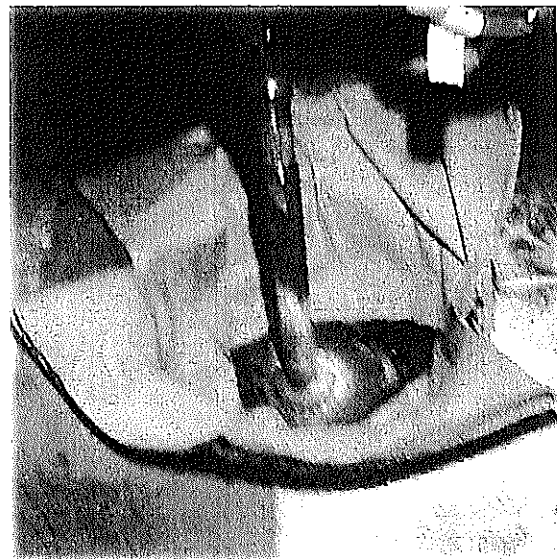
TE31.2-1A



TE31.2-3A



TE31.2-1B



TE31.2-3B

第 2 編 関連設備の緊急自主点検

I. ナトリウム漏えい検出器の動作試験

1. 目的

本点検は、「もんじゅ」事故に伴い緊急自主点検として、1次冷却系及び2次冷却系ナトリウム漏えい検出器（L/D）の健全性を確認するために実施したものである。

2. 点検内容

1次冷却系及び2次冷却系ナトリウム漏えい検出器について、動作試験を行い、正常に動作することを確認する。

3. 点検実施日

平成7年12月13日～12月18日

4. 点検結果

各々のナトリウム漏えい検出器について、良好であることを確認した。点検記録I-1を添付する。

ナトリウム漏えい検出器(L/D) の動作試験記録

点検実施日：平成7年12月13・18日

点検実施者：実験炉部原子炉第二課

平成7年12月18日

実施者 今二第 康崎, 岡野

別紙 (1/4)

点検校正検査記録

機器名称	1次冷却系ナトリウム漏洩検出器			
	検出器名称	判定基準	結果	
原子炉容器	炉容器下部-1 (XS13-1)	各々の「漏洩」ランプ(レッドランプ)が点灯すること。	良	
	" -2 (XS13-2)		良	
	炉容器入口配管(A) (XS31.1-17A)		良	
	" (A) (XS31.1-17B)		良	
	V35.1-16底部 (XS35.1-59)		良	
主冷却系Aループ	炉容器出口配管(A)-1 (XS31.1-1A)			良
	" (A)-2 (XS31.1-2A)			良
	" (A)-3 (XS31.1-3A)			良
	" (A)-4 (XS31.1-4A)			良
	" (A)-5 (XS31.1-5A)			良
	IHX(A)下部-1 (XS31.1-6A)			良
	" -2 (XS31.1-7A)			良
	IHX(A)出口配管-1 (XS31.1-8A)			良
	" -2 (XS31.1-9A)			良
	" -3 (XS31.1-10A)			良
	" -4 (XS31.1-11A)			良
	主ポンプ(A)下部-1 (XS31.1-12A)			良
	" -2 (XS31.1-13A)			良
	主ポンプ(A)出口配管-1 (XS31.1-14A)			良
	" -2 (XS31.1-15A)			良
	V31.1-1A底部 (XS31.1-16A)			良
	SB配管(A)-1 (XS31.1-18A)			良
	" -2 (XS31.1-19A)			良
	オーバフロカラム(A)下部 (XS31.1-20A)	良		
	V31.1-80A底部 (XS31.1-21A)	良		
RV~IHX(A)ドレン-1 (XS35.1-4)	良			

点検校正検査記録

機器名称	1次冷却系ナトリウム漏洩検出器			
	検出器名称	判定基準	結果	
主冷却系Aループ	RV~IH(X)A)ドレン-2 (XS35.1-5)	各々の「漏洩」ランプ(レッドランプ)が点灯すること。	良	
	" -3 (XS35.1-6)		良	
	" -4 (XS35.1-7)		良	
	IH(X)A)~主ポンプ(A)ドレン-1 (XS35.1-16)		良	
	" -2 (XS35.1-17)		良	
	" -3 (XS35.1-18)		良	
	" -4 (XS35.1-19)		良	
	主ポンプ(A)~RVドレン-1 (XS35.1-27)		良	
	" -2 (XS35.1-28)		良	
	" -3 (XS35.1-29)		良	
	" -4 (XS35.1-30)		良	
	" -5 (XS35.1-31)		良	
主冷却系Bループ	炉容器出口配管(B)-1 (XS31.1-1B)		各々の「漏洩」ランプ(レッドランプ)が点灯すること。	良
	" -2 (XS31.1-2B)			良
	" -3 (XS31.1-3B)			良
	" -4 (XS31.1-4B)			良
	" -5 (XS31.1-5B)			良
	IH(X)(B)下部-1 (XS31.1-6B)			良
	" -2 (XS31.1-7B)			良
	IH(X)(B)出口配管-1 (XS31.1-8B)			良
	" -2 (XS31.1-9B)			良
	" -3 (XS31.1-10B)			良
	" -4 (XS31.1-11B)	良		
	主ポンプ(B)下部-1 (XS31.1-12B)	良		
	" -2 (XS31.1-13B)	良		
	主ポンプ(B)出口配管-1 (XS31.1-14B)	良		

点検校正検査記録

機 器 名 称	1次冷却系ナトリウム漏洩検出器		
	検 出 器 名 称	判 定 基 準	結 果
主冷却系Bループ	主ポンプ(B) 出口配管-2 (XS31.1-15B)	各々の「漏洩」ランプ(レッドランプ)が点灯すること。	良
	V31.1-1B底部 (XS31.1-16B)		良
	SB配管(B)-1 (XS31.1-18B)		良
	" -2 (XS31.1-19B)		良
	オーバフロカラム(B)下部 (XS31.1-20B)		良
	V31.1-80B底部 (XS31.1-21B)		良
	RV~IHX(B)ドレン-1 (XS35.1-9)		良
	" -2 (XS35.1-10)		良
	" -3 (XS35.1-11)		良
	" -4 (XS35.1-12)		良
	" -5 (XS35.1-13)		良
	" -6 (XS35.1-14)		良
	IHX(B)~主ポンプ(B)ドレン-1 (XS35.1-21)		良
	" -2 (XS35.1-22)		良
	" -3 (XS35.1-23)		良
	" -4 (XS35.1-24)		良
	" -5 (XS35.1-25)		良
	主ポンプ(B)~RVドレン-1 (XS35.1-33)		良
	" -2 (XS35.1-34)		良
	" -3 (XS35.1-35)		良
" -4 (XS35.1-36)	良		
" -5 (XS35.1-37)	良		
" -6 (XS31.1-38)	良		
補助冷却系	炉容器出口配管 (XS32.1-1)	良	
	V32.1-1底部 (XS32.1-2)	良	
	IHX入口配管-1 (XS32.1-3)	良	

点検校正検査記録

機器名称	1次冷却系ナトリウム漏洩検出器		
	検出器名称	判定基準	結果
補助冷却系	IHX入口配管-2 (XS32.1-4)	各々の「漏洩」ランプ(レッドランプ)が点灯すること。	良
	" -3 (XS32.1-5)		良
	" -4 (XS32.1-24)		良
	IHX下部-1 (XS32.1-6)		良
	" -2 (XS32.1-7)		良
	IHX出口配管-1 (XS32.1-8)		良
	" -2 (XS32.1-23)		良
	" -3 (XS32.1-9)		良
	電磁ポンプ (XS32.1-10)		良
	電磁ポンプ出口配管 (XS32.1-12)		良
	V32.1-2底部 (XS32.1-13)		良
	炉容器入口配管-1 (XS32.1-25)		良
	" -2 (XS32.1-14)		良
	V32.1-3底部 (XS32.1-15)		良
	炉容器入口配管-3 (XS32.1-16)		良
	V32.1-6底部 (XS32.1-17)		良
	" -7底部 (XS32.1-18)		良
	" -8底部 (XS32.1-19)		良
	" -9底部 (XS32.1-20)		良
	" -4底部 (XS32.1-11)		良
	" -80底部 (XS32.1-21)		良
	IHX~RVドレン-1 (XS35.1-40)		良
	" -2 (XS35.1-41)		良
" -3 (XS35.1-42)	良		
" -4 (XS35.1-43)	良		

点検校正検査記録

機 器 名 称	1次冷却系ナトリウム漏洩検出器			
検 出 器 名 称		判 定 基 準	結 果	
主 冷 却 系	(X S 31.1-22A)	各々の「漏洩」ランプ(イエローランプ)が点灯すること。	良	
	(X S 31.1-23A)		良	
	(X S 31.1-22B)		良	
	(X S 31.1-23B)		良	
オーバフロー系	(X S 33-1)		各々の「漏洩」ランプ(イエローランプ)が点灯すること。	良
	(X S 33-2)			良
	(X S 33-3)			良
	(X S 33-4)			良
	(X S 33-5)			良
	(X S 33-6)			良
	(X S 33-7)			良
	(X S 33-8)			良
	(X S 33-9)			良
	(X S 33-10)			良
	(X S 33-11)			良
	(X S 33-12)			良
	(X S 33-13)			良
	(X S 33-14)			良
	(X S 33-15)			良
	(X S 33-16)			良
	(X S 33-17)			良
(X S 33-18)	良			
(X S 33-19)	良			
(X S 33-20)	良			
(X S 33-21)	良			

点検校正検査記録

機器名称	1次冷却系ナトリウム漏洩検出器		
	検出器名称	判定基準	結果
オーバフロー系	(X S 33-22)	各々の「漏洩」ランプ (イエローランプ) が点灯すること。	良
	(X S 33-23)		良
	(X S 33-24)		良
補助冷却系	(X S 32.1-26)		良
	(X S 32.1-34)		良
	(X S 32.1-35)		良
	(X S 32.1-27)		良
	(X S 32.1-29)		良
	(X S 32.1-30)		良
	(X S 32.1-28)		良
	(X S 32.1-31)		良
純化系	(X S 32.1-22)		良
	(X S 34.1-30)		良
	(X S 34.1-31)		良
	(X S 34.1-32)		良
	(X S 34.1-6)	良	
	(X S 34.1-14)	良	
	(X S 34.1-15)	良	
	(X S 34.1-4)	良	
	(X S 34.1-5)	良	
	(X S 34.1-16)	良	
	(X S 34.1-17A)	良	
(X S 34.1-1A)	良		
(X S 34.1-18A)	良		
(X S 34.1-17B)	良		

点検校正検査記録

機 器 名 称	1次冷却系ナトリウム漏洩検出器		
	検 出 器 名 称	判 定 基 準	結 果
純 化 系	(X S 34.1-1 B)	各々の「漏洩」ランプ (イエローランプ) が点灯すること。	良
	(X S 34.1-18 B)		良
	(X S 34.1-19)		良
	(X S 34.1-20)		良
	(X S 34.1-7)		良
	(X S 34.1-8)		良
	(X S 34.1-9)		良
	(X S 34.1-10)		良
	(X S 34.1-21)		良
	(X S 34.1-22)		良
	(X S 34.1-3)		良
	(X S 34.1-29)		良
	(X S 34.1-26)		良
	(X S 34.1-23)		良
	(X S 34.1-2)		良
	(X S 34.1-27)		良
	(X S 34.1-28)		良
	(X S 34.1-24)		良
	(X S 34.1-11)		良
	(X S 34.1-12)		良
	(X S 34.1-13)		良
(X S 34.1-25)	良		
(X S 34.1-33)	良		
(X S 34.1-34)	良		
(X S 34.1-35)	良		

点検校正検査記録

機 器 名 称	1次冷却系ナトリウム漏洩検出器		
	検 出 器 名 称	判 定 基 準	結 果
充填・ドレン系	(X S 35.1-49)	各々の「漏洩」ランプ (イエローランプ) が点灯すること。	良
	(X S 35.1-51)		良
	(X S 35.1-1 B)		良
	(X S 35.1-2 B)		良
	(X S 35.1-3 B)		良
	(X S 35.1-50)		良
	(X S 35.1-52)		良
	(X S 35.1-53)		良
	(X S 35.1-55)		良
	(X S 35.1-8)		良
	(X S 35.1-20)		良
	(X S 35.1-32)		良
	(X S 35.1-15)		良
	(X S 35.1-26)		良
	(X S 35.1-39)		良
	(X S 35.1-44)		良
	(X S 35.1-57)		良
	(X S 35.1-45)		良
	(X S 35.1-58)		良
	(X S 35.1-64)		良
(X S 35.1-60)	良		
(X S 35.1-63)	良		
(X S 35.1-62)	良		
(X S 35.1-65)	良		
(X S 35.1-66)	良		

点検校正検査記録

機 器 名 称	1次冷却系ナトリウム漏洩検出器		
	検 出 器 名 称	判 定 基 準	結 果
充 填 ・ ド レ ン 系	(X S 35.1-67)	各々の「漏洩」ランプ (イエローランプ) が点灯すること。	良
	(X S 35.1-54)		良
	(X S 35.1-47)		良
	(X S 35.1-48)		良
	(X S 35.1-61)		良
	(X S 35.1-56)		良
	(X S 35.1-46)		良
	(X S 35.1-1A)		良
	(X S 35.1-2A)		良
	(X S 35.1-3A)		良
純 化 系	(X S 34.1-101)	各々の「漏洩」ランプ (イエローランプ) が点灯すること。	良
	(X S 34.1-102)		良
	(X S 34.1-103)		良

点検校正検査記録

H7.12.13

上田, 飯田

① 2次冷却系通電式ナトリウム漏洩検出器						
回路名称	判定基準	結果	回路名称	判定基準	結果	
R-203-1	配管	良	S-212-1	配管	良	
R-203-2	配管	良	S-212-2	配管	良	
R-204	配管	良	S-212-3	配管	良	
	弁	良		弁	良	
R-402	配管	良	S-409	配管	良	
	弁	良	S-416	配管	良	
R-408	配管	良	S-413-1	配管	良	
	弁	良	S-413-2	配管	良	
R-404-1	配管	良		弁	良	
R-404-2	配管	良	S-415	配管	良	
R-405-1	配管	良	弁	良		
R-405-2	配管	良	S-508-1	配管	良	
A-305	配管	良	S-508-2	配管	良	
A-306	配管	良		弁	良	
	弁	良	S-509	配管	良	
A-505-1	配管	良	弁	良		
	弁	良	S-601	配管	良	
A-505-2	配管	良		弁	良	
S-303-1	配管	良	S-602	配管	良	
S-304		良		弁	良	
S-303-2	配管	良	S-412	配管	良	
S-304	弁	良	S-403	配管	良	
S-305-1	配管	良	S-419	配管	良	
S-305-2	配管	良	S-505	配管	良	
	弁	良	S-512	配管	良	

各々の表示灯が点灯及び「Na漏洩」警報表示窓が点灯し、警報ブザーが鳴ること。

各々の表示灯が点灯及び「Na漏洩」警報表示窓が点灯し、警報ブザーが鳴ること。

点検校正検査記録

H7,12,18

上田, 飯田

② 2次冷却系煙式ナトリウム漏洩検出器			
回路名称	判定基準	結果	
主冷却器 空気ダクト	1A-1	各々の表示灯が点灯及び「Na漏洩」警報表示窓が点灯し、警報ブザーが鳴ること。	良
	1A-2		良
	2A-1		良
	2A-2		良
	1B-1		良
	1B-2		良
	2B-1		良
	2B-2		良
補助冷却器	AUX-1		良
空気ダクト	AUX-2		良

Ⅱ．冷却系の外観目視点検

1. 目的

本点検は、1次冷却系及び2次冷却系の配管、弁、タンク、計装及びポンプ等の機器配管について、健全性を確認するために実施したものである。

2. 点検内容

各々の機器配管について、目視より、ナトリウム漏えい跡の有無、外観、据付状態、他機器との干渉の有無等について点検する。

3. 点検実施日

1次冷却系：平成7年12月20日～12月28日

2次冷却系：平成7年12月20日

4. 点検結果

1次冷却系及び2次冷却系の各々の機器は、良好であることを確認した。点検記録Ⅱ-1及びⅡ-2に、1次冷却系及び2次冷却系の点検結果を示す。

1 次冷却系の外観目視点検記録

点検実施日：平成7年12月20～28日

点検実施者：実験炉部原子炉第二課

1 次系外観目視点検機器一覽

系 統 名	機 器 区 分	機 器 種 別					件 数
		配 管 ^{*1}	弁	タンク ^{*2}	計 装 ^{*3}	機 器 ^{*4}	
1 次 主 冷 却 系	Na 機器	14	4	2	8 ^{*5}	6	34
1 次 補 助 冷 却 系	Na 機器	9	9	—	2	3	23
	その他の機器	—	1	—	—	—	1
オ ー バ フ ロ ー 系	Na 機器	7	5	1	3	1	17
1 次 Na 純 化 系	Na 機器	8	16	—	2	8	34
	その他の機器	3	9	1	—	1	14
1 次 Na 充 填 ド レ ン 系	Na 機器	9	27	3	3	—	42
1 次 Ar ガ ス 系	Na 機器	5	1	—	—	4	10
	その他の機器	17	8	5	—	2	32
予 熱 N ₂ ガ ス 系	その他の機器	10	26	1	—	6	43
安 全 容 器 呼 吸 ガ ス 系	その他の機器	6	2	—	—	—	8
合 計 件 数	Na 機器	52	62	6	18	22	258
	その他の機器	36	46	7	—	9	
<p><機器種別の定義> *1 配管、漏洩検出器及び、熱電対が含まれる。 *2 タンク及び、オーバフローカラムが含まれる。 *3 圧力計、流量計(EMF)が含まれる。 *4 ポンプ、電磁ポンプ、熱交換器、プロウ、コールドトラップが含まれる。 *5 主系統のみ熱電対をループでカウントしている。</p>							

1次系機器・配管点検表(1/36)

点検日: H7. 12. 20.

部屋No.: R-206

点検者: 山崎 関

No	点検対象	系統名	点検内容					不具合対策	判定
			Na漏洩跡の有無	外観, 据付状態	他機器との干渉の有無	保温の状態	ヒ-9 端子等の状態		
①	主循環ポンプ(A)	1次主冷却系	無	良	無	異常無し	異常無し	—	良
2	オーバーフロ カラム(A)	"	無	良	無	"	"	—	良
③	主配管 注1 (RV~IHX)	"	無	良	無	"	"	—	良
④	主配管 (IHX~P)	"	無	良	無	"	"	—	良
⑤	主配管 注2 (P~RV)	"	無	良	無	"	"	—	良
⑥	12B 逆止弁	"	無	良	無	"	"	—	良
⑦	12B EMF	"	無	良	無	"	"	—	良
8	サイフォンブレイク 配管	"	無	良	無	"	"	—	良
9	サイフォンブレイク EMF	"	無	良	無	"	"	—	良
10	Nak 圧力計 及び導管	"	無	良	無	"	"	—	良

備考: 注1, 注2, 1次主配管供用期間中検査実施(1/6~1/4自主検査...良, 12/15科技庁立会検査...合格)
・各No.に○印を付けた点検の対象は, 電気ヒータ施設外機器を示す。(次頁以降同様)

1 次系機器・配管点検表 (2/36)

点検日: H7.12.20.

部屋No. : R-206

点検者: 山崎, 関

No	点検対象	系統名	点検内容					不具合対策	判定
			Na漏洩跡の有無	外観, 据付状態	他機器との干渉の有無	保温の状態	t- θ 端子等の状態		
11	V31.1-80A	1次主冷却系	無	良	無	異常無し	異常無し	——	良
12	ポンプ(A) ベーパーラップ	1次Arガス系	無	良	無	"	"	——	良
13	カバーガス配管	"	/	良	無	"	"	——	良
14	ドレン系配管	1次Na 充填 ドレン系	無	良	無	"	"	——	良
⑮	V71-6A	予熱N ₂ ガス系	/	良	無	"	"	——	良
⑯	V71-7A	"	/	良	無	"	"	——	良
⑰	V71-46A	"	/	良	無	"	"	——	良
⑱	V71-47A	"	/	良	無	"	"	——	良
⑲	V71-48A	"	/	良	無	"	"	——	良
⑳	V71-49A	"	/	良	無	"	"	——	良
備 考:									

1次系機器・配管点検表(3/36)

点検日: H7.12.20.

部屋No.: R-206

点検者: 山崎 関

No	点検対象	系統名	点検内容					不具合対策	判定
			Na漏洩跡の有無	外観、据付状態	他機器との干渉の有無	保温の状態	ヒ-リ端子等の状態		
21	予熱N ₂ ガス系配管	予熱N ₂ ガス系	/	良	無	異常無し	異常無し	—	良
22	計装用熱電対	全系統	無	良	無	〃	〃	—	良

備考:

1次系機器・配管点検表(4/36)

点検日: H7.12.21.

部屋No.: R-201

点検者: 山崎, 関

No	点検対象	系統名	点検内容					不具合対策	判定
			Na漏洩跡の有無	外観, 据付状態	他機器との干渉の有無	保温の状態	ヒ-7 端子等の状態		
①	主 IHX (A)	1次主冷却系	無	良	無	異常無し	異常無し	——	良
②	主配管 (RV~IHX)	"	無	良	無	"	"	——	良
③	主配管 (IHX~P)	"	無	良	無	"	"	——	良
4	オーバフロ戻り配管	オーバフロ系	無	良	無	"	"	——	良
5	ドレン配管	1次Na 充填 ドレン系	無	良	無	"	"	——	良
6	カバーガス配管	1次Arガス系	/	良	無	"	"	——	良
⑦	予熱N ₂ ガス系配管	予熱N ₂ ガス系	/	良	無	"	"	——	良
⑧	安全容器呼吸系配管	安全容器 呼吸ガス系	/	良	無	"	"	——	良

備考:

1 次系機器・配管点検表 (5/36)

点検日: H7.12.20.

部屋No.: R-204

点検者: 山崎, 関

No	点検対象	系統名	点検内容					不具合対策	判定
			Na漏洩跡の有無	外観, 据付状態	他機器との干渉の有無	保温の状態	ヒ-タ端子等の状態		
①	主 IHX (B)	1次主冷却系	無	良	無	異常無し	異常無し	——	良
②	主配管 (RV~IHX)	"	無	良	無	"	"	——	良
③	主配管 (IHX~P)	"	無	良	無	"	"	——	良
④	補助 IHX	1次補助系	無	良	無	"	"	——	良
⑤	補助系配管 (IHX~EMP)	"	無	良	無	"	"	——	良
⑥	補助系配管 (EMP~IHX)	"	無	良	無	"	"	——	良
7	Nak 圧力計導管	オーバフロ系	無	良	無	"	"	——	良
8	ドレン配管	1次Na 充填 ドレン系	無	良	無	"	"	——	良
9	カバーガス配管	1次Arガス系		良	無	"	"	——	良
⑩	予熱N ₂ ガス系配管	予熱N ₂ ガス系		良	無	"	"	——	良

備考:

1 次系機器・配管点検表 (6/36)

点検日: 117.12.20.

部屋No.: R-203

点検者: 山崎, 関

No	点検対象	系統名	点検内容					不具合対策	判定
			Na漏洩跡の有無	外観, 据付状態	他機器との干渉の有無	保温の状態	t-7 端子等の状態		
①	補助EMP	1次補助系	無	良	無	異常無し	異常無し	——	良
②	補助EMF	"	無	良	無	"	"	——	良
3	3B逆止弁	"	無	良	無	"	"	——	良
④	補助系配管 (1HX~EMP)	"	無	良	無	"	"	——	良
⑤	補助系配管 (EMP~RV)	"	無	良	無	"	"	——	良
6	Nak 圧力計導管	"	無	良	無	"	"	——	良
7	コールドトラップ (A)	1次Na純化系	無	良	無	"	"	——	良
8	コールドトラップ (B)	"	無	良	無	"	"	——	良
9	純化系配管 (ECO~CT)	"	無	良	無	"	"	——	良
10	純化系配管 (CT~ECO)	"	無	良	無	"	"	——	良

備考:

1次系機器・配管点検表(7/36)

点検日: H7.12.20.

部屋No.: R-203

点検者: 山崎 関

No	点検対象	系統名	点検内容					不具合対策	判定
			Na漏洩跡の有無	外観, 据付状態	他機器との干渉の有無	保温の状態	ヒ-端子等の状態		
⑪	コールドトラップ N ₂ ガス系配管	1次Na純化系	/	良	無	異常無し	異常無し	——	良
⑫	V34.1-23A	"	/	良	無	"	"	——	良
⑬	V34.1-23B	"	/	良	無	"	"	——	良
⑭	V34.1-34	"	/	良	無	"	"	——	良
⑮	V34.1-35	"	/	良	無	"	"	——	良
⑯	カバーガス配管	1次Arガス系	/	良	無	"	"	——	良
⑰	予熱N ₂ ガス系配管	予熱N ₂ ガス系	/	良	無	"	"	——	良
⑱	V71-8	"	/	良	無	"	"	——	良
⑲	V71-42	"	/	良	無	"	"	——	良
⑳	V71-41	"	/	良	無	"	"	——	良

備考:

1 次系機器・配管点検表 (9/36)

点検日: H7.12.20.

部屋No.: R-205

点検者: 山崎, 関

No	点検対象	系統名	点検内容					不具合対策	判定
			Na漏洩跡の有無	外観, 据付状態	他機器との干渉の有無	保温の状態	ヒ-7 端子等の状態		
①	主循環ポンプ (B)	1次主冷却系	無	良	無	異常無し	異常無し	——	良
2	オーバーフロ カラム (B)	"	無	良	無	"	"	——	良
③	主配管 注3 (RV~IHX)	"	無	良	無	"	"	——	良
④	主配管 (IHX~P)	"	無	良	無	"	"	——	良
⑤	主配管 注4 (P~RV)	"	無	良	無	"	"	——	良
⑥	12B 逆止弁	"	無	良	無	"	"	——	良
⑦	12B EMF	"	無	良	無	"	"	——	良
8	サイフォンブレーク 配管	"	無	良	無	"	"	——	良
9	サイフォンブレーク EMF	"	無	良	無	"	"	——	良
10	Nak 圧力計 及び導管	"	無	良	無	"	"	——	良

備考: 注3, 注4. 1次主配管供用期間中検査実施 (1/8 ~ 1/4 自主検査...良, 1/5 科技庁並会検査...合格)

1次系機器・配管点検表 (10/36)

点検日: H7.12.20.

部屋No.: R-205

点検者: 山崎, 関

No	点検対象	系統名	点検内容					不具合対策	判定
			Na漏洩跡の有無	外観, 据付状態	他機器との干渉の有無	保温の状態	t-端子等の状態		
11	V31.1-80B	1次主冷却系	無	良	無	異常無し	異常無し	—	良
12	ポンプ(B) ベアトラップ	1次Arガス系	無	良	無	"	"	—	良
13	カバーガス配管	"	/	良	無	"	"	—	良
14	ドレン系配管	1次Na充填 ドレン系	無	良	無	"	"	—	良
⑮	V71-6B	予熱N ₂ ガス系	/	良	無	"	"	—	良
⑯	V71-7B	"	/	良	無	"	"	—	良
⑰	V71-46B	"	/	良	無	"	"	—	良
⑱	V71-47B	"	/	良	無	"	"	—	良
⑲	V71-49B	"	/	良	無	"	"	—	良
⑳	予熱N ₂ ガス系配管	"	/	良	無	"	"	—	良

備考:

1次系機器・配管点検表 (12/36)

点検日: H7.12.21.

部屋No.: R-202

点検者: 寺門, 鈴木

No	点検対象	系統名	点検内容					不具合対策	判定
			Na漏洩跡の有無	外観, 据付状態	他機器との干渉の有無	保温の状態	t-端子等の状態		
1	ブラギング計	1次Na純化系	無	良	無	異常無し	異常無し	——	良
2	コールドトラップ エコノマイザ	"	無	良	無	"	"	——	良
3	ブラギング計 エコノマイザ	"	無	良	無	"	"	——	良
4	コールドトラップ EMF	"	無	良	無	"	"	——	良
5	ブラギング計 EMF	"	無	良	無	"	"	——	良
6	ブラギング計 ニードル絞り弁	"	無	良	無	"	"	——	良
7	純化系配管	"	無	良	無	"	"	——	良
8	V34.1-4A	"	無	良	無	"	"	——	良
9	V34.1-4B	"	無	良	無	"	"	——	良
10	V34.1-5A	"	無	良	無	"	"	——	良

備考:

1 次系機器・配管点検表 (13/36)

点検日: H7.12.25.

部屋No.: R-202

点検者: 寺門, 鈴木

No	点検対象	系統名	点検内容					不具合対策	判定
			Na漏洩跡の有無	外観, 据付状態	他機器との干渉の有無	保温の状態	t-1 端子等の状態		
11	V34.1-5B	1次Na純化系	無	良	無	異常無し	異常無し	——	良
12	V34.1-6	"	無	良	無	"	"	——	良
13	V34.1-7	"	無	良	無	"	"	——	良
14	V34.1-8	"	無	良	無	"	"	——	良
15	V34.1-9	"	無	良	無	"	"	——	良
16	V34.1-10	"	無	良	無	"	"	——	良
17	V34.1-11	"	無	良	無	"	"	——	良
18	V34.1-12	"	無	良	無	"	"	——	良
19	V34.1-33	"	無	良	無	"	"	——	良
20	V34.1-3	"	無	良	無	"	"	——	良

備考:

1 次系機器・配管点検表 (14/36)

点検日: H7.12.25

部屋No. : R-202

点検者: 寺門, 鈴木

No	点検対象	系統名	点検内容					不具合対策	判定
			Na漏洩跡の有無	外観, 据付状態	他機器との干渉の有無	保温の状態	ト-端子等の状態		
②1	DP34.1-2	1次Na純化系	/	良	無	異常無し	異常無し	——	良
②2	DP34.1-3	"	/	良	無	"	"	——	良
23	V32.1-80	1次補助系	無	良	無	"	"	——	良
24	Nak 圧力計	"	無	良	無	"	"	——	良
25	ドレン配管	1次Na 充填 ドレン系	無	良	無	"	"	——	良
26	Nak 圧力計 (ダンプタンク B)	"	無	良	無	"	"	——	良
27	V35.1-80B	"	無	良	無	"	"	——	良
28	V35.1-8A	"	無	良	無	"	"	——	良
29	V35.1-9A	"	無	良	無	"	"	——	良
30	V35.1-10A	"	無	良	無	"	"	——	良

備考:

1 次系機器・配管点検表 (15/36)

点検日: H7.12.25.

部屋No.: R-202

点検者: 寺門 鈴不

No	点検対象	系統名	点検内容					不具合対策	判定
			Na漏洩跡の有無	外観, 据付状態	他機器との干渉の有無	保温の状態	ヒ-7 端子等の状態		
31	V35.1-9B	1次Na充填 ドレン系	無	良	無	異常無し	異常無し	——	良
32	V35.1-10B	"	無	良	無	"	"	——	良
33	V35.1-11	"	無	良	無	"	"	——	良
34	V35.1-6	"	無	良	無	"	"	——	良
35	V35.1-1A	"	無	良	無	"	"	——	良
36	V35.1-1B	"	無	良	無	"	"	——	良
37	V35.1-2A	"	無	良	無	"	"	——	良
38	V35.1-2B	"	無	良	無	"	"	——	良
39	V35.1-3	"	無	良	無	"	"	——	良
40	V35.1-4	"	無	良	無	"	"	——	良

備考:

1 次系機器・配管点検表 (16/36)

点検日: H7.12.25.

部屋No.: R-202

点検者: 寺門, 鈴木

No	点検対象	系統名	点検内容					不具合対策	判定
			Na漏洩跡の有無	外観, 据付状態	他機器との干渉の有無	保温の状態	t-7 端子等の状態		
41	V35.1-8B	1次Na充填 ドレン系	無	良	無	異常無し	異常無し	——	良
42	Nak 圧力計 (ダンプタンクA)	"	無	良	無	"	"	——	良
43	V35.1-80A	"	無	良	無	"	"	——	良
44	V35.1-17	"	無	良	無	"	"	——	良
45	V35.1-23	"	無	良	無	"	"	——	良
46	V35.1-24	"	無	良	無	"	"	——	良
47	カバーガス配管	1次Arガス系	無	良	無	"	"	——	良
④8	V36.1-37	"	無	良	無	"	"	——	良
④9	安全容器呼吸系配管	安全容器 呼吸ガス系	/	良	無	"	"	——	良
⑤0	安全容器呼吸系弁 (6台)	"	/	良	無	"	"	——	良

備考:

1 次系機器・配管点検表 (17/36)

点検日: H7.12.25.

部屋No.: R-202

点検者: 寺門, 鈴木

No	点検対象	系統名	点検内容					不具合対策	判定
			Na漏洩跡の有無	外観, 据付状態	他機器との干渉の有無	保温の状態	ヒ-7 端子等の状態		
51	予熱N ₂ ガス配管	予熱N ₂ ガス系	/	良	無	異常無し	異常無し	—	良
52	予熱N ₂ ガス系弁 (3台)	"	/	良	無	"	"	—	良
53	V35.1-13	1次Na 充填 ドレン系	無	良	無	"	"	—	良

備考:

1 次系機器・配管点検表 (18/36)

点検日: H7.12.21.

部屋No.: R-103,102,106

点検者: 寺門, 鈴木

No	点検対象	系統名	点検内容					不具合対策	判定
			Na漏洩跡の有無	外観, 据付状態	他機器との干渉の有無	保温の状態	t-端子等の状態		
1	ダンプタンク (A)	1次Na充填 ドレン系	無	良	無	異常無し	異常無し	——	良
2	ドレンヘッド	"	無	良	無	"	"	——	良
3	オーバフロ配管 (R-102戻り)	オーバフロ系	無	良	無	"	"	——	良
4	オーバフロ配管 (R-106汲上げ)	"	無	良	無	"	"	——	良
5	純化系配管	1次Na純化系	無	良	無	"	"	——	良

備考:

1 次系機器・配管点検表 (19/36)

点検日: H7.12.21.

部屋No.: R-104

点検者: 寺門, 鈴木

No	点検対象	系統名	点検内容					不具合対策	判定
			Na漏洩跡の有無	外観, 据付状態	他機器との干渉の有無	保温の状態	t-端子等の状態		
1	ダンプタンク (B)	1次Na充填 ドレン系	無	良	無	異常無し	異常無し	——	良
2	ドレン配管	"	無	良	無	"	"	——	良
3	カバーガス配管	1次Arガス系	無	良	無	"	"	——	良
4	自動プラグング計	1次Na純化系	無	良	無	"	"	——	良
5	NaK 圧力計導圧管	1次Na充填 ドレン系	無	良	無	"	"	——	良

備考:

1 次系機器 - 配管点検表 (20/36)

点検日: H7.12.21.

部屋No.: R-105

点検者: 寺門, 鈴木

No	点検対象	系統名	点検内容					不具合対策	判定
			Na漏洩跡の有無	外観, 据付状態	他機器との干渉の有無	保温の状態	t-端子等の状態		
1	オーバフロタンク	オーバフロ系	無	良	無	異常無し	異常無し	——	良
2	オーバフロEMP (ダンパ含む)	"	無	良	無	"	"	——	良
3	オーバフロEMF	"	無	良	無	"	"	——	良
4	オーバフロ配管 (戻り配管)	"	無	良	無	"	"	——	良
5	オーバフロ配管 (汲上配管)	"	無	良	無	"	"	——	良
6	V33-1	"	無	良	無	"	"	——	良
7	V33-4	"	無	良	無	"	"	——	良
8	V33-5 (逆止弁)	"	無	良	無	"	"	——	良
9	V33-6	"	無	良	無	"	"	——	良
10	V33-80	"	無	良	無	"	"	——	良

備考:

1 次系機器・配管点検表 (21/36)

点検日: H7.12.21.

部屋No.: R-105

点検者: 寺門, 鈴木

No	点検対象	系統名	点検内容					不具合対策	判定
			Na漏洩跡の有無	外観, 据付状態	他機器との干渉の有無	保温の状態	t-7 端子等の状態		
11	NaK 圧力計導圧管	オーパフロ系	無	良	無	異常無し	異常無し	——	良
12	純化EMP (ダンパ含む)	1次Na純化系	無	良	無	"	"	——	良
13	純化系配管	"	無	良	無	"	"	——	良
14	V34.1-1	"	無	良	無	"	"	——	良
15	V34.1-2	"	無	良	無	"	"	——	良
16	ドレン配管	1次Na充填 ドレン系	無	良	無	"	"	——	良
17	V35.1-5	"	無	良	無	"	"	——	良
18	V35.1-7	"	無	良	無	"	"	——	良
19	V35.1-19	"	無	良	無	"	"	——	良
20	ベーパートラップ	1次Arガス系	無	良	無	"	"	——	良

備考:

1次系機器・配管点検表(22/36)

点検日: H7.12.21.

部屋No.: R-105

点検者: 寺門, 鈴木

No	点検対象	系統名	点検内容					不具合対策	判定
			Na漏洩跡の有無	外観, 据付状態	他機器との干渉の有無	保温の状態	t-端子等の状態		
21	カバーガス配管	1次Arガス系	無	良	無	異常無し	異常無し	——	良
22	補助サイフォン ブレーク配管	1次補助系	無	良	無	〃	〃	——	良
23	V35.1-12	1次Na充填 ドレン系	無	良	無	〃	〃	——	良
24	自動ブラギング計 配管	1次Na純化系	無	良	無	〃	〃	——	良
25	純化系配管	〃	無	良	無	〃	〃	——	良
備考:									

1 次系機器・配管点検表 (23/36)

点検日: H7.12.25.

部屋No.: R-302

点検者: 寺門, 鈴木

No	点検対象	系統名	点検内容					不具合対策	判定
			Na漏洩跡の有無	外観, 据付状態	他機器との干渉の有無	保温の状態	ヒ-リ端子等の状態		
①	主 IHX (A)	1次主冷却系	無	良	無	異常無し	異常無し	——	良
②	主配管 (RV~IHX)	"	無	良	無	"	"	——	良
3	純化系配管	1次Na純化系	無	良	無	"	"	——	良
④	呼吸ガスヘッダ	1次Arガス系	/	良	無	"	"	——	良
⑤	加圧ヘッダ	"	/	良	無	"	"	——	良
6	ベーパートラップ	"	無	良	無	"	"	——	良
7	カバーガス配管	"	無	良	無	"	"	——	良
8	オーバフロ戻り配管	オーバフロ系	無	良	無	"	"	——	良
⑨	安全容器呼吸配管	安全容器 呼吸ガス系	/	良	無	"	"	——	良
⑩	1次Arガス系弁 (14台)	1次Arガス系	/	良	無	"	"	——	良

備考:

1 次系機器 - 配管点検表 (24/36)

点検日: H7 . 12 . 25 .

部屋No. : R-305

点検者: 寺門, 鈴木

No	点検対象	系 統 名	点 検 内 容					不具合対策	判定
			Na漏洩跡の有無	外観, 据付状態	他機器との干渉の有無	保温の状態	ヒ-7 端子等の状態		
①	主 IHX (B)	1次主冷却系	無	良	無	異常無し	異常無し	——	良
②	主配管 (RV~IHX)	"	無	良	無	"	"	——	良
③	補助 IHX	1次補助系	無	良	無	"	"	——	良
④	補助系配管 (RV~IHX)	"	無	良	無	"	"	——	良
⑤	補助系配管 (IHX~RV)	"	無	良	無	"	"	——	良
6	サイフォンブレイク 配管	"	無	良	無	"	"	——	良
⑦	V32.1-1	"	無	良	無	"	"	——	良
⑧	V32.1-3	"	無	良	無	"	"	——	良
9	V32.1-4	"	無	良	無	"	"	——	良
10	V32.1-6	"	無	良	無	"	"	——	良

備 考:

1次系機器・配管点検表 (25/36)

点検日: H7.12.25.

部屋No.: R-305

点検者: 寺門, 鈴木

No	点検対象	系統名	点検内容					不具合対策	判定
			Na漏洩跡の有無	外観, 据付状態	他機器との干渉の有無	保温の状態	t-端子等の状態		
⑪	カバーガス配管	1次Arガス系	無	良	無	異常無し	異常無し	——	良
12	炉容器 部分ドレン配管	1次Na 充填 ドレン系	無	良	無	"	"	——	良
13	V35.1-16	"	無	良	無	"	"	——	良
14	V35.1-18	"	無	良	無	"	"	——	良
⑮	FFDサンプル配管	FFDCG法	/	良	無	"	"	——	良
16	V32.1-7	1次補助系	無	良	無	"	"	——	良
17	V32.1-8	"	無	良	無	"	"	——	良
18	V32.1-9	"	無	良	無	"	"	——	良
⑲	V71-46B	予熱N ₂ ガス系	/	良	無	"	"	——	良
⑳	V71-47B	"	/	良	無	"	"	——	良

備考:

1次系機器・配管点検表 (26/36)

点検日: H7.12.26.

部屋No.: R-303

点検者: 寺門, 関

No	点検対象	系統名	点検内容					不具合対策	判定
			Na漏洩跡の有無	外観, 据付状態	他機器との干渉の有無	保温の状態	t-端子等の状態		
①	カバーガス配管	1次Arガス系		良	無	異常無し	異常無し	——	良
②	主ポンプ軸封配管	"		良	無	"	"	——	良
③	軸封ガス アキュムレータ	"		良	無	"	"	——	良
④	Arガス系弁 (33台, スレ+含む)	"		良	無	"	"	——	良
⑤	V36.1-36	"		良	無	"	"	——	良
⑥	安全容器呼吸系配管	安全容器 呼吸ガス系		良	無	"	"	——	良
⑦	安全容器呼吸系弁 (12台, スレ+含む)	"		良	無	"	"	——	良
⑧	予熱N ₂ ガス配管	予熱N ₂ ガス系		良	無	"	"	——	良
⑨	予熱N ₂ ガス弁 (8台)	"		良	無	"	"	——	良
10	Naサンプリング装置	1次Na純化系	無	良	無	"	"	——	良

備考:

1次系機器・配管点検表 (27/36)

点検日: H7.12.26.

部屋No. : R-407

点検者: 寺門, 関

No	点検対象	系統名	点検内容					不具合対策	判定
			Na漏洩跡の有無	外観, 据付状態	他機器との干渉の有無	保温の状態	t-端子等の状態		
①	カバーガス サンプリング配管	1次Arガス系	/	良	無	異常無し	異常無し	——	良
②	カバーガス サンプリング弁類	"	/	良	無	"	"	——	良
③	主ポンプ軸封配管	"	/	良	無	"	"	——	良

備考:

1次系機器・配管点検表 (28/36)

点検日: H7.12.26.

部屋No.: R-404

点検者: 山崎, 関

No	点検対象	系統名	点検内容					不具合対策	判定
			Na漏洩跡の有無	外観, 据付状態	他機器との干渉の有無	保温の状態	ヒ-7 端子等の状態		
①	主ポンプ軸封配管	1次Arガス系	/	良	無	異常無し	異常無し	—	良
②	安全容器呼吸系配管	安全容器 呼吸ガス系	/	良	無	〃	〃	—	良

備考:

1次系機器・配管点検表 (29/36)

点検日: H7.12.26.

部屋No.: R-402.412.

点検者: 山崎, 関

No	点検対象	系統名	点検内容					不具合対策	判定
			Na漏洩跡の有無	外観, 据付状態	他機器との干渉の有無	保温の状態	ヒヤ端子等の状態		
①	主ポンプ軸封配管	1次Arガス系	/	良	無	異常無し	異常無し	—	良

備考:

1 次系機器・配管点検表 (30/36)

点検日: H7.12.26.

部屋No.: R-405.410.501

点検者: 山崎, 関

No	点検対象	系統名	点検内容					不具合対策	判定
			Na漏洩跡の有無	外観, 据付状態	他機器との干渉の有無	保温の状態	t-端子等の状態		
①	主ポンプ軸封配管	1次Arガス系	/	良	無	異常無し	異常無し	—	良
②	安全容器呼吸系配管 (R-501)	安全容器 呼吸ガス系	/	良	無	〃	〃	—	良

備考:

1 次系機器・配管点検表 (31/36)

点検日: H7.12.27.

部屋No. : A-204

点検者: 寺門, 関

No	点検対象	系統名	点検内容					不具合対策	判定
			Na漏洩跡の有無	外観, 据付状態	他機器との干渉の有無	保温の状態	ヒ-7 端子等の状態		
①	カバーガス配管	1次Arガス系	/	良	無	異常無し	異常無し	——	良
②	Arガス系弁 (17台, スレ+含む)	"	/	良	無	"	"	——	良
③	真空ポンプ	"	/	良	無	"	"	——	良
④	増圧ポンプ, 水ポット	"	/	良	無	"	"	——	良

備考:

1次系機器・配管点検表 (32/36)

点検日: H7.12.27.

部屋No.: A-205

点検者: 寺門, 関

No	点検対象	系統名	点検内容					不具合対策	判定
			Na漏洩跡の有無	外観, 据付状態	他機器との干渉の有無	保温の状態	t-端子等の状態		
①	低圧タンク	1次Arガス系	/	良	無	異常無し	異常無し	——	良
②	供給タンク	"	/	良	無	"	"	——	良
③	カバーガス配管	"	/	良	無	"	"	——	良
④	Arガス系井 (8台, スレ+含む)	"	/	良	無	"	"	——	良

備考:

1次系機器・配管点検表 (33/36)

点検日: H7.12.27.

部屋No.: A-206

点検者: 寺門, 鈴木

No	点検対象	系統名	点検内容					不具合対策	判定
			Na漏洩跡の有無	外観, 据付状態	他機器との干渉の有無	保温の状態	ヒ-7 端子等の状態		
1	カバーガス配管	1次Arガス系	/	良	無	異常無し	異常無し	—	良
②	V36.1-6	"	/	良	無	"	"	—	良
③	V36.1-38	"	/	良	無	"	"	—	良
④	予熱N ₂ ガス配管	予熱N ₂ ガス系	/	良	無	"	"	—	良
⑤	V71-4	"	/	良	無	"	"	—	良
⑥	V71-5	"	/	良	無	"	"	—	良
⑦	V71-9	"	/	良	無	"	"	—	良
⑧	V71-10	"	/	良	無	"	"	—	良
⑨	V71-35	"	/	良	無	"	"	—	良

備考:

1 次系機器・配管点検表 (34/36)

点検日: H7.12.27.

部屋No. : A-207

点検者: 寺門, 鈴木

No	点検対象	系統名	点検内容					不具合対策	判定
			Na漏洩跡の有無	外観, 据付状態	他機器との干渉の有無	保温の状態	ヒ-7 端子等の状態		
①	コールドトラップ 冷却器	1次Na純化系	/	良	無	異常無し	異常無し	——	良
②	N ₂ ガスサージタンク	"	/	良	無	"	"	——	良
③	純化系配管	"	/	良	無	"	"	——	良
④	純化系弁	"	/	良	無	"	"	——	良
⑤	予熱N ₂ ガス配管	予熱N ₂ ガス系	/	良	無	"	"	——	良
⑥	予熱N ₂ ガス弁	"	/	良	無	"	"	——	良

備考:

1 次系機器・配管点検表 (35/36)

点検日: H7.12.27.

部屋No.: A-208

点検者: 寺門, 関

No	点検対象	系統名	点検内容					不具合対策	判定
			Na漏洩跡の有無	外観, 据付状態	他機器との干渉の有無	保温の状態	ヒ-ナ端子等の状態		
①	予熱N ₂ ガス ブロウ(A)	予熱N ₂ ガス系	/	良	無	異常無し	異常無し	——	良
②	予熱N ₂ ガス ブロウ(B)	"	/	良	無	"	"	——	良
3	N ₂ ガス加熱器	"	/	良	無	"	"	——	良
④	オイルプレッシャー ユニット	"	/	良	無	"	"	——	良
⑤	オイルクーラー	"	/	良	無	"	"	——	良
⑥	ボルテックスブロウ	"	/	良	無	"	"	——	良
⑦	ヘッドタンク	"	/	良	無	"	"	——	良
⑧	予熱N ₂ ガス配管	"	/	良	無	"	"	——	良
⑨	予熱N ₂ ガス弁	"	/	良	無	"	"	——	良

備考:

1次系機器・配管点検表 (36/36)

点検日: H7.12.27

部屋No.: A-306

点検者: 山崎 関

No	点検対象	系統名	点検内容					不具合対策	判定
			Na漏洩跡の有無	外観, 据付状態	他機器との干渉の有無	保温の状態	ヒ-リ端子等の状態		
①	V34.1-22	1次Na純化系	/	良	無	異常無し	異常無し	—	良
②	V34.1-24	"	/	良	無	"	"	—	良
③	純化系配管	"	/	良	無	"	"	—	良

備考:

2次冷却系の外観目視点検記録

点検実施日：平成7年12月20日

点検実施者：実験炉部原子炉第一課

2 次 系 外 観 目 視 点 検 機 器 一 覧

系 統 名	機 器 区 分	機 器 種 別					備 考
		配 管	弁	タンク	計 装	機 器	
2 次 主 冷 却 系	Na 機器	660 m	—	2 基	T/C, ヒータ ・漏洩検出器一式	8 基	・漏洩検出器131台
2 次 補 助 冷 却 系	Na 機器	119 m	3 台	1 基	T/C, ヒータ 一式	4 基	・漏洩検出器 35 台
2 次 Na 純 化 系	Na 機器	110 m	14 台	—	ヒータ 漏洩検出器一式	6 基	・漏洩検出器 28 台
2 次 Na 充 填 ド レ ン 系	Na 機器	270 m	14 台	1 基	ヒータ 漏洩検出器一式	—	・漏洩検出器 38 台
そ の 他	—	—	1 台	—	—	—	
合 計 件 数	Na 機器	1159 m	32 台	4 基	一式	18 基	・漏洩検出器232台

2次冷却系の外観目視点検チェックリスト(1/2)

<主冷却機建物(1/2)>

階	部屋名	機器、配管、弁、漏洩検出器等	点検内容	点検結果
4 F	S-701 S-701	・2次主ポンプ	[外観・目視点検] ・保温材の脱落の有無、他	異常なし
3 F	S-601 S-602	・オーバフロータンク ・2次主冷却系ナトリウム配管 ・2次ナトリウム充填ドレン系配管 ・ナトリウム漏洩検出器(通電式) ・ナトリウム弁	[外観・目視点検] ・L/Dの取付状況 *Na=ナトリウム ・床ライナー、Na*配管樋の損傷の有無 ・保温材の脱落の有無 ・電気ヒータ、サポート類の取付状況等	異常なし
2 F	S-505 S-512	・2次主冷却機 ・ナトリウム温度検出器 ・ナトリウム漏洩検出器(煙式)	[外観・目視点検] ・T/C、L/D、電気ヒータの取付状況 ・Na配管樋の損傷の有無、他	異常なし
	S-508 S-509	・2次主冷却系ナトリウム配管 ・2次純化系ナトリウム配管 ・2次ナトリウム充填ドレン系配管 ・ナトリウム漏洩検出器(通電式) ・ナトリウム弁	[外観・目視点検] ・L/Dの取付状況 ・床ライナー、Na配管樋の損傷の有無 ・保温材の脱落の有無 ・電気ヒータ、サポート類の取付状況等	異常なし
1 F	S-403 S-409 S-416 S-419	・2次主冷却機 ・2次主冷却系ナトリウム配管 ・ナトリウム温度検出器 ・ナトリウム漏洩検出器(通電式)	[外観・目視点検] ・T/C、L/Dの取付状況 ・床ライナー、Na配管樋の損傷の有無 ・保温材の脱落の有無 ・電気ヒータ、サポート類の取付状況等	異常なし
	S-413 S-415	・2次純化系コールドトラップ ・2次純化系ナトリウム配管 ・2次ナトリウム充填ドレン系配管 ・2次ナトリウムサソリ装置、配管 ・ナトリウム温度検出器 ・ナトリウム漏洩検出器(通電式) ・ナトリウム弁	[外観・目視点検] 同 上	異常なし

2次冷却系の外観目視点検チェックリスト(2/2)

<主冷却機建物(2/2)>

階	部屋名	機器、配管、弁、漏洩検出器等	点検内容	点検結果
BM 1F	S-303 S-304 S-305 S-306	<ul style="list-style-type: none"> ・2次主冷却系ナトリウム配管 ・ナトリウム漏洩検出器(通電式) 	[外観・目視点検] <ul style="list-style-type: none"> ・L/Dの取付状況 ・床ライナー、Na配管樋の損傷の有無 ・保温材の脱落の有無 ・電気ヒータ、サポート類の取付状況等 	異常なし
B1 F	S-212	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンプタンク ・2次純化系ナトリウム配管 ・2次ナトリウム充填ドレン系配管 ・ナトリウム温度検出器 ・ナトリウム漏洩検出器(通電式) ・ナトリウム弁 	[外観・目視点検] <ul style="list-style-type: none"> ・T/C、L/Dの取付状況 ・床ライナー、Na配管樋の損傷の有無 ・保温材の脱落の有無 ・電気ヒータ、サポート類の取付状況等 	異常なし
	S-217 S-218	ナトリウム溜まり室	<ul style="list-style-type: none"> ・床ライナーの損傷の有無 	異常なし

<原子炉付属建物>

階	部屋名	機器、配管、弁、漏洩検出器等	点検内容	点検結果
1F	A-505	<ul style="list-style-type: none"> ・2次補助冷却機 ・2次補助冷却系ナトリウム配管 ・膨張タンク ・ナトリウム温度検出器 ・ナトリウム漏洩検出器(通電式) ・ナトリウム漏洩検出器(煙式) ・ナトリウム弁 	[外観・目視点検] <ul style="list-style-type: none"> ・T/C、L/Dの取付状況 ・床ライナー、Na配管樋の損傷の有無 ・保温材の脱落の有無 ・ハンガー、サポート類の状況 ・その他、電気ヒータなどの取付状況等 	異常なし
B1 F	A-305 A-306	<ul style="list-style-type: none"> ・2次主冷却系ナトリウム配管 ・ナトリウム漏洩検出器(通電式) 	[外観・目視点検] <ul style="list-style-type: none"> ・L/Dの取付状況 ・床ライナー、Na配管樋の損傷の有無 ・保温材の脱落の有無 ・電気ヒータ、サポート類の取付状況等 	異常なし

Ⅲ. 防煙ダンパ（主冷却機建物）の動作試験

1. 目的

本防煙ダンパーは、火災が発生した場合にこれを検知し、空調設備を停止するとともに、ダンパー「閉」とし、煙の拡大を防ぐために設けられた設備である。本点検は、この設備が正常に動作することを確認するために実施したものである。

2. 点検内容

各々の防煙ダンパーについて、次に示す項目を実施する。

- (1) 試験スイッチにより、防煙ダンパーが動作し、空調設備が停止するとともに警報が発報することを確認する。
- (2) 感知器を動作させ、(1)と同様に動作することを確認する。
- (3) 導通試験を行い、断線の有無を確認する。

3. 点検実施日

平成7年12月19日～12月27日

4. 点検結果

各々の防煙ダンパーが良好であることを確認した。点検結果を点検記録Ⅲ-1に示す。

防煙ダンパ（主冷却機建物）の動作試験記録

点検実施日：平成7年12月19～27日

点検実施者：実験炉部原子炉第二課

防 煙 ダ ン パ ー 点 検 記 録

作業日：平成 7 年 12 月 19 日

点検者：飯田 飯島

区 画	停 止 機 器 名	盤No	停 止 確 認	防煙ダンパー No.	設 置 場 所	動 作 確 認	火 災 試 験	導 通 試 験	備 考
1 区 画	No.1 D/G室系送風機	P-1	✓	99-2-46 (No.2 D/G 室系送風機入)	S-130	(良)・否	(良)・否	(良)・否	動作確認：盤面の試験スイッチにより警報発報、防煙ダンパー及び送・排風機停止の連動実動作を確認。 火災試験：盤面の試験スイッチにより警報の発報を確認。 導通試験：盤面の試験スイッチにより感知器線路の断線の有無を確認。 (以下各区画同様)
	No.1 D/G室系排風機	P-1	✓	99-2-48 (No.2 D/G 室系排風機出)	S-130	(良)・否			
	No.2 D/G室系送風機	P-2	✓	99-2-49 (No.2 D/G 室系排風機出)	S-120	(良)・否			
	No.2 D/G室系排風機	P-2	✓	99-2-51 (No.1 D/G 室系送風機入)	S-125	(良)・否			
	B2F換気室系送風機	P-2	✓	99-2-53 (No.1 D/G 室系排風機出)	S-125	(良)・否			
	B2F換気室系排風機	P-2	✓	99-2-60 (B2F換気室系排風機出)	S-112	(良)・否			
2 区 画	B2F換気室系送風機	P-2	✓	99-2-45 (No.2 D/G 室系送風機入)	S-105	(良)・否	(良)・否	(良)・否	
	B2F換気室系排風機	P-2	✓	99-2-50 (No.1 D/G 室系送風機入)	S-105	(良)・否			
				99-2-54 (B2F換気室系送風機入)	S-104	(良)・否			
				99-2-55 (B2F換気室系送風機出)	S-102	(良)・否			
				99-2-100 (B2F換気室系送風機出)	S-102	(良)・否			
				99-2-101 (B2F換気室系送風機入)	S-104	(良)・否			

防 煙 ダ ン パ ー 点 検 記 録

作業日: 平成 7 年 12 月 20 日

点検者: 飯田 飯島

区 画	停 止 機 器 名	盤No	停 止 確 認	防煙ダンパー No.	設 置 場 所	動 作 確 認	火 災 試 験	導 通 試 験	備 考
3 区 画	Na 管路室系送風機 A	P-1	✓	99-2-19 (ボイラー室系送風機入)	S-206	(良)・否	(良)・否	(良)・否	
	Na 管路室系排風機 A	P-1	✓	99-2-24 (ボイラー室系排風機出)	S-207	(良)・否			
	Na 管路室系送風機 B	P-1	✓	99-2-27 (Na 管路室系送風機入A,B)	S-206	(良)・否			
	Na 管路室系排風機 B	P-1	✓	99-2-42 (一般電源室系空調器A入)	S-201	(良)・否			
	Na 管路室系送風機 A	P-2	✓	99-2-108 (Na 管路室系排風機A出)	S-206	(良)・否			
	Na 管路室系排風機 A	P-2	✓	99-2-109 (Na 管路室系排風機B出)	S-206	(良)・否			
	Na 管路室系送風機 B	P-2	✓						
	Na 管路室系排風機 B	P-2	✓						
	ボイラー室系送風機	P-4	✓						
	ボイラー室系排風機	P-4	✓						
	一般電源室系空調器 A	P-2	✓						
	一般電源室系空調器 B	P-1	✓						

防煙ダンパー点検記録

作業日: 平成 7 年 12 月 20 日

点検者: 飯田 飯島

区画	停止機器名	盤No.	停止確認	防煙ダンパー No.	設置場所	動作確認	火災試験	導通試験	備考
4 区 画	No. 1 D/G室系排風機	P-1	✓	99-2-13 (IFトイレ出口)	S-407	⊙ 否	⊙ 否	⊙ 否	
	No. 2 D/G室系排風機	P-2	✓	99-2-14 (浴室・便所排風機入)	S-406	⊙ 否			
	Na 管路室系排風機 A	P-1	✓	99-2-56 (Arガス室系排風機入)	S-408	⊙ 否			
	Na 管路室系排風機 B	P-1	✓						
	Na 管路室系排風機 A	P-2	✓						
	Na 管路室系排風機 B	P-2	✓						
	Arガス室系送風機	P-1	✓						
	Arガス室系排風機	P-1	✓						
	手洗い・浴室系排風機	P-1	✓						
	2F・3F Na 機器室系排風機	P-1	✓						
	B2F換気室系排風機	P-2	✓						

防 煙 ダ ン パ ー 点 検 記 録

作業日: 平成 7年12月20日

点検者: 飯田 飯島

区 画	停 止 機 器 名	盤No	停 止 確 認	防煙ダンパー No.	設 置 場 所	動 作 確 認	火 災 試 験	導 通 試 験	備 考
5 区 画	Na 管路室系送風機 A	P-1	✓	99-2-11 (2次系電機室系空調機2F出)	S-501	(良) 否	(良) 否	(良) 否	
	Na 管路室系送風機 B	P-1	✓	99-2-12 (2次系電機室系空調機入)	S-402	(良) 否			
	Na 管路室系送風機 A	P-2	✓	99-2-15 (Arガス室系送風機出)	S-404	(良) 否			
	Na 管路室系送風機 B	P-2	✓	99-2-110 (1FNa管路室系送風機出)	S-412	(良) 否			
	Arガス室系送風機	P-1	✓						
	Arガス室系排風機	P-1	✓						
	1FNa 管路室系送風機	P-1	✓						
	1FNa 管路室系排風機	P-1	✓						
	1FNa 管路室系送風機	P-2	✓						
	1FNa 管路室系排風機	P-2	✓						
	B2F換気室系送風機	P-2	✓						
2次系電気室空調器	P-1	✓							

防煙ダンパー点検記録

作業日: 平成 7 年 12 月 20 日

点検者: 飯田、飯島

区画	停止機器名	盤No	停止確認	防煙ダンパー No.	設置場所	動作確認	火災試験	導通試験	備考
6 区 画	2F・3FNa機器室系送風機	P-1	✓	99-2-02 (2F.3FNa機器室系送風機A出)	S-702	⊙・否	⊙・否	⊙・否	
	2F・3FNa機器室系排風機	P-1	✓	99-2-03 (2F.3FNa機器室系送風機B出)	S-701	⊙・否			
	2F・3FNa機器室系送風機	P-2	✓						
	2F・3FNa機器室系排風機	P-2	✓						
7 区 画	2F・3FNa機器室系送風機	P-1	✓	99-2-01 (2F.3FNa機器室系排風機C出)	S-704	⊙・否	⊙・否	⊙・否	
	2F・3FNa機器室系排風機	P-1	✓	99-2-04 (2F.3FNa機器室系排風機D出)	S-703	⊙・否			
	2F・3FNa機器室系送風機	P-2	✓	99-2-08 (1FNa管路室系排風機入)	S-705	⊙・否			
	2F・3FNa機器室系排風機	P-2	✓	99-2-111 (1FNa管路室系送風機出)	S-705	⊙・否			
	1FNa管路室系送風機	P-1	✓						
	1FNa管路室系排風機	P-1	✓						
	1FNa管路室系送風機	P-2	✓						
	1FNa管路室系排風機	P-2	✓						

防 煙 ダ ン パ ー 点 検 記 録

作業日: 平成 7 年 12 月 20 日

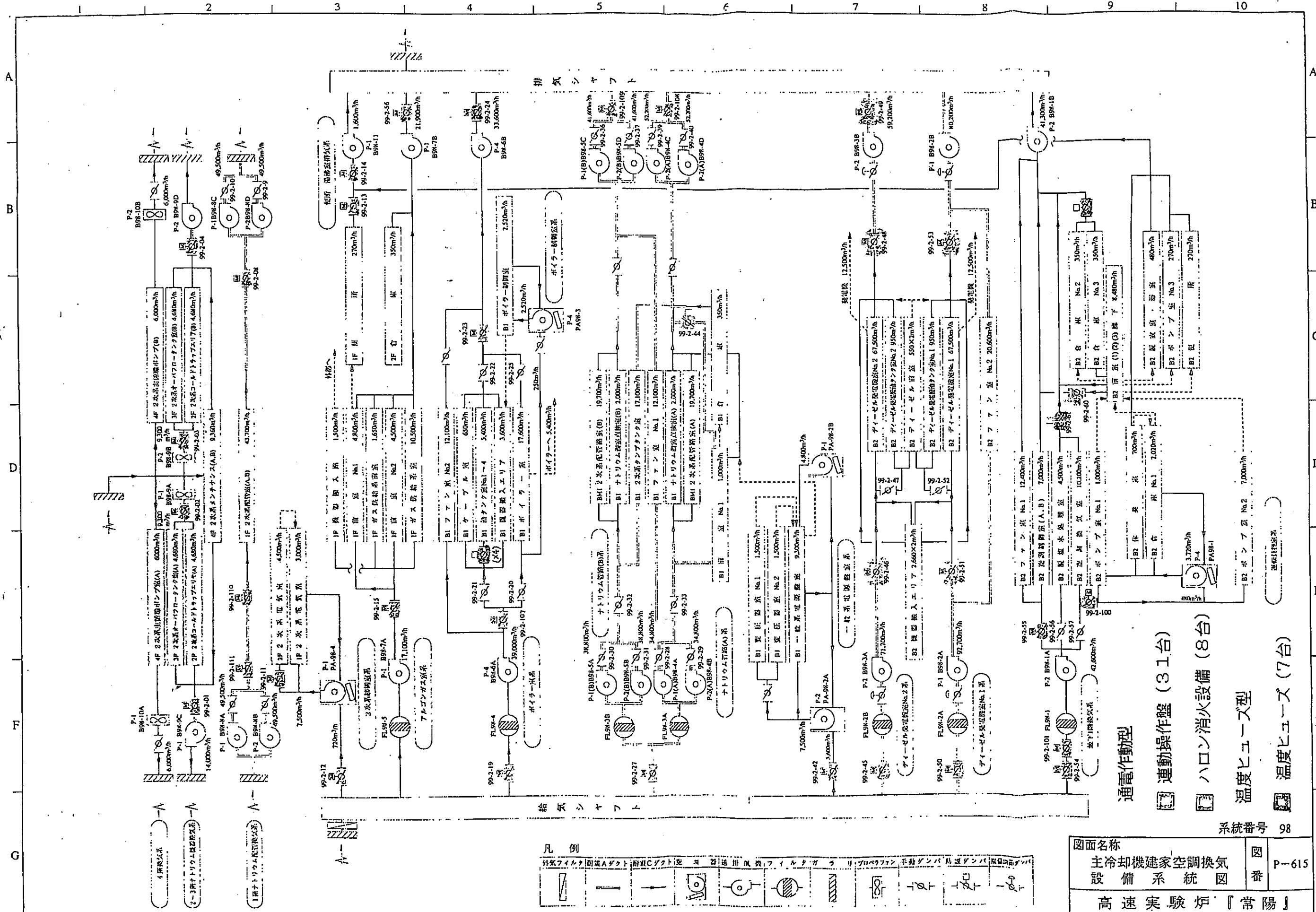
点検者: 飯田 飯島

区 画	停 止 機 器 名	盤No.	停 止 確 認	防煙ダンパー No.	設 置 場 所	動 作 確 認	火 災 試 験	導 通 試 験	備 考
7 区 画	4 F 排風機	P-1	√						
	4 F 排風機	P-2	√						

消火設備自主点検記録

対象施設 主冷却機建家
 対象機器 ハロン消火設備に係わるダンパー機能確認
 実施年月日 平成 7年12月27日(水)
 点検者 東京保安用品(株) 田山
 P N C 豊島 富孝

系 統	ダンパーNo	設置場所	点 検 結 果
ボイラー室系	99-2-23	S-207	異常無し
	99-2-107	同上	異常無し
D/GNo1室系	99-2-51	S-125	異常無し
	99-2-53	同上	異常無し
D/GNo2室系	99-2-46	S-130	異常無し
	99-2-48	同上	異常無し
B2F換気系	99-2-49	S-120	異常無し
	99-2-60	S-112	異常無し



- 通電作動型
- 連動操作盤 (31台)
- ハロン消火設備 (8台)
- 温度ヒューズ型
- 温度ヒューズ (7台)

系統番号 98

図面名称		図番
主冷却機建家空調換気設備系統図		P-615
高速実験炉「常陽」		

IV. 扉（主冷却機建物）の点検

1. 目的

主冷却建物の扉は、火災が発生した場合の煙の拡大を防ぐため、通行時以外は締切り状態としている。各々の扉には、開放状態で放置されないように「開放禁止札」を取付けている。

本点検は、各々の扉に「開放禁止札」が貼付されていること、及び扉が正常に開閉できることを確認するために実施したものである。

2. 点検内

各扉について、「開放禁止札」が貼付されていること、及び扉が正常に開閉できることを確認する。

3. 点検実施日

平成7年12月19日

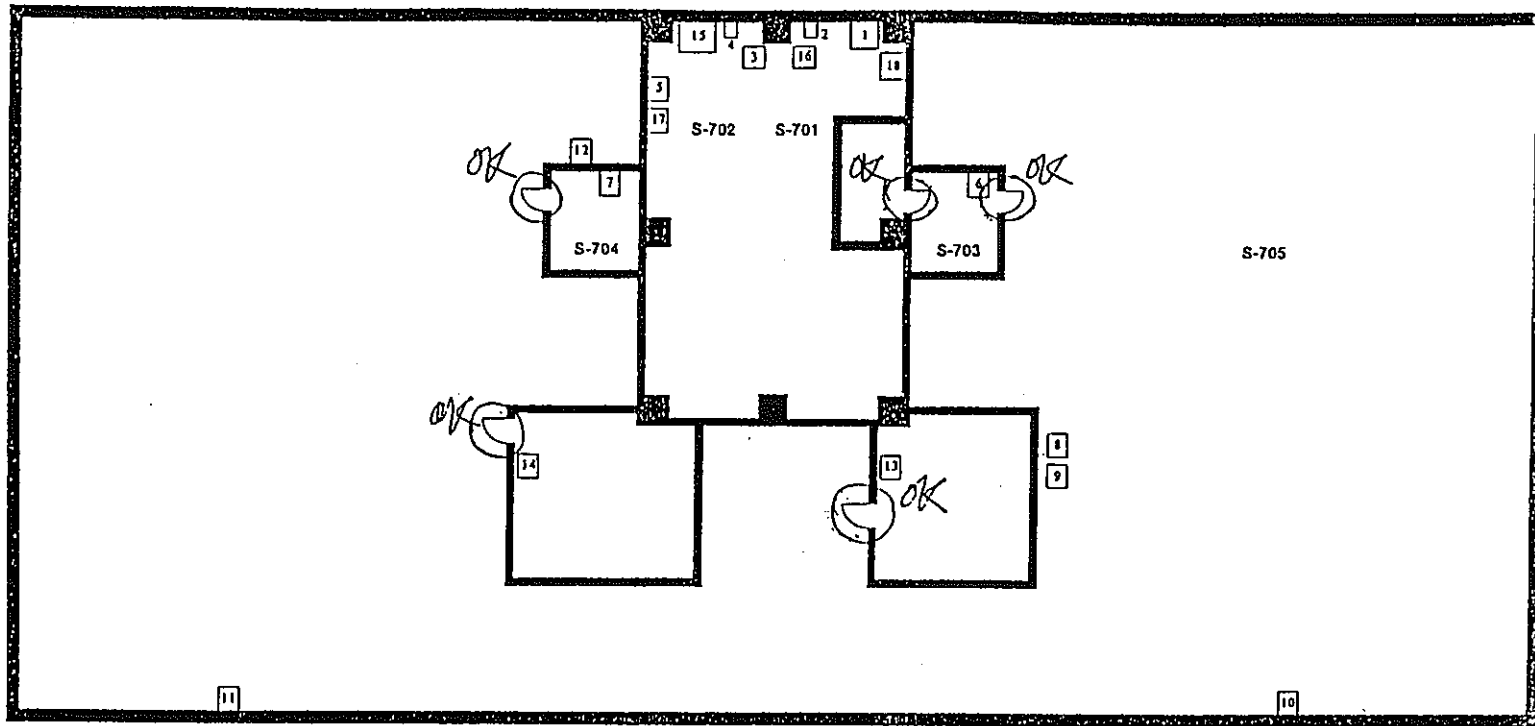
4. 点検結果

各扉について、「開放禁止札」が貼付されているとともに、正常に開閉できることを確認した。点検結果を点検記録IV-1に示す。

扉（主冷却機建物）の点検記録
（開放禁止札の貼付の確認）

点検実施日：平成7年12月19日

点検実施者：実験炉部原子炉第一課



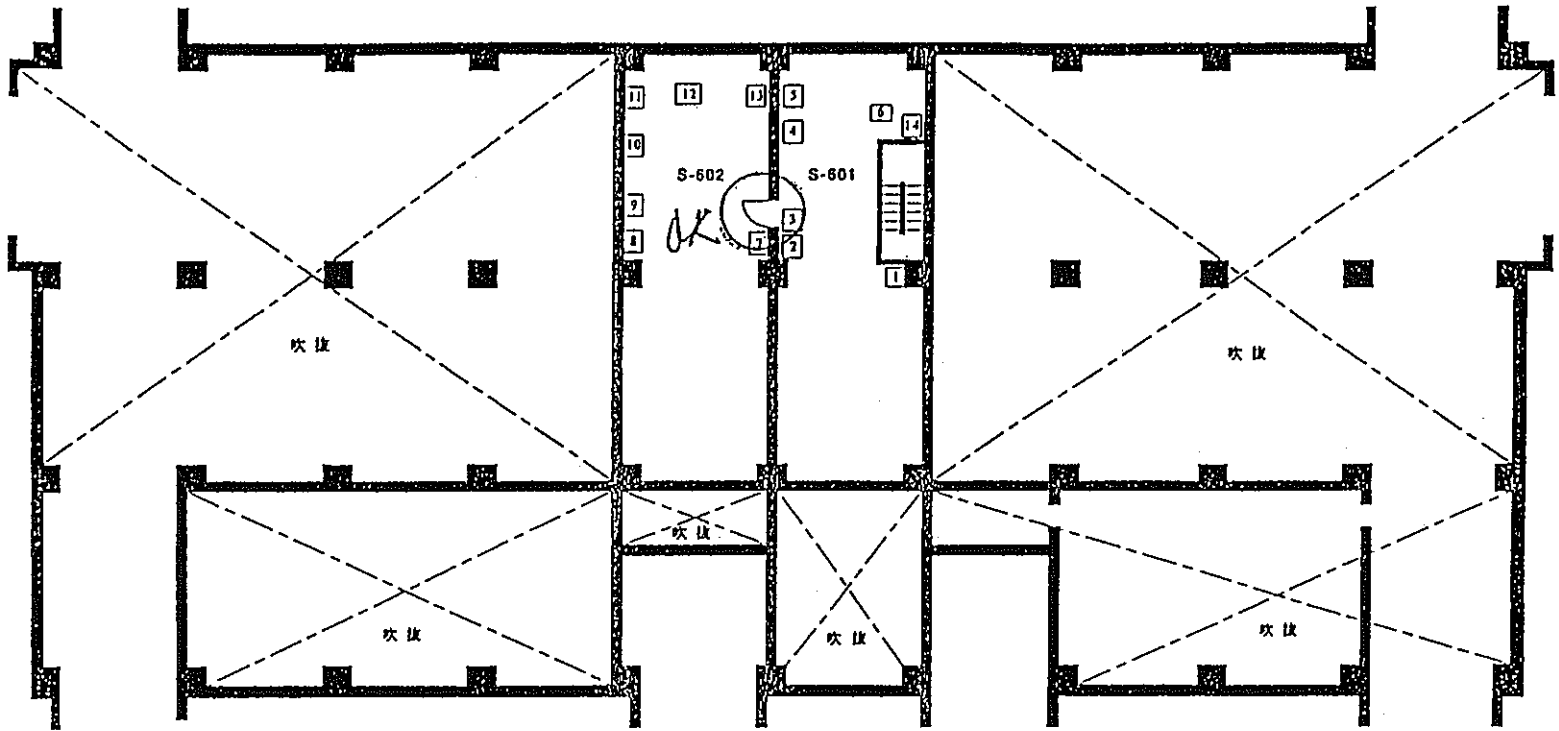
番号	名 称	設備号
1	A 2次主循環ポンプ抵抗器数	698-1
2	S-4-2	
3	B 2次主循環ポンプ速度制御器	699-2
4	S-4-1	
5	クレーン電源箱	
6	写真箱 (名板無し)	
7	.	.
8	S-4-3	
9	コンセント数 (名板無し)	
10	D/G・降圧電圧ローワー現場操作種B	
11	.	A
12	照灯用電源箱 (名板無し)	
13	S-4-5	
14	S-4-4	
15	B 2次主循環ポンプ抵抗器数	699-1
16	A 2次主循環ポンプ速度制御器	698-2
17	主ポンプスペースヒータ制御器	
18	MEDUSA変換器ボックス	692

部屋番号	部屋名称
S-701	2次系主循環ポンプ室 (A)
S-702	2次系主循環ポンプ室 (B)
S-703	フ ァ ン 室 (No.1)
S-704	フ ァ ン 室 (No.2)
S-705	組 上 (A)

点検扉
5箇所

扉点検数 95

図 面 名 称	図 番
主 冷 却 機 建 家 4 F 及 び R F	2 1

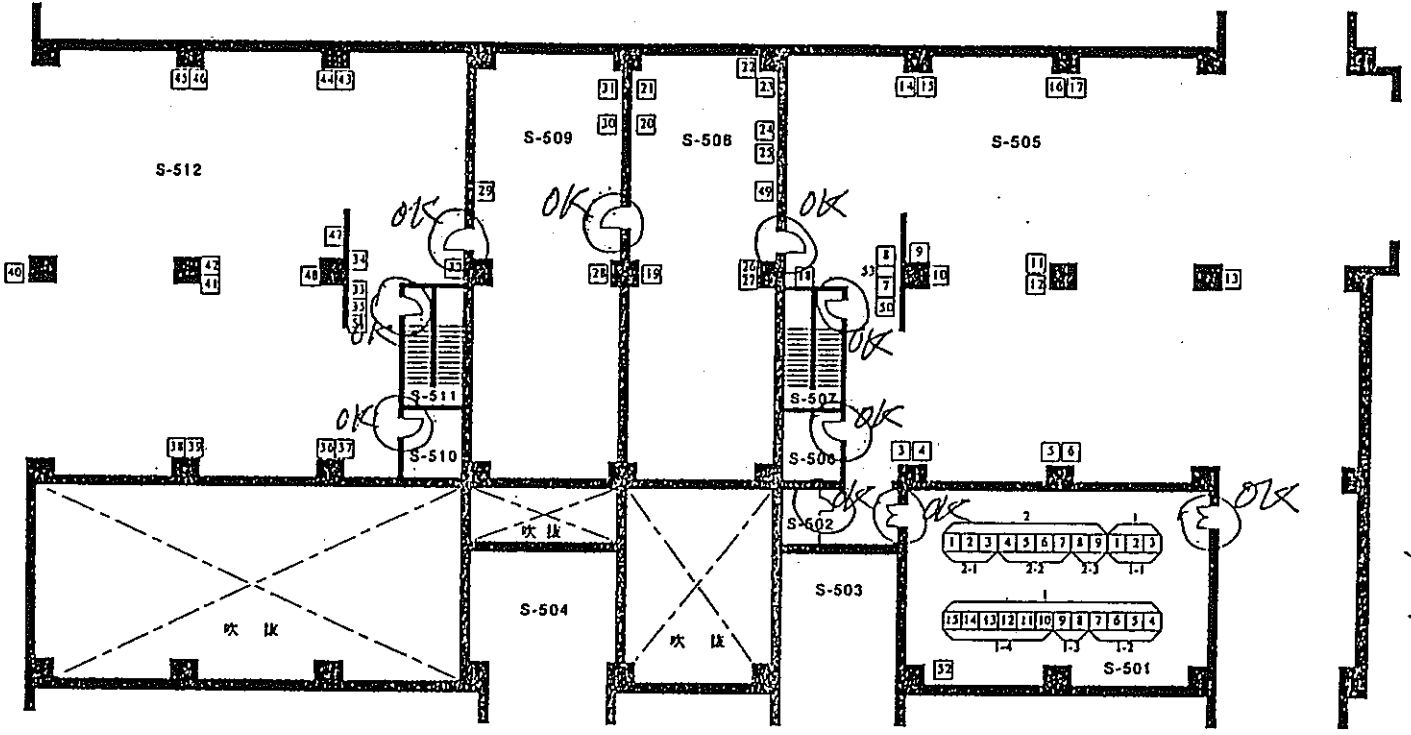


番号	名 称	数量
1	JB-HS603A	
2	JB-HS604A	
3	JB-HS602A	
4	LD-S601	
5	JB-HS601A	
6	主ポンプ用潤滑油循環系統P-31.2-1A	696
7	JB-HS602B	
8	JB-HS603B	
9	JB-HS604B	
10	LD-S602	
11	主ポンプ用潤滑油循環系予備 (Bループ)	
12	主ポンプ用潤滑油循環系統P-31.2-1B	697
13	JB-HS601B	
14	主ポンプ用潤滑油循環系予備 (Aループ)	

部屋番号	部 屋 名 称
S-601	2次系オーバーフロータンク室 (A)
S-602	2次系オーバーフロータンク室 (B)

点検扉
1箇所

図 面 名 称	図 番
主 冷 却 機 建 家 3 F	2 2

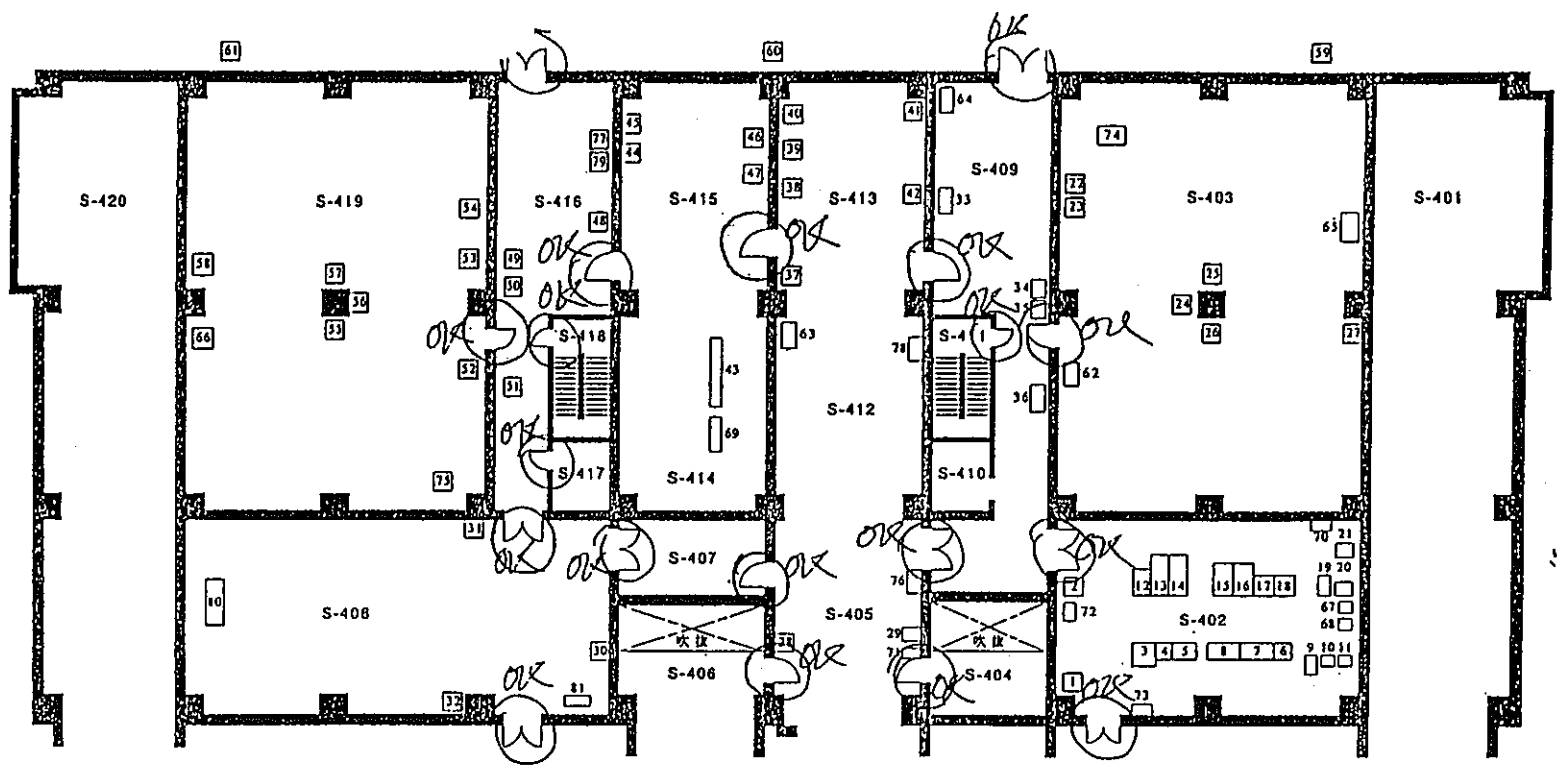


点検扉
10箇所

設備番号	部屋名称
S-501	2次原電気室
S-502	電気室附属
S-505	主冷却機上部室(A)
S-506	倉庫
S-507	階段室(A)
S-508	2次系コールドドラッグエリア(A)
S-509	2次系コールドドラッグエリア(B)
S-510	パイプシャフト
S-511	階段室(B)
S-512	主冷却機上部室(B)

番号	名称	設備番号	番号	名称	設備番号	番号	名称	設備番号	番号	名称	設備番号
1	2HC		2-1-2	2次予熱ヒータC/C	692-2	13	20(クレーン電源箱)		31	JB-HS-501B	
1-1-1	2次予熱ヒータC/C	691-1	2-1-3	*	*-3	14	JB-HS-510A		32	JB-HS-507B	
1-1-2	*	*-2	2-2-4	*	*-4	15	JB-HS-514A		33	火災報知器総合No.23	
1-1-3	*	*-3	2-2-5	*	*-5	16	JB-HS-516A		34	JB-HS-508B	
1-2-4	*	*-4	2-2-6	*	*-6	17	主冷却機建家端子箱2A-2		35	通風用端子盤(名板無し)	
1-2-5	*	*-5	2-2-7	*	*-7	18	JB-HS-507A		36	JB-HS-5150	
1-2-6	*	*-6	2-3-8	*	*-8	19	JB-HS-503		37	JB-HS-517B	
1-2-7	*	*-7	2-3-9	*	*-9	20	JB-HS-502A		38	主冷却機建家端子箱3B-1	
1-3-8	*	*-8	3	JB-HS-517A		21	JB-HS-501A		39	JD-HS-513B	
1-3-9	*	*-9	4	JB-HS-515A		22	LD-S508-2		40	30(クレーン電源箱)	
1-4-10	*	*-10	5	JB-HS-513A		23	LD-S508-1		41	JB-HS-511B	
1-4-11	*	*-11	6	主冷却機建家端子箱1A-2		24	JB-HS-509-1		42	JB-HS-512B	
1-4-12	*	*-12	7	火災報知器総合No.24		25	JB-HS-509-2				
1-4-13	*	*-13	8	JB-HS-508A		26	JB-HS-504				
1-4-14	*	*-14	9	LD-S505		27	JB-HS-505A				
1-4-15	*	*-15	10	JB-HS-506A		28	JB-HS-505B				
2	2HD		11	JB-HS-512A		29	LD-S509				
2-1-1	2次予熱ヒータC/C	692-1	12	JB-HS-511A		30	JB-HS-502B				

図面名称	図番
主冷却機建家 2 F	23



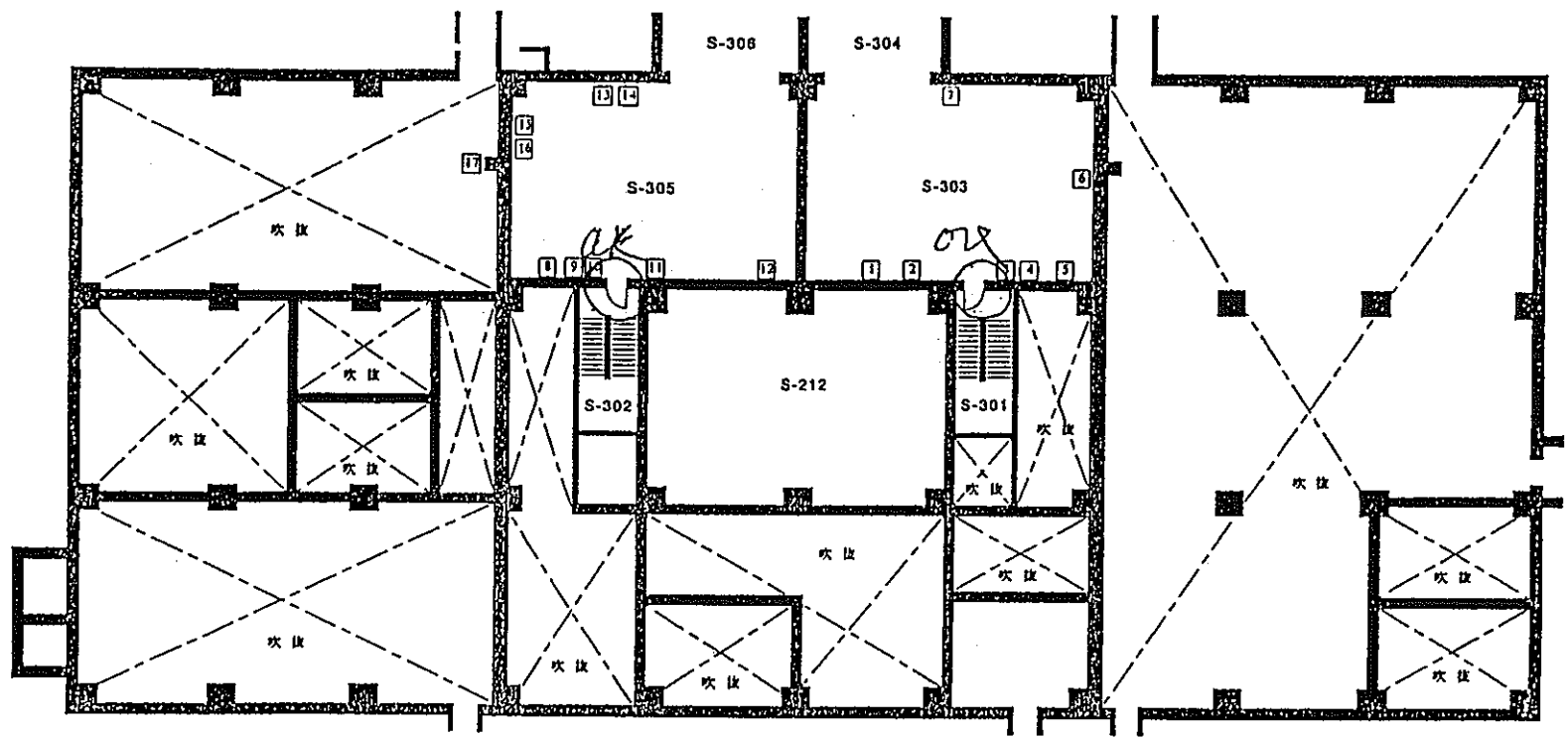
- 100 -

設備番号	部位名称
S-401	風 洞 型 (A)
S-402	2次系電気型
S-403	主冷却機室(A)
S-404	ダクトスペース(A)
S-405	鋼 鉄 配 入 路
S-406	ダクトスペース(B)
S-407	ガス供給系附属
S-408	ガス供給系型
S-409	型 (No.1)
S-410	機 房
S-411	降 段 型 (A)
S-412	2次系メンテナンス室(A)
S-413	2次系配管室(A)
S-414	2次系メンテナンス室(B)
S-415	2次系配管室(B)
S-416	機 房 (No.2)
S-417	バイブレーション
S-418	降 段 型 (B)
S-419	主 冷 却 機 室 (B)
S-420	風 洞 型 (B)

番号	名 称	設備番号	番号	名 称	設備番号	番号	名 称	設備番号	番号	名 称	設備番号	番号	名 称	設備番号
1	主ポンプ駆動配管計		20	主冷却機室3D C/C	678-1	39	純化系ヒータ中継端子箱		58	B主送風機急停止系制御盤	680-1	70	試験用電源(交流系停電)技術書	
2	S-1-2		21	2次Na取面計	678	40	JB-HS402A		59	設置計画		71	大気中塩化ナトリウム濃度計	
3	2次主冷却系現場制御盤	661	22	JB-HS407A		41	LD-S412-1		60	*		72	パッケージ	
4	2次主冷却系予熱制御盤D	663	23	作業用分電盤 M-S-1		42	JB-HS401A		61	*		73	空気格納器型式N-10液状抽出	
5	* A	662	24	LD-S403		43	2次系Arガス操作盤	695	62	JB-HS406A			LIA取納盤	1600
6	主冷却機室3C C/C	693	25	主冷却機室2A-1		44	JB-HS402B		63	JB-HS404		74	A主送風機急停止系制御盤	679-2
7	* 2A C/C	670	26	* (A-)		45	JD-HS401B		64	LD中継BOX		75	B	680-2
8	* 2B C/C	671	27	A主送風機急停止系制御盤	679-1	46	JB-HS405		65	1A・2A主送風機機室温度監視盤		76	2次系サーベイルランス取出し	
9	2次Na純化プラグイン計操作盤	694	28	開閉器箱(名板無し)		47	LD-S415		66	1B・2B主送風機機室温度監視盤			作業用分電盤	1601
10	A2次主冷却系電圧監視計電線束	666	29	S-1-1		48	LD-S416		67	補助電源設備「現場分電盤」	660	77	2次系ガス負圧ポンプ制御盤(II)	
11	主冷却機室3C C/C	677	30	Ar・N ₂ ガス供給盤	682	49	放送用端子箱(名板無し)		68	主送風機スペースヒータ操作盤	659	78	2次系バックアップコンプレッサ操作盤	1602
12	2次Na純化電圧ポンプVVR盤	676	31	S-1-3		50	火災報知器台型 No.21		69	2次系Arガスサンプリング装置	695-1	79	2次系ガス系負圧ポンプ用実圧監視計	
13	2HC予熱ヒーター分電盤	664	32	チャージポンプ電源箱		51	照明用分電盤 L-1W					80	アルゴンガス操作盤	
14	2HD	665	33	LD-S409		52	JB-HS407B					81	高圧ガス操作盤	
15	主冷却機室1A C/C	668	34	通信用端子箱		53	作業用分電盤 M-S-2							
16	* 1B C/C	669	35	火災報知器台型 No.22		54	JB-HS406B							
17	主冷却機室7C,7D分電盤	674	36	照明用分電盤 L-1E		55	主冷却機室端子箱 3B-1							
18	* 4S分電盤	672	37	LD-S413-3		56	LD-S419							
19	B2次主冷却系電圧監視計電線束	667	38	JB-HS403		57	主冷却機室端子箱 4B-1							

図 面 名 称	図 番
主 冷 却 機 建 家 I F	2 4

点検扉
19箇所

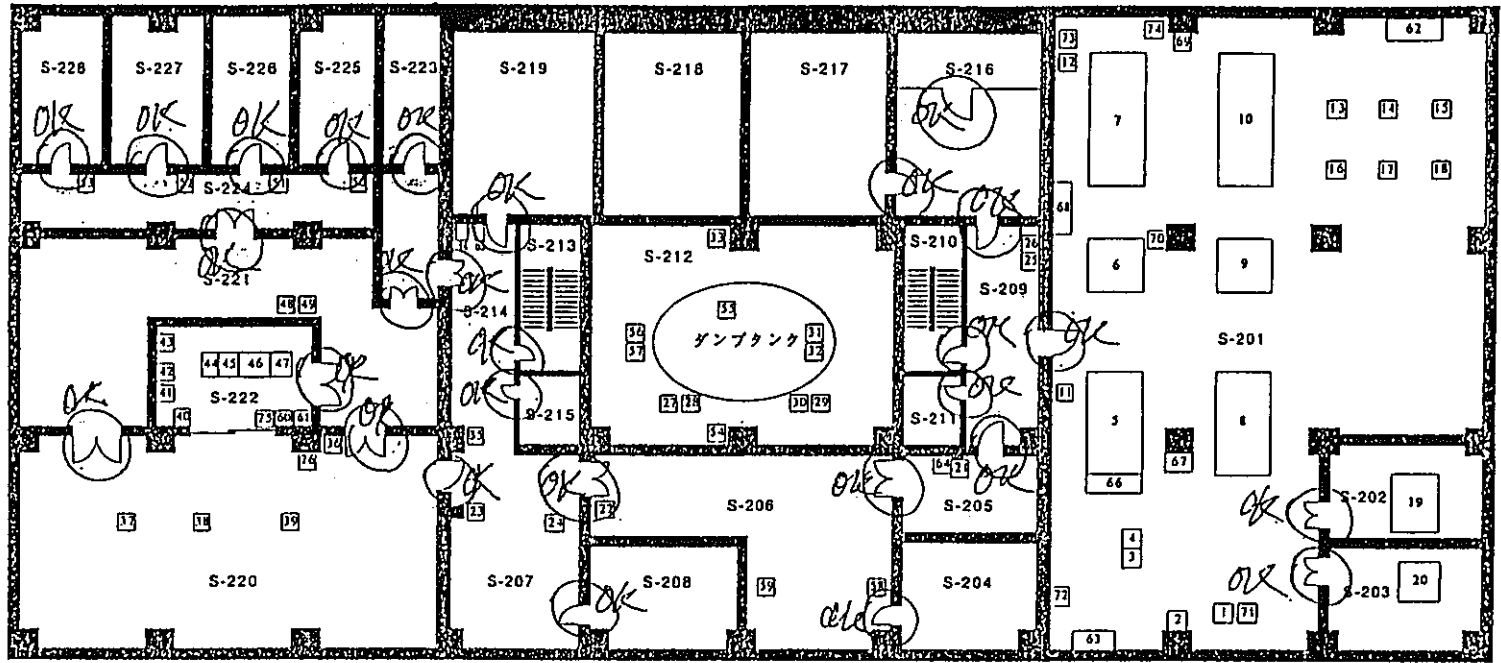


点検扉
2箇所

番号	名称	盤番号
1	LD-303-2	
2	LD-303-1	
3	JB-HS303A	
4	JD-HS304A	
5	JD-HS303A	
6	JD-HS302A	
7	JD-HS301A	
8	JD-HS304B	
9	JD-HS303B	
10	JD-HS307	
11	LD-305-1	
12	LD-305-2	
13	JD-HS301B	
14	JD-HS308	
15	JD-HS302B	
16	JD-HS303B	
17	SMU-1	

部屋番号	配管名称
S-301	降 段 (A)
S-302	降 段 (B)
S-303	2次系配管室 (A)
S-304	2次系配管室 (A)
S-305	2次系配管室 (B)
S-306	2次系配管室 (B)
S-212	2次系ダンブタンク室

図面名称	図番
主冷却機建家 B M I F	25

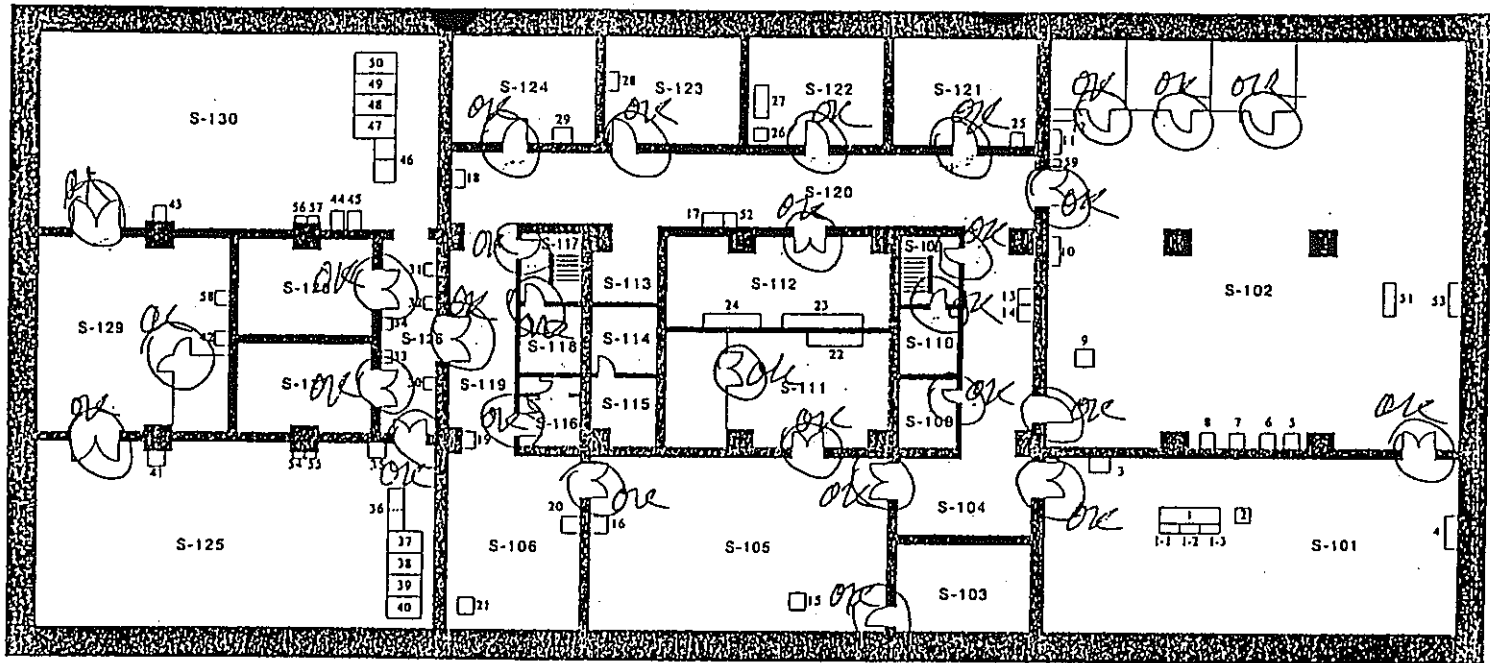


点検扉
28箇所

番号	名称	設備番号	番号	名称	設備番号	番号	名称	設備番号	番号	名称	設備番号
1	動力用電源盤	638	21	照明用分電盤 L-B1		41	警報連絡盤		61	ハロン消火器起動ボタン	
2	作業用分電盤 M-S-3		22	電源盤 S-D1-2		42	主冷却機建家空調警報盤	654	62	パッケージ	
3	電源設備操作75分電盤	647	23	・ S-B1-1		43	振動検出計盤		63	・	
4	スペースヒーター分電盤	648	24	フィルタ電源		44	パッケージ		64	照明電源切替盤 L-B1-F	1605
5	主冷却機建家 1B M/C	642	25	火災報知器総合盤No.20		45	主冷却機建家空調監視盤	653	65	2次A1ガス系異音ポンプ	
6	・ 2B P/C	644	26	通信用分電盤 (名板無し)		46	主冷却機建家空調監視盤 (P-4盤)	652		冷却水FS盤 (2)	1603
7	・ 3B P/C	646	27	JB-HS-203		47	ボイラー電源盤	651	66	空圧バックアップ電源盤	1604
8	・ 1A M/C	641	28	JB-HS-205		48	ハロン消火器電話盤		67	1A・1Bタカラ目録連絡切替盤	640
9	・ 3A P/C	643	29	JB-HS-206		49	バッテリー盤		68	電源監視用中継端子盤 (11)	656
10	・ 3A P/C	645	30	JB-HS-204		50	ハロン消火器起動ボタンNo.1		69	補助電源用増分電盤	655
11	電源盤 S-B1-3		31	LP-S212-2		51	・ No.2			(試験用電源200V3φ)	
12	・ S-MB-2		32	JB-HS-202		52	・ No.3		70	補助電源盤 (現場分電盤)	639
13	コンデンサ油入同調器付箱		33	LP-S212-1		53	・ No.4		71	照明用電源盤	637
14	・		34	通信用分電盤 (名板無し)		54	LD-S212-3		72	通信用端子盤 (名板無し)	
15	・		35	火災報知器付箱No.19		55	レベル計中継端子箱ダンプタンク		73	通信用端子盤 (SECCS)	
16	・		36	作業用分電盤 M-S-4		56	11B-HS-201A		74	JOYCAT現場端子箱 (電源系)	
17	・		37	ボイラー制御盤		57	11B-HS-201R		75	系気圧、放水タンク警報盤	
18	・		38	・		58	フィルタ電源		76	ボイラー照明盤	
19	主冷却機建家 21HD P/C	649	39	・		59	・				
20	・ 21HC P/C	650	40	O2濃度計警報盤		60	防火ダンプ油断検作盤				

設備番号	設備名称	設備番号	設備名称
S-201	一般系電源盤	S-215	パイプシャフト
S-202	変圧器盤 (No.1)	S-216	ナトリウム着火検出 (A)
S-203	変圧器盤 (No.2)	S-217	ナトリウム着火 (A)
S-204	ダクトスペース (A)	S-218	ナトリウム着火 (B)
S-205	扇 盤 (No.3)	S-219	ナトリウム着火検出 (B)
S-206	ファン 盤 (No.1)	S-220	ボイラー Ⅰ Ⅱ
S-207	ファン 盤 (No.2)	S-221	機器吸入エリア
S-208	ダクトスペース (B)	S-222	ボイラー 制御盤
S-209	扇 盤 (No.1)	S-223	ケーブ ル 盤
S-210	排 気 盤 (A)	S-224	油タンク Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ
S-211	台 Ⅰ Ⅱ	S-225	油タンク Ⅰ (No.1)
S-212	2次系ダンプタンク Ⅰ	S-226	油タンク Ⅰ (No.2)
S-213	排 気 盤 (B)	S-227	油タンク Ⅰ (No.3)
S-214	扇 盤 (No.2)	S-228	油タンク Ⅰ (No.4)

図面名称	図番
主冷却機建家 B I F	26



点検扉
30分所

番号	名称	数量	番号	名称	数量	番号	名称	数量
1	脱塩水処理装置	601	19	火災報知器総合装置No.17		40	1号D/G補機盤	622
1-1	動力盤		20	電機盤 S-B1-5		41	1号D/G温度測定盤	
1-2	操作盤		21	フィルター電機箱 (送風機No.2)		42	電機箱 S-B1-9	
1-3	監視盤		22	主冷却機建家空調P-7操作盤	611	43	2号D/G温度測定盤	
2	電機弁箱	602	23	・ P-1 ・	612	44	電機箱 S-B1-8	635
3	Aディーゼル系温水ポンプ手元箱		24	・ P-3 ・	613	45	・ S-B1-11	
4	脱塩機装置		25	電機盤 S-B1-3		46	主冷却機建家 JD C/C	636
5	ディーゼル系熱媒用操作手元箱		26	・ S-B1-2		47	2号D/G補機盤	632
6	B系給水ポンプ手元箱		27	パッケージ盤		48	2号D/G動力機装置	633
7	A		28	乱数監視表示盤		49	2号D/G盤	631
8	C1ディーゼル系温水ポンプ手元箱		29	電機盤 S-B1-1		50	主冷却機建家 JD C/C	634
9	フィルター用電機箱		30	No.1脱電機盤ハロン回路ボタン箱		51	ディーゼル系冷却水ろ過装置制御盤	603
10	電機箱 S-B1-4		31	No.2		52	照明用電機切替盤 L-B1-F	1606
11	作業用分電盤 M-S-5		32	作業用分電盤 M-S-6		53	D/G系水ろ過装置用HFB盤	
12	Bディーゼル系温水ポンプ手元箱		33	No.1オイルタンク装置ハロン回路ボタン箱		54	1号D/G冷却水温度監視交換器箱	
13	火災報知器総合装置No.18		34	No.2		55	1号D/G冷却水温度監視交換器箱	
14	漏洩用端子箱		35	電機箱 S-B1-10	625	56	2号D/G冷却水温度監視交換器箱	
15	フィルター用電機箱 (送風機No.1)		36	主冷却機建家 2C C/C	626	57	2号D/G冷却水温度監視交換器箱	
16	電機箱 S-B1-6		37	・ JC C/C	624	58	ユニットヒーパ用ファン操作盤	
17	照明用分電盤 L-B1		38	1号D/G盤	621	59	S-122コンセント専用HFB盤	
18	漏洩用端子箱 (名取機L)		39	1号D/G動力機装置	623			

部屋番号	設備名称	部屋番号	設備名称
S-101	脱塩水処理室	S-117	階段 盤 (B)
S-102	空調機装置	S-118	汚物(水)ポンプ室 (No.3)
S-103	ダクトスペース (A)	S-119	貯 盤 (2)
S-104	貯 盤 (1)	S-120	階 下
S-105	ファン 盤 (No.1)	S-121	冷却水ポンプ 盤 (No.1)
S-106	ファン 盤 (No.2)	S-122	倉 庫 (No.1)
S-108	倉 庫 (No.2)	S-123	油 油 盤 ・ 排 油 盤
S-109	階 段 盤 (A)	S-124	冷却水ポンプ 盤 (No.2)
S-110	倉 庫 (No.3)	S-125	ディーゼル発電機 盤 (No.1)
S-111	空調機装置 (A)	S-126	ディーゼル 貯 盤
S-112	空調機装置 (B)	S-127	ディーゼル発電機タンク 盤 (No.1)
S-113	貯 盤 (3)	S-128	ディーゼル発電機タンク 盤 (No.2)
S-114	脱 衣 室	S-129	機器出入エリヤ
S-115	貯 盤	S-130	ディーゼル発電機 盤 (No.2)
S-116	使 用 所		

図 面 名 称	図 番
主 冷 却 機 建 家 B 2 F	27

第 3 編 ナトリウム漏えい対策設備の点検

I. シール型（コンプレッションフィッティング型）温度計の点検

1. 目的

本温度計は、2次冷却系について、万一温度計ウェルが破損してもナトリウムが漏出しないようシール性の強化を図り、今回更新したものである。

本点検は、今回更新した2次冷却系の全ナトリウム温度計について健全性を確認するために実施したものである。

2. 点検内容

各々の温度計について、外観検査、絶縁抵抗測定、導通検査を実施し、異常のないことを確認する。

3. 点検実施日

平成8年 4月 2日～ 4月 9日

4. 点検結果

各々の温度計について、良好であることを確認した。点検結果を点検記録I-1に示す。

点検記録 I - 1

実験炉部
原子炉第2課

2次冷却系温度計交換に係る検査結果

実施日：平成8年4月2日～平成8年4月9日
実施者：小川，竹内，齋藤

No.	Tag No.	外観検査	絶縁抵抗測定	導通検査
①	TE31.2-2A-1	良	良	良
②	TE31.2-2A-2	良	良	良
③	TE31.2-2B-1	良	良	良
④	TE31.2-2B-2	良	良	良
⑤	TE31.2-1A	良	良	良
⑥	TE31.2-1B	良	良	良
⑦	TE31.2-3A	良	良	良
⑧	TE31.2-3B	良	良	良
⑨	TE31.2-4A	良	良	良
⑩	TE31.2-5A	良	良	良
⑪	TE31.2-4B	良	良	良
⑫	TE31.2-5B	良	良	良
⑬	TE32.2-1	良	良	良
⑭	TE32.2-2	良	良	良
⑮	TE32.2-3	良	良	良
⑯	TE32.2-4	良	良	良
⑰	TE34.2-2-1	良	良	良

<検査要領>

(1)外観検査：温度計の外観を目視で検査し，異常がないことを確認した。

(2)絶縁抵抗

測定：DC 250Vメガ-で熱電対素線と大地間の絶縁抵抗の測定を行い 5 MΩ以上であることを確認した。

(3)導通検査：テスターで熱電対素線の導通検査を行い，断線していないことを確認した。

Ⅱ. ナトリウム漏えい検出システム（警報表示機能）の点検

1. 目的

本システムは、2次系のナトリウム漏えい警報が発報した部屋を当直長の席から直接確認できるようにするため、中央制御室の専用モニタに警報発報箇所の情報を画像表示するよう改善したものである。また、2報目以降の警報も認識できるよう改善している（警報の再発機能）。

本点検は、今回改善したナトリウム漏えい検出システムの警報表示機能について、健全性を確認するために実施したものである。

2. 点検内容

2次ナトリウム漏洩警報盤より模擬警報信号を入力し、監視盤における警報ブザー鳴動検査、警報ランプ点灯検査及びプリンタ出力検査、ならびにモニタにおける各画面の表示検査を実施する。ここでは、ITVへの制御信号の出力検査も実施する。また、2報目以降の警報が認識できるかどうかの確認のため、再発警報試験を実施する。

3. 点検実施日

平成8年12月 4日～12月 5日

4. 点検結果

警報表示機能及び警報の再発機能について正しく機能することを確認した。点検結果を点検記録Ⅱ-1及びⅡ-2に示す。

自主点検記録

動燃責任者	坂井 茂
動燃実施者	小川 徹, 上田 多生豊
試験年月日	平成8年12月4日 ~ 平成8年12月5日
試験対象	2次系Na漏えい監視支援システム
試験項目	警報表示機能試験
<p>1. 記 録</p> <p>詳細は、別紙「警報表示機能試験記録」のとおり。</p> <p>2. 判定基準</p> <p>各々の警報要因の入力で別紙「警報表示機能試験記録」の判定基準の機能を有すること。</p> <p>3. 判 定</p> <p>合格</p>	
備 考	

メッセージ名				端子番号 (2次トリカム 漏洩警報盤)	判定基準										結果	試験 実施日	
回路名称		区域名称	P N		ブザー、ランプパネル				プリンタ	ナトリウム漏えい検出器モニタ				ITV 出力			
表示灯名称 (2次トリカム 漏洩警報盤)					「状態表示灯PorN」		「2次系Na漏えい警報」		出力	77-41st	布設図	70-7st	J B図	以下のITV No. へ信号が出力 できること*1			
					ブザー	ランプ	ブザー	ランプ		77-41st 表示	77. 検出器表示	検出器表示					
R-203-1	配管	状態表示灯	P	P	TB-1-1	鳴動すること。	点灯すること。	——	——	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	——	良	平成8年 12月4日
			N	N	TB-1-2	鳴動すること。	点灯すること。	——	——	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	——		
	警報	P	P	TB-1-1	鳴動すること。	点灯すること。	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	——			
		N	N	TB-1-2	鳴動すること。	点灯すること。	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	——			
R-203-2	配管	状態表示灯	P	P	TB-1-3	鳴動すること。	点灯すること。	——	——	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	——	良	平成8年 12月4日
			N	N	TB-1-4	鳴動すること。	点灯すること。	——	——	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	——		
	警報	P	P	TB-1-3	鳴動すること。	点灯すること。	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	——			
		N	N	TB-1-4	鳴動すること。	点灯すること。	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	——			
R-204	配管	状態表示灯	P	P	TB-1-5	鳴動すること。	点灯すること。	——	——	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	——	良	平成8年 12月4日
			N	N	TB-1-6	鳴動すること。	点灯すること。	——	——	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	——		
	警報	P	P	TB-1-5	鳴動すること。	点灯すること。	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	——			
		N	N	TB-1-6	鳴動すること。	点灯すること。	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	——			
弁	警報	P	P	TB-2-26	——	——	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	——	良	平成8年 12月4日	

*1: 確認は、本システムの端子台で実施。

メッセージ名				端子番号 (2次系Na漏洩警報盤)	判定基準										結果	試験 実施日
回路名称			区域名称		ブザー、ランプパネル				プリンタ	ナトリウム漏えい検出器モニタ				ITV 出力		
表示灯名称 (2次系Na漏洩警報盤)					「状態表示灯PorN」		「2次系Na漏えい警報」		出力	77-44系	布設図	70-70系	J B図	以下のITV No. へ信号が出力 できること1		
					ブザー	ランプ	ブザー	ランプ		77-44表示	117, 検出器表示	検出器表示				
R-402	配管	状態表示灯	P	P	TB-1-7	鳴動すること。	点灯すること。	—	—	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	良	平成8年 12月4日
			N	N	TB-1-8	鳴動すること。	点灯すること。	—	—	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。		
	弁	警報	P	P	TB-1-7	鳴動すること。	点灯すること。	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。		
			N	N	TB-1-8	鳴動すること。	点灯すること。	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。		
R-408	配管	状態表示灯	P	P	TB-1-9	鳴動すること。	点灯すること。	—	—	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	良	平成8年 12月4日
			N	N	TB-1-10	鳴動すること。	点灯すること。	—	—	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。		
	弁	警報	P	P	TB-1-9	鳴動すること。	点灯すること。	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。		
			N	N	TB-1-10	鳴動すること。	点灯すること。	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。		
R-404-1	配管	状態表示灯	P	P	TB-1-11	鳴動すること。	点灯すること。	—	—	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	良	平成8年 12月4日
			N	N	TB-1-12	鳴動すること。	点灯すること。	—	—	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。		
	弁	警報	P	P	TB-1-11	鳴動すること。	点灯すること。	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。		
			N	N	TB-1-12	鳴動すること。	点灯すること。	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。		

* 1 : 確認は、本システムの端子台で実施。

メッセージ名				端子番号 (2次ナリカ 漏洩警報盤)	判定基準										結果	試験 実施日
回路名称		区域名称	P N		ブザー、ランプパネル				プリンタ	ナトリウム漏えい検出器モニタ				ITV 出力		
表示灯名称 (2次ナリカ 漏洩警報盤)	配管				「状態表示灯PorN」		「2次系Na漏えい警報」		出力	77-41st	布設図	70-7st	J B図	以下のITV No へ信号が出力 できること		
					ブザー	ランプ	ブザー	ランプ		77-41st 表示	197. 検出器表示	検出器表示				
R-404-2	配管	管理	P	P TB-1-13	鳴動する こと。	点灯する こと。	—	—	出力できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	—	良	平成8年 12月4日
			N	N TB-1-14	鳴動する こと。	点灯する こと。	—	—	出力できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	—		
			P	P TB-1-13	鳴動する こと。	点灯する こと。	鳴動する こと。	点灯する こと。	出力できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	—		
			N	N TB-1-14	鳴動する こと。	点灯する こと。	鳴動する こと。	点灯する こと。	出力できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	—		
R-405-1	配管	管理	P	P TB-1-15	鳴動する こと。	点灯する こと。	—	—	出力できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	—	良	平成8年 12月4日
			N	N TB-1-16	鳴動する こと。	点灯する こと。	—	—	出力できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	—		
			P	P TB-1-15	鳴動する こと。	点灯する こと。	鳴動する こと。	点灯する こと。	出力できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	—		
			N	N TB-1-16	鳴動する こと。	点灯する こと。	鳴動する こと。	点灯する こと。	出力できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	—		
R-405-2	配管	管理	P	P TB-1-17	鳴動する こと。	点灯する こと。	—	—	出力できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	—	良	平成8年 12月4日
			N	N TB-1-18	鳴動する こと。	点灯する こと。	—	—	出力できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	—		
			P	P TB-1-17	鳴動する こと。	点灯する こと。	鳴動する こと。	点灯する こと。	出力できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	—		
			N	N TB-1-18	鳴動する こと。	点灯する こと。	鳴動する こと。	点灯する こと。	出力できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	—		
A-305	配管	管理	P	P TB-1-21	鳴動する こと。	点灯する こと。	—	—	出力できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	—	良	平成8年 12月4日
			N	N TB-1-22	鳴動する こと。	点灯する こと。	—	—	出力できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	—		
			P	P TB-1-21	鳴動する こと。	点灯する こと。	鳴動する こと。	点灯する こと。	出力できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	28, 29		
			N	N TB-1-22	鳴動する こと。	点灯する こと。	鳴動する こと。	点灯する こと。	出力できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	—		

* 1 : 確認は、本システムの端子台で実施。

メッセージ名				端子番号 (2次ナトリウム漏洩警報盤)	判定基準										結果	試験実施日	
					ブザー、ランプパネル				プリンタ	ナトリウム漏えい検出器モニタ				ITV 出力			
回路名称		区域名称			「状態表示灯 PorN」		「2次系Na漏えい警報」		出力	7行-4列	布設図	70-シート	J B図	以下のITV Noへ信号が出力できること※1			
表示灯名称 (2次ナトリウム漏洩警報盤)				ブザー	ランプ	ブザー	ランプ	7行-4列表示		7行, 検出器表示	検出器表示						
A-306	配管	状態表示灯	P	P	TB-1-23	鳴動すること。	点灯すること。	—	—	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	—	良	平成8年 12月4日
			N	N	TB-1-24	鳴動すること。	点灯すること。	—	—	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	—		
	警報	P	P	TB-1-23	鳴動すること。	点灯すること。	吹鳴すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	28			
		N	N	TB-1-24	鳴動すること。	点灯すること。	吹鳴すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	28			
弁	警報	P	P	TB-2-29	—	—	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	28, 29	良	平成8年 12月4日	
A-505-1	配管	状態表示灯	P	P	TB-1-25	鳴動すること。	点灯すること。	—	—	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	—	良	平成8年 12月4日
			N	N	TB-1-26	鳴動すること。	点灯すること。	—	—	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	—		
	警報	P	P	TB-1-25	鳴動すること。	点灯すること。	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	25, 26, 27			
		N	N	TB-1-26	鳴動すること。	点灯すること。	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	25, 26, 27			
弁	警報	P	P	TB-2-30	—	—	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	27	良	平成8年 12月4日	
A-505-2	配管	状態表示灯	P	P	TB-1-27	鳴動すること。	点灯すること。	—	—	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	—	良	平成8年 12月4日
			N	N	TB-1-28	鳴動すること。	点灯すること。	—	—	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	—		
	警報	P	P	TB-1-27	鳴動すること。	点灯すること。	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	27			
		N	N	TB-1-28	鳴動すること。	点灯すること。	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	27			

*1: 確認は、本システムの端子台で実施。

メッセージ名				端子番号 (2次ナトリウム 漏洩警報盤)	判定基準										結果	試験 実施日	
回路名称		区域名称	非管理		ブザー、ランプパネル				プリンタ	ナトリウム漏えい検出器モニタ				ITV 出力			
表示灯名称 (2次ナトリウム 漏洩警報盤)	状態表示灯				「状態表示灯PorN」		「2次系Na漏えい警報」		出力	77-リスト	布設図	70-シート	J B図	以下のITV No. へ信号が出力 できること*1			
					ブザー	ランプ	ブザー	ランプ		77-7表示	77.検出器表示	検出器表示					
S-303-1 S-304	P	N	非管理	P	TB-2-1	鳴動すること。	点灯すること。	—	—	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	—	良	平成8年 12月4日
				N	TB-2-2	鳴動すること。	点灯すること。	—	—	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	—		
	警報	P	TB-2-1	鳴動すること。	点灯すること。	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	22				
S-303-2 S-304	P	N	非管理	P	TB-2-3	鳴動すること。	点灯すること。	—	—	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	—	良	平成8年 12月4日
				N	TB-2-4	鳴動すること。	点灯すること。	—	—	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	—		
	警報	P	TB-2-3	鳴動すること。	点灯すること。	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	22				
		N	TB-2-4	鳴動すること。	点灯すること。	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	22				
弁	警報	P	TB-3-28	—	—	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	22	良	平成8年 12月4日		
S-305-1	P	N	非管理	P	TB-2-5	鳴動すること。	点灯すること。	—	—	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	—	良	平成8年 12月4日
				N	TB-2-6	鳴動すること。	点灯すること。	—	—	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	—		
	警報	P	TB-2-5	鳴動すること。	点灯すること。	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	23				
		N	TB-2-6	鳴動すること。	点灯すること。	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	—				

*1: 確認は、本システムの端子台で実施。

メッセージ名				端子番号 (2次側の 漏洩警報盤)	判定基準										結果	試験 実施日	
回路名称		区域名称	端子番号		ブザー、ランプパネル				プリンタ	ナトリウム漏えい検出器モニタ				ITV 出力			
表示灯名称 (2次側の 漏洩警報盤)	配管				「状態表示灯PorN」		「2次系Na漏えい警報」		出力	7-444	布設図	70-シート	J B図	以下のITV No. へ信号が出力 できること①			
					ブザー	ランプ	ブザー	ランプ		7-444 表示	17. 検出器表示	検出器表示					
S-305-2	配管	状態表示灯	P	P	TB-2-7	鳴動すること。	点灯すること。	—	—	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	—	良	平成8年 12月4日
			N	N	TB-2-8	鳴動すること。	点灯すること。	—	—	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	—		
	弁	警報	P	P	TB-2-7	鳴動すること。	点灯すること。	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	23		
			N	N	TB-2-8	鳴動すること。	点灯すること。	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	23		
S-212-1	配管	状態表示灯	P	P	TB-2-9	鳴動すること。	点灯すること。	—	—	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	—	良	平成8年 12月4日
			N	N	TB-2-10	鳴動すること。	点灯すること。	—	—	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	—		
	弁	警報	P	P	TB-2-9	鳴動すること。	点灯すること。	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	22, 23, 24		
			N	N	TB-2-10	鳴動すること。	点灯すること。	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	22, 23, 24		
S-212-2	配管	状態表示灯	P	P	TB-2-11	鳴動すること。	点灯すること。	—	—	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	—	良	平成8年 12月4日
			N	N	TB-2-12	鳴動すること。	点灯すること。	—	—	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	—		
	弁	警報	P	P	TB-2-11	鳴動すること。	点灯すること。	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	24		
			N	N	TB-2-12	鳴動すること。	点灯すること。	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	24		

*1: 確認は、本システムの端子台で実施。

メッセージ名				端子番号 (2次ナトリウム漏洩警報盤)	判定基準										結果	試験 実施日	
回路名称		区域名称	非管理		ブザー、ランプパネル				プリンタ 出力	ナトリウム漏えい検出器モニタ				ITV 出力 以下のITV No. へ信号が出力 できること*1			
表示灯名称 (2次ナトリウム 漏洩警報盤)	配管				「状態表示灯PorN」		「2次系Na漏えい警報」			出力	77-411	布設図	70-7				J B図
					ブザー	ランプ	ブザー	ランプ	77-411表示		107, 検出器表示	検出器表示					
S-212-3	配管	状態表示灯	P	P	TB-2-13	鳴動すること。	点灯すること。	—	—	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	—	良	平成8年 12月4日
			N	N	TB-2-14	鳴動すること。	点灯すること。	—	—	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	—		
	警報	P	P	TB-2-13	鳴動すること。	点灯すること。	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	24			
		N	N	TB-2-14	鳴動すること。	点灯すること。	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	24			
弁	警報	P	P	TB-3-27	—	—	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	24	良	平成8年 12月4日	
S-409	配管	状態表示灯	P	P	TB-2-15	鳴動すること。	点灯すること。	—	—	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	—	良	平成8年 12月4日
			N	N	TB-2-16	鳴動すること。	点灯すること。	—	—	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	—		
	警報	P	P	TB-2-15	鳴動すること。	点灯すること。	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	13, 14			
		N	N	TB-2-16	鳴動すること。	点灯すること。	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	—			
S-416	配管	状態表示灯	P	P	TB-2-17	鳴動すること。	点灯すること。	—	—	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	—	良	平成8年 12月5日
			N	N	TB-2-18	鳴動すること。	点灯すること。	—	—	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	—		
	警報	P	P	TB-2-17	鳴動すること。	点灯すること。	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	15, 16			
		N	N	TB-2-18	鳴動すること。	点灯すること。	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	—			

*1: 確認は、本システムの端子台で実施。

メッセージ名 回路名称				端子番号 (2次ナトリウム漏洩警報盤)	判定基準										結果	試験 実施日		
					ブザー、ランプパネル				プリンタ 出力	ナトリウム漏えい検出器モニタ				ITV 出力 以下のITV No. へ信号が出力 できること※1				
					「状態表示灯PorN」		「2次系Na漏えい警報」			7-11外 7-11内 表示	布設図 17. 検出器表示	70-70T	J B 図 検出器表示					
表示灯名称 (2次ナトリウム漏洩警報盤)		区域名称		ブザー	ランプ	ブザー	ランプ											
S-413-1	配管	状態表示灯	P	非管理	P	TB-2-19	鳴動すること。	点灯すること。	—	—	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	—	良	平成8年 12月5日
			N		TB-2-20	鳴動すること。	点灯すること。	—	—	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	—			
	警報	P	TB-2-19		鳴動すること。	点灯すること。	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	14				
		N	TB-2-20		鳴動すること。	点灯すること。	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	—				
S-413-2	配管	状態表示灯	P	非管理	P	TB-2-21	鳴動すること。	点灯すること。	—	—	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	—	良	平成8年 12月5日
			N		TB-2-22	鳴動すること。	点灯すること。	—	—	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	—			
		警報	P		TB-2-21	鳴動すること。	点灯すること。	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	14			
			N		TB-2-22	鳴動すること。	点灯すること。	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	—			
	弁	警報	P		TB-3-29	—	—	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	14			
			N		TB-3-29	—	—	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	—			
S-415	配管	状態表示灯	P	非管理	P	TB-2-23	鳴動すること。	点灯すること。	—	—	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	—	良	平成8年 12月5日
			N		TB-2-24	鳴動すること。	点灯すること。	—	—	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	—			
		警報	P		TB-2-23	鳴動すること。	点灯すること。	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	15			
			N		TB-2-24	鳴動すること。	点灯すること。	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	—			
	弁	警報	P		TB-3-30	—	—	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	15			
			N		TB-3-30	—	—	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	—			

*1: 確認は、本システムの端子台で実施。

メッセージ名				端子番号 (2次ナトリウム 漏洩警報盤)	判定基準										結果	試験 実施日	
回路名称		区域名称	P N		ブザー、ランプパネル				プリンタ	ナトリウム漏えい検出器モニタ				ITV出力			
表示灯名称 (2次ナトリウム 漏洩警報盤)	配管				「状態表示灯PorN」		「2次系Na漏えい警報」		出力	7-4リスト	布設図	70-シート	J B図	以下のITV No. へ信号が出力 できること ¹			
					ブザー	ランプ	ブザー	ランプ		7-4表示	107, 検出器表示	検出器表示					
S-508-1	配管	状態表示灯	P	P	TB-3-1	鳴動すること。	点灯すること。	—	—	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	—	良	平成8年 12月5日
			N	N	TB-3-2	鳴動すること。	点灯すること。	—	—	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	—		
	警報	P	P	TB-3-1	鳴動すること。	点灯すること。	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	3, 8, 9			
		N	N	TB-3-2	鳴動すること。	点灯すること。	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	—			
S-508-2	弁	警報	非管理	P	TB-4-26	—	—	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	3, 8	良	平成8年 12月5日
S-509	配管	状態表示灯	P	P	TB-3-5	鳴動すること。	点灯すること。	—	—	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	—	良	平成8年 12月5日
			N	N	TB-3-6	鳴動すること。	点灯すること。	—	—	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	—		
	警報	P	P	TB-3-5	鳴動すること。	点灯すること。	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	9			
		N	N	TB-3-6	鳴動すること。	点灯すること。	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	—			
弁	警報	P	P	TB-4-27	—	—	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	9	良	平成8年 12月5日	
S-601	配管	状態表示灯	P	P	TB-3-7	鳴動すること。	点灯すること。	—	—	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	—	良	平成8年 12月5日
			N	N	TB-3-8	鳴動すること。	点灯すること。	—	—	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	—		
	警報	P	P	TB-3-7	鳴動すること。	点灯すること。	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	3, 4			
		N	N	TB-3-8	鳴動すること。	点灯すること。	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	—			
弁	警報	P	P	TB-4-28	—	—	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	3, 4	良	平成8年 12月5日	

* 1 : 確認は、本システムの端子台で実施。

メッセージ名				端子番号 (2次側から 漏洩警報盤)	判定基準										結果	試験 実施日	
回路名称		区域名称	非管理		ブザー、ランプパネル				プリンタ	ナトリウム漏えい検出器モニタ				ITV 出力			
表示灯名称 (2次側から 漏洩警報盤)	状態表示灯				「伏態表示灯 PorN」		「2次系Na漏えい警報」		出力	77-41st	布設図	70-シート	J B図	以下のITV No へ信号が出力 できること11			
					ブザー	ランプ	ブザー	ランプ		77-7表示	77. 検出器表示	検出器表示					
S-602	配管	P	P	TB-3-9	鳴動する こと。	点灯する こと。	—	—	出力できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	—	良	平成8年 /2月5日	
		N	N	TB-3-10	鳴動する こと。	点灯する こと。	—	—	出力できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	—			
	井	警報	P	P	TB-3-9	鳴動する こと。	点灯する こと。	鳴動する こと。	点灯する こと。	出力できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。			3, 5
			N	N	TB-3-10	鳴動する こと。	点灯する こと。	鳴動する こと。	点灯する こと。	出力できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。			3, 5
S-412	配管	P	P	TB-3-11	鳴動する こと。	点灯する こと。	—	—	出力できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	—	良	平成8年 /2月5日	
		N	N	TB-3-12	鳴動する こと。	点灯する こと。	—	—	出力できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	—			
	井	警報	P	P	TB-3-11	鳴動する こと。	点灯する こと。	鳴動する こと。	点灯する こと。	出力できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。			8, 9
			N	N	TB-3-12	鳴動する こと。	点灯する こと。	鳴動する こと。	点灯する こと。	出力できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。			8, 9
S-403	配管	P	P	TB-3-13	鳴動する こと。	点灯する こと。	—	—	出力できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	—	良	平成8年 /2月5日	
		N	N	TB-3-14	鳴動する こと。	点灯する こと。	—	—	出力できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	—			
	井	警報	P	P	TB-3-13	鳴動する こと。	点灯する こと。	鳴動する こと。	点灯する こと。	出力できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。			12
			N	N	TB-3-14	鳴動する こと。	点灯する こと。	鳴動する こと。	点灯する こと。	出力できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。			12

*1: 確認は、本システムの端子台で実施。

メッセージ名				端子番号 (2次ナトリウム漏洩警報盤)		判定基準										結果	試験 実施日	
回路名称		区域名称	P			ブザー、ランプパネル				プリンタ	ナトリウム漏えい検出器モニタ				ITV 出力			
表示灯名称 (2次ナトリウム漏洩警報盤)						「状態表示灯PorN」	「2次系Na漏えい警報」		出力	75-414	布設図	70-707	J B 図	以下のITV No.へ信号が出力できること*1				
		ブザー	ランプ	ブザー	ランプ	70-707 表示	17, 検出器表示	検出器表示										
S-419	配管	非管理	状態表示灯	P	P	TB-3-15	鳴動すること。	点灯すること。	—	—	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	—	良	平成8年 12月5日
			N	N	TB-3-16	鳴動すること。	点灯すること。	—	—	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	—			
			警報	P	P	TB-3-15	鳴動すること。	点灯すること。	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	17		
				N	N	TB-3-16	鳴動すること。	点灯すること。	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	—		
S-505	配管	非管理	状態表示灯	P	P	TB-3-17	鳴動すること。	点灯すること。	—	—	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	—	良	平成8年 12月5日
			N	N	TB-3-18	鳴動すること。	点灯すること。	—	—	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	—			
			警報	P	P	TB-3-17	鳴動すること。	点灯すること。	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	1, 6, 7		
				N	N	TB-3-18	鳴動すること。	点灯すること。	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	18, 19		
S-512	配管	非管理	状態表示灯	P	P	TB-3-19	鳴動すること。	点灯すること。	—	—	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	—	良	平成8年 12月5日
			N	N	TB-3-20	鳴動すること。	点灯すること。	—	—	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	—			
			警報	P	P	TB-3-19	鳴動すること。	点灯すること。	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	2, 10, 11		
				N	N	TB-3-20	鳴動すること。	点灯すること。	鳴動すること。	点灯すること。	出力できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	表示できること。	20, 21		

*1: 確認は、本システムの端子台で実施。

メッセージ名				端子番号 (2次ナトリウム漏洩警報盤)		判定基準										結果	試験 実施日
回路名称		区域名称	ブザー、ランプパネル				プリンタ	ナトリウム漏えい検出器モニタ				ITV 出力					
表示灯名称 (2次ナトリウム漏洩警報盤)			「状態表示灯PorN」			「2次系Na漏えい警報」		出力	75-4141	布設図	70-70-1	J B 図	以下のITV No. へ信号が出力 できること*1				
		ブザー	ランプ	ブザー	ランプ	75-4141 パネリ表示	707.検出器表示		検出器表示								
1A-1	煙式	警報	非管理	P	TB-4-1	—	—	鳴動する こと。	点灯する こと。	出力できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	—	1. 18	良	平成8年 /2月5日
				N	TB-4-2												
1A-2	煙式	警報	非管理	P	TB-4-3	—	—	鳴動する こと。	点灯する こと。	出力できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	—	1. 18	良	平成8年 /2月5日
				N	TB-4-4												
2A-1	煙式	警報	非管理	P	TB-4-5	—	—	鳴動する こと。	点灯する こと。	出力できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	—	1. 19	良	平成8年 /2月5日
				N	TB-4-6												
2A-2	煙式	警報	非管理	P	TB-4-7	—	—	鳴動する こと。	点灯する こと。	出力できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	—	1. 19	良	平成8年 /2月5日
				N	TB-4-8												
1B-1	煙式	警報	非管理	P	TB-4-9	—	—	鳴動する こと。	点灯する こと。	出力できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	—	2. 20	良	平成8年 /2月5日
				N	TB-4-10												
1B-2	煙式	警報	非管理	P	TB-4-11	—	—	鳴動する こと。	点灯する こと。	出力できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	—	2. 20	良	平成8年 /2月5日
				N	TB-4-12												
2B-1	煙式	警報	非管理	P	TB-4-13	—	—	鳴動する こと。	点灯する こと。	出力できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	—	2. 21	良	平成8年 /2月5日
				N	TB-4-14												
2B-2	煙式	警報	非管理	P	TB-4-15	—	—	鳴動する こと。	点灯する こと。	出力できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	—	2. 21	良	平成8年 /2月5日
				N	TB-4-16												
AUX-1	煙式	警報	非管理	P	TB-4-19	—	—	鳴動する こと。	点灯する こと。	出力できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	—	25. 26	良	平成8年 /2月5日
				N	TB-4-20												
AUX-2	煙式	警報	非管理	P	TB-4-21	—	—	鳴動する こと。	点灯する こと。	出力できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	表示できる こと。	—	25. 26	良	平成8年 /2月5日
				N	TB-4-22												

*1: 確認は、本システムの端子台で実施。

自主点検記録

動燃責任者	坂井 英.
動燃実施者	小川 徹, 上田多生豊
試験年月日	平成 8 年 / 2 月 5 日
試験対象	2次系Na漏えい監視支援システム
試験項目	再発警報試験
<p>1. 記 録</p> <p>詳細は、別紙「再発警報試験記録」のとおり。</p> <p>2. 判定基準</p> <p>最初の警報（保持回路）に引続いて、他のエリアの警報要因を入力した場合、「2次系Na漏えい警報」ブザーの再鳴動やランプが点灯し、「ナトリウム漏えい検出器モニタ」等で、それが確認できること。</p> <p>3. 判 定</p> <p>合格</p>	
備 考	

再発警報試験記録

試験項目	判定基準	結果
再発警報試験	最初の警報（保持回路）に引続いて、他のエリアの警報要因を入力した場合、「2次系Na漏えい警報」ブザーの再鳴動やランプが点灯し、「ナトリウム漏えい検出器モニタ」等で、それが確認できること。	良

Ⅲ. 火災報知システム（警報表示機能）の点検

1. 目的

本システムは、ナトリウム漏えい検知の補助的手段として活用できるようにするため、室内の個々の火災報知器の作動状況や時系列等が、専用のモニタに画像表示できるように機能を改善し、当直長が直接確認できる場所にこれを設置したものである。また、2報目以降の警報も認識できるよう改善している（警報の再発機能）。

本点検は、今回改善した火災報知システムの警報表示機能について、健全性を確認するために実施したものである。

2. 点検内容

模擬警報信号を火災報知器より入力して、画像表示モニタの警報表示機能及び警報の再発機能についての検査を実施する。

3. 点検実施日

平成8年11月15日

4. 点検結果

警報表示機能及び警報の再発機能について正しく機能することを確認した。点検結果を点検記録Ⅲ-1に示す。

自主点検記録

動燃責任者	収井 茂
動燃実施者	長井秋則、飛田茂治
試験年月日	平成8年11月15日
試験対象	火災感知器モニタ
試験項目	警報表示機能試験
<p>1. 記録</p> <p>詳細は、別紙試験記録のとおり。</p> <p>2. 判定基準</p> <p>各々の火災警報要因の入力で、別紙試験記録の「確認項目」の機能を有すること。</p> <p>3. 判定</p> <p>合格</p>	
備考	

火災検出器		確 認 項 目	結 果	検 査 日
アドレス	部屋№ (部屋名称)			
61	S-125 (7F-特発電機室№1)	<p>(1) 防災監視盤より火報復旧信号を入力する。 <small>(確認内容)</small> 火災感知器モニタの警報ブザーが停止すると、検出器が「赤点灯」から「白点灯」になること。</p> <p>(2) 火災感知器モニタで「音響止」をクリックする。 <small>(確認内容)</small> 火災感知器モニタの警報ブザーが停止すると、検出器が「赤点灯」から「赤点灯」になること。</p> <p>(3) 防災監視盤で火報復旧信号を復旧する。 <small>(確認内容)</small> 検出器が「赤点灯」から「白点灯」になること。</p>	良	平成 8 年 11 月 15 日
62				
63				
64				
65	S-126 (7F-特前室)			
66				
67	S-127 (7F-特発電機油圧室)			
68	S-128 (7F-特発電機油圧室)			
69	S-129 (機器搬入エリア)			
70				
71				
72	S-130 (7F-特発電機室№2)			
73				
74				
75				
76				
77				
78				
79				
80	S-129 (機器搬入エリア)			
81	欠番			
82				
83	S-201 (一般系電源盤)			
84				
85				
86				
87				
88				
89				
90				
91				
92				
93				
94				
95				
96				
97				
98				
99				
100				
101				
102	S-202 (変圧器室№1)			
103				
104	S-203 (変圧器室№2)			
105				
106	S-204 (ダクトスペースA)			
107	S-205 (前室№3)			
108	S-206 (ファン室№1)			
109				
110				
111				
112				
113	S-207 (ファン室№2)			
114				
115	S-208 (ダクトスペースB)			
116	S-209 (前室№1)			
117	S-211 (倉庫)			
118	S-212 (2次系ポンプ室)			
119				
120				

火災検出器		確認項目	結果	検査日
アドレス	部屋№ (部屋名称)			
121	S-212 (2次系7F7F2室)		良	
122				
123				
124	S-214 (前室№2)			
125	S-215 (パイプシャフト室)			
126	S-216 (ナトリウム留点検査A)			
127	S-217 (ナトリウム留室A)			
128	S-218 (ナトリウム留室B)			
129	S-219 (ナトリウム留点検査B)			
130	S-220 (ボイラー室)			
131				
132				
133				
134				
135				
136				
137	S-221 (機器搬入エリア)			
138				
139				
140				
141				
142				
143				
144	S-222 (ボイラー制御室)			
145	S-223 (ケーブル室)			
146				
147	S-224 (油タンク室廊下)			
148				
149				
150				
151	S-225 (油タンク室№1)			
151	S-226 (油タンク室№2)			
152	S-227 (油タンク室№3)			
152	S-228 (油タンク室№4)			
153	S-221 (機器搬入エリア)			
154	欠番			
155				
156	S-303 (2次系配管室A)			
157				
158				
159	S-304 (2次系配管路A)			
160	S-305 (2次系配管室B)			
161				
162				
163	S-306 (2次系配管路B)			
164	欠番			
165				
166	S-401 (風洞室A)			
167				
168				
169				
170				
171				
172				
173				
174	S-402 (2次系電気室)			
175				
176				
177				
178	S-403 (主冷却機室A)			
179				

(1) 防災監視盤より火報復数信号を入力する。
(確認内容) 火災感知器が動作すると、監視盤の表示が「赤点灯」になること。
(確認結果) 火災感知器が動作した際、監視盤の表示が「赤点灯」になった。

(2) 火災感知器モニタで「音響止」をクリックする。
(確認内容) 火災感知器モニタの音響ブザーが停止するとともに、検出器が「赤点灯」から「赤点灯」になること。
(確認結果) 音響ブザーが停止するとともに、検出器の表示が「赤点灯」から「赤点灯」になった。

(3) 防災監視盤で火報復数信号を復旧する。
(確認内容) 火災感知器が「赤点灯」から「白点灯」になること。
(確認結果) 火災感知器の表示が「赤点灯」から「白点灯」になった。

平成 8 年 11 月 15 日

火災検出器		確 認 項 目	結果	検 査 日
アドレス	部屋№ (部屋名称)			
180	S-403 (主冷却機室A)		良	
181				
182				
183				
184				
185				
186				
187				
188				
189				
190	S-404 (ダクトスペースA)		良	
191				
192	S-405 (機器機入路)		良	
193				
194	S-406 (ダクトスペースB)		良	
195				
196	S-407 (ガス供給系前室)		良	
197				
198	S-408 (ガス供給系前室)		良	
199				
200				
201				
202				
203				
204				
205	S-409 (前室№1)		良	
206				
207				
208				
209	S-412 (2次系パナリス室A)		良	
210				
211	S-413 (2次系配管室A)		良	
212				
213				
214	S-414 (2次系パナリス室B)		良	
215				
216				
217	S-415 (2次系配管室B)		良	
218				
219				
220	S-416 (前室№2)		良	
221				
222				
223	S-417 (パイプシャフト室)		良	
224	S-419 (主冷却機室B)		良	
225				
226				
227				
228				
229				
230				
231				
232				
233				
234				
235				
236	S-420 (風洞室B)		良	
237				
238				
239				
240				

(1) 防災監視盤より火報復数信号を入力する。

(確認内容) 火災に発生すると「赤点灯」になること。
 火災発生時に、検出器が「赤点灯」になること。
 火災発生時に、検出器が「赤点灯」になること。

(2) 火災感知器モニタで「音響止」をクリックする。

(確認内容) 火災発生時に、検出器が「赤点灯」になること。
 火災発生時に、検出器が「赤点灯」になること。

(3) 防災監視盤で火報復数信号を復旧する。

(確認内容) 火災発生時に、検出器が「赤点灯」になること。
 火災発生時に、検出器が「赤点灯」になること。

平成 8 年 11 月 15 日

火災検出器		一 確 認 項 目	結果	検 査 日
アドレス	設置地 (部屋名称)			
362	S F F B I F	(1) 防災監視盤より火報模擬信号を入力する。 (確認内容) 監視盤の警報ブザーがなると同時に監視画面に火災マークが表示され、監視画面の境界線が赤点灯になること。 (2) 火災感知器モニターで「音響止」をクリックする。 (確認内容) 監視画面の警報ブザーが停止すると同時に、火災マークが「赤点灯」から「青点灯」になること。 (3) 防災監視盤で火報模擬信号を復旧する。 (確認内容) 監視画面の境界線が「赤点灯」から「青点灯」になり、火災マークが消去すること。	良 良 良 良	平成 8 年 11 月 15 日
363	S F F 1 F ・ 2 F			
364	S F F 冷却池室			
365	S F F 地下階段			
366	S F F 地上階段			

火災検出器		種 認 項 目	結 果	検 査 日																		
アドレス	部屋No (部屋名称)																					
61	S-125 (7F-特設電機室No1)		良																			
62																						
63																						
64																						
65	S-126 (7F-特設前室)					良																
66																						
67	S-127 (7F-特設電機油圧室)								良													
67	S-128 (7F-特設電機油圧室)																					
68	S-129 (機器搬入エリア)											良										
69																						
70																						
71																						
72														S-130 (7F-特設電機室No2)		良						
73																						
74																						
75																						
76																						
77																						
78																						
79																						
80	S-129 (機器搬入エリア)		良																			
81	欠番																					
82																						
83	S-201 (一般系電源盤室)																	良				
84																						
85																						
86																						
87																						
88																						
89																						
90																						
91																						
92																						
93																						
94																						
95																						
96																						
97																						
98																						
99																						
100																						
101																						
102	S-202 (変圧器室No1)		良																			
103																						
104	S-203 (変圧器室No2)					良																
105																						
106	S-204 (ダクトスペースA)								良													
107	S-205 (前室No3)																					
108	S-206 (ファン室No1)											良										
109																						
110																						
111																						
112																						
113	S-207 (ファン室No2)														良							
114																						
115	S-208 (ダクトスペースB)																	良				
116	S-209 (前室No1)																					
117	S-211 (倉庫)																				良	
118	S-212 (2次系油圧室)																					
119																						
120																						

前頁より継続して同様の確認を行う。

平成 27 年 11 月 15 日

火災検出器		確 認 項 目	結 果	検 査 日
アドレス	部屋№ (部屋名称)			
121	S-212 (2次系炉房)			
122				
123				
124	S-214 (前室№2)			
125	S-215 (パイプシャフト室)			
126	S-216 (ナトリウム溜点検査A)			
127	S-217 (ナトリウム溜室A)			
128	S-218 (ナトリウム溜室B)			
129	S-219 (ナトリウム溜点検査B)			
130	S-220 (ボイラー室)			
131				
132				
133				
134				
135				
136				
137	S-221 (機器搬入エリア)			
138				
139				
140				
141				
142				
143				
144	S-222 (ボイラー制御室)			
145	S-223 (ケーブル室)			
146				
147	S-224 (油タンク室廊下)			
148				
149				
150				
151	S-225 (油タンク室№1)			
151	S-226 (油タンク室№2)			
152	S-227 (油タンク室№3)			
152	S-228 (油タンク室№4)			
153	S-221 (機器搬入エリア)			
154	欠番			
155				
156	S-303 (2次系配管室A)			
157				
158				
159	S-304 (2次系配管室A)			
160	S-305 (2次系配管室B)			
161				
162				
163	S-306 (2次系配管室B)			
164	欠番			
165				
166	S-401 (風洞室A)			
167				
168				
169				
170				
171				
172				
173				
174	S-402 (2次系電気室)			
175				
176				
177				
178	S-403 (三冷却機室A)			
179				

前頁より継続して同様の確認を行う。

平成 〇 年 〇 月 〇 日

火災検出器		検 査 項 目	結 果	検 査 日
アドレス	設置地(部屋名称)			
180	S-403 (主冷却機室A)	前頁より継続して同様の確認を行う。	良	平成 8 年 11 月 15 日
181				
182				
183				
184				
185				
186				
187				
188				
189				
190	S-404 (ダクトスペースA)			
191				
192	S-405 (機器搬入路)			
193				
194	S-406 (ダクトスペースB)			
195				
196	S-407 (ガス供給系前室)			
197				
198	S-408 (ガス供給系前室)			
199				
200				
201				
202				
203				
204				
205	S-409 (前室№1)			
206				
207				
208				
209	S-412 (2次系リフト室A)			
210				
211	S-413 (2次系配管室A)			
212				
213				
214	S-414 (2次系リフト室B)			
215				
216				
217	S-415 (2次系配管室B)			
218				
219				
220	S-416 (前室№2)			
221				
222				
223	S-417 (パイプシャフト室)			
224	S-419 (主冷却機室B)			
225				
226				
227				
228				
229				
230				
231				
232				
233				
234				
235				
236	S-420 (風消室B)			
237				
238				
239				
240				

火災検出器		確認項目	結果	検査日
アドレス	部屋No. (部屋名称)			
241	S-420 (風洞室B)		良	
242				
243				
244	欠番			
245				
246	S-501 (2次系電氣室)			
247				
248				
249				
250				
251				
252	S-502 (電氣室前室)			
253				
254	S-505 (主冷却機上部室A)			
255				
256				
257				
258	S-506 (倉庫)			
259	S-508 (2次系冷却器7197 A)			
260				
261	S-509 (2次系冷却器7197 B)			
262				
263	S-510 (パイプシャフト室)			
264	S-512 (主冷却機上部室B)			
265				
266				
267				
268	欠番			
269				
270	S-601 (2次系冷却器7277 室A)			
271				
272				
273				
274	S-602 (2次系冷却器7277 室B)			
275				
276				
277	欠番			
278				
279	S-701 (2次系循環槽7室A)			
280				
281	S-702 (2次系循環槽7室B)			
282				
283	S-703 (ファン室1)			
284	S-704 (ファン室2)			
285	IFNa 配管送風機室			
286	IFNa 配管排風機室			
287	S-210 (階段室A)			
288	S-213 (階段室B)			
289	S-301 (階段室A)			
290	S-302 (階段室B)			
291	S-507 (階段室A)			
292	S-511 (階段室B)			
293	S-104 (前室1)			
294	S-119 (前室2)			
295	S-209 (前室1)			
296	S-214 (前室2)			
297	S-409 (前室1)			
298	S-416 (前室2)			
299	S-505 (主冷却機上部室A)			
300	S-512 (主冷却機上部室B)			

前頁より継続して同様の確認を行う。

平成 8 年 11 月 15 日

火災検出警		確認項目	結果	検査日
アドレス	部屋No (部屋名称)			
301	R-101~9・202		○	平成 〇 年 〇 月 〇 日
302	R-201・203~6他			
303	R-301・303・304			
304	R-401・403他			
305	R-402・404他			
306	R-407・409			
307	R-501・601			
308	A-105~116			
309	A-104			
310	A-101~103			
311	A-117・118			
312	A-309・410			
313	A-209~212			
314	A-207・208・307			
315	A-201~206			
316	A-215			
317	付B2F~1F東側階段			
318	A-308			
319	A-305・306			
320	A-301~304			
321	A-311			
322	A-213・214他			
323	A-406~409			
324	A-405			
325	A-401・403・404			
326	A-413~415			
327	A-412			
328	A-402			
329	A-509・512B			
330	A-506・507A他			
331	A-504・505			
332	A-501・502他			
333	EVI, 2・PS-N			
334	付A503・602階段西側			
335	A-604・606			
336	A-510・511B他			
337	A-603・707・708			
338	A-704~706			
339	A-701			
340	A-710~712			
341	付出入管理室			
342	メンテナンス B2F			
343	メンテナンス B1F			
344	メンテナンス 1F			
345	メンテナンス 2F・3F			
346	メンテナンス 地下階段			
347	メンテナンス 地上階段			
348	廃棄物処理施設			
349	旧廃棄物処理建家1F東側			
350	旧廃棄物処理建家1F中央			
351	旧廃棄物処1Fタンク・貯蔵室			
352	旧廃棄物処理建家 B1F			
353	第3倉庫			
354	第2SFF			
355	I R A F			
356	運転訓練施設			
357	運転管理棟			
358	モニタリング建家			
359	ポンプ小屋			
360	危険物建家			
361	SFF B2F			

前頁より継続して同様の確認を行う。
なお、本項から確認内容が以下のように
変わる。

(1) 防災監視盤より火報検知信号を順次入力
する。
(確認内容) 警報が「赤点滅」から「赤点灯」
となる。火災に発生すると、火災検知器が
「赤点灯」を点灯し、警報が「赤点滅」から
「赤点灯」になる。

(2) 火災検知器モニタで「音停止」をクリック
する。
(確認内容) 警報が「赤点滅」から「赤点灯」
になる。火災に発生すると、火災検知器が
「赤点灯」を点灯し、警報が「赤点滅」から
「赤点灯」になる。

平成 〇 年 〇 月 〇 日

火災検出器		確認項目	結果	検査日
アドレス	設置地(設置名称)			
362	S F F B 1 F	前頁より連続して同様の確認を行う。	待 機 中	平成 8 年 11 月 15 日
363	S F F 1 F・2 F			
364	S F F 冷却池裏			
365	S F F 地下階段			
366	S F F 地上階段			

IV. I T V 設備の点検

1. 目的

本システムは、2次系ナトリウム機器・配管が設置された部屋・区画およびDHX等にI T Vを新設して、ナトリウム漏えい検出システム及び火災報知システムと連動させて、ナトリウム漏えい検知の補助的手段とするとともに、現場の状況やその推移を中央制御室から直接監視できるように設置したものである。

本点検は、今回設置したI T V装置について、健全性を確認するために実施したものである。

2. 点検内容

外観検査、据付検査、作動検査、及び連動検査を実施する。外観検査では、カメラ、モニタ、コントローラ等、システムを構成する各機器について機能上有害な損傷・変形がないこと、据付検査では、所定の位置に正しく据付けられていることを確認した。作動検査では、カメラのズーム機能、照明の点灯、コントローラの制御機能等について正しく作動することを確認した。また、連動検査では、火災感知器及びナトリウム漏えい検出器からの模擬警報信号により、監視モニタが当該箇所のカメラに正しく切り替わることを確認する。

3. 点検実施日

平成8年10月21・29日, 11月15・18日

4. 点検結果

各検査において、良好であることを確認した。点検結果を点検記録IV-1に示す。

自主点検記録

動燃責任者	坂井 茂
動燃実施者	長井秋則, 南 尚之
試験年月日	平成8年10月21・29日, 11月15・18日
試験対象	監視カメラシステム
試験項目	外観検査, 据付検査, 作動検査, 連動検査
<p>1. 記 録</p> <p>詳細は、別紙試験記録のとおり。</p> <p>2. 判定基準</p> <p>別紙試験記録の「判定基準」の機能を有すること。</p> <p>3. 判 定</p> <p>合格</p>	
備 考	

外観検査記録

1. カメラ(1/2)

カメラ No.	カメラ設置場所	判定基準	結果	検査年月日
1	主冷却機ダクト出口(A)	機能上有害な損傷、変形がないこと。	良	平成8年10月21日
2	主冷却機ダクト出口(B)		良	
3	2次系主循環ポンプ室A, B S-701, 702		良	
4	2次系オーバーフロー室(A) S-601		良	
5	2次系オーバーフロー室(B) S-602		良	
6	風洞室(A) S-401		良	
7	主冷却機上部室(A) S-505		良	
8	2次系コールドトラップエリア(A) S-508		良	
9	2次系コールドトラップエリア(B) S-509		良	
10	主冷却機上部室(B) S-512		良	
11	風洞室(B) S-420		良	
12	主冷却機下部室(A) S-403		良	
13	前室 No. 1 S-409		良	
14	2次系配管室(A) S-413		良	
15	2次系配管室(B) S-415		良	
16	前室 No. 2 S-416		良	
17	主冷却機下部室(B) S-419		良	
18	主冷却機内部(1A) S-403		良	

外観検査記録

1. カメラ (2/2)

カメラ No.	カメラ設置場所	判定基準	結果	検査年月日
19	主冷却機内部 (2A) S-403	機能上有害な損傷、変形がない こと。	良	平成8年10月21日
20	主冷却機内部 (1B) S-419		良	
21	主冷却機内部 (2B) S-419		良	
22	2次系配管室 (A) S-303, 304		良	
23	2次系配管室 (B) S-305, 306		良	
24	2次系ダンプタンク室 S-212		良	
25	補助冷却機ダクト出口 A-802		良	
26	補助冷却機内部 A-505		良	
27	補助冷却系室機器室 A-505		良	
28	配管路 (コールドB) A-306		良	
29	配管路 (コールドA) A-305	良		

2. モニター

モニター No.	モニター設置場所	判定基準	結果	検査年月日
1	中央制御室 A-712	機能上有害な損傷、変形がない こと。	良	平成8年10月21日
2	中央制御室 A-712		良	

3. コントローラー

No.	コントローラー設置場所	判定基準	結果	検査年月日
1	中央制御室 A-712	機能上有害な損傷、変形がない こと。	良	平成8年10月21日
2	中央制御室 A-712		良	

外観検査記録

4. 制御装置

No.	制御装置設置場所	判定基準	結果	検査年月日
1	ケーブル室 A-605	機能上有害な損傷、変形がないこと。	良	平成8年10月21日

5. カメラ回転台

No.	カメラ回転台設置場所	判定基準	結果	検査年月日
1	主冷却機ダクト出口(A)	機能上有害な損傷、変形がないこと。	良	平成8年10月21日
2	主冷却機ダクト出口(B)		良	
3	補助冷却機ダクト出口 A-802		良	
4	2次系配管室(A) S-303, 304		良	
5	2次系配管室(B) S-305, 306		良	

6. レシーバー

No.	レシーバー設置場所	判定基準	結果	検査年月日
1	主冷却機ダクト出口(A)	機能上有害な損傷、変形がないこと。	良	平成8年10月21日
2	主冷却機ダクト出口(B)		良	
3	補助冷却機ダクト出口 A-802		良	
4	主冷却機内部(1A) S-403		良	
5	主冷却機内部(2A) S-403		良	
6	主冷却機内部(1B) S-419		良	
7	主冷却機内部(2B) S-419		良	
8	補助冷却機内部 A-505		良	

外観検査記録

7. 照明

No.	照明設置場所	判定基準	結果	検査年月日
1	主冷却機ダクト出口(A)	機能上有害な損傷、変形がないこと。	良	平成8年10月21日
2	主冷却機ダクト出口(B)		良	
3	補助冷却機ダクト出口 A-802		良	
4	主冷却機内部(1A) S-403		良	
5	主冷却機内部(2A) S-403		良	
6	主冷却機内部(1B) S-419		良	
7	主冷却機内部(2B) S-419		良	
8	補助冷却機内部 A-505		良	

8. 投光機制御盤

No.	投光機制御盤設置場所	判定基準	結果	検査年月日
1	主冷却機ダクト出口(A)	機能上有害な損傷、変形がないこと。	良	平成8年10月21日
2	主冷却機ダクト出口(B)		良	
3	補助冷却機ダクト出口 A-802		良	
4	主冷却機内部(1A) S-403		良	
5	主冷却機内部(2A) S-403		良	
6	主冷却機内部(1B) S-419		良	
7	主冷却機内部(2B) S-419		良	
8	補助冷却機内部 A-505		良	

据付検査記録

1. ドーム型コンビネーションカメラ

カメラ No.	カメラ設置場所	判定基準	結果	検査年月日
3	2次系主循環ポンプ室A, B S-701, 702	カメラ取付治具にて天井または壁にボルト等で固定据付けされていること。	良	平成8年10月29日
4	2次系オーバーフロー室(A) S-601		良	
5	2次系オーバーフロー室(B) S-602		良	
6	風洞室(A) S-401		良	
7	主冷却機上部室(A) S-505		良	
8	2次系コールドトラップエリア(A) S-508		良	
9	2次系コールドトラップエリア(B) S-509		良	
10	主冷却機上部室(B) S-512		良	
11	風洞室(B) S-420		良	
12	主冷却機下部室(A) S-403		良	
13	前室 No. 1 S-409		良	
14	2次系配管室(A) S-413		良	
15	2次系配管室(B) S-415		良	
16	前室 No. 2 S-416		良	
17	主冷却機下部室(B) S-419		良	
24	2次系ダンプタンク室 S-212		良	
27	補助冷却系室機器室 A-505		良	
28	配管路(コールドB) A-306		良	
29	配管路(コールドA) A-305		良	

据付検査記録

2. デジタルプロセス式 CCD カメラ

カメラ No.	カメラ設置場所	判定基準	結果	検査年月日
1	主冷却機ダクト出口 (A)	カメラ、レンズ、ハウジング、回転台、レシーバー、照明及び投光機制御盤が取付治具等にて固定据付けされていること。	良	平成8年10月29日
2	主冷却機ダクト出口 (B)		良	
25	補助冷却機ダクト出口 A-802		良	
18	主冷却機内部 (1A) S-403	カメラ、レンズ、ハウジング、レシーバー、照明及び投光機制御盤が取付治具等にて固定据付けされていること。	良	平成8年10月29日
19	主冷却機内部 (2A) S-403		良	
20	主冷却機内部 (1B) S-419		良	
21	主冷却機内部 (2B) S-419		良	
26	補助冷却機内部 A-505		良	
22	2次系配管室 (A) S-303, 304	カメラ、レンズ、ハウジング、回転台及びレシーバーが取付治具等にて固定据付けされていること。	良	平成8年10月29日
23	2次系配管室 (B) S-305, 306		良	

3. モニタ、コントローラー

No.	モニタ、コントローラー 設置場所	判定基準	結果	検査年月日
1	中央制御室 A-712	モニタ及びコントローラーが中央制御室の所定の位置に設置されていること。	良	平成8年10月29日
2	中央制御室 A-712		良	

4. 制御装置

No.	制御装置設置場所	判定基準	結果	検査年月日
1	ケーブル室 A-605	制御装置がキャビネット内に収納され取付治具にて設置されていること。	良	平成8年10月29日

作動検査記録

1. ドーム型コンビネーションカメラ単体

カメラ No.	カメラ設置場所	判定基準	結果	検査年月日
3	2次系主循環ポンプ室A, B S-701, 702	ズームが可能なこと。 水平旋回が可能なこと。 垂直動作が可能なこと。	良	平成8年10月29日
4	2次系オーバーフロー室(A) S-601		良	
5	2次系オーバーフロー室(B) S-602		良	
6	風洞室(A) S-401		良	
7	主冷却機上部室(A) S-505		良	
8	2次系コールドトラップ室(A) S-508		良	
9	2次系コールドトラップ室(B) S-509		良	
10	主冷却機上部室(B) S-512		良	
11	風洞室(B) S-420		良	
12	主冷却機下部室(A) S-403		良	
13	前室 No. 1 S-409		良	
14	2次系配管室(A) S-413		良	
15	2次系配管室(B) S-415		良	
16	前室 No. 2 S-416		良	
17	主冷却機下部室(B) S-419		良	
24	2次系ダンプタンク室 S-212		良	
27	補助冷却系室機器室 A-505		良	
28	配管路(コールドB) A-306		良	
29	配管路(コールドA) A-305		良	

作動検査記録

2. デジタルプロセス式 CCD カメラ

カメラ No.	カメラ設置場所	判定基準	結果	検査年月日
1	主冷却機ダクト出口 (A)	ズームが可能なこと。 水平旋回が可能なこと。 垂直動作が可能なこと。 ワイパーが動作すること。 照明の点灯が自動 (入・切) で行えること。又、手動でも行えること。	良	平成8年10月29日
2	主冷却機ダクト出口 (B)		良	
25	補助冷却機ダクト出口 A-802		良	
22	2次系配管室 (A) S-303, 304	ズームが可能なこと。 水平旋回が可能なこと。 垂直動作が可能なこと。	良	平成8年10月29日
23	2次系配管室 (B) S-305, 306		良	
18	主冷却機内部 (1A) S-403	照明の点灯 (入・切) が手動で行えること。	良	平成8年10月29日
19	主冷却機内部 (2A) S-403		良	
20	主冷却機内部 (1B) S-419		良	
21	主冷却機内部 (2B) S-419		良	
26	補助冷却機内部 A-505		良	

3. モニタ. コントローラー. 制御装置単体

モニタ No.	据付け設置場所	判定基準	結果	検査年月日
1	中央制御室 A-712	※ 判定基準参照	良	平成8年10月29日
2	中央制御室 A-712		良	
3	ケーブル室 A-605		良	

※判定基準

- ・ モニタの映像表示時間が、任意の時間で切替えが可能なこと。
- ・ コントローラーにて、29台のカメラの制御が可能なこと。
- ・ ズーム・フォーカスが行えること。
- ・ 屋内外の照明点灯が行えること。
- ・ ワイパー作動が行えること。
- ・ 照度の感度アップが行えること。

連動検査

1. 火災感知器からの警報信号による切替

(1) 主冷却建屋

火災感知器の模擬動作信号を出力することで、監視モニタが火災感知器設置場所のカメラに切り替わることを確認する。

火災感知器番号	設置場所	判定基準	モニタ	結果	検査年月日
209	S-701 S-702	S-701, 702 2ジケイ イッシュポンプシツが表示され る。	監視	良	平成8年11月5日
210				良	
214				良	
215				良	
279				良	
280				良	
281				良	
282				良	
270	S-601	S-601 オーバフロー タンクシツ(A)が表示され る。	監視	良	平成8年11月5日
271				良	
272				良	
273				良	
274	S-602	S-602 オーバフロー タンクシツ(B)が表示され る。	監視	良	平成8年11月5日
275				良	
276				良	
166	S-401	S-401 フウドウシツ(A) が表示される。	監視	良	平成8年11月5日
167				良	
168				良	
169				良	
170				良	
171				良	
172				良	
173				良	
183				良	
184				良	

連動検査

火災感知器番号	カラ 設置場所	判 定 基 準	モニタ	結 果	検 査 年 月 日
185	S-401	S-401 フウドウシツ (A) が表示される。	監視	良	平成8年11月15日
186				良	
187				良	
188				良	
189				良	
254	S-505	S-505 シュレイキヤクキジョウブシツ (A) が表示される。	監視	良	平成8年11月15日
255				良	
256				良	
257				良	
259	S-508	S-508 コールドトラップエリア (A) が表示される	監視	良	平成8年11月15日
260				良	
261	S-509	S-509 コールドトラップエリア (B) が表示される	監視	良	平成8年11月15日
262				良	
228	S-512	S-512 シュレイキヤクキジョウブシツ (B) が表示される。	監視	良	平成8年11月15日
232				良	
264				良	
265				良	
266				良	
267				良	
229	S-420	S-420 フウドウシツ (B) が表示される。	監視	良	平成8年11月15日
230				良	
231				良	
233				良	
234				良	
235				良	
236				良	
237				良	
238				良	
239				良	

連動検査

火災感知器番号	かみ 設置場所	判 定 基 準	モニタ	結 果	検 査 年 月 日
240	S-420	S-420 フウドウシツ (B) が表示される。	監視	良	平成8年11月15日
241				良	
242				良	
243				良	
178	S-403	S-403 シュレイキャクキカブシツ (A) が表示される。	監視	良	平成8年11月15日
179				良	
180				良	
181				良	
205	S-409	S-409 マエシツNo.1 が表示される。	監視	良	平成8年11月15日
206				良	
207				良	
208				良	
211	S-413	S-413 2ジケイハイカンシツ (A) が表示される。	監視	良	平成8年11月15日
212				良	
213				良	
217	S-415	S-415 2ジケイハイカンシツ (B) が表示される。	監視	良	平成8年11月15日
218				良	
219				良	
220	S-416	S-416 マエシツNo.1 が表示される。	監視	良	平成8年11月15日
221				良	
222				良	
224	S-419	S-419 シュレイキャクキカブシツ (B) が表示される。	監視	良	平成8年11月15日
225				良	
226				良	
227				良	
156	S-303	S-303, 304 ハイカンシツ (A) が表示される。	監視	良	平成8年11月15日
157				良	
158				良	
159				良	

連動検査

火災感知器番号	カ行 設置場所	判 定 基 準	モニタ	結 果	検 査 年 月 日
160	S-305	S-305, 306 ハイカンシツ (B) が表示される。	監視	良	平成8年11月5日
161				良	
162				良	
163				良	
118	S-212	S-212 ダンプタンクシツが表示される。	監視	良	平成8年11月5日
119				良	
120				良	
121				良	
122				良	
123				良	

(2) 原子炉付属建家

警報区域の模擬動作信号を出力することで、監視モニタが警報区域に設置されているカメラに切り替わることを確認する。

火災感知器番号	カ行 設置場所	判 定 基 準	モニタ	結 果	検 査 年 月 日
警報区域 30 331	A-505	A-505 2ジイホジョケイキキシツが表示される。	監視	良	平成8年11月5日
警報区域 14 319 319	A-305 A-306	A-305 ハイカンロ (A) と A-306 ハイカンロ (B) が切替えられて表示される。	監視	良	平成8年11月5日

連動検査

2. 2次系ナトリウム漏えいからの警報信号による切替

(1) 主冷却建屋

2次系ナトリウム漏えいの模擬動作信号を出力することで、監視モニタが漏えい検出器設置場所のカメラに切り替わることを確認する。

ナトリウム漏えい信号	カメラ設置場所	判定基準	モニタ	結果	検査年月日
S-601 弁	S-701 S-702 S-601	S-701, 702 2ジ ケイシュポンプシツとS- 601 オーバフロータン クシツ(A)が切替えられ て表示される。	監視	良	平成8年11月8日
S-601 配管			監視	良	
S-602 弁	S-701 S-702 S-602	S-701, 702 2ジ ケイシュポンプシツとS- 602 オーバフロータン クシツ(B)が切替えられ て表示される。	監視	良	平成8年11月8日
S-602 配管			監視	良	
S-512 配管	S-512 S-420 S-419 主冷却建家 屋上西	S-512 シュレイキャ クジョウブシツ(B)と S-420 フウドシツ(B) が切替えられて表示さ れる。	監視	良	平成8年11月8日
		シュレイキャクキナイブ(1B)とシュレイキャクキナイブ(2B)とシュレイキャクダクトデグチ(1B 2B)が切替えられて表示される。	DHX	良	平成8年11月8日
S-509 弁	S-509	S-509 コールドトラ ップエリア(B)が表示さ れる。	監視	良	平成8年11月8日
S-509 配管			監視	良	
S-508-1 配管	S-701 S-702 S-508 S-509	S-701, 702 2ジ ケイシュポンプシツとS- 508 コールドトラッ プエリア(A)とS-509 コールドトラップエリア(B)が切替えられて表示される。	監視	良	平成8年11月8日

連動検査

トリム 漏えい信号	かり 設置場所	判 定 基 準	モニタ	結 果	検 査 年 月 日
S-508-2 弁	S-701 S-702 S-508	S-701, 702 2ジ ケイシュポンプシツとS- 508コールドトラップエ リア(A)が切替えられて 表示される。	監 視	良	平成8年11月8日
S-505 配管	S-505 S-401 S-403 主冷却建家 屋上東	S-505 シュレイキャ クキジョウシツ(A)と S-401 フウドウシツ (A)が切替えられて表示 される。	監 視	良	平成8年11月8日
		シュレイキャクキナイブ (1A)とシュレイキャク キ(2A)とシュレイキャ クキオクジョウ(1A, 2 A)が切替えられて表示さ れる	DHX	良	平成8年11月8日
S-419 配管	S-419	S-419 シュレイキャ クキカブ(B)が表示され る。	監 視	良	平成8年11月8日
S-416 配管	S-416 S-415	S-416 マエシツNo 2とS-415 2ジケ イハイカンシツ(B)が切 替えられて表示される。	監 視	良	平成8年11月8日
S-415 弁	S-415	S-415 2ジケイハイ カンシツ(B)が表示され る。	監 視	良	平成8年11月8日
S-415 配管				良	
S-413-1 配管	S-413	S-413 2ジケイハイ カンシツ(A)が表示され る。	監 視	良	平成8年11月8日
S-413-2 弁	S-413	S-413 2ジケイハイ カンシツ(A)が表示され る。	監 視	良	平成8年11月8日
S-413-2 配管				良	

連動検査

トリカ 漏えい信号	カウ 設置場所	判 定 基 準	モニタ	結 果	検 査 年 月 日
S-412 配管	S-508 S-509	S-508 コールドトラップエリア(A)とS-509 コールドトラップエリア(B)が切替えられて表示される。	監視	良	平成8年11月8日
S-409 配管	S-413 S-409	S-413 2ジケイハイカンシツ(A)とS-409 マエシツNo. 1が切替えられて表示される。	監視	良	平成8年11月8日
S-403 配管	S-403	S-403 シュレイキャクキカブ(A)シツが表示される。	監視	良	平成8年11月8日
S-305-1 配管	S-305	S-305, 306 ハイカンシツ(B)が表示される。	監視	良	平成8年11月8日
S-305-2 弁	S-305	S-305, 306 ハイカンシツ(B)が表示される。	監視	良	平成8年11月8日
S-305-2 配管				良	
S-303-1 304 配管	S-303	S-303, 304 ハイカンシツ(A)が表示される。	監視	良	平成8年11月8日
S-303-2 304 弁	S-303	S-303, 304 ハイカンシツ(A)が表示される。	監視	良	平成8年11月8日
S-303-2 304 配管				良	
S-212-1 配管	S-212 S-303 S-305	S-212 ダンプタンクシツとS-303, 304 ハイカンシツ(A)とS-305, 306 ハイカンシツ(B)が切替えられて表示される。	監視	良	平成8年11月8日
S-212-2 配管	S-212	S-212 ダンプタンクシツが表示される。	監視	良	平成8年11月8日

連動検査

トリム 漏えい信号	がら 設置場所	判 定 基 準	モニタ	結 果	検 査 年 月 日
S-212-3 弁	S-212	S-212 ダンプタンク シツが表示される。	監 視	良	平成8年11月8日
S-212-3 配管				良	
1A1	主冷却建家 屋上西 S-403	シュレイキヤクキナイブ (1A)とシュレイキヤク キダクトデグチ(1A, 2 A)が切替えられて表示さ れる	DHX	良	平成8年11月8日
1A2	主冷却建家 屋上西 S-403	シュレイキヤクキナイブ (1A)とシュレイキヤク キダクトデグチ(1A, 2 A)が切替えられて表示さ れる	DHX	良	平成8年11月8日
2A1	主冷却建家 屋上西 S-403	シュレイキヤクキナイブ (2A)とシュレイキヤク キダクトデグチ(1A, 2 A)が切替えられて表示さ れる	DHX	良	平成8年11月8日
2A2	主冷却建家 屋上西 S-403	シュレイキヤクキナイブ (2A)とシュレイキヤク キダクトデグチ(1A, 2 A)が切替えられて表示さ れる	DHX	良	平成8年11月8日
1B1	主冷却建家 屋上東 S-419	シュレイキヤクキナイブ (1B)とシュレイキヤク キダクトデグチ(1B, 2 B)が切替えられて表示さ れる	DHX	良	平成8年11月8日
1B2	主冷却建家 屋上東 S-419	シュレイキヤクキナイブ (1B)とシュレイキヤク キダクトデグチ(1B, 2 B)が切替えられて表示さ れる	DHX	良	平成8年11月8日

連動検査

トリム 漏えい信号	かり 設置場所	判 定 基 準	モニタ	結 果	検 査 年 月 日
2 B 1	主冷却建家 屋上東 S - 4 1, 9	シュレイキヤクキナイブ (2 B) とシュレイキヤク キダクトデグチ (1 B, 2 B) が切替えられて表示さ れる。	DHX	良	平成8年11月8日
2 B 2	主冷却建家 屋上東 S - 4 1 9	シュレイキヤクキナイブ (2 B) とシュレイキヤク キダクトデグチ (1 B, 2 B) が切替えられて表示さ れる。	DHX	良	平成8年11月8日
A-505-1 弁	A - 5 0 5	A-505 2ジホジョケ イキキシツが表示される。	監 視	良	平成8年11月8日
A-505-1 配管	A - 5 0 5 原子炉付属 建家屋上	A-505 2ジホジョケ イキキシツが表示される。	監 視	良	平成8年11月8日
		ホジョレイキヤクキナイブ と ホジョレイキヤクダ クトデグチが切替えられて表 示される。	DHX	良	平成8年11月8日
A-505-2 配管	A - 5 0 5	A-505 2ジホジョケ イキキシツが表示される。	監 視	良	平成8年11月8日
A-305 配管	A - 3 0 5 A - 3 0 6	A-305 ハイカンロ (A) とA-306 ハイカン ロ (B) が切替えられて 表示される。	監 視	良	平成8年11月8日
A-306 弁	A - 3 0 5 A - 3 0 6	A-305 ハイカンロ (A) とA-306 ハイカン ロ (B) が切替えられて 表示される。	監 視	良	平成8年11月8日
A-306 配管	A - 3 0 6	A-306 ハイカンロ (B) が表示される。	監 視	良	平成8年11月8日
AUX-1	A - 5 0 5 原子炉付属 建家屋上	ホジョレイキヤクキナイブ と ホジョレイキヤクダ クトデグチが切替えられて表 示される。	DHX	良	平成8年11月8日

連動検査

トリウム漏えい信号	から 設置場所	判 定 基 準	モニタ	結 果	検 査 年 月 日
AUX-2	A-505 原子炉付属 建家屋上	ホジヨレイキャクキナイブ と ホジヨレイキャクダク トデグチが切替えられて表 示される	DHX	良	平成8年11月18日

V. 受け樋の点検

1. 目的

本受け樋は、漏えいナトリウムの飛散によるコンクリート壁等への影響を防止するために、原子炉附属建物A-305, 306 室（配管路コールドA, B）、主冷却機建物S-212 室（ダンプタンク室）等のナトリウム配管下部に増設したものである。

本点検は、今回増設したナトリウム受け樋について、健全性を確認するために実施したものである。

2. 点検内容

目視により外観検査，及び員数検査を実施し、機能上有害な損傷，脱落等がないこと及び所定の箇所に、所定の員数のナトリウム受け樋が設置されていることを確認する。

3. 点検実施日

平成 8 年 1 1 月 8 日

4. 点検結果

各々の受け樋について、良好であることを確認した。点検結果を点検記録V-1に示す。

社 内 自 主 検 査 記 録

承認	担当
(坂井)	(小川)

検 査 年 月 日	平成 8 年 11 月 8 日
検 査 対 象	ナトリウム受け樋
検 査 項 目	外 観 検 査 員 数 検 査
<p>1. 要 領</p> <p>1.1 外観検査 ナトリウム受け樋の外観を目視にて検査し、異常のないことを確認する。</p> <p>1.2 員数検査 ナトリウム受け樋の設置員数を検査し、所定の員数であることを確認する。</p> <p>2. 判定基準</p> <p>2.1 外観検査 機能上有害な損傷、脱落等がないこと。</p> <p>2.2 員数検査 所定の箇所に、所定の員数のナトリウム受け樋が設置されていること。</p> <p>3. 結 果</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">合 格</p> <p>4. 記 録</p> <p>詳細は、別紙「外観検査記録」、 「員数検査記録」のとおり。</p>	
備 考	

外観検査記録

検査年月日		平成 8 年 11 月 8 日	
機器名称	部屋No.	判定基準	結果
ナトリウム受け樋	A-305 配管路 (J-1A)	機能上有害な損傷、 脱落等がないこと。	良
	A-306 配管路 (J-1B)		良
	A-505 補助冷却系 (2次側) 機器室		良
	S-212 2次系ダンプタンク室		良
	S-601 2次系オーバフロータンク室(A)		良
	S-602 2次系オーバフロータンク室(B)		良
備考			

員数検査記録

検査年月日		平成 8 年 11 月 8 日		
部屋No.	樋体数	配管系統名	判定基準	結果
A-305 配管路(コールドA)	2	2次冷却系高温側 2次冷却系低温側	所定の箇所に、所定の員数のナトリウム受け樋が設置されていること。	良
A-306 配管路(コールドB)	3	2次冷却系高温側 2次冷却系低温側 補助冷却2次系低温側		良
A-505 補助冷却系(2次側) 機器室	3	補助冷却2次系高温側 補助冷却2次系低温側 2次充填ドレン系		良
S-212 2次系ダンプタンク室	1	2次純化系		良
S-601 2次系オーバーフロー タンク室(A)	1	2次充填ドレン系		良
S-602 2次系オーバーフロー タンク室(B)	1	2次充填ドレン系		良
備 考				

VI. 防煙ダンパ及びインターロックの点検

1. 目的

本防煙ダンパは、火災感知器が火災を検知した場合に、これに連動してダンパを閉止し、煙の拡大を防ぐために設けられた設備であり、併せて送・排風機も停止させる。

本点検は、今回増設した防煙ダンパの動作及び火災警報による防煙ダンパ閉止及び送・排風機停止のインターロック機能について、健全性を確認するために実施したものである。

2. 点検内容

増設した防煙ダンパについては、外観、据付及び寸法の検査を実施する。また、火災感知器からの信号による防煙ダンパ閉止及び送・排風機停止のインターロック試験を実施する。

3. 点検実施日

平成8年10月31日，11月15日

4. 点検結果

各々の検査において、良好であることを確認した。点検結果を点検記録VI-1及びVI-2に示す。

表 防煙ダンパ点検記録

実施日：H8.10.31

実施者：飛田茂治

ダンパNo.	仕様寸法	外観検査	据付状況検査	寸法検査
99-2-70	400×800	良	良	良
99-2-71	400×800	良	良	良
DP92-100F	600×600 (外径 500φ)	良	良	良
DP92-101F	900×1000	良	良	良
DP92-102F	500×500	良	良	良
DP92-103F	500×500	良	良	良
DP92-104F	650×650 (外径 550φ)	良	良	良
DP92-105F	800×1000	良	良	良
DP92-106F	400×600	良	良	良
DP92-107F	400×600	良	良	良

判定基準

- ・外観検査
ダンパの外観を目視で検査し、異常がないこと。
- ・据付状況検査
ダンパの据付状況を目視で検査し、異常がないこと。
- ・寸法検査
ダンパの寸法が、仕様寸法の±1.5mm 以内であること。

自主点検記録

動燃責任者	坂井 茂
動燃実施者	長井秋則、飛田茂治
試験年月日	平成 8 年 11 月 15 日
試験対象	主冷・原付空調換気設備一括操作盤
試験項目	防煙ダンパ閉止および送・排風機停止の インターロック機能試験
<p>1. 記 録</p> <p>詳細は、別紙試験記録のとおり。</p> <p>2. 判定基準</p> <p>各々の火災警報要因の入力で、別紙試験記録の「確認内容」の機能を有すること。</p> <p>3. 判 定</p> <p>合格</p>	
備 考	

防火区画	火災検出器アドレス	確認項目	結果	検査日	
3 区画	S-506 (倉庫)	7Flx: 258	(1) 防内以現を灯999... (2) (床) (3) (4) (特記)	良 良 良 良 良 良 良 良 良 良 良 良 良 良 良	平成8年11月15日
	S-405 (機器搬入路)	7Flx: 192			
		7Flx: 193			
	S-407 (ガス供給系前室)	7Flx: 196			
		7Flx: 197			
	S-408 (ガス供給系前室)	7Flx: 198			
		7Flx: 199			
		7Flx: 200			
		7Flx: 201			
		7Flx: 202			
		7Flx: 203			
		7Flx: 204			
	S-409 (前室№1)	7Flx: 205			
		7Flx: 206			
		7Flx: 207			
	7Flx: 208				
	7Flx: 297				
	7Flx: 220				
	7Flx: 221				
	7Flx: 222				
	7Flx: 298				
4 区画	S-220 (ボイラー室)	7Flx: 130	(1) 防内以現を灯999... (2) (床) (3) (4) (特記)	良 良 良 良 良 良 良 良 良 良 良 良 良 良 良 良 良 良 良 良	平成8年11月15日
		7Flx: 131			
		7Flx: 132			
		7Flx: 133			
		7Flx: 134			
		7Flx: 135			
		7Flx: 136			
		ハロン			
	S-221 (機器搬入エリア)	7Flx: 137			
		7Flx: 138			
		7Flx: 139			
		7Flx: 140			
		7Flx: 141			
		7Flx: 142			
		7Flx: 143			
		7Flx: 153			
	S-222 (ボイラー制御室)	7Flx: 144			
	S-223 (ケーブル室)	7Flx: 145			
		7Flx: 146			
	S-224 (油タンク室廊下)	7Flx: 147			
		7Flx: 148			
	7Flx: 149				
	7Flx: 150				
S-225 (油タンク室№1)	7Flx: 151				
S-226 (油タンク室№2)	7Flx: 152				
	ハロン				
S-227 (油タンク室№3)	7Flx: 152				
S-228 (油タンク室№4)	ハロン				

防火区画	火災検出器アドレス	確認項目	結果	検査日	
5区画	S-303 (2次系配管室A)	7F42: 156	(1) 確認 (2) 確認 (3) 確認 (4) 確認 (特記)	良 良 良 良 良 良 良 良 良 良 良 良 良 良 良 良 良 良	平成 〇 年 〇 月 〇 日
		7F42: 157			
		7F42: 158			
	S-304 (2次系配管室A)	7F42: 159			
	S-305 (2次系配管室B)	7F42: 160			
		7F42: 161			
		7F42: 162			
	S-306 (2次系配管室B)	7F42: 163			
	S-205 (前室No3)	7F42: 107			
	S-206 (ファン室No1)	7F42: 108			
		7F42: 109			
		7F42: 110			
		7F42: 111			
		7F42: 112			
	S-207 (ファン室No2)	7F42: 113			
		7F42: 114			
	S-209 (前室No1)	7F42: 116			
		7F42: 295			
S-211 (倉庫)	7F42: 117				
S-212 (2次系制御室)	7F42: 118				
	7F42: 119				
	7F42: 120				
	7F42: 121				
	7F42: 122				
	7F42: 123				
S-214 (前室No2)	7F42: 124				
	7F42: 296				
6区画	S-201 (一般系電源室)	7F42: 83	(1) 確認 (2) 確認 (3) 確認 (4) 確認 (特記)	良 良 良 良 良 良 良 良 良 良 良 良 良 良 良	平成 〇 年 〇 月 〇 日
		7F42: 84			
		7F42: 85			
		7F42: 86			
		7F42: 87			
		7F42: 88			
		7F42: 89			
		7F42: 90			
		7F42: 91			
		7F42: 92			
		7F42: 93			
		7F42: 94			
		7F42: 95			
		7F42: 96			
		7F42: 97			
	7F42: 98				
	7F42: 99				
	7F42: 100				
	7F42: 101				
S-202 (変圧器室No1)	7F42: 102				
	7F42: 103				
S-203 (変圧器室No2)	7F42: 104				
	7F42: 105				

防火区画	火災検出器アドレス	確認項目	結果	検査日	
7区画	S-125 (7-1号発電機室No.1)	7Flz: 58	(1) 防煙用送風機より火報機送信機番号を入力する。 (注) 防煙用送風機が「閉」状態であることを確認する。 防煙用送風機が「開」状態であることを確認する。 999-1-45 (S-105) 999-1-46 (S-130) 999-1-48 (S-130) 999-1-49 (S-120) 999-1-50 (S-105) 999-1-51 (S-125) 999-1-53 (S-125)	良	平成 9 年 11 月 15 日
		7Flz: 59			
		7Flz: 60			
		7Flz: 61			
		7Flz: 62			
		7Flz: 63			
		7Flz: 64			
		ハロン			
	S-126 (7-1号前室)	7Flz: 65	(2) 防煙用送風機が「閉」状態であることを確認する。 防煙用送風機が「開」状態であることを確認する。 D/G送風機 (B98-2A) (P-1) D/G送風機 (B98-2B) (P-1) D/G送風機 (B98-3A) (P-2) D/G送風機 (B98-3B) (P-2)	良	
		7Flz: 66			
	S-127 (7-1号発電機油圧室) S-128 (7-1号発電機油圧室)	7Flz: 67	(3) ランパが「赤」点灯する。 (注) 防煙用送風機が「閉」状態であることを確認する。 防煙用送風機が「開」状態であることを確認する。 999-1-45 (S-105) 999-1-46 (S-130) 999-1-48 (S-130) 999-1-49 (S-120) 999-1-50 (S-105) 999-1-51 (S-125) 999-1-53 (S-125)	良	
		ハロン			
	S-129 (機器搬入エリア)	7Flz: 68	(4) 主冷器付送風機が「起動」することを確認する。 (注) 防煙用送風機が「閉」状態であることを確認する。 防煙用送風機が「開」状態であることを確認する。 999-1-45 (S-105) 999-1-46 (S-130) 999-1-48 (S-130) 999-1-49 (S-120) 999-1-50 (S-105) 999-1-51 (S-125) 999-1-53 (S-125)	良	
		7Flz: 69			
		7Flz: 70			
		7Flz: 71			
		7Flz: 80			
	S-130 (7-1号発電機室No.2)	7Flz: 72	(特記) 初回の「防煙ダンパの「閉」状態を確認する。 以降は、火報機を「動作」させ、防煙ダンパが「閉」状態であることを確認する。 D/G送風機 (B98-2A) (P-1) D/G送風機 (B98-2B) (P-1) D/G送風機 (B98-3A) (P-2) D/G送風機 (B98-3B) (P-2)	良	
		7Flz: 73			
		7Flz: 74			
7Flz: 75					
7Flz: 76					
7Flz: 77					
7Flz: 78					
7Flz: 79					
ハロン					

防火区画	火災検出器アドレス	確認項目	結果	検査日
9 区画	A-306 (コールド配管路A) A-306 (コールド配管路B)	7FlA: 319	<p>良 良 良</p>	平成 8 年 11 月 15 日
	A-505 (補助冷却系機器室)	7FlA: 331		
	A-401 (アニメーション前室) A-403 (1次冷却系機器室) A-404 (ハッチ)	7FlA: 325		
		<p>(1) 確認項目 ① 防煙装置の動作確認 ② 防煙装置の動作確認 ③ 防煙装置の動作確認 (2) 防煙装置の動作確認 (3) 防煙装置の動作確認 (4) 防煙装置の動作確認 (特記) 防煙装置の動作確認</p>		

防火区分	火災検出器アドレス		確認項目	結果	検査日
主冷却機 建家	S-417 (パイプシャフト室)	7Fb2: 223	(1) 防範(確認)項目を一括操作盤の状態表示灯で監視する。 監視内容の確認。ダンパが「閉」とならないこと。 防範動作表示ランプが「点灯」しないこと。	良 良 良 良 良 良 良 良 良 良 良 良	平成A年11月15日
	S-301 (階段室A)	7Fb2: 289			
	S-302 (階段室B)	7Fb2: 290			
	S-204 (ダクトスペースA)	7Fb2: 106			
	S-208 (ダクトスペースB)	7Fb2: 116			
	S-215 (パイプシャフト室)	7Fb2: 125			
	S-216 (ナトリウム留点検査A)	7Fb2: 126			
	S-217 (ナトリウム留室A)	7Fb2: 127			
	S-218 (ナトリウム留室B)	7Fb2: 128			
	S-219 (ナトリウム留点検査B)	7Fb2: 129			
	S-210 (階段室A)	7Fb2: 287			
	S-213 (階段室B)	7Fb2: 288			
床子 建家	R-101~9・202	7Fb2: 301	(1) 防範(確認)項目を一括操作盤の状態表示灯で監視する。 監視内容の確認。ダンパが「閉」とならないこと。 防範動作表示ランプが「点灯」しないこと。	良 良 良 良 良 良 良	平成B年11月15日
	R-201・203~6他	7Fb2: 302			
	R-301・303・304	7Fb2: 303			
	R-401・403他	7Fb2: 304			
	R-402・404他	7Fb2: 305			
	R-407・409	7Fb2: 306			
	R-501・601	7Fb2: 307			
床子 東建家	A-105~116	7Fb2: 308	(1) 防範(確認)項目を一括操作盤の状態表示灯で監視する。 監視内容の確認。ダンパが「閉」とならないこと。 防範動作表示ランプが「点灯」しないこと。	良 良	平成B年11月15日
	A-104	7Fb2: 309			
	A-101~103	7Fb2: 310			
	A-117・118	7Fb2: 311			
	A-309・410	7Fb2: 312			
	A-209~212	7Fb2: 313			
	A-207・208・307	7Fb2: 314			
	A-201~208	7Fb2: 315			
	A-215	7Fb2: 316			
	付B2F~1F東側階段	7Fb2: 317			
	A-308	7Fb2: 318			
	A-301~304	7Fb2: 320			
	A-311	7Fb2: 321			
	A-213・214他	7Fb2: 322			
	A-406~409	7Fb2: 323			
	A-405	7Fb2: 324			
	A-413~415	7Fb2: 326			
	A-412	7Fb2: 327			
	A-402	7Fb2: 328			
	A-509・512B	7Fb2: 329			
	A-506・507A他	7Fb2: 330			
	A-501・502他	7Fb2: 332			
	EVI, 2・PS-N	7Fb2: 333			
	A503・602西側階段	7Fb2: 334			
	A-604・608	7Fb2: 335			
	A-510・511B他	7Fb2: 336			
	A-603・707・708	7Fb2: 337			
	A-704~708	7Fb2: 338			
	A-701	7Fb2: 339			
	A-710~712	7Fb2: 340			
付出入管理室	7Fb2: 341				
付付 建家	メンテナンス B2F	7Fb2: 342	(1) 防範(確認)項目を一括操作盤の状態表示灯で監視する。 監視内容の確認。ダンパが「閉」とならないこと。 防範動作表示ランプが「点灯」しないこと。	良 良 良 良 良 良	平成B年11月15日
	メンテナンス B1F	7Fb2: 343			
	メンテナンス 1F	7Fb2: 344			
	メンテナンス 2F・3F	7Fb2: 345			
	メンテナンス 地下階段	7Fb2: 346			
	メンテナンス 地上階段	7Fb2: 347			

防火区画	火災検出器アドレス		確認項目	結果	検査日
廃棄物 建家	廃棄物処理施設	7F4: 348	(1) 監視より火報模擬信号を入力する。 (確認) 項目を一括操作盤の状態で表示灯で 確認する。タンバが「閉止」としてないこと。 ① ② ③ 監視動作表示ランプが「点灯」しないこと。 ④ 監視動作表示ランプが「点灯」しないこと。 ⑤ 監視動作表示ランプが「点灯」しないこと。	良 良 良 良 良	平成 8 年 11 月 15 日
	旧廃棄物処理建家 1F 東側	7F4: 349			
	旧廃棄物処理建家 1F 中央	7F4: 350			
	旧廃棄物処理 1F タンク・貯蔵室	7F4: 351			
	旧廃棄物処理建家 B1F	7F4: 352			
その他	第3倉庫	7F4: 353	(1) 監視より火報模擬信号を入力する。 (確認) 項目を一括操作盤の状態で表示灯で 確認する。タンバが「閉止」としてないこと。 ① ② ③ 監視動作表示ランプが「点灯」しないこと。 ④ 監視動作表示ランプが「点灯」しないこと。 ⑤ 監視動作表示ランプが「点灯」しないこと。	良 良 良 良 良 良 良 良 良 良 良 良 良 良	平成 8 年 11 月 15 日
	第2 SFF	7F4: 354			
	I R A F	7F4: 355			
	運転訓練施設	7F4: 356			
	運転管理棟	7F4: 357			
	モニタリング建家	7F4: 358			
	ポンプ小屋	7F4: 359			
	危険物建家	7F4: 360			
	S F F B 2 F	7F4: 361			
	S F F B 1 F	7F4: 362			
	S F F 1 F・2 F	7F4: 363			
	S F F 冷却池室	7F4: 364			
	S F F 地下階段	7F4: 365			
	S F F 地上階段	7F4: 366			
欠 番		7F4: 81	(1) 監視より火報模擬信号を入力する。 (確認) 項目を一括操作盤の状態で表示灯で 確認する。タンバが「閉止」としてないこと。 ① ② ③ 監視動作表示ランプが「点灯」しないこと。 ④ 監視動作表示ランプが「点灯」しないこと。 ⑤ 監視動作表示ランプが「点灯」しないこと。	良 良 良 良 良 良 良 良 良 良	平成 8 年 11 月 15 日
		7F4: 82			
		7F4: 154			
		7F4: 155			
		7F4: 164			
		7F4: 165			
		7F4: 244			
		7F4: 245			
		7F4: 268			
		7F4: 269			
	7F4: 277				
	7F4: 278				

Ⅶ. 壁貫通部の点検

1. 目的

本設備は、各貫通部から隣接する部屋へのナトリウムエアロゾルの拡散を防止するために、ナトリウム取扱室の配管貫通部、ダクト貫通部等の間隙部を密閉化するものである。

本点検は、今回設置した壁貫通部シールについて、正しく設置されていることを確認するために実施したものである。

2. 点検内容

目視により外観検査、及び員数検査を実施し、機能上有害な損傷、脱落等がないこと及び所定の箇所に、所定の員数の壁貫通部シールが設置されていることを確認する。

3. 点検実施日

平成8年12月11日

4. 点検結果

各々の検査において、良好であることを確認した。点検結果を点検記録Ⅶ-1に示す。

社内自主検査記録

外観検査
員数検査







承認	担当
坂井	水野 隆

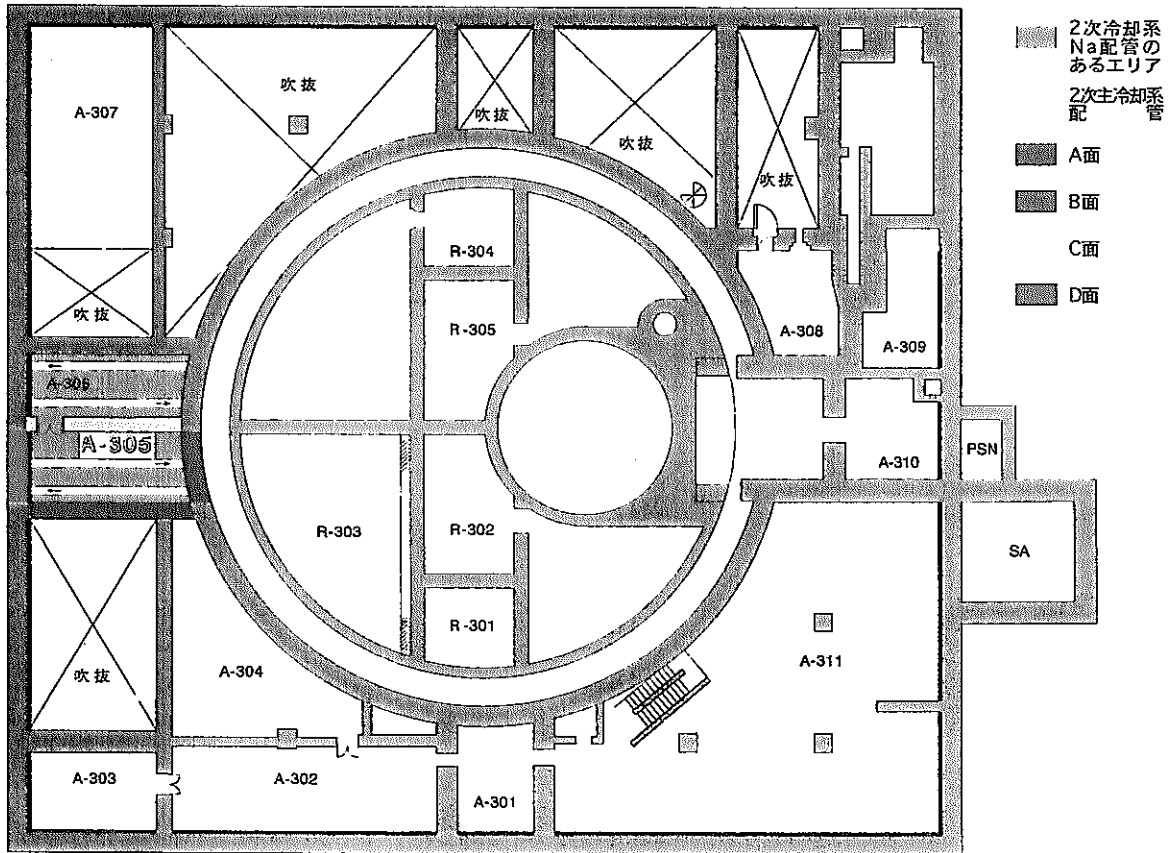
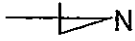
検査年月日	平成8年12月11日
検査対象	壁貫通部シール
検査項目	外観検査 員数検査
<p>1. 要領</p> <p>1.1 外観検査 壁貫通部シールの外観を目視にて検査し、異常のないことを確認する。</p> <p>1.2 員数検査 壁貫通部シールの設置員数を検査し、所定の員数であることを確認する。</p> <p>2. 判定基準</p> <p>2.1 外観検査 機能上有害な損傷、脱落がないこと。</p> <p>2.2 員数検査 所定の箇所に、所定の員数の壁貫通部シールが設置されていること。</p> <p>3. 確認方法 確認は、目視にて、外観検査、員数検査共に、まとめて行い、別紙の貫通部シールチェックシートにチェックする。</p> <p>4. 結果 合格</p> <p>5. 記録 詳細は、別紙「貫通部シールチェックシート」のとおり。</p>	

貫通部シールチェックシート (社内自主検査記録)

外観検査
員数検査

凡 例

-  2次冷却系Na配管のあるエリア
-  2次主冷却系配管
-  A面
-  B面
-  C面
-  D面



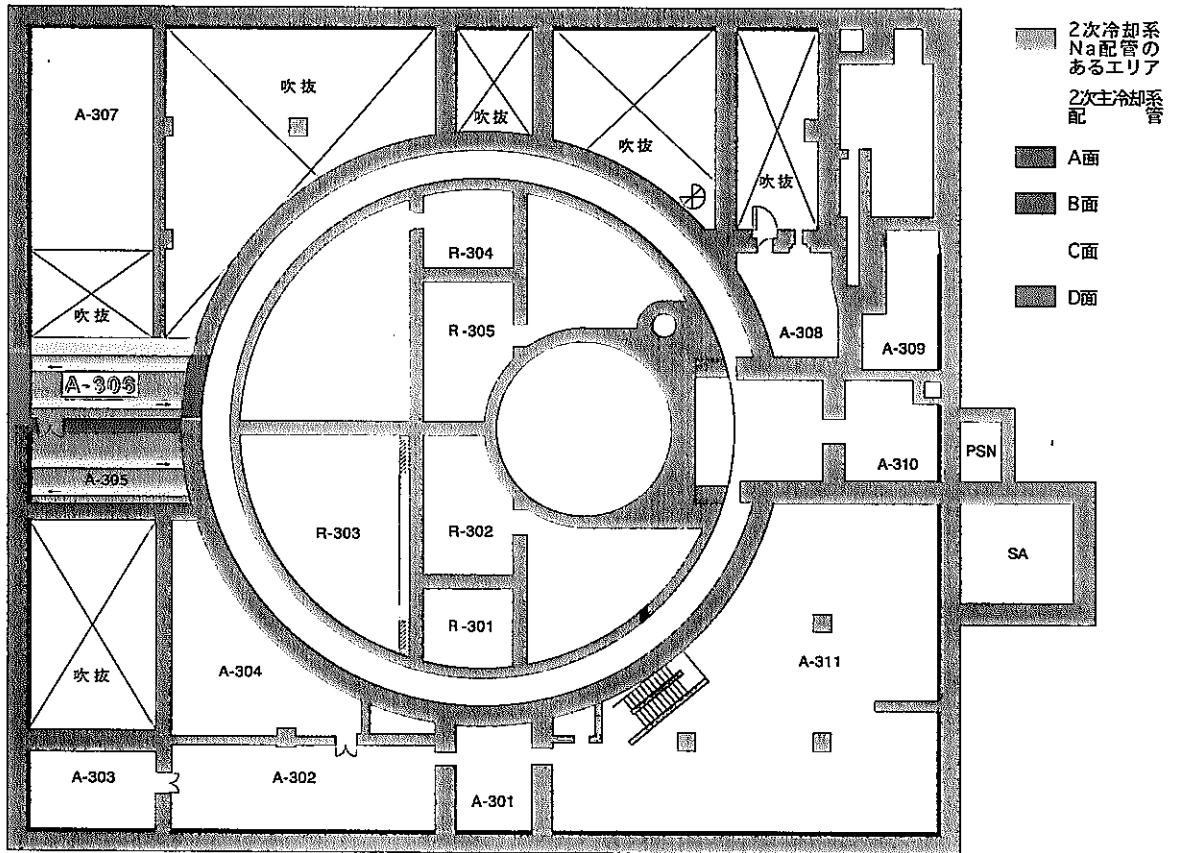
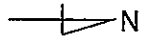
A-305 壁面貫通部の密封対策箇所数

	貫通部種類				計	確認	備考
	Na配管	空調ダクト	その他配管類等	開口部			
A面		1			1	良	
B面						/	対策なし
C面		2	2	3	7	良	
D面						/	S-304にて対応
A-305天井						/	A-505床にて対応
A-305床						/	対策なし
A-305壁貫通部密封対策箇所数					8	合格	

原子炉建家及び付属建家B1F
〔対策対象エリア：A-305〕

①

注) 本図におけるドレン管、補助系配管は、省略している。



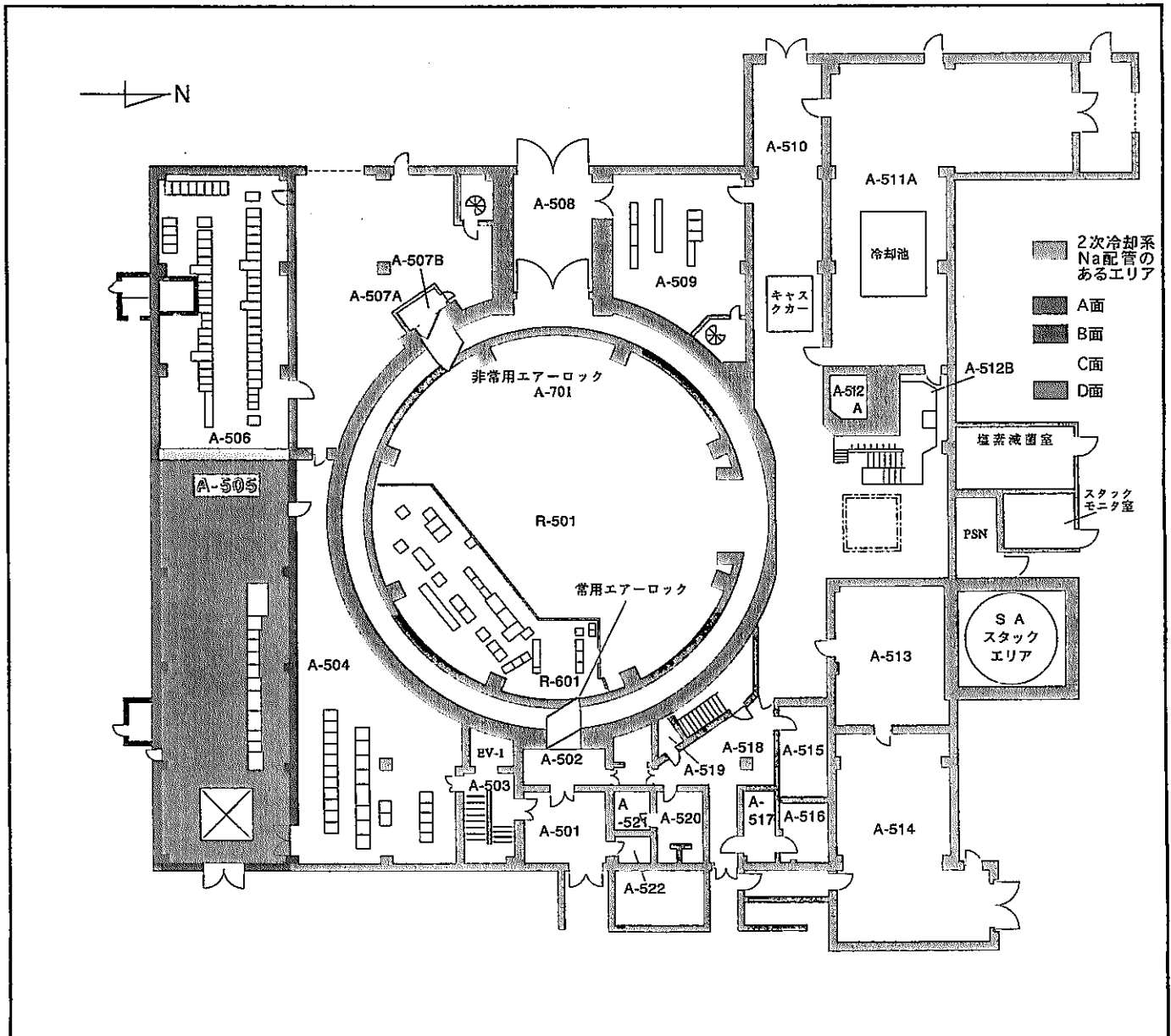
A-306壁面貫通部の密封対策箇所数

	貫通部種類				計	確認	備考
	Na配管	空調ダクト	その他配管類等	開口部			
A面			2	1	3	良	
B面						/	対策なし
C面		1	3		4	良	
D面						/	S-306にて対応
A-306天井	1		1		2	良	
A-306床						/	対策なし
A-306壁貫通部密封対策箇所数					9	合格	

原子炉建家及び付属建家B1F
 [対策対象エリア：A-306]

②

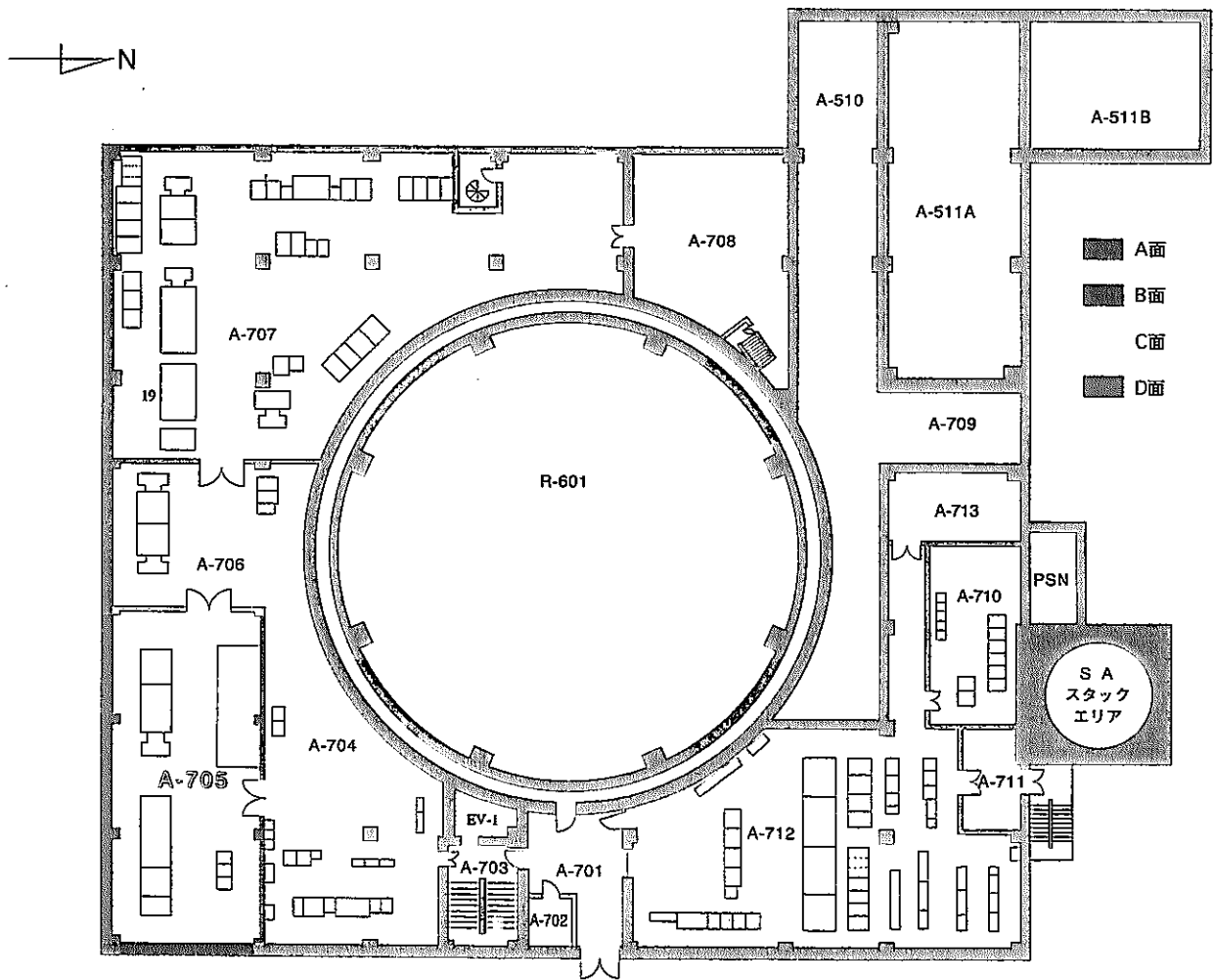
注) 本図におけるドレン管、補助系配管は、省略している。



A-505壁面貫通部の密封対策箇所数

	貫通部種類				計	確認	備考
	Na配管	空調ダクト	その他配管類等	開口部			
A面						/	対策なし
B面			1		1	良	
C面						/	対策なし
D面		1			1	良	補助冷却器 給気ダクト
A-505 天井						/	A-705 にて対応
A-505 床	3	4	1		8	良	
A-505壁貫通部密封対策箇所数				合計	10	合格	

原子炉建家及び付属建家 1F
〔対策対象エリア：A-505〕



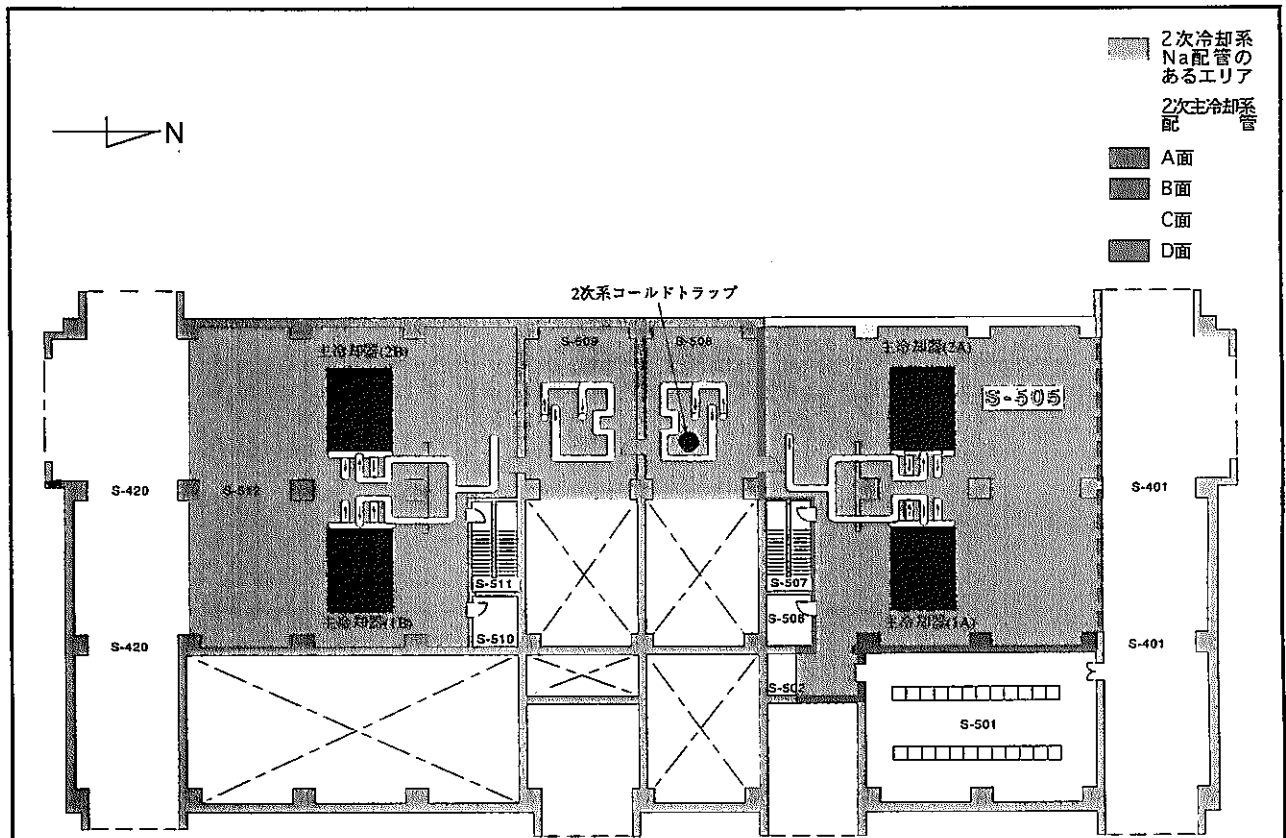
A-705壁面貫通部の密封対策箇所数

	貫通部種類				計	確認	備考
	Na配管	空調ダクト	その他配管類等	開口部			
A面						/	対策なし
B面						/	対策なし
C面						/	対策なし
D面						/	対策なし
A-705 天井						/	対策なし
A-705 床		2			2	良	
A-705壁貫通部密封対策箇所数				合計	2	合格	

原子炉建家及び附属建家 2F
 [対策対象エリア：A-705]

4

注) 本図におけるドレン管、補助系配管は、省略している。



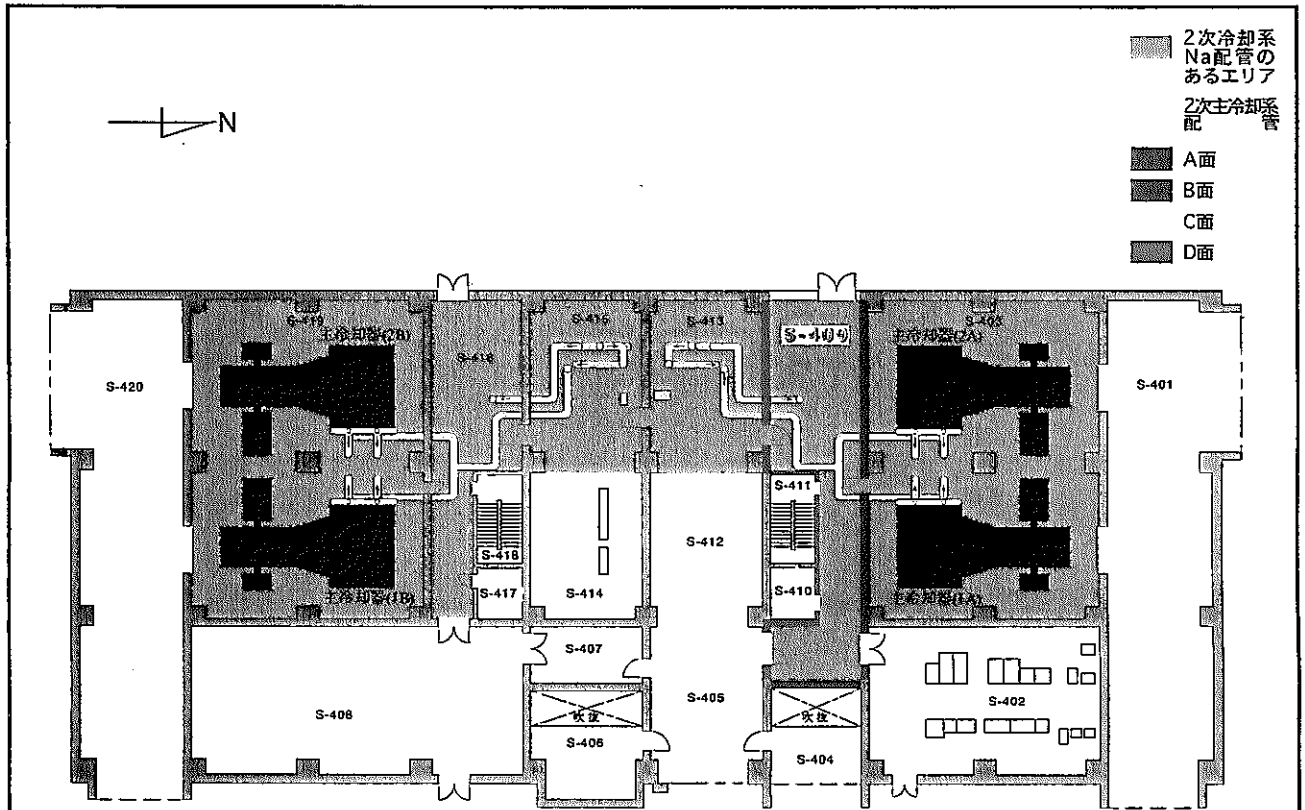
S-505壁面貫通部の密封対策箇所数

	貫通部種類				計	確認	備考
	Na配管	空調ダクト	その他配管類等	開口部			
A面						/	対策なし
B面						/	対策なし (壁なし)
C面						/	対策なし
D面	1				1	良	
S-505 天井						/	対策なし
S-505 床						/	対策なし
S-505壁貫通部密封対策箇所数				合計	1	合格	

主冷却機建家2F
〔対策対象エリア：S-505〕

⑤

注) 本図におけるドレン管は、省略している。



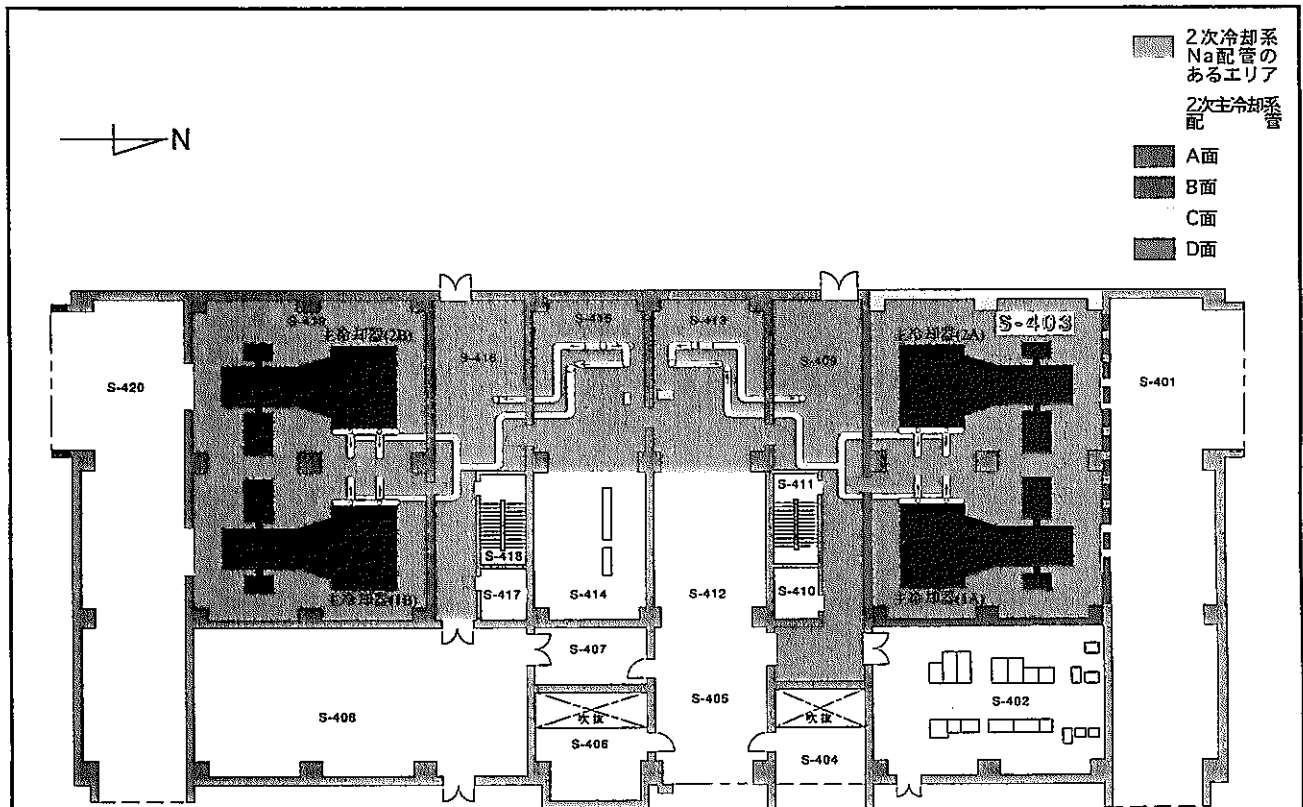
S-409壁面貫通部の密封対策箇所数

	貫通部種類				計	確認	備考
	Na配管	空調ダクト	その他配管類等	開口部			
A面						/	対策なし
B面			2		2	良	
C面						/	対策なし
D面	2		2		4	良	
S-409天井						/	対策なし
S-409床			4		4	良	
S-409壁貫通部密封対策箇所数				合計	10	合格	

主冷却機建家1F
〔対策対象エリア：S-409〕

⑥

注) 本図におけるドレン管は、省略している。



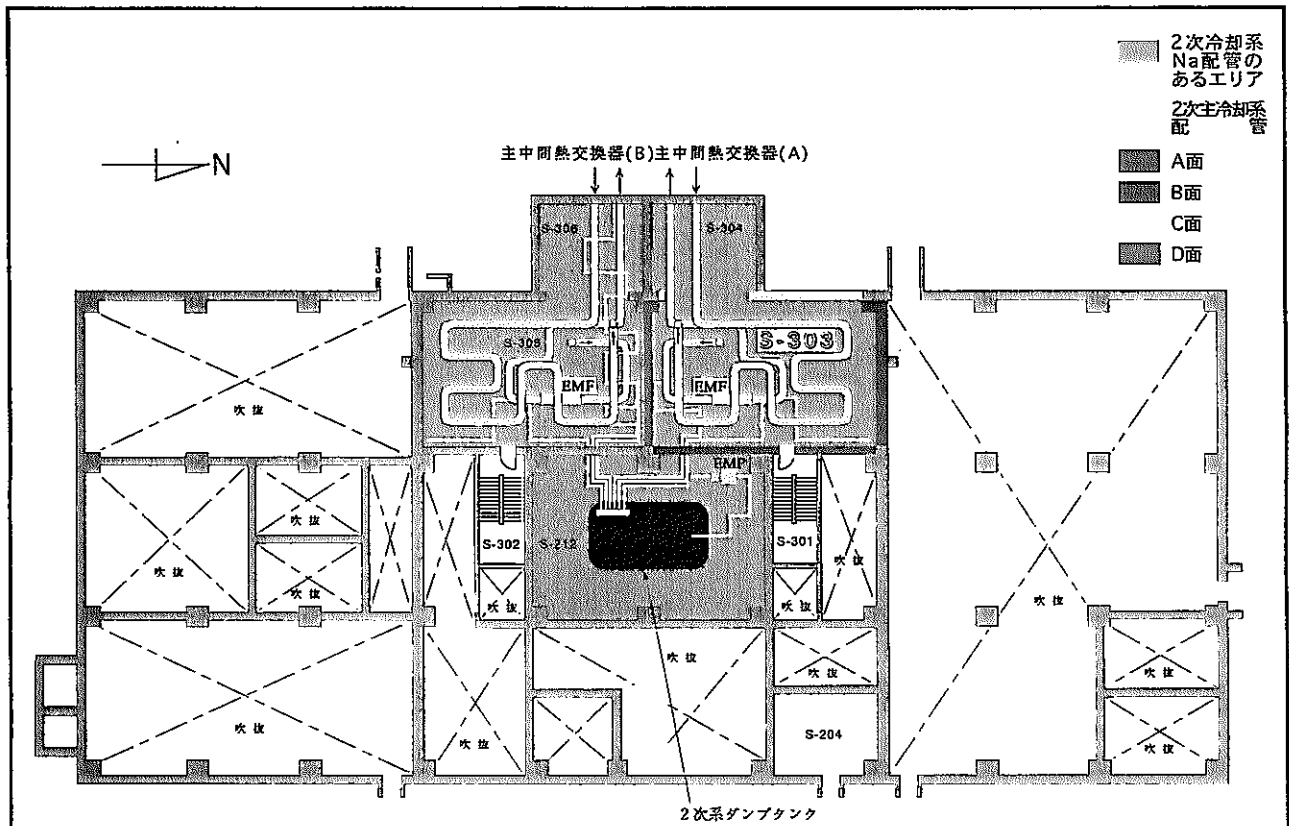
S-403 壁面貫通部の密封対策箇所数

	貫通部種類				計	確認	備考
	Na配管	空調ダクト	その他配管類等	開口部			
A面						/	対策なし
B面						/	対策なし (壁なし)
C面						/	対策なし
D面	2		1		3	良	
S-403 天井						/	対策なし (吹抜け)
S-403 床			1		1	良	
S-403壁貫通部密封対策箇所数				合計	4	合格	

主冷却機建家1F
〔対策対象エリア：S-403〕

7

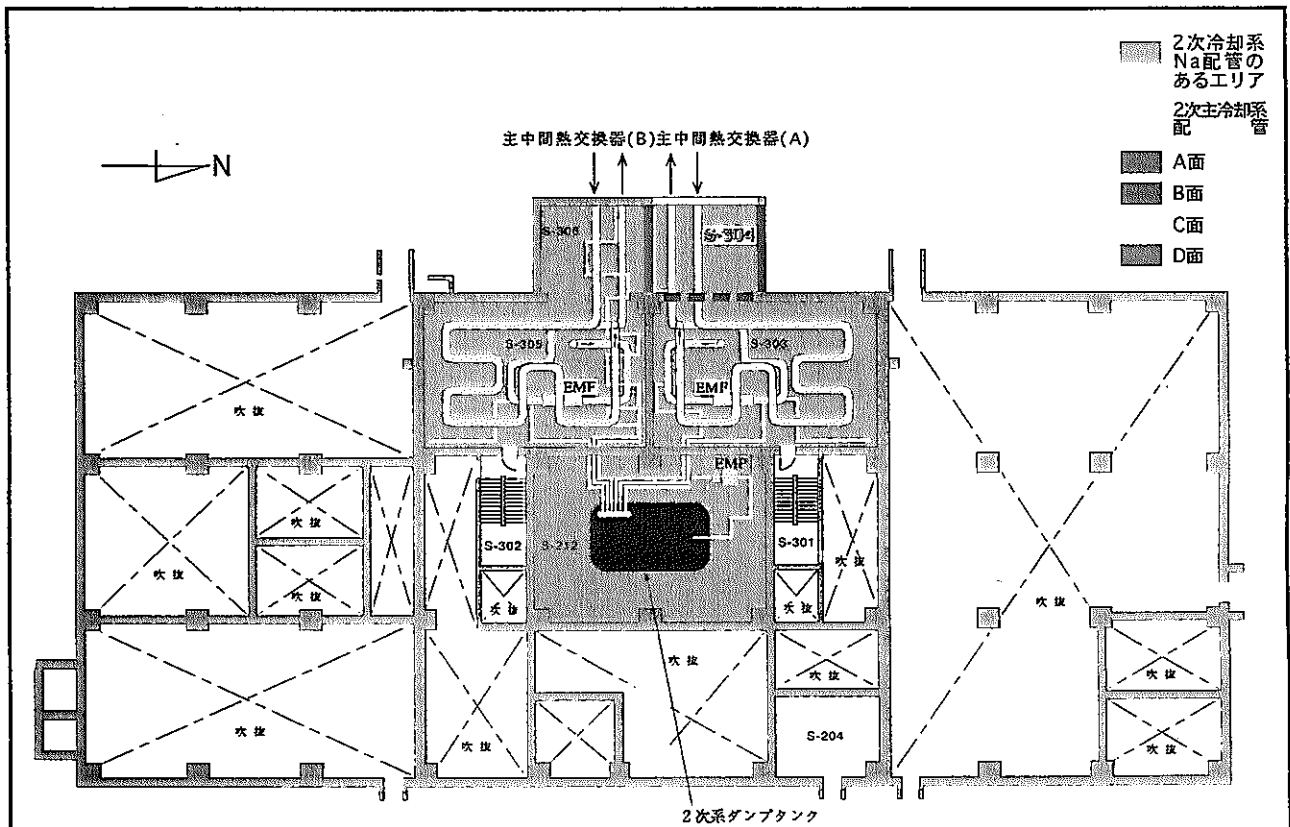
注) 本図におけるドレン管は、省略している。



S-303壁面貫通部の密封対策箇所数

	貫通部種類				計	確認	備考
	Na配管	空調ダクト	その他配管類等	開口部			
A面		2	3		5	良	
B面			1		1	良	
C面							対策なし
D面			2		2	良	
S-303天井	1				1	良	
S-303床			2		2	良	
S-303壁貫通部密封対策箇所数				合計	11	合格	

主 冷却機 建 家 B M 1 F
 【対策対象エリア：S-303】

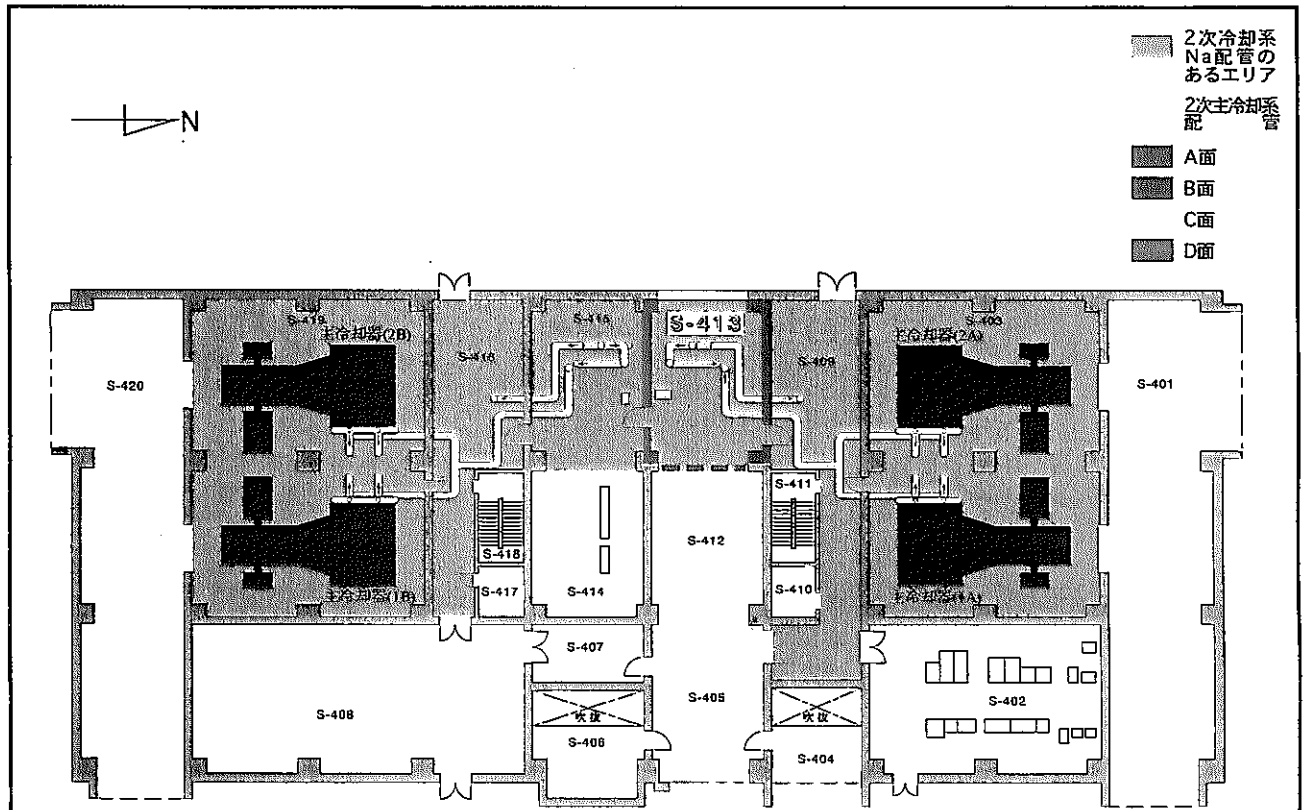


S-304壁面貫通部の密封対策箇所数

	貫通部種類				計	確認	備考
	Na配管	空調ダクト	その他配管类等	開口部			
A面						/	対策なし (壁なし)
B面						/	対策なし
C面	2		2		4	良	
D面						/	対策なし
S-304 天井						/	対策なし
S-304 床						/	対策なし
S-304壁貫通部密封対策箇所数				合計	4	合格	

主冷却機建家BM1F
【対策対象エリア：S-304】

9



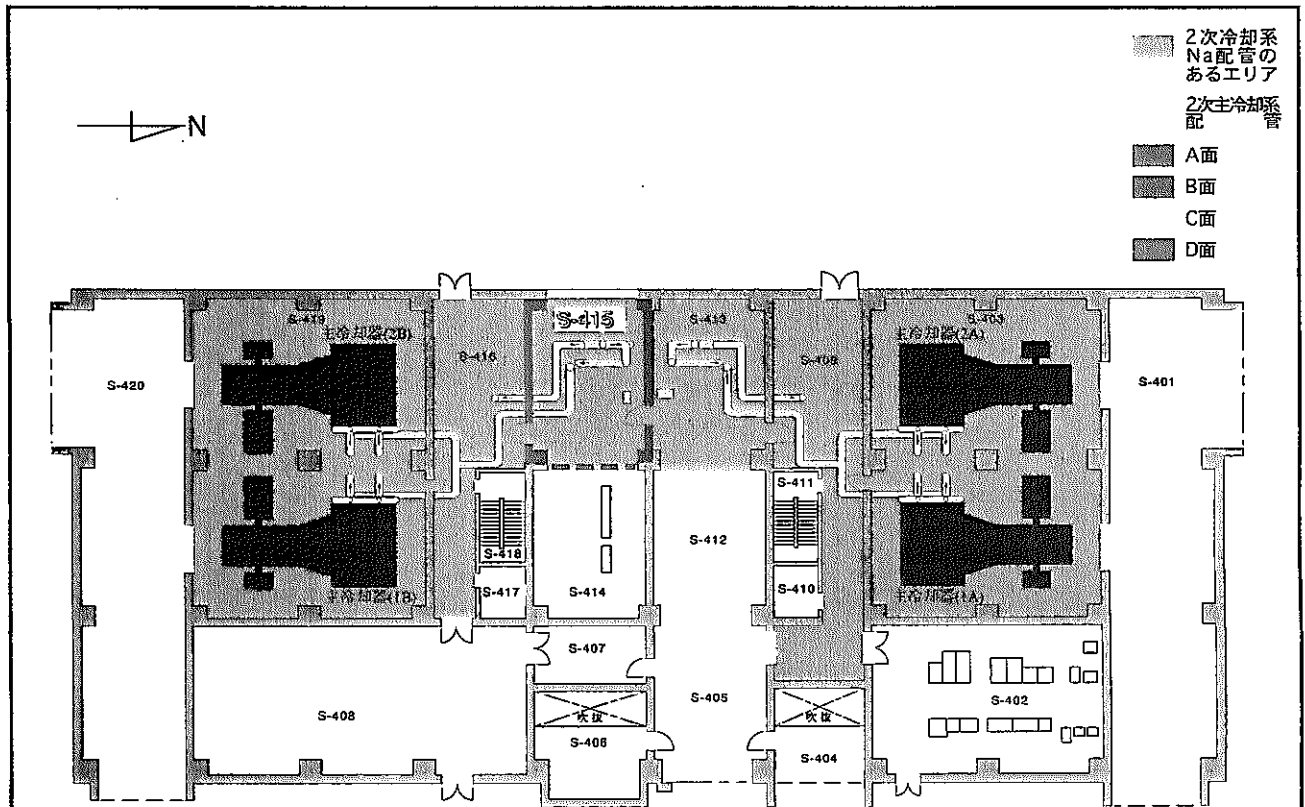
S-413 壁面貫通部の密封対策箇所数

	貫通部種類				計	確認	備考
	Na配管	空調ダクト	その他配管類等	開口部			
A面							対策なし (壁なし)
B面							対策なし
C面							対策なし
D面							対策なし
S-413 天井							対策なし
S-413 床	2				2	良	
S-413壁貫通部密封対策箇所数				合計	2	合格	

主冷却機建家1F
〔対策対象エリア：S-413〕

10

注) 本図におけるドレン管は、省略している。



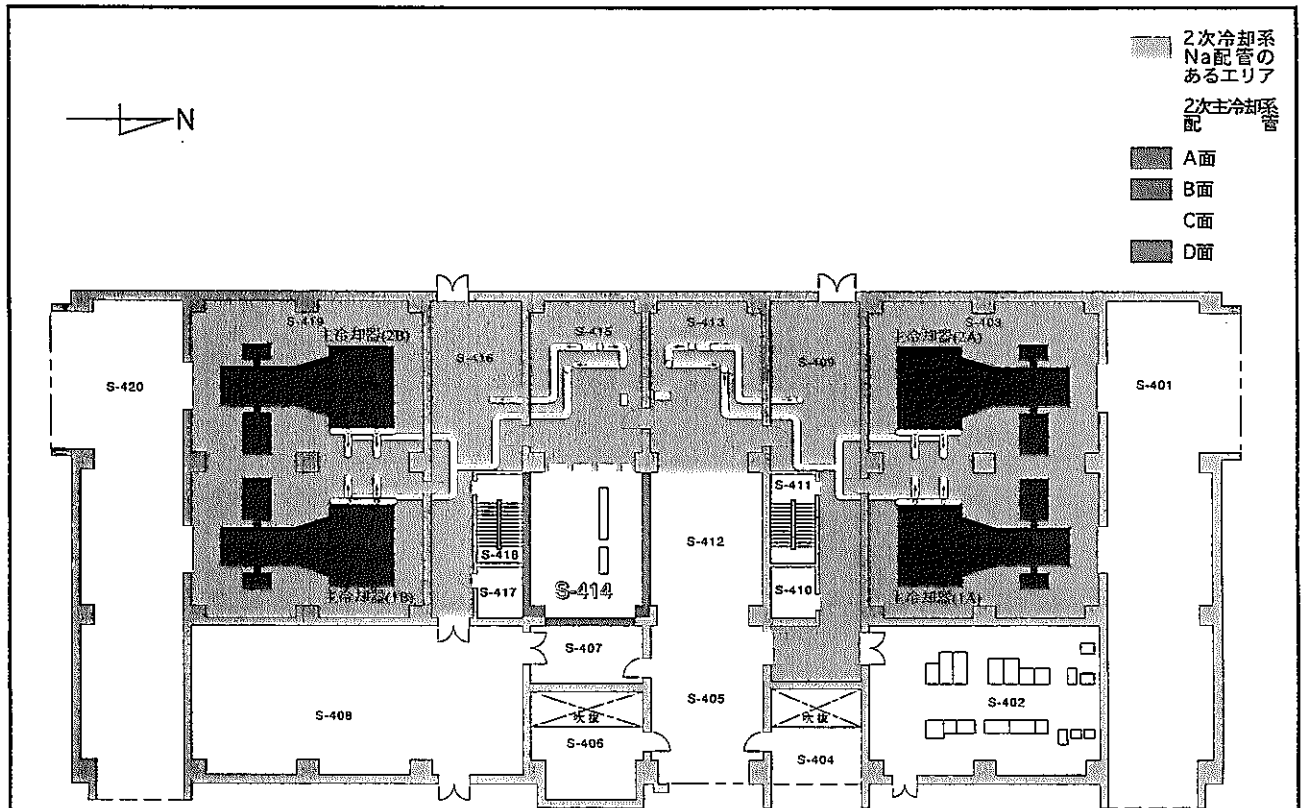
S-415 壁面貫通部の密封対策箇所数

	貫通部種類				計	確認	備考
	Na配管	空調ダクト	その他配管類等	開口部			
A面						/	対策なし (壁なし)
B面						/	対策なし
C面						/	対策なし
D面	2		2		4	良	
S-415 天井						/	対策なし
S-415 床	2		3		5	良	
S-415壁貫通部密封対策箇所数				合計	9	合格	

主冷却機建家 1 F
〔対策対象エリア：S-415〕

11

注) 本図におけるドレン管は、省略している。



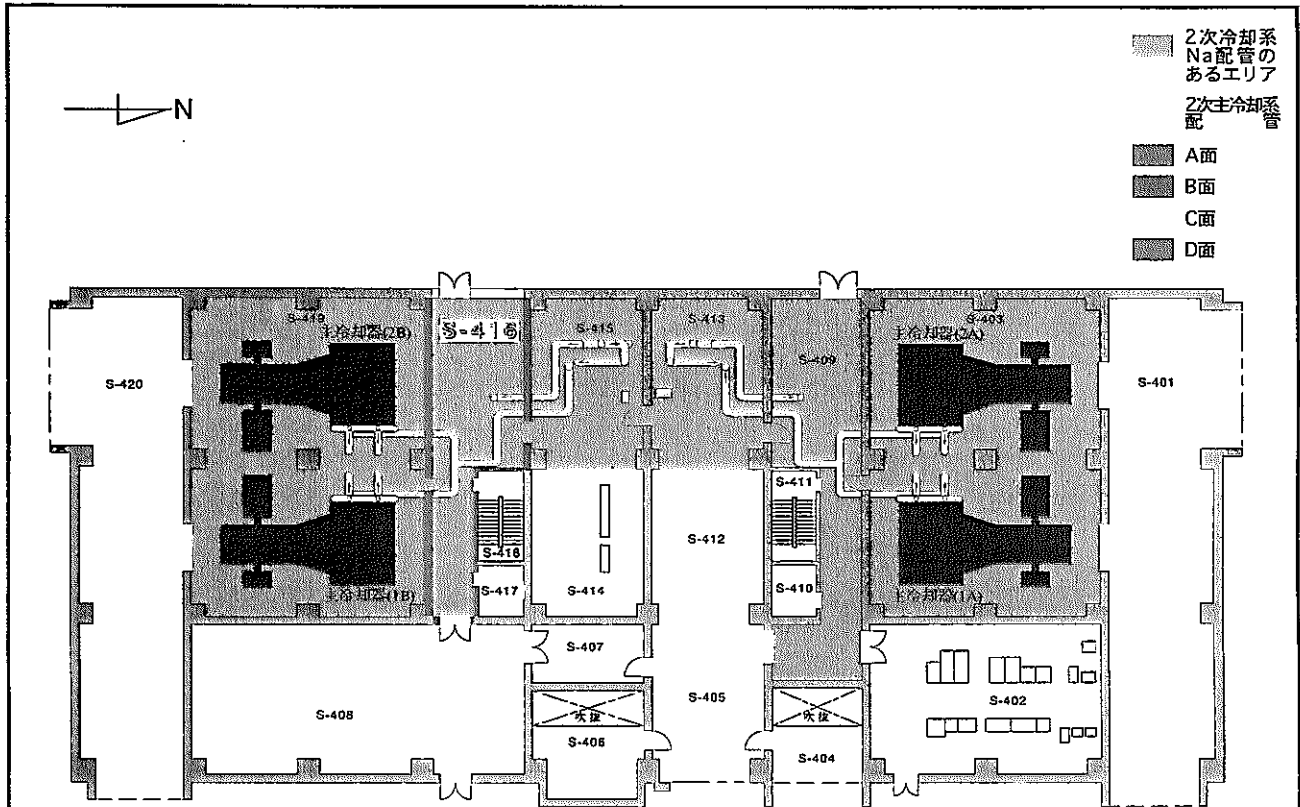
S-414壁面貫通部の密封対策箇所数

	貫通部種類				計	確認	備考
	Na配管	空調ダクト	その他配管類等	開口部			
A面			2		2	良	
B面						/	対策なし
C面						/	対策なし (壁なし)
D面						/	対策なし
S-414 天井						/	対策なし (吹抜け)
S-414 床			3	2	5	良	
S-414壁貫通部密封対策箇所数				合計	7	合格	

主冷却機建家1F
〔対策対象エリア：S-414〕

12

注) 本図におけるドレン管は、省略している。



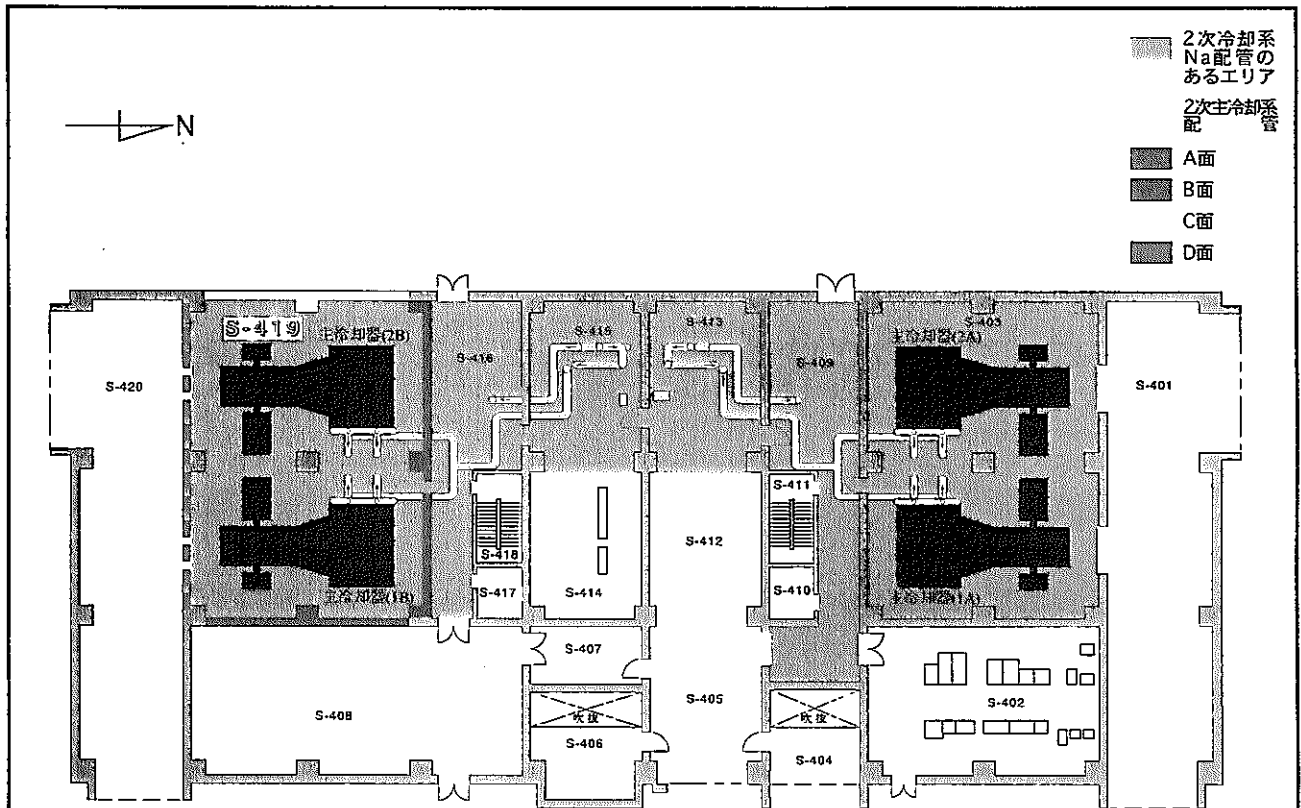
S-416 壁面貫通部の密封対策箇所数

	貫通部種類				計	確認	備考
	Na配管	空調ダクト	その他配管類等	開口部			
A面		1			1	良	
B面						/	対策なし
C面						/	対策なし
D面			1		1	良	
S-416 天井						/	対策なし
S-416 床						/	対策なし
S-416壁貫通部密封対策箇所数				合計	2	合格	

主冷却機建家1F
〔対策対象エリア：S-416〕

13

注) 本図におけるドレン管は、省略している。



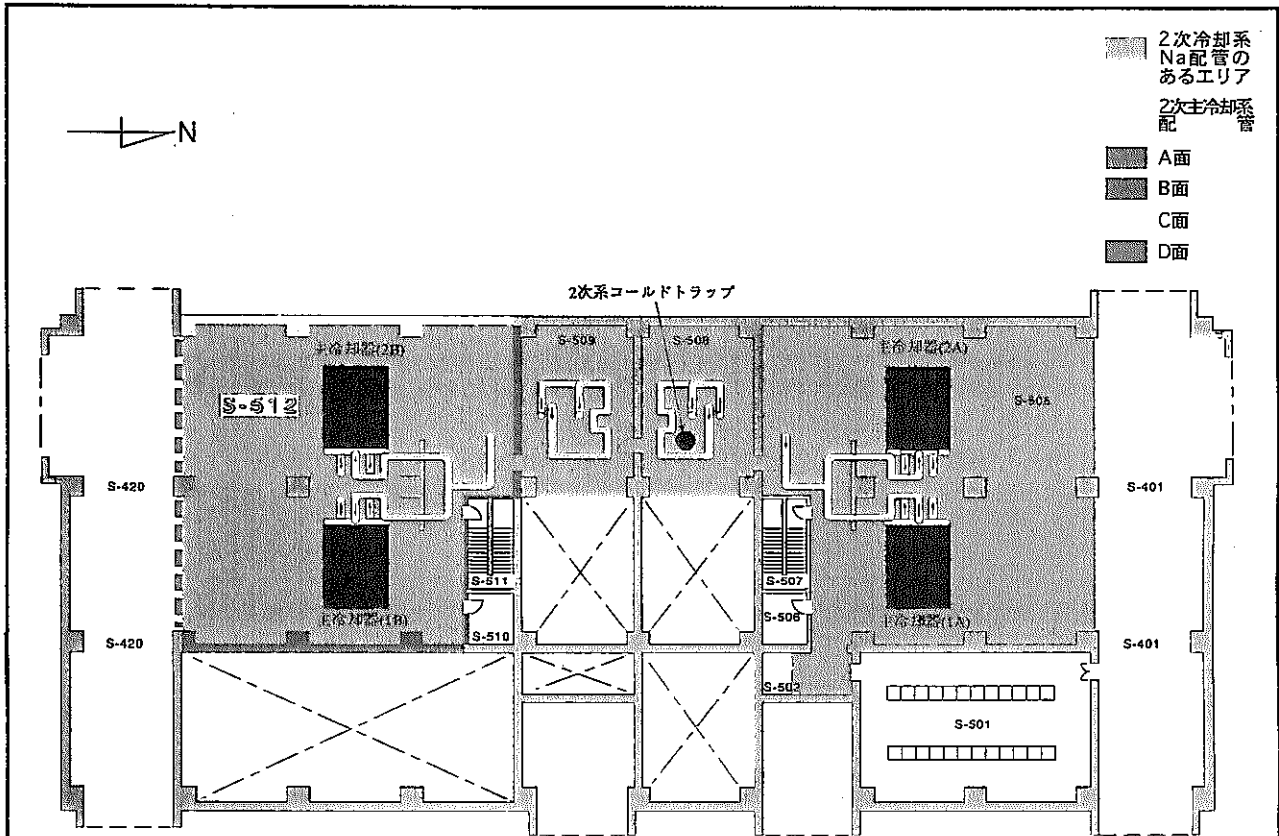
S-419 壁面貫通部の密封対策箇所数

	貫通部種類				計	確認	備考
	Na配管	空調ダクト	その他配管類等	開口部			
A面						/	対策なし
B面	2		1		3	良	
C面						/	対策なし
D面						/	対策なし (壁なし)
S-419 天井						/	対策なし (吹抜け)
S-419 床			1		1	良	
S-419壁貫通部密封対策箇所数				合計	4	合格	

主冷却機建家1F
〔対策対象エリア：S-419〕

14

注) 本図におけるドレン管は、省略している。



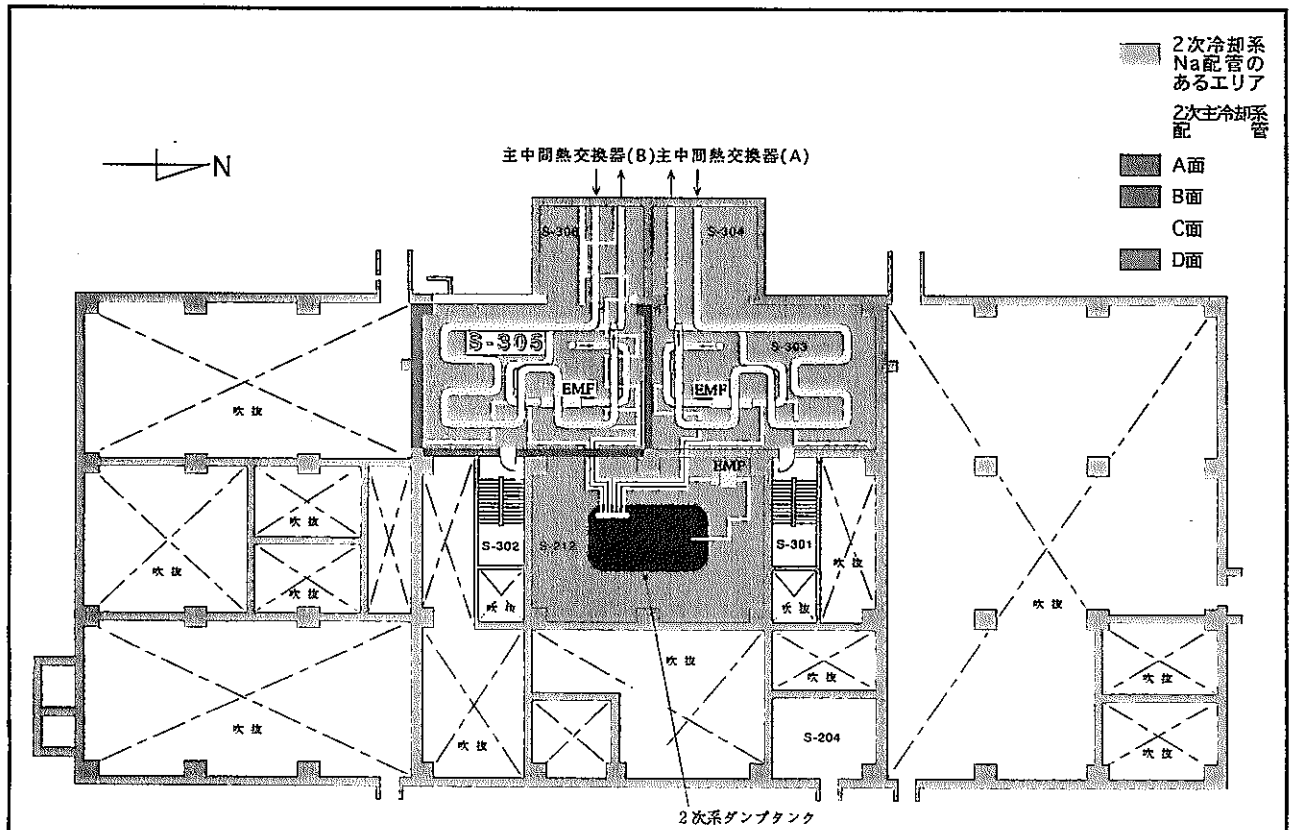
S-512 壁面貫通部の密封対策箇所数

	貫通部種類				計	確認	備考
	Na配管	空調ダクト	其他配管類等	開口部			
A面						/	対策なし
B面	1				1	良	
C面						/	対策なし
D面						/	対策なし (壁なし)
S-512 天井						/	対策なし
S-512 床						/	対策なし
S-512壁貫通部密封対策箇所数				合計	1	合格	

主冷却機建家2F
〔対策対象エリア：S-512〕

15

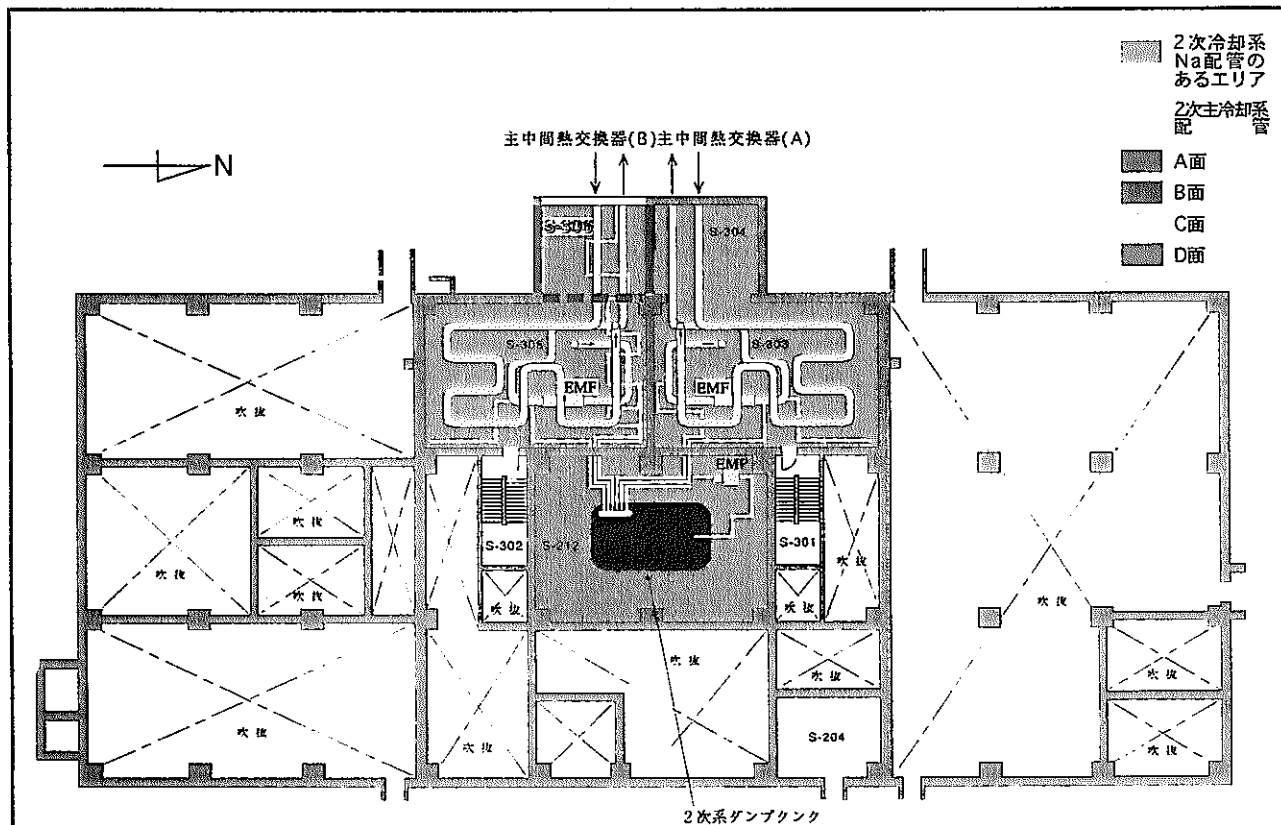
注) 本図におけるドレン管は、省略している。



S-305壁面貫通部の密封対策箇所数

	貫通部種類				計	確認	備考
	Na配管	空調ダクト	その他配管类等	開口部			
A面	1	2	2		5	良	
B面							対策なし
C面				1	1	良	
D面			1	1	2	良	
S-305天井	1		3		4	良	
S-305床			3		3	良	
S-305壁貫通部密封対策箇所数				合計	15	合格	

主冷却機建家BM1F
 [対策対象エリア：S-305]



S-306壁面貫通部の密封対策箇所数

	貫通部種類				計	確認	備考
	Na配管	空調ダクト	その他配管類等	開口部			
A面							対策なし (壁なし)
B面							対策なし
C面	3		1		4	良	
D面							対策なし
S-306 天井							対策なし
S-306 床							対策なし
S-306壁貫通部密封対策箇所数				合計	4	合格	

主 冷 却 機 建 家 B M 1 F
 [対策対象エリア：S-306]

Ⅷ. 茨城県によるナトリウム漏えい対策設備確認記録

1. 目的

本記録は、今回のナトリウム漏えい対策において設置した各設備について、健全性を確認するために、茨城県の立会いのもとで実施した点検のチェックシートである。

2. 点検内容

以下の各設備について、漏えい対策が正しく実施されていることを確認する。

- (1) コンプレッションフィッティング付温度計
- (2) 監視カメラシステム（ITV装置）
- (3) 増設分ナトリウム受け樋
- (4) 増設分防煙ダンパ
- (5) 貫通部シール
- (6) 中央制御室モニタ（火災感知器モニタ，ナトリウム漏えい検出器モニタ，ITV監視用モニタ）
- (7) 防護服、ナトレックス消火器
- (8) 異常時運転マニュアル

3. 点検実施日

平成8年12月18日

4. 点検結果

各々の設備について、良好であることを確認した。点検結果を点検記録Ⅷ-1に示す。

高速実験炉「常陽」

ナトリウム漏えい対策設備確認記録

確認年月日 平成8年12月18日

動力炉・核燃料開発事業団

大洗工学センター 実験炉部

目 次

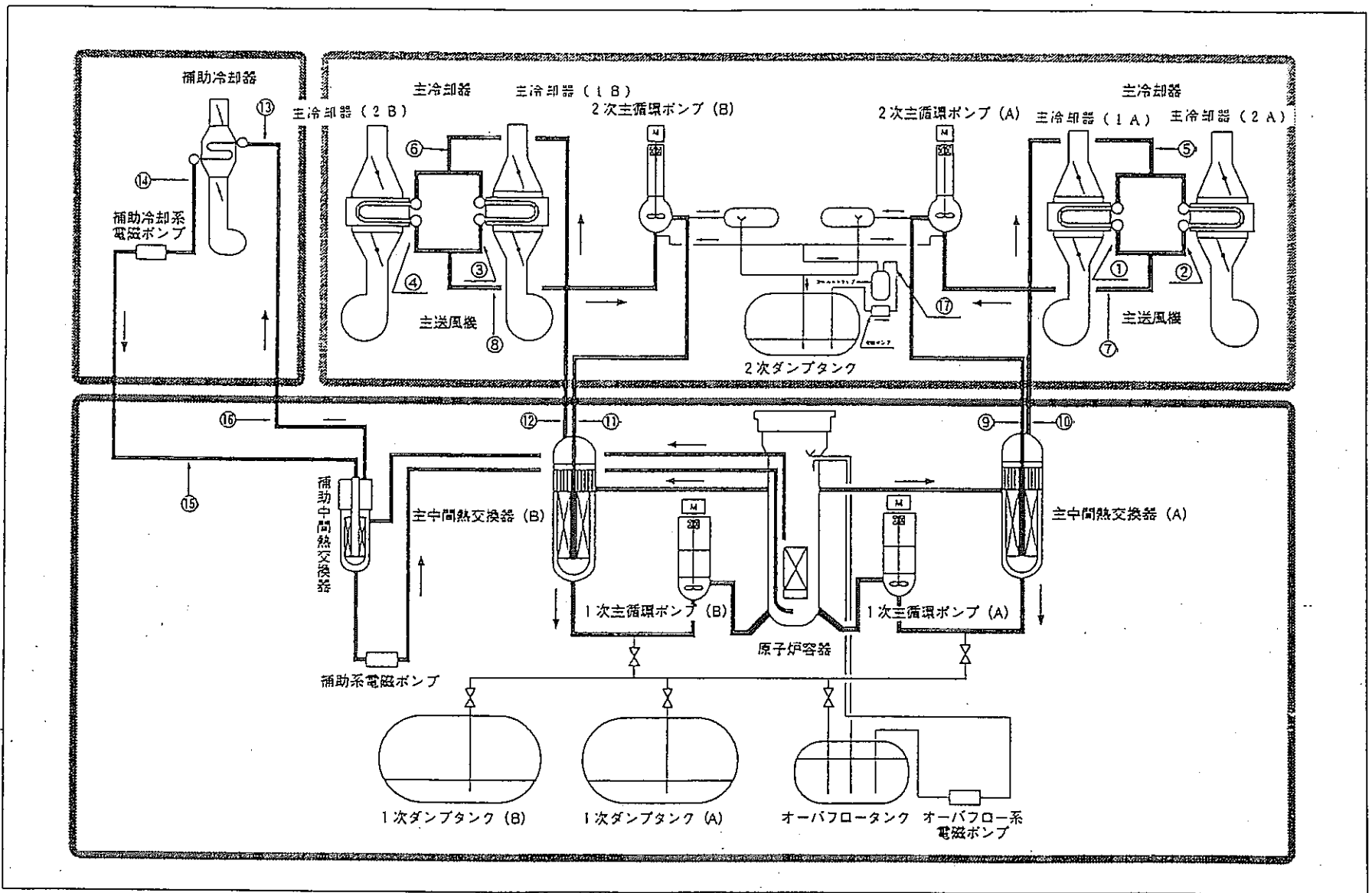
1. コンプレッションフィッティング付温度計交換チェックシート
2. 監視カメラシステム設置チェックシート
3. 増設分ナトリウム受樋チェックシート
4. 防煙ダンパ増設箇所チェックシート
5. 貫通部シールチェックシート
6. 中央制御室モニタチェックシート
7. 防護服、ナトレックス消火器のチェックシート
8. 異常時運転マニュアル見直しの確認

コンプレッションフィッティング付温度計交換確認チェックシート

確認年月日 平成 8 年 1 2 月 1 8 日

No	温 度 計 名 称	T A G Na	設置場所	確認	備 考
1	空冷式主空気冷却器出口ナトリウム 温度計 (1 A)	TE31・ 2-2A-1	S-403	済	
2	空冷式主空気冷却器出口ナトリウム 温度計 (2 A)	TE31・ 2-2A-2	S-403	済	
3	空冷式主空気冷却器出口ナトリウム 温度計 (1 B)	TE31・ 2-2B-1	S-419	済	
4	空冷式主空気冷却器出口ナトリウム 温度計 (2 B)	TE31・ 2-2B-2	S-419	済	
5	空冷式主空気冷却器入口ナトリウム 温度計 (A)	TE31・ 2-1A	S-505	済	音有り
6	空冷式主空気冷却器入口ナトリウム 温度計 (B)	TE31・ 2-1B	S-512	済	音有り
7	空冷式主空気冷却器出口ナトリウム 温度計 (A)	TE31・ 2-3A	S-409	済	
8	空冷式主空気冷却器出口ナトリウム 温度計 (B)	TE31・ 2-3B	S-416	済	
9	主中間熱交換器入口ナトリウム 温度計 (A)	TE31・ 2-4A	R-402	済	
10	主中間熱交換器出口ナトリウム 温度計 (A)	TE31・ 2-5A	R-402	済	
11	主中間熱交換器入口ナトリウム 温度計 (B)	TE31・ 2-4B	R-408	済	
12	主中間熱交換器出口ナトリウム 温度計 (B)	TE31・ 2-5B	R-408	済	
13	補助空気冷却器入口ナトリウム 温度計	TE32・ 2-1	A-505	済	
14	補助空気冷却器出口ナトリウム 温度計	TE32・ 2-2	A-505	済	
15	補助中間熱交換器入口ナトリウム 温度計	TE32・ 2-3	R-305	済	
16	補助中間熱交換器出口ナトリウム 温度計	TE32・ 2-4	R-305	済	
17	2次純化系コールドトラップ入口 ナトリウム温度計	TE34・ 2-2-1	S-508	済	

原子炉建家 (格納容器床下)
 原子炉付属建家
 主冷却機建家



温度計取り付け位置

監視カメラシステム設置チェックシート

凡 例




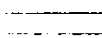
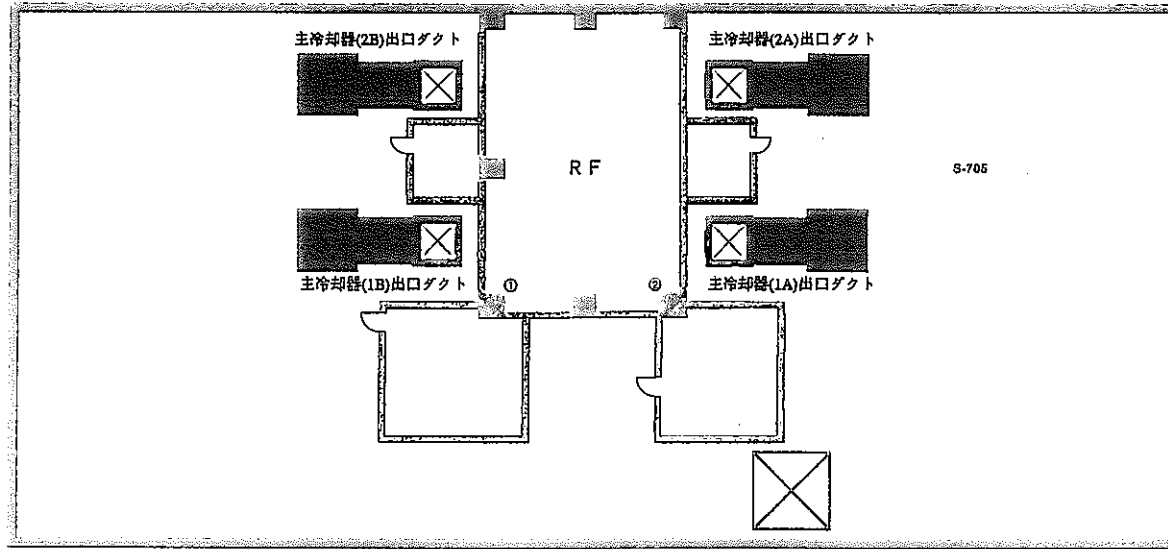
-  ドーム型コンビネーションカメラ
-  デジタルプロセス式CCDカメラ
-  照明
-  ナトリウム配管

図 番

1

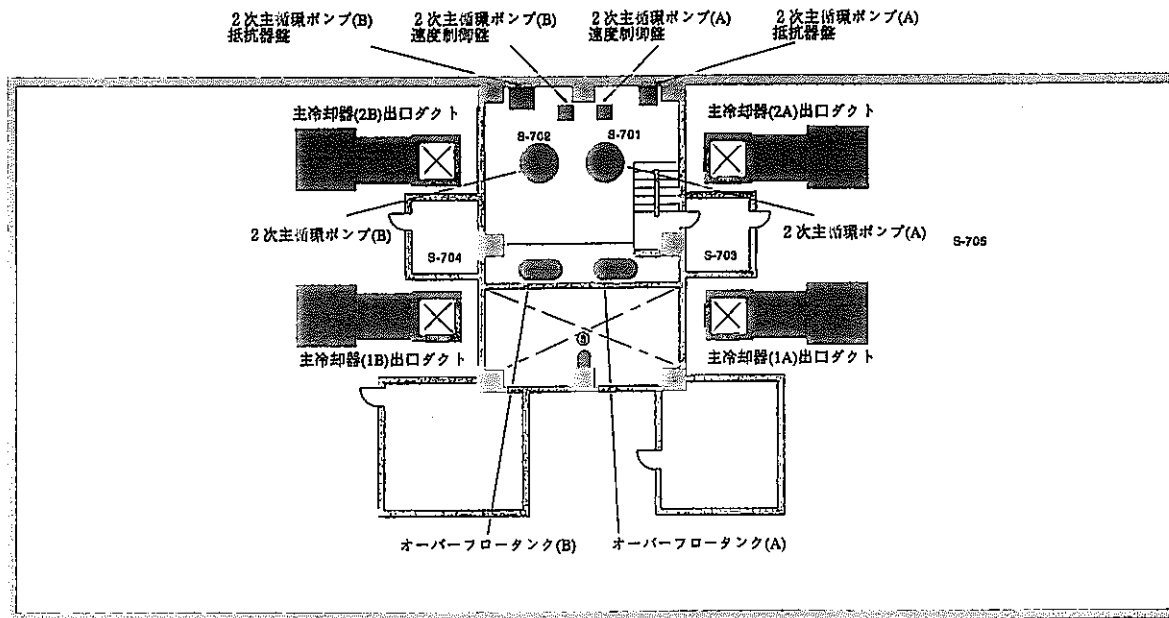


カメラNo	取付場所	確認
1	主冷却機建家屋上	済
2	主冷却機建家屋上	済

主 冷 却 機 建 家 R F

図 番

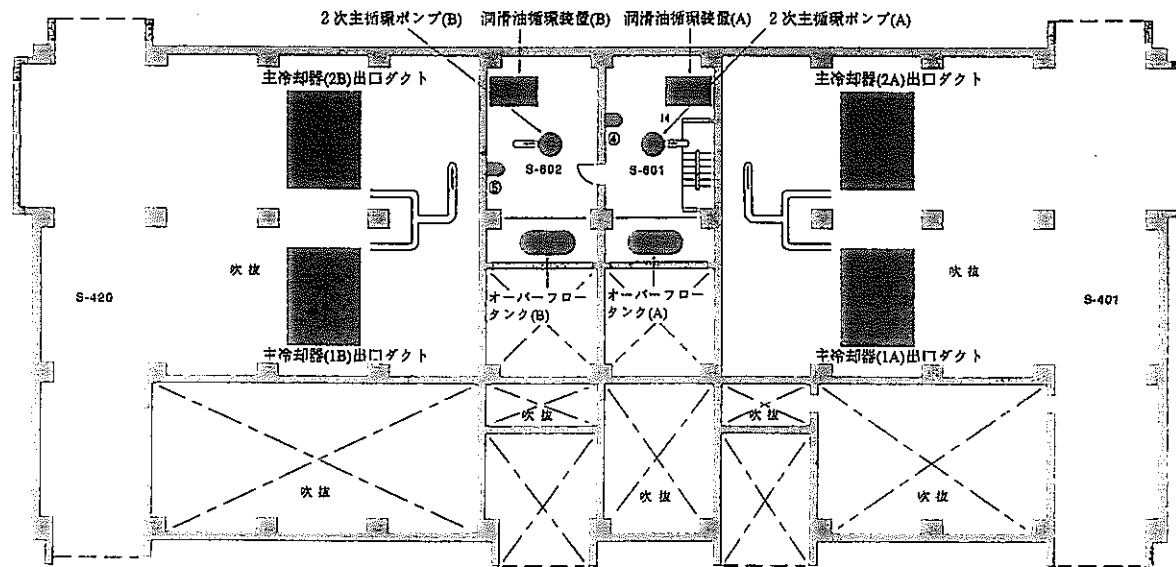
2



カメラNo	取付場所	確認
3	S-701、702	済

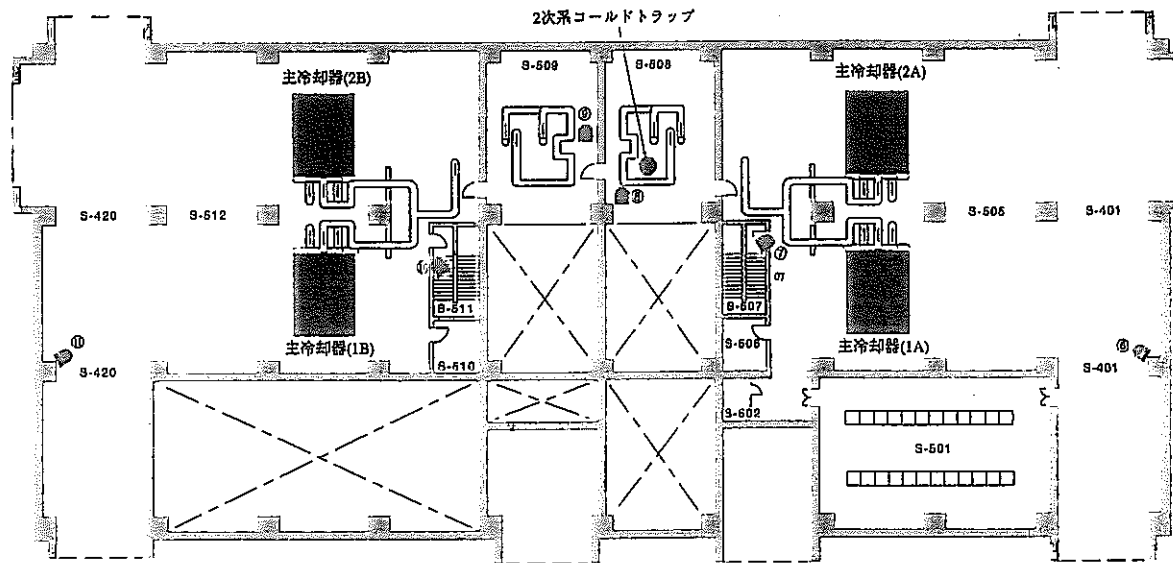
主冷却機建家4F

図番
3



カメラNo	取付場所	確認
4	S-601	済
5	S-602	済

主冷却機建家3F

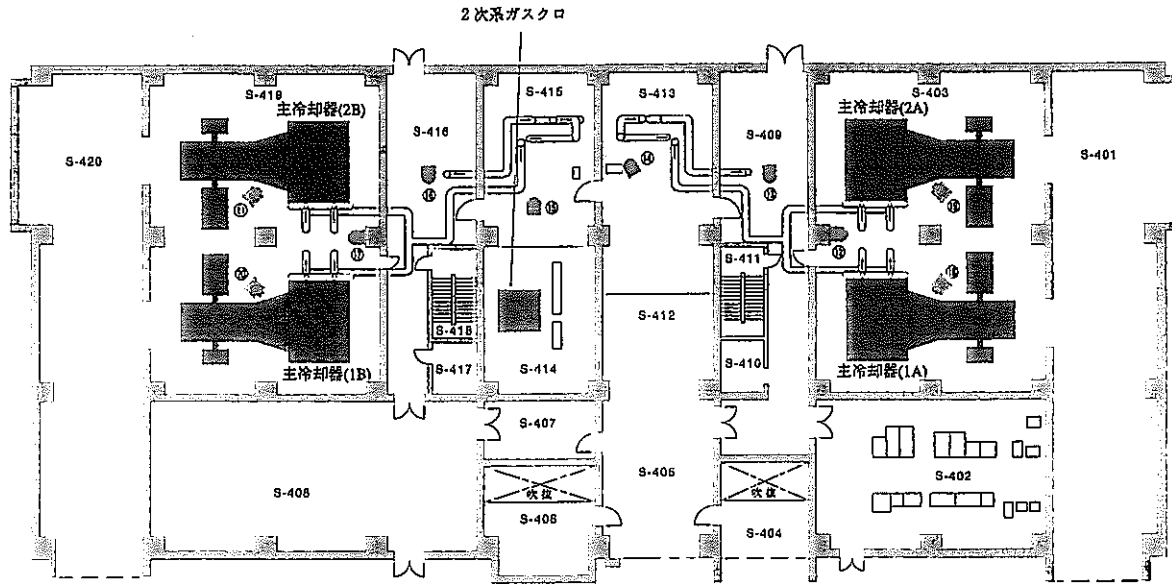


カメラNo	取付場所	確 認
6	S-401	済
7	S-505	済
8	S-508	済
9	S-509	済
10	S-512	済
11	S-420	済

主 冷 却 機 建 家 2 F

注) 本図におけるドレン管は、省略している。

図 番
5



カメラNo	取付場所	確認
12	S-403	済
13	S-409	済
14	S-413	済
15	S-415	済
16	S-416	済

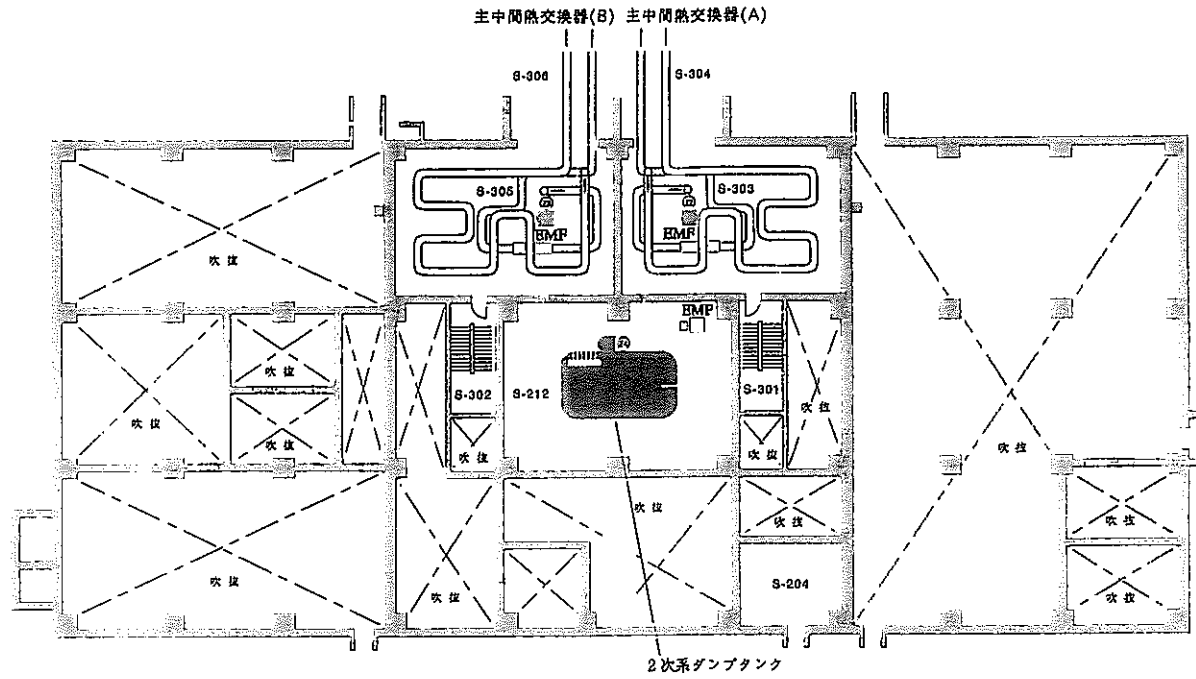
カメラNo	取付場所	確認
17	S-419	済
18	主冷却器 (1A)	済
19	主冷却器 (2A)	済
20	主冷却器 (1B)	済
21	主冷却器 (2B)	済

主 冷 却 機 建 家 1 F

注) 本図におけるドレン管は、省略している。

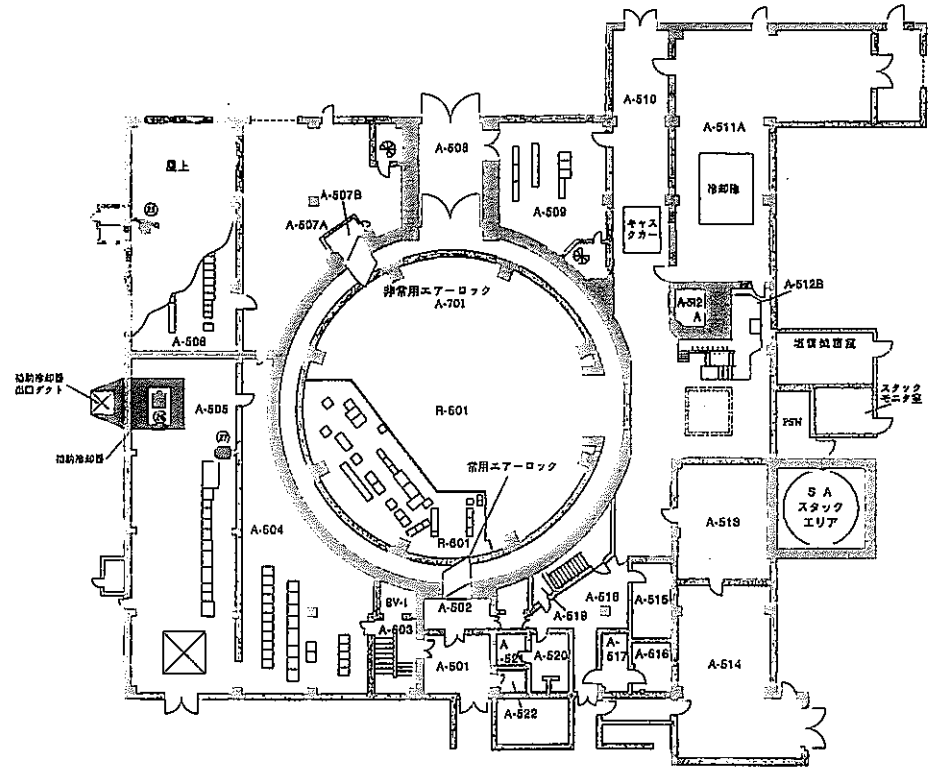
図 番

6



カメラNo	取付場所	確認
22	S-303、304	済
23	S-305、306	済
24	S-212	済

主冷却機建家BM1F

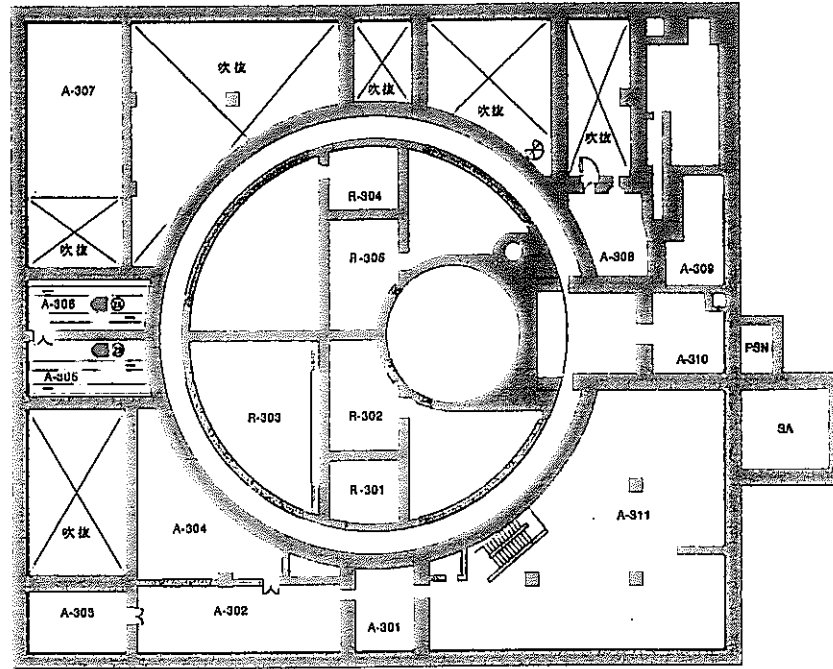


カメラNo	取付場所	確認
25	付属建家屋上	済
26	2次系補助冷却器	済
27	A-505	済

付属建家屋上及び原子炉付属建家1F

図番

8



カメラNo	取付場所	確認
28	A-306	済
29	A-305	済

原子炉付属建家B1F

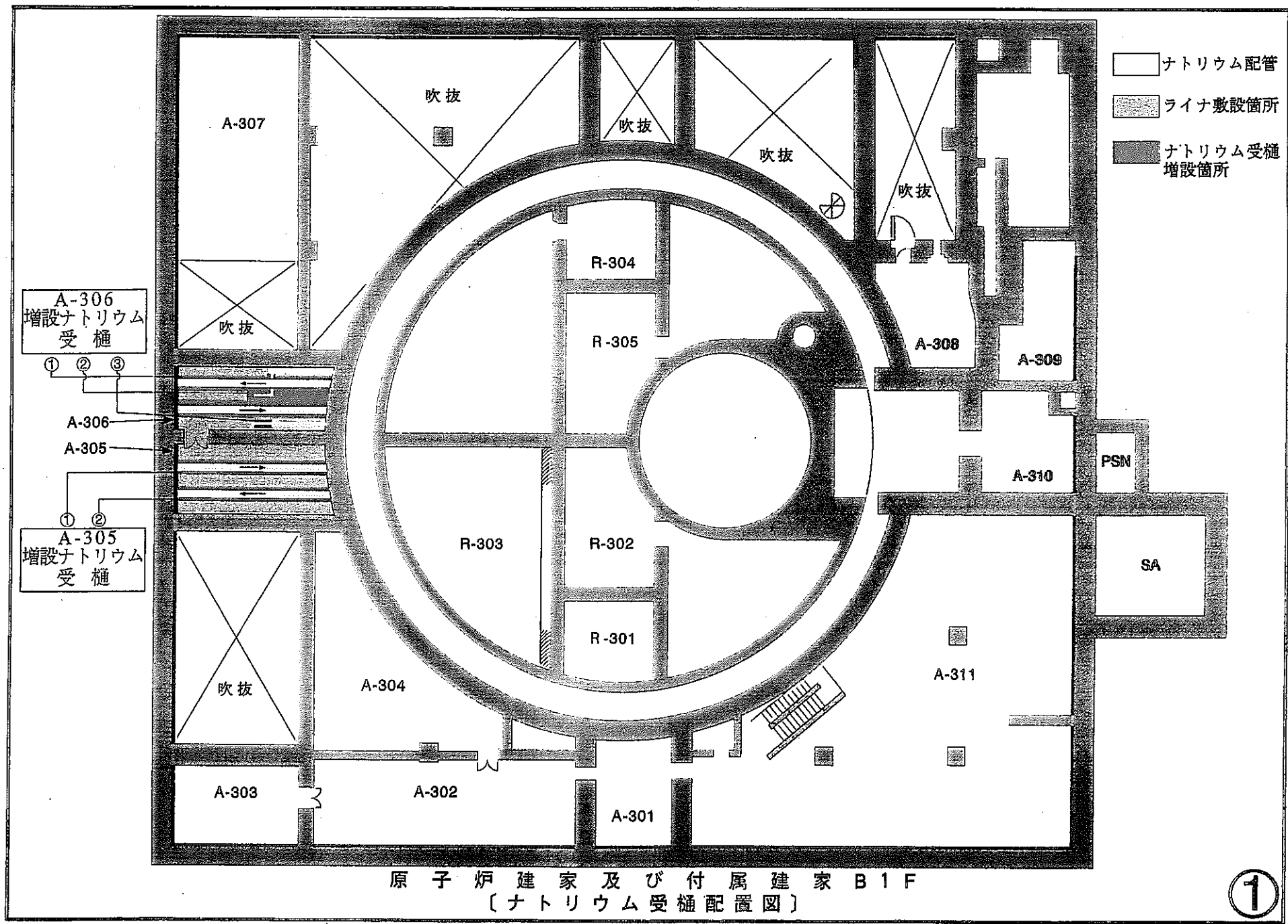
図番

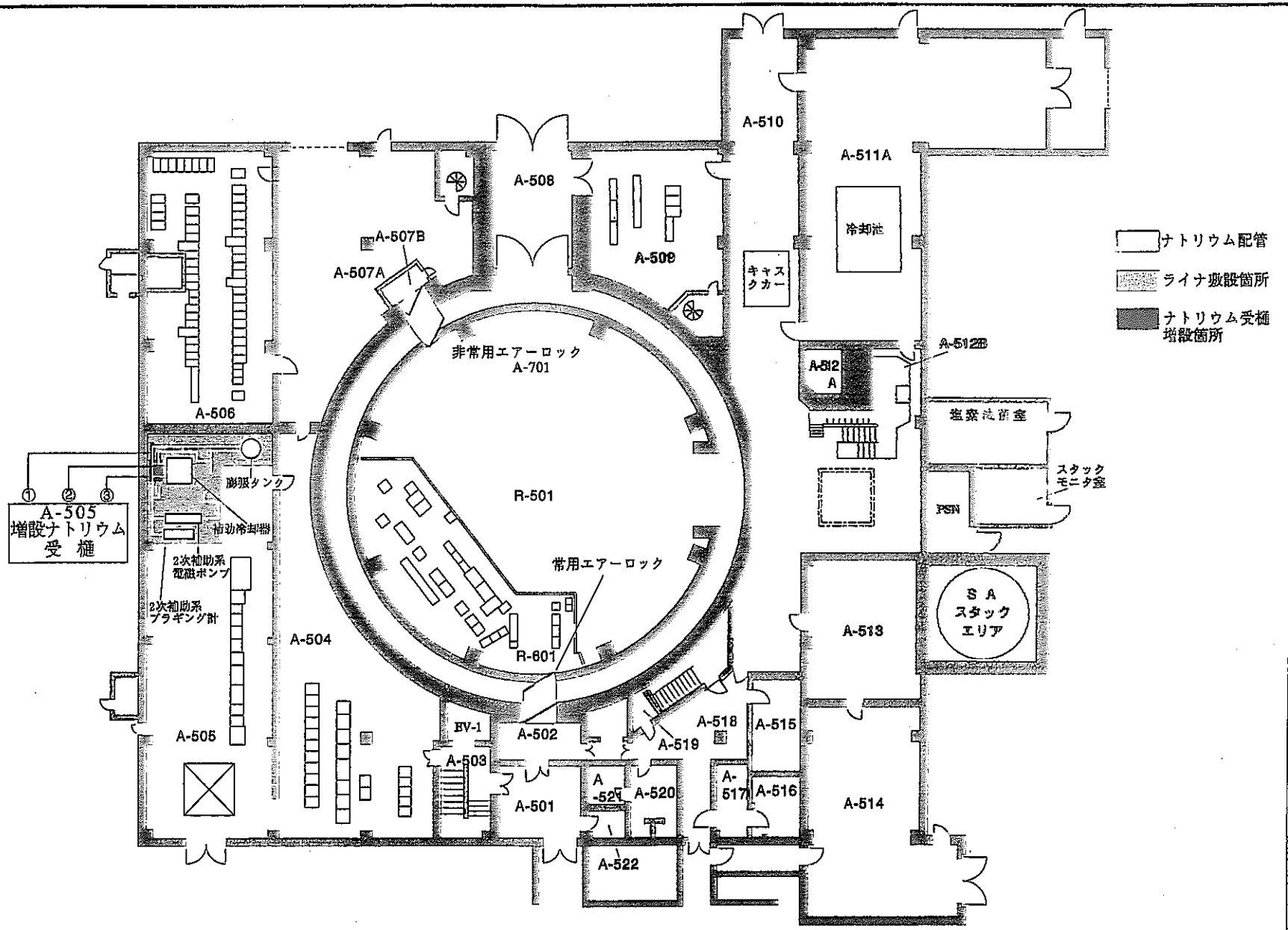
9

増設分ナトリウム受樋チェックシート

増設分ナトリウム受樋員数確認チェックシート

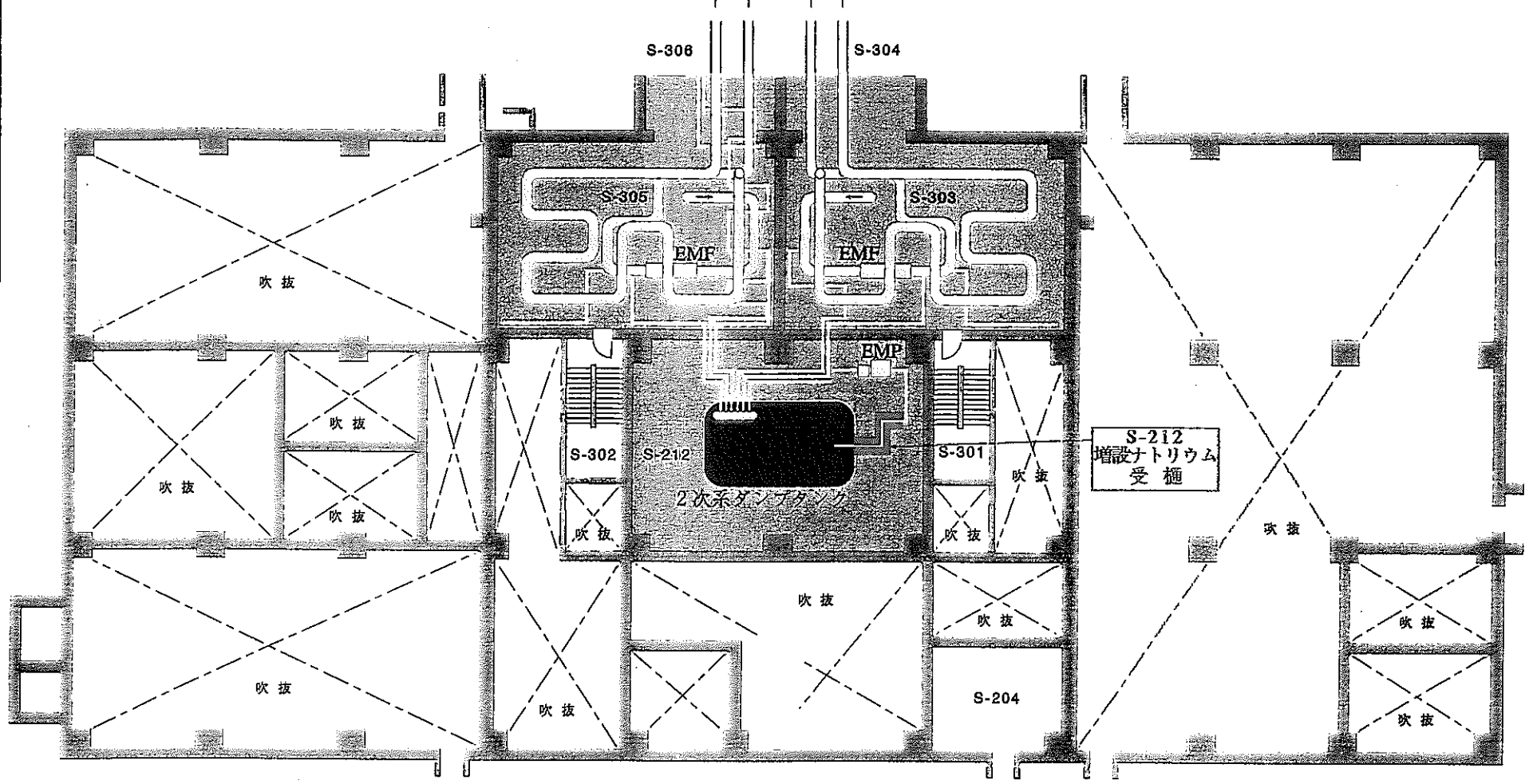
部 屋 No.	樋体数	確 認	実施年月日
A-305 配管路 (コ-ルA)	2体	済	平成 8 年 / 2 月 / 8 日
A-306 配管路 (コ-ルB)	3体	済	
A-505 補助冷却系 (2次側) 機器室	3体	済	
S-212 2次系ダンプタンク室	1体	済	
S-601 2次系オーバータンク 室(A)	1体	済	
S-602 2次系オーバータンク 室(B)	1体	済	
備 考			



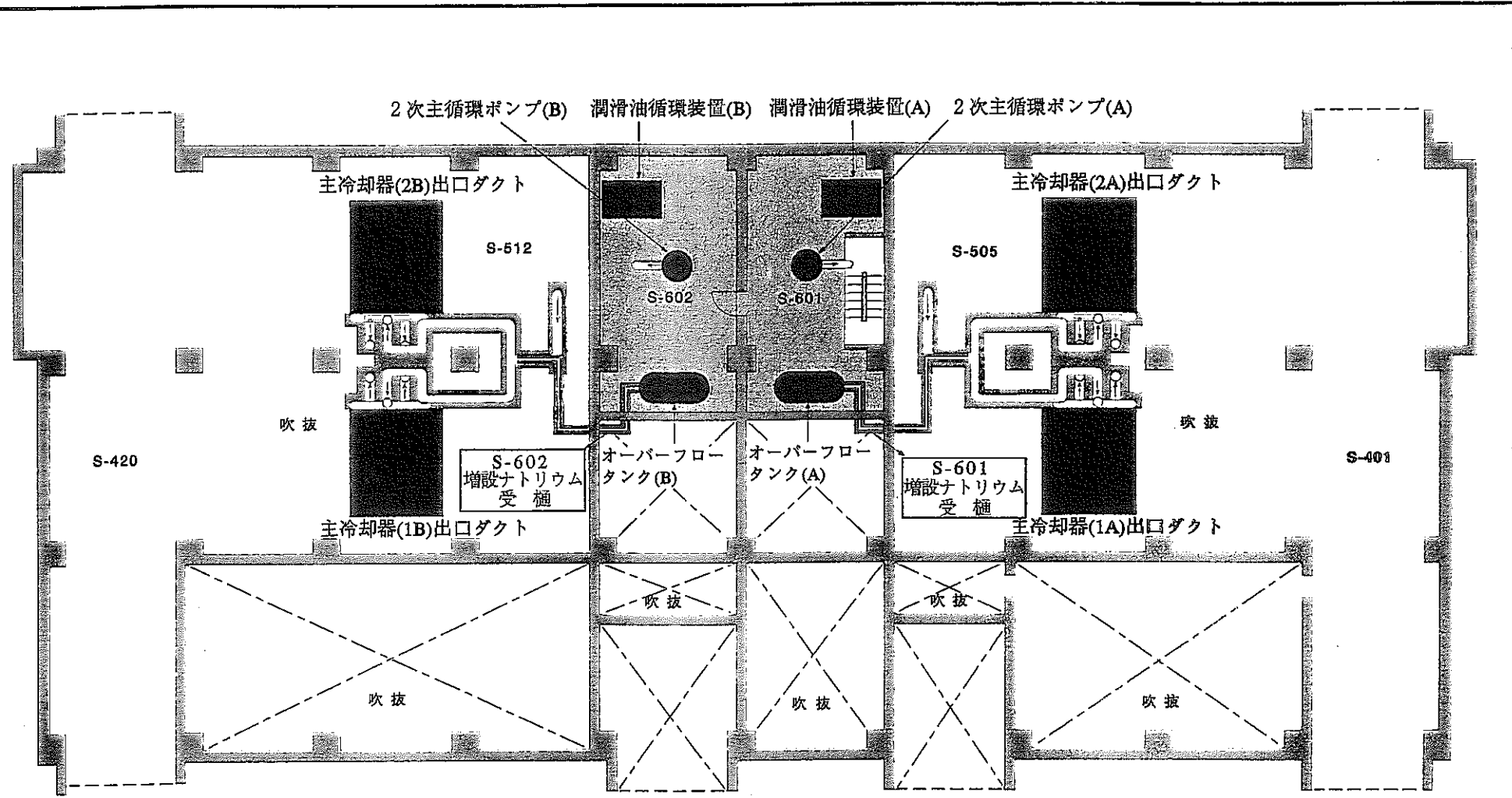


原子炉建家及び付属建家 1 F
 [ナトリウム受樋配置図]

主中間熱交換器(B) 主中間熱交換器(A)

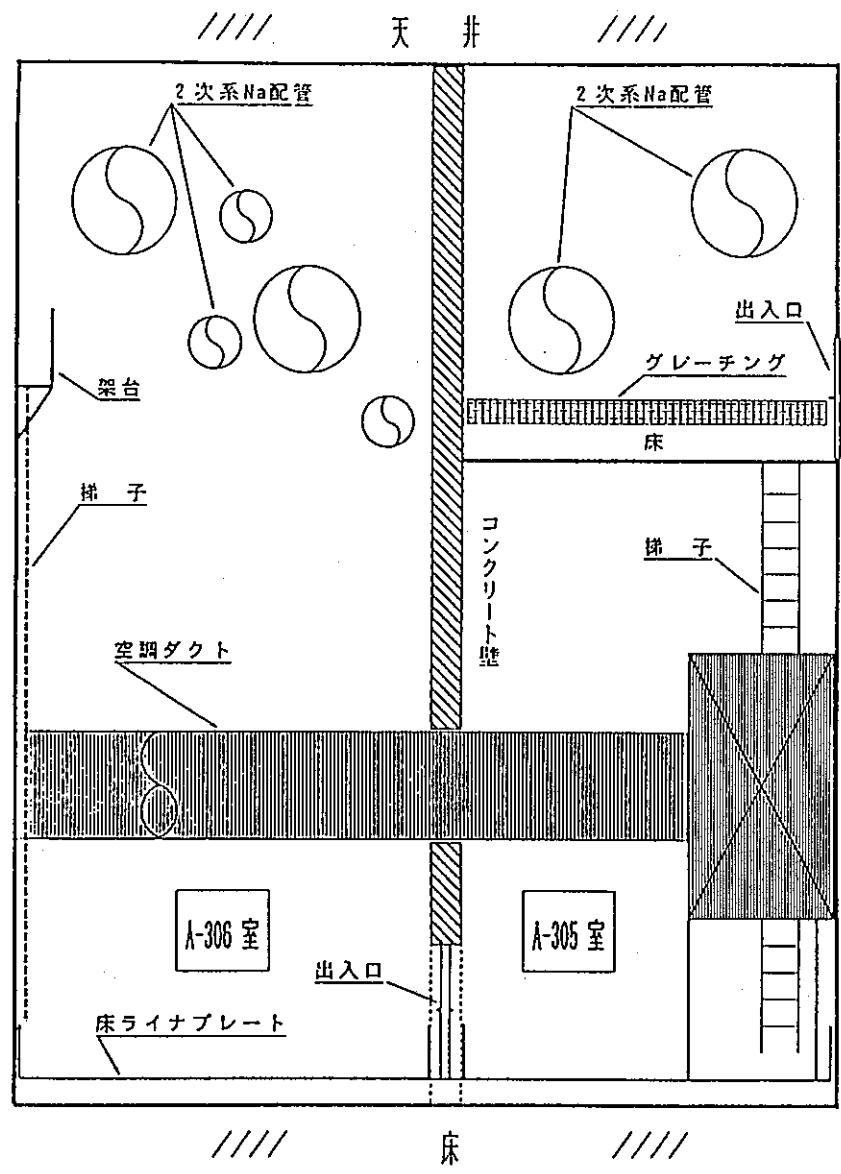


主冷却機建家BM1F
〔ナトリウム受樋配置図〕

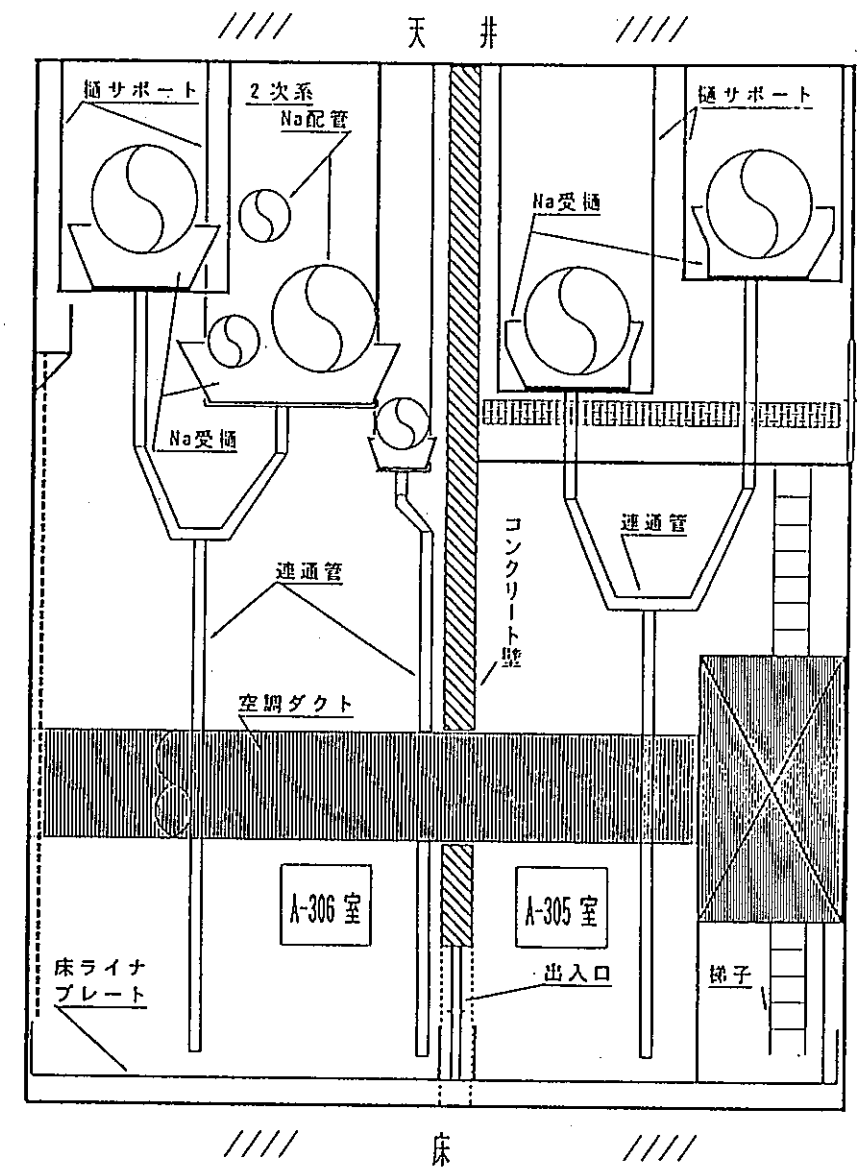


主冷却機建家3F
 [ナトリウム受樋配置図]

- ナトリウム配管
- ライナ敷設箇所
- 既設ナトリウム受樋設置箇所
- ナトリウム受樋増設箇所

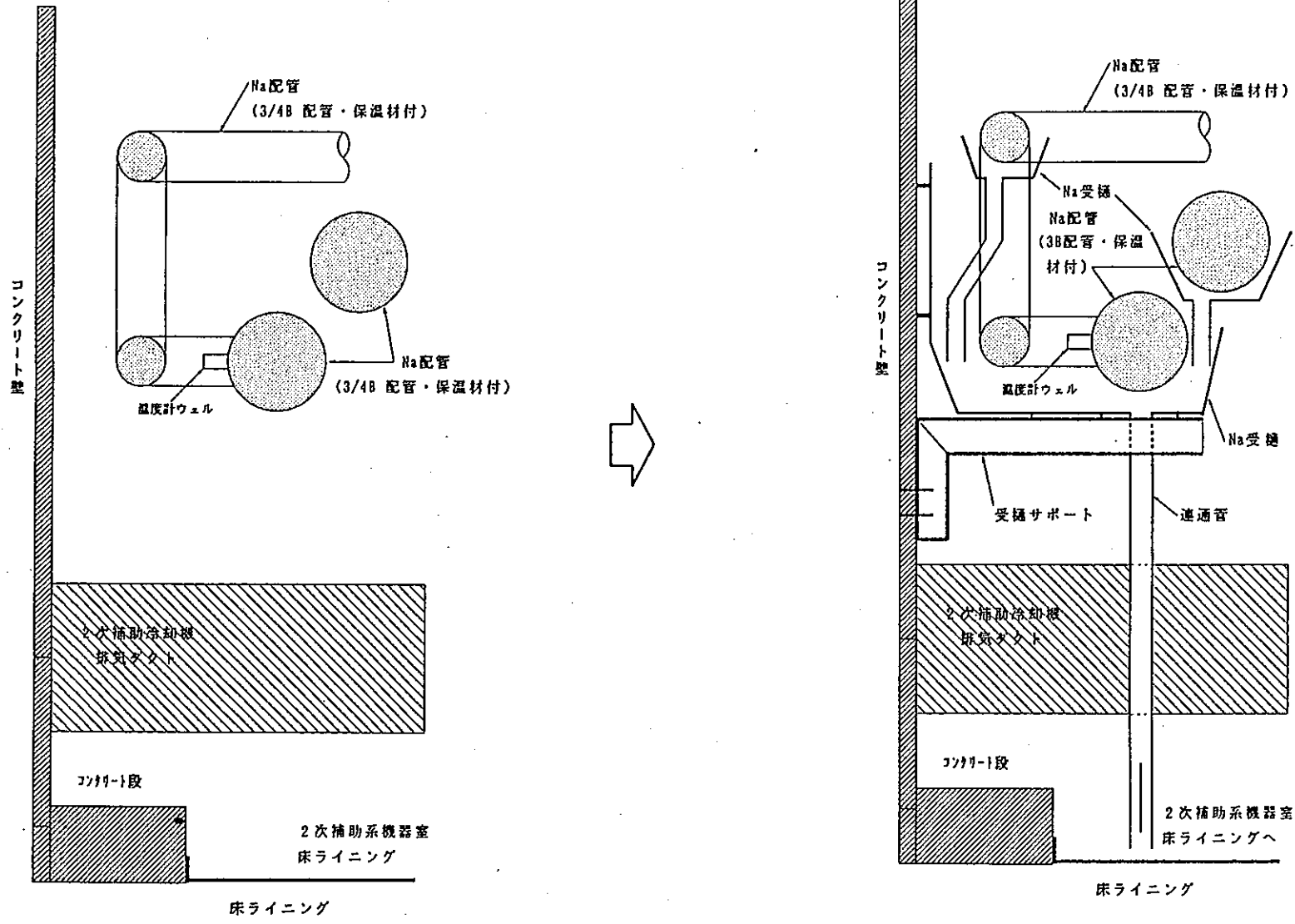


現状



対策後

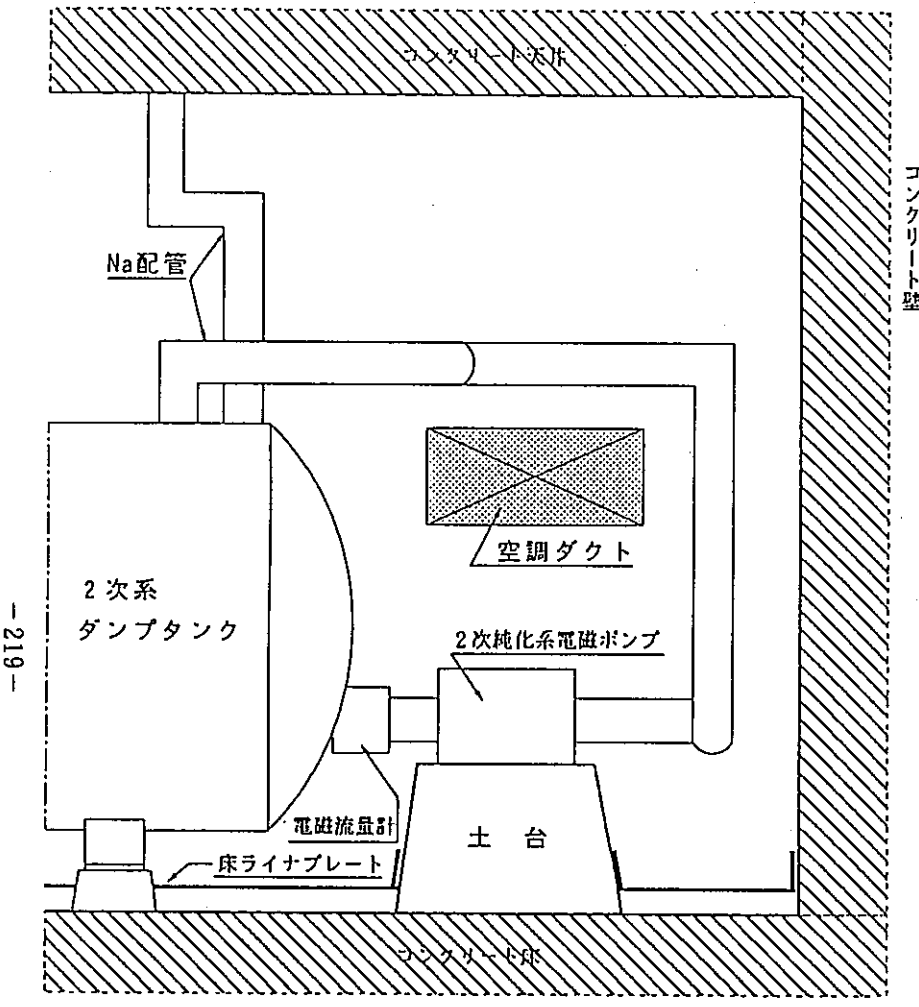
Na受樋増設対象部周辺の位置関係図 (A-305, 306 室)



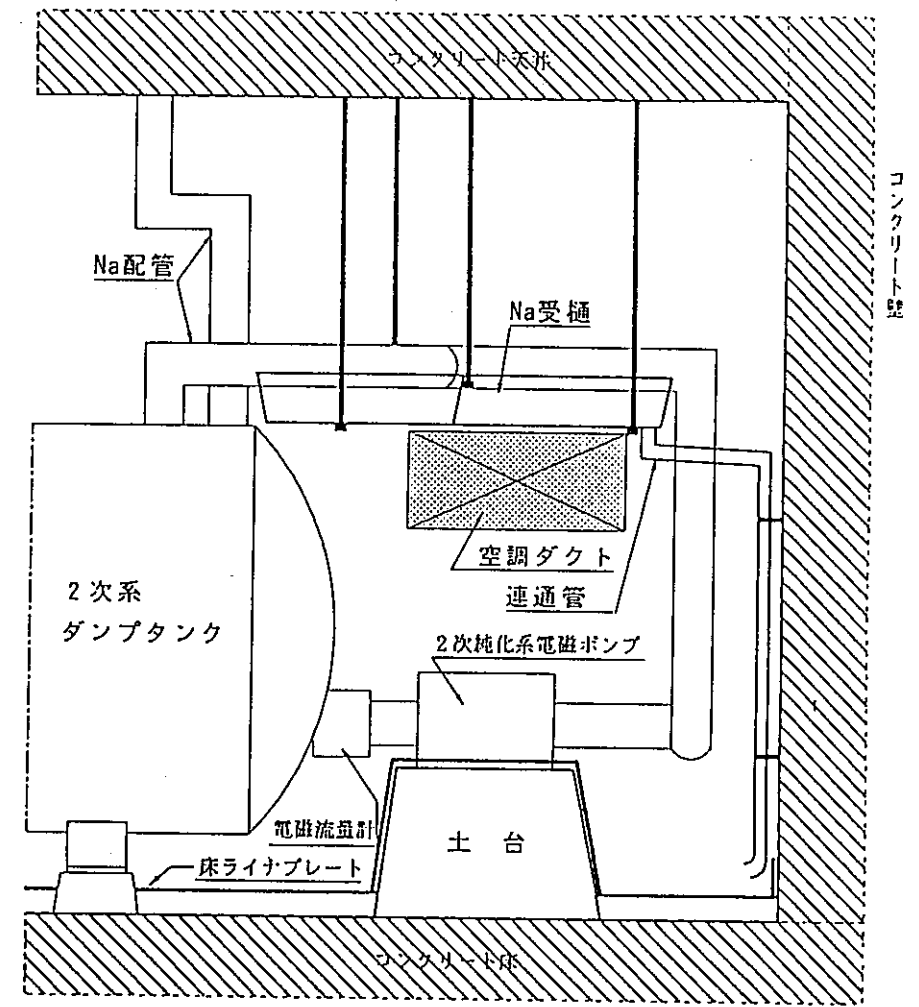
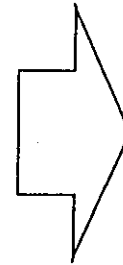
現状

対策後

Na受樋増設対象部周辺の位置関係図 (A-505室)

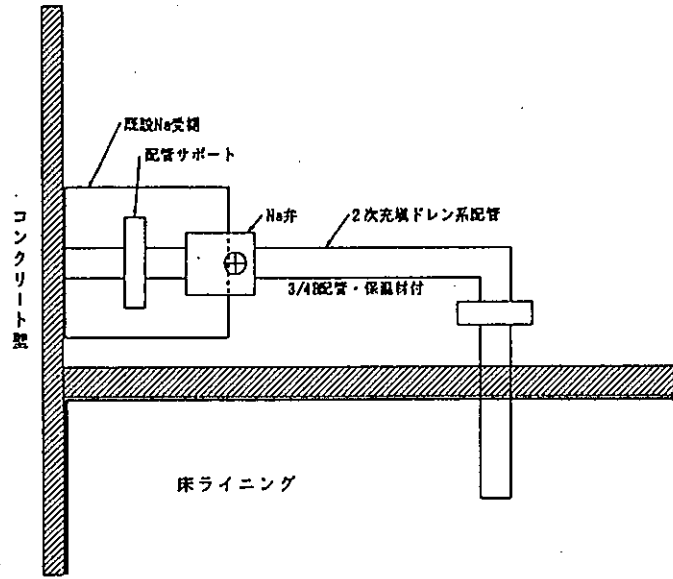


現状

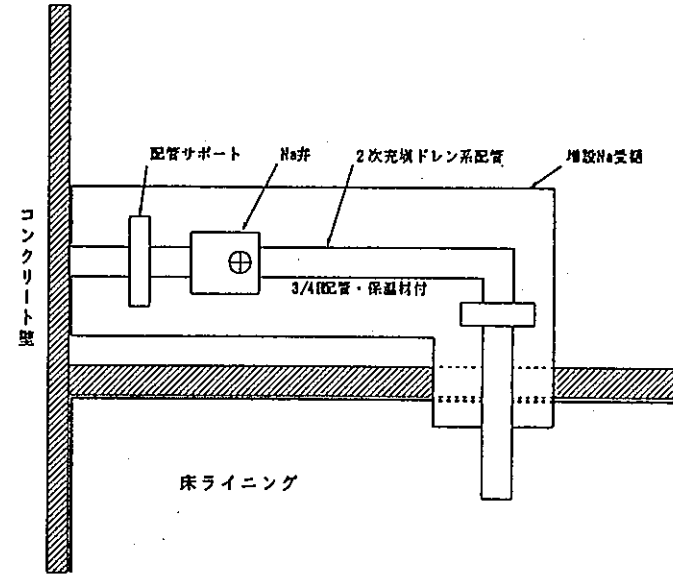


対策後

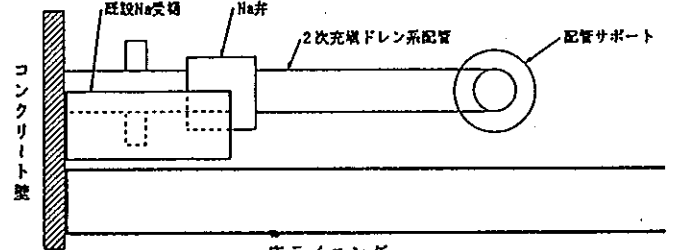
Na受樋増設対象部周辺の位置関係図 (S-212 室)



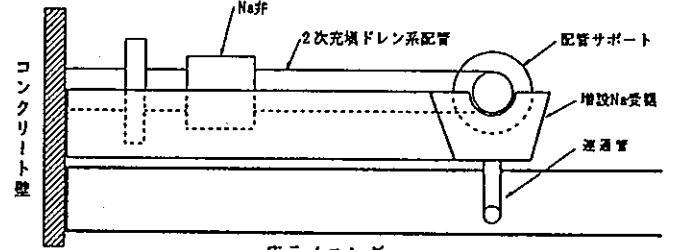
〔平面図〕



〔平面図〕



〔側面図〕

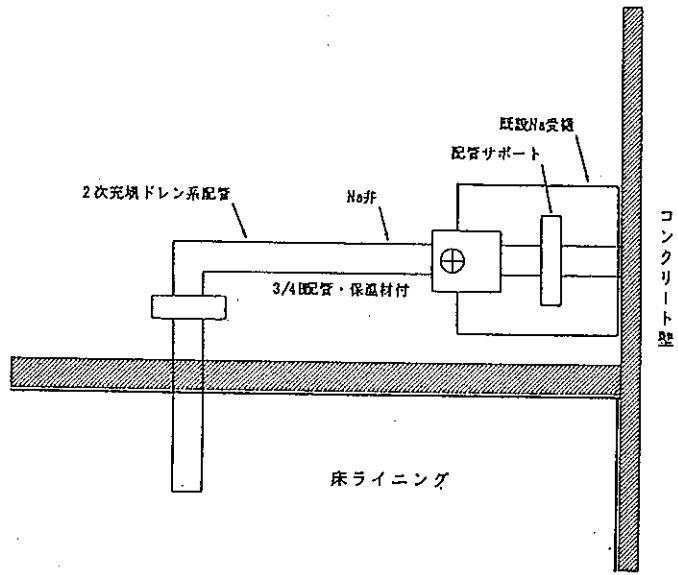


〔側面図〕

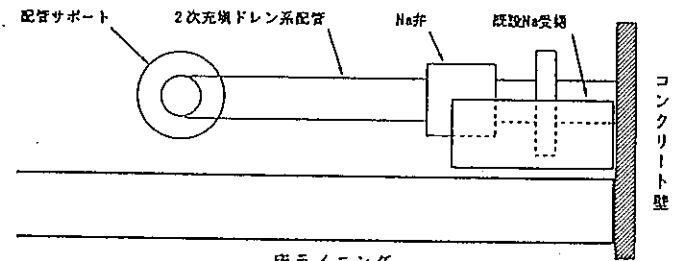
現状

対策後

Na受樋増設対象部周辺の位置関係図 (S-601室)

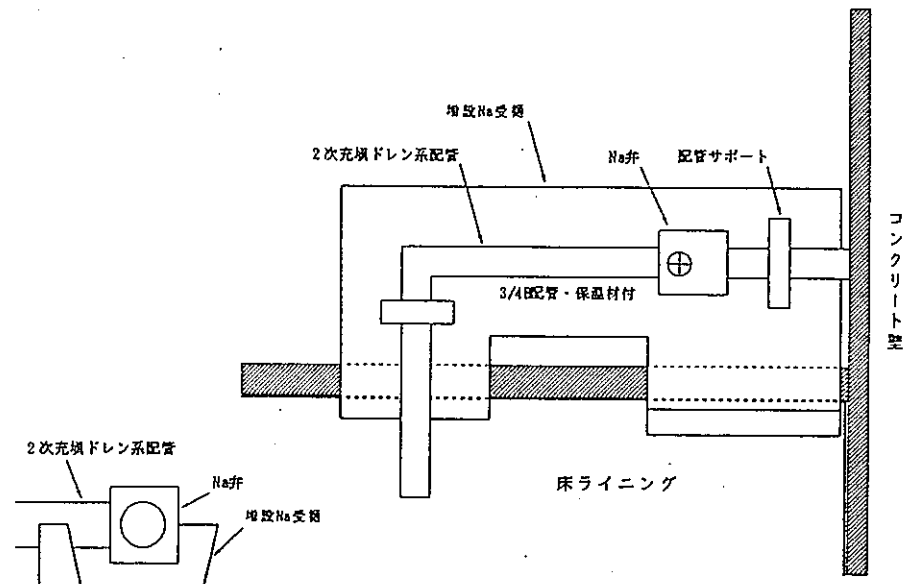


〔平面図〕

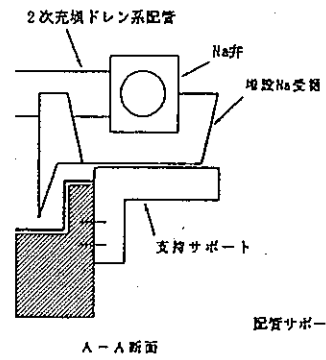


〔側面図〕

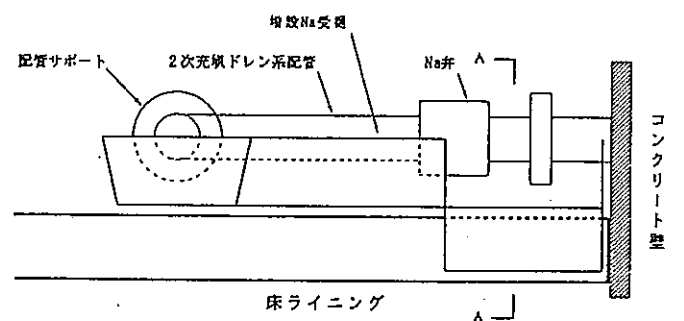
現状



〔平面図〕



A-A断面



〔側面図〕

対策後

Na受桶増設対象部周辺の位置関係図 (S-602室)

防煙ダンパ増設箇所チェックシート

凡 例

▷: 同色の区画の火災警報発生で当該ダンパ閉止及び当該送・排風機停止のインターロックを表す。

*: 増設ダンパを示す

← 室内流路

← ダクト流路

← 外気流路

MDX: モータダンパ No.

B98-X: 送・排風機 No.

給気ダクト

排気ダクト

防煙ダンパ (MD)


給気ファン

排気ファン

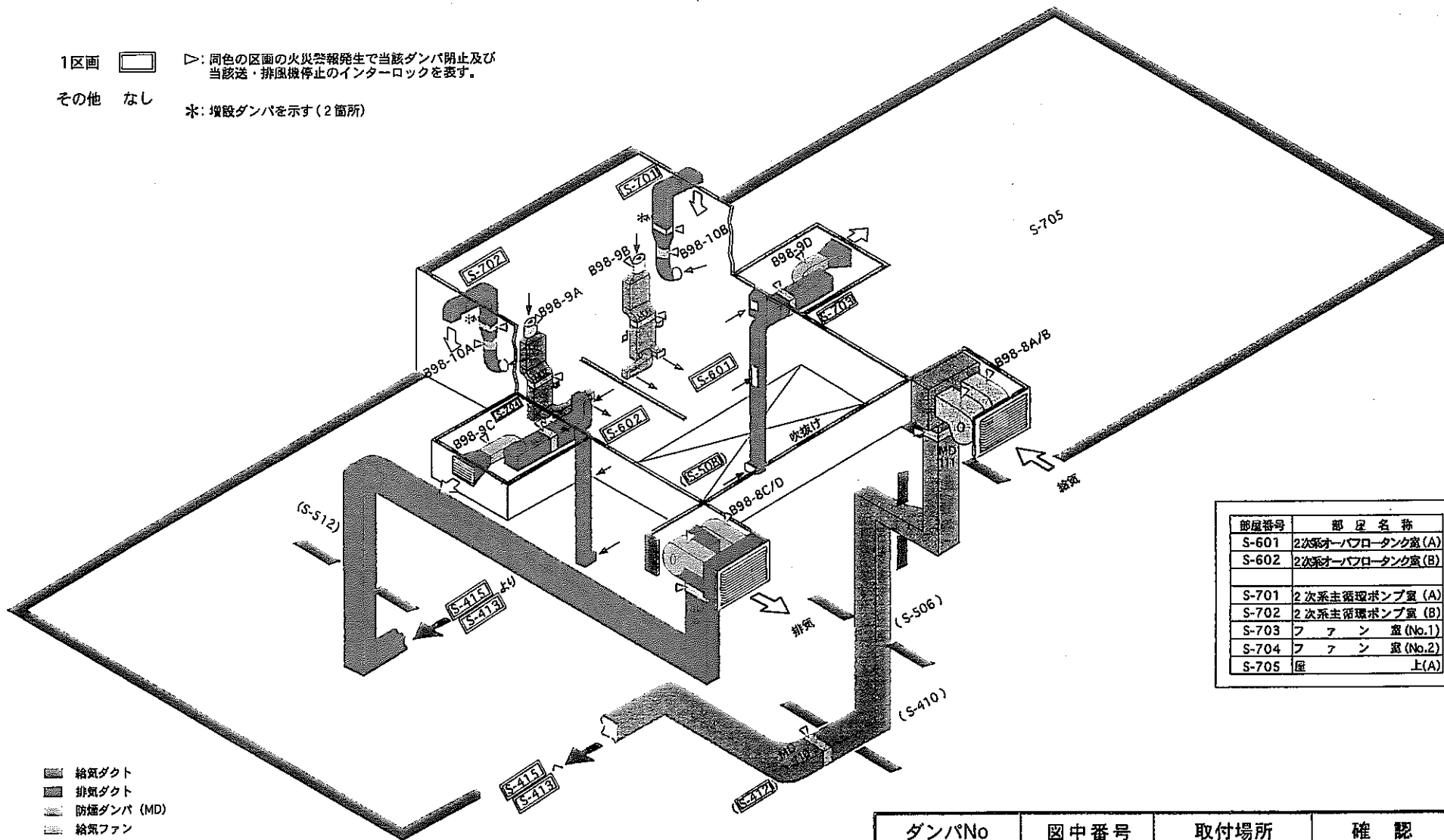
1区画

9区画

Na配管機器のある部屋

1区画  ▷: 同色の区画の火災警報発生で当該ダンパ閉止及び当該送・排風機停止のインターロックを表す。

その他 なし * : 増設ダンパを示す(2箇所)



部屋番号	部屋名称
S-601	2次系オーバーフロータンク室(A)
S-602	2次系オーバーフロータンク室(B)
S-701	2次系主循環ポンプ室(A)
S-702	2次系主循環ポンプ室(B)
S-703	ファン室(No.1)
S-704	ファン室(No.2)
S-705	屋上(A)

-  給気ダクト
-  排気ダクト
-  防煙ダンパ (MD)
-  給気ファン
-  排気ファン
-  室内流路
-  ダクト流路
-  外気流路

主冷却建物 (3F、4F、RF)

ダンパNo	図中番号	取付場所	確認
99-2-70	MD70	S-702	済
99-2-71	MD71	S-701	済

防煙ダンパの設置位置とインターロック構成

MDX : モータダンパ No.
B98-X : 送・排風機 No.

ダンパNo	取付場所	確認
DP92-100F	A-505	済
DP92-101F	A-505	済
DP92-102F	A-305	済
DP92-103F	A-305	済
DP92-104F	A-505	済
DP92-105F	A-505	済
DP92-106F	A-505	済
DP92-107F	A-505	済

*:増設ダンパを示す (8箇所)

▷: 同色の区画の火災警報発生で当該ダンパ閉止及び当該送・排風機停止のインターロックを表す。

□ No.9区画内部屋番号

給気ダクト

排気ダクト

防煙ダンパ (MD)

給気ファン

排気ファン

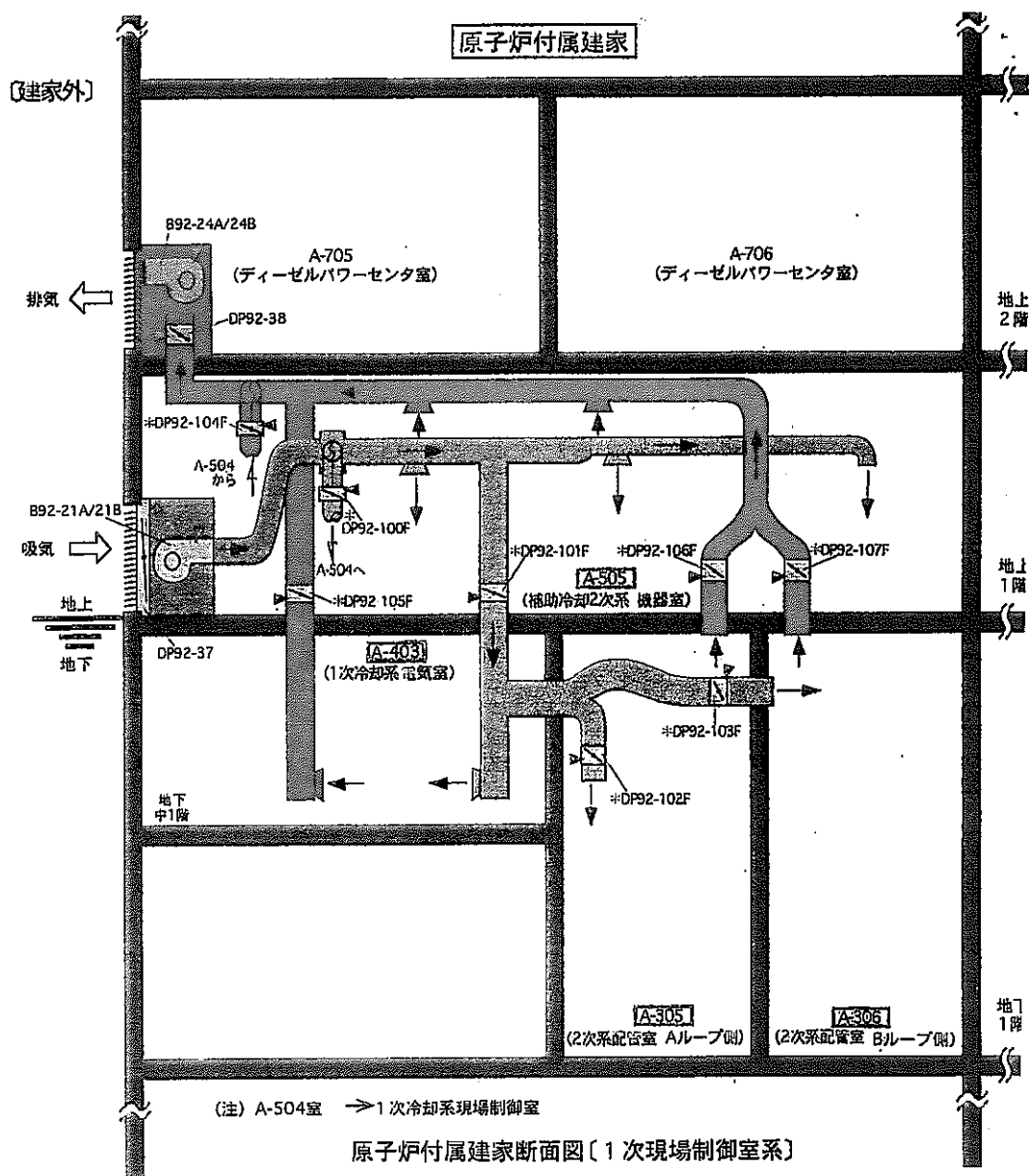
Na配管機器のある部屋

← 外気流路

← 室内流路

DP92-X: モータダンパNo.

B92-X: 送・排風機No.




原子炉付属建家断面図〔1次現場制御室系〕

防煙ダンパの設置位置とインターロック構成

貫通部シールチェックシート

凡 例

 2次冷却系Na配管のあるエリア

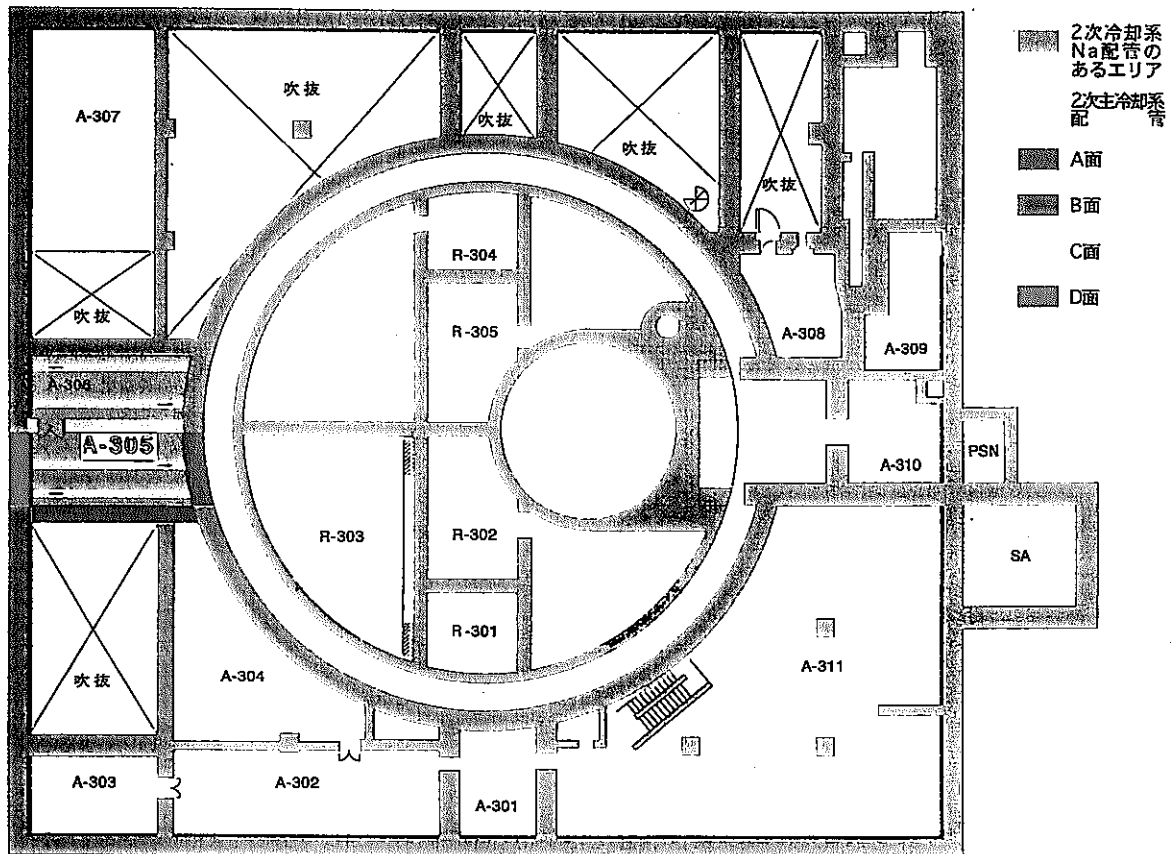
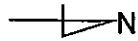
2次主冷却系配管

 A面

 B面

C面

 D面



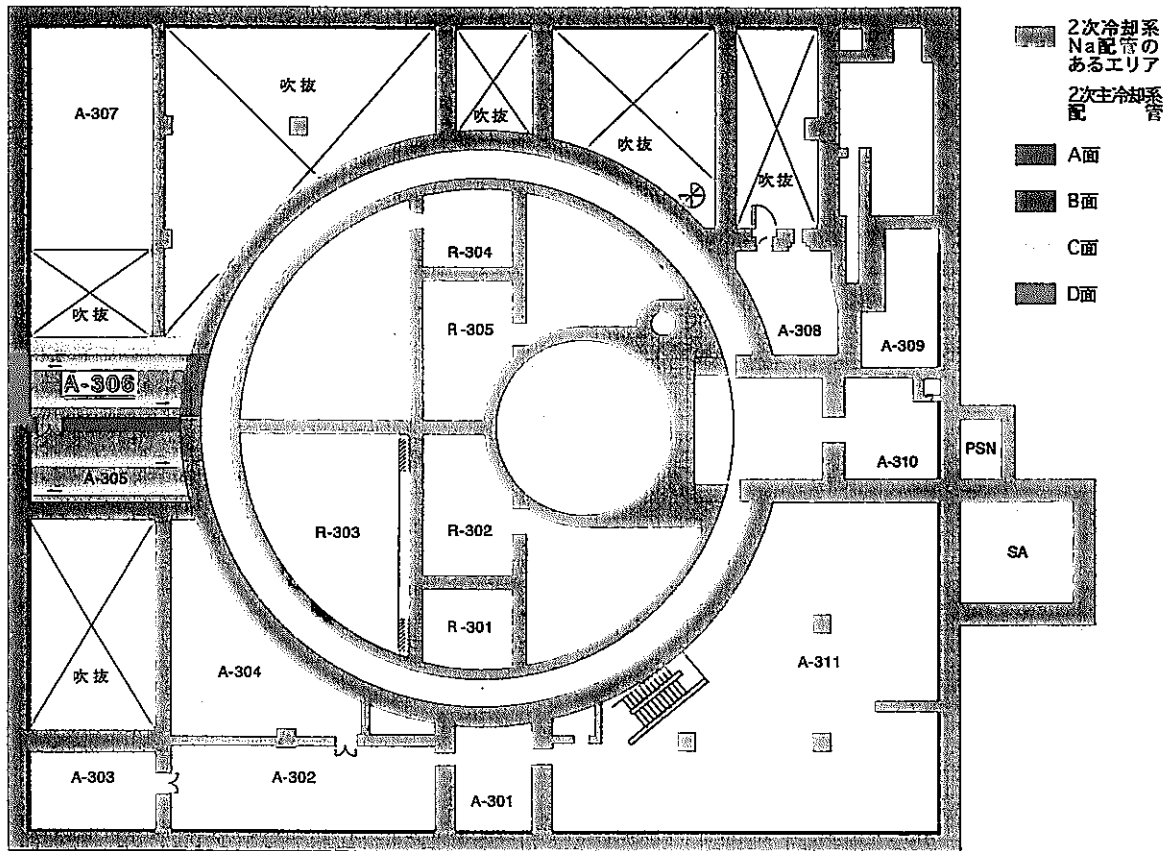
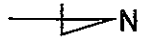
A-305壁面貫通部の密封対策箇所数

	貫通部種類				計	確認	備考
	Na配管	空調ダクト	その他配管類等	開口部			
A面		1			1	済	
B面							対策なし
C面		2	2	3	7	済	
D面							S-304にて対応
A-305天井							A-505床にて対応
A-305床							対策なし
A-305壁貫通部密封対策箇所数					8		

原子炉建家及び付属建家B1F
 [対策対象エリア：A-305]

①

注) 本図におけるドレン管、補助系配管は、省略している。



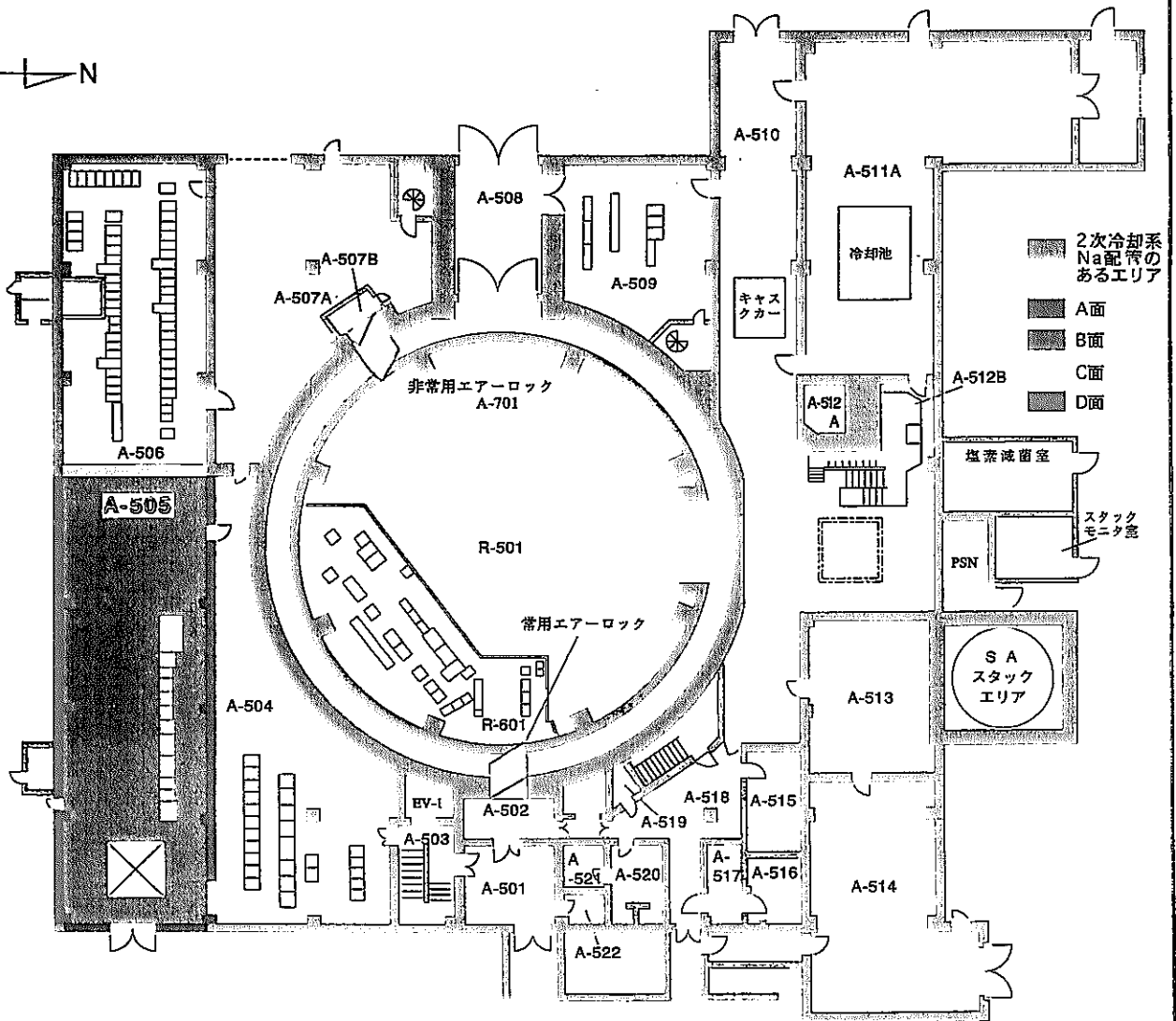
A-306壁面貫通部の密封対策箇所数

	貫通部種類				計	確認	備考
	Na配管	空調ダクト	その他配管類等	開口部			
A面			2	1	3	済	
B面						/	対策なし
C面		1	3		4	済	
D面						/	S-306にて対応
A-306天井	1		1		2	済	
A-306床						/	対策なし
A-306壁貫通部密封対策箇所数					9	/	

原子炉建家及び付属建家B1F
 [対策対象エリア：A-306]

②

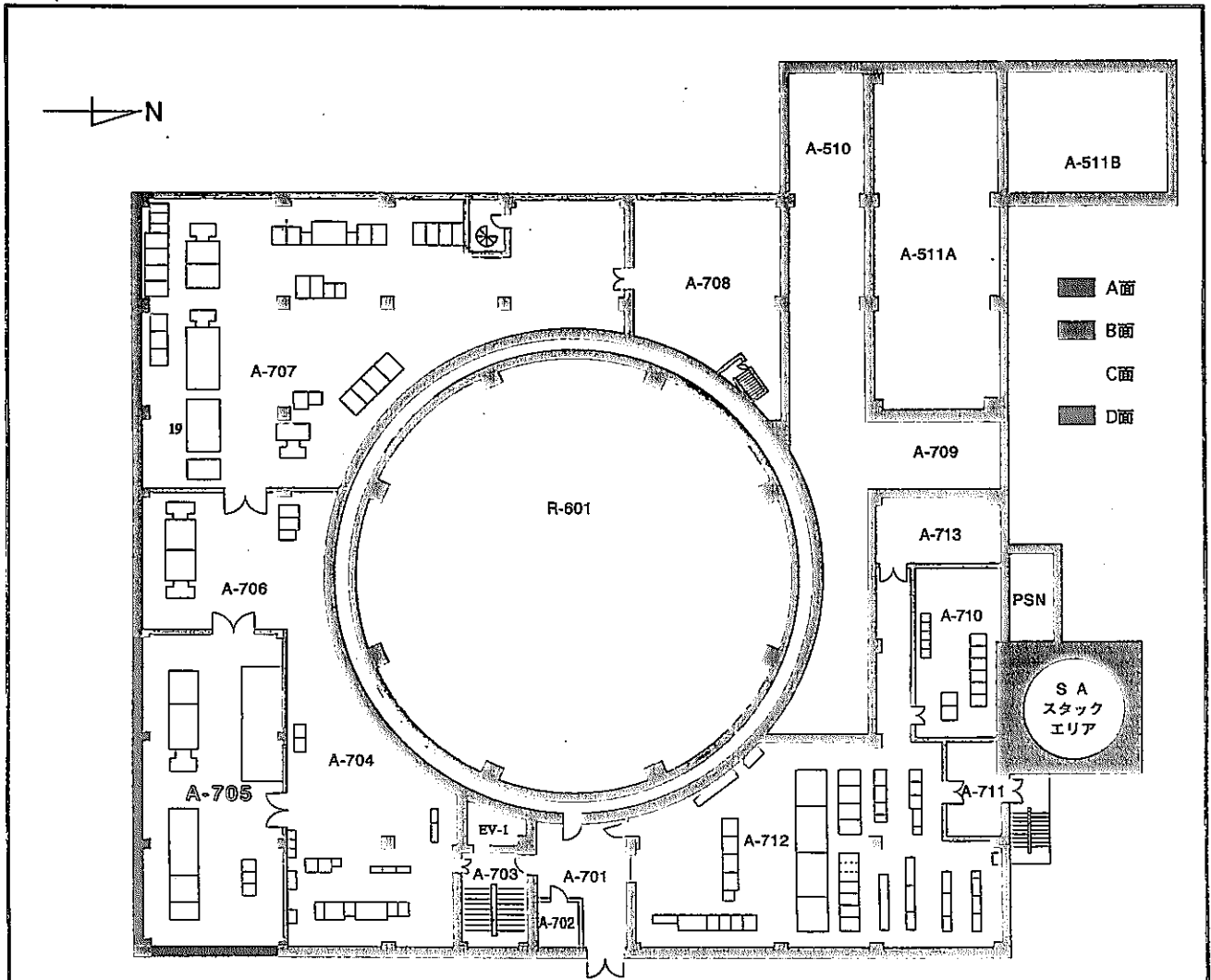
注) 本図におけるドレン管、補助系配管は、省略している。



A-505壁面貫通部の密封対策箇所数

	貫通部種類				計	確認	備考
	Na配管	空調ダクト	その他配管類等	開口部			
A面							対策なし
B面			1		1	済	
C面							対策なし
D面		1			1	済	補助冷却器 給気ダクト
A-505 天井							A-705 にて対応
A-505 床	3	4	1		8	済	
A-505壁貫通部密封対策箇所数				合計	10		

原子炉建家及び付属建家1F
〔対策対象エリア：A-505〕



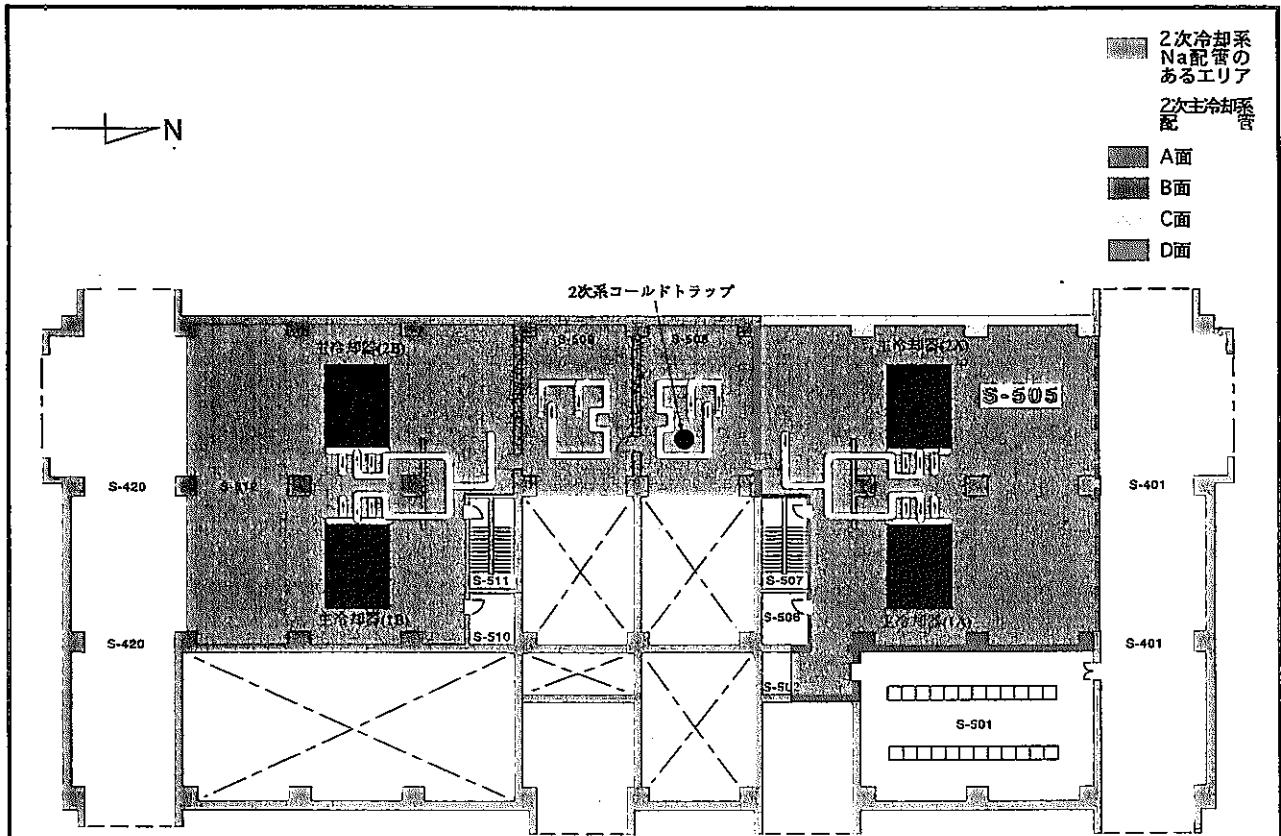
A-705壁面貫通部の密封対策箇所数

	貫通部種類				計	確認	備考
	Na配管	空調ダクト	その他配管類等	開口部			
A面						/	対策なし
B面						/	対策なし
C面						/	対策なし
D面						/	対策なし
A-705 天井						/	対策なし
A-705 床		2			2	済	
A-705壁貫通部密封対策箇所数				合計	2	/	

原子炉建家及び付属建家 2F
〔対策対象エリア：A-705〕

④

注) 本図におけるドレン管、補助系配管は、省略している。



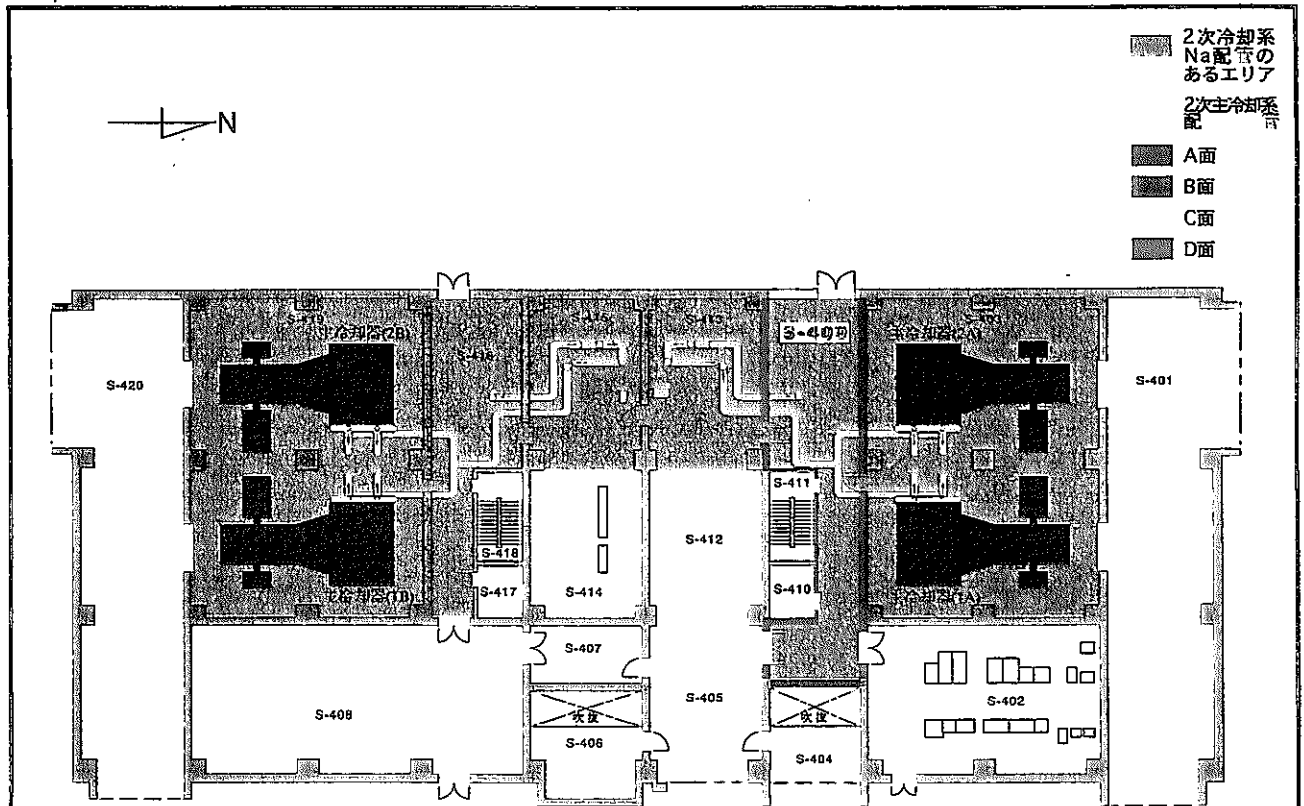
S-505 壁面貫通部の密封対策箇所数

	貫通部種類				計	確認	備考
	Na配管	空調ダクト	その他配管等	開口部			
A面						/	対策なし
B面						/	対策なし (壁なし)
C面						/	対策なし
D面	1				1	済	
S-505 天井						/	対策なし
S-505 床						/	対策なし
S-505壁貫通部密封対策箇所数				合計	1	/	

主冷却機建家2F
[対策対象エリア：S-505]

5

注) 本図におけるドレン管は、省略している。



S-409 壁面貫通部の密封対策箇所数

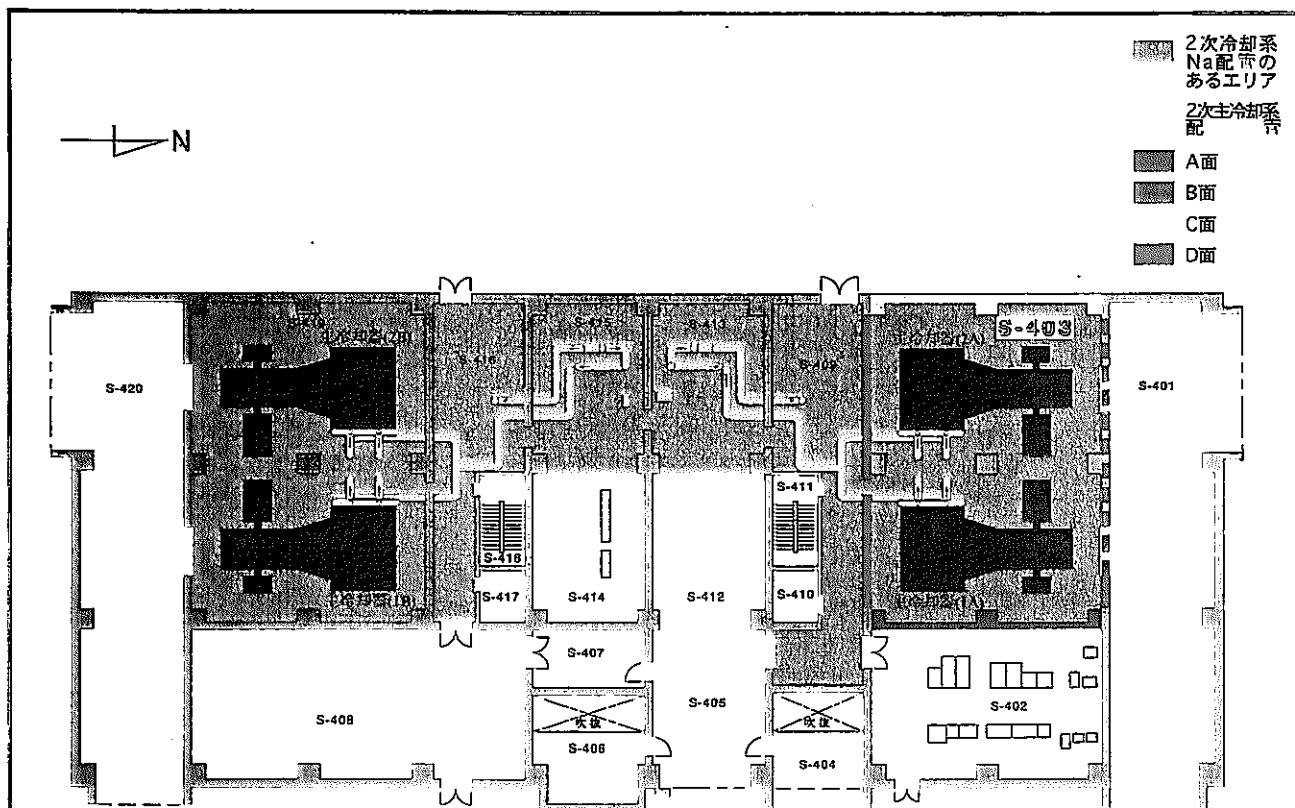
	貫通部種類				計	確認	備考
	Na配管	空調ダクト	その他配管類等	開口部			
A面						/	対策なし
B面			2		2	済	
C面						/	対策なし
D面	2		2		4	済	
S-409 天井						/	対策なし
S-409 床			4		4	済	
S-409壁貫通部密封対策箇所数				合計	10	/	

主冷却機建家1F

[対策対象エリア：S-409]

⑥

注) 本図におけるドレン管は、省略している。



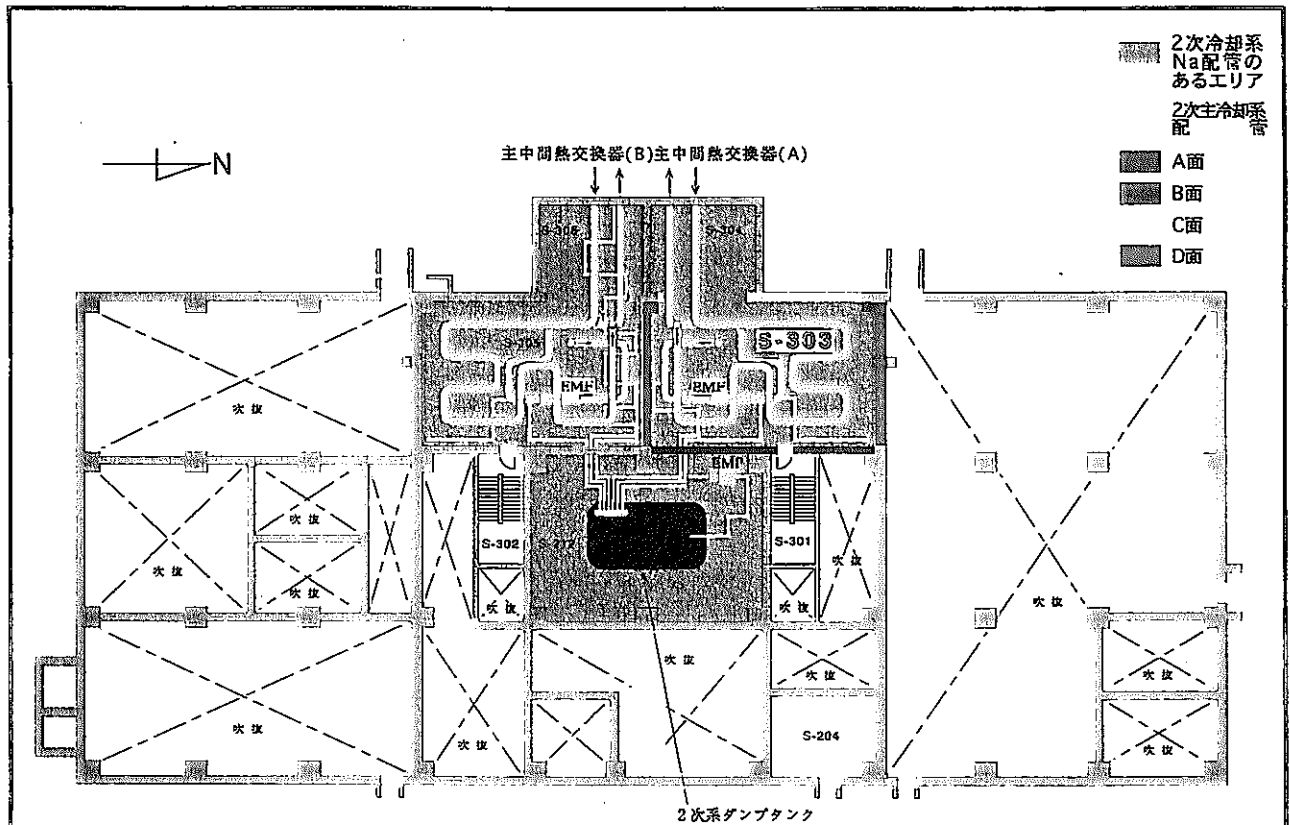
S-403壁面貫通部の密封対策箇所数

	貫通部種類				計	確認	備考
	Na配管	空調ダクト	その他配管類等	開口部			
A面						/	対策なし
B面						/	対策なし (壁なし)
C面						/	対策なし
D面	2		1		3	済	
S-403 天井						/	対策なし (吹抜け)
S-403 床			1		1	済	
S-403壁貫通部密封対策箇所数				合計	4	/	

主冷却機建家1F
〔対策対象エリア：S-403〕

7

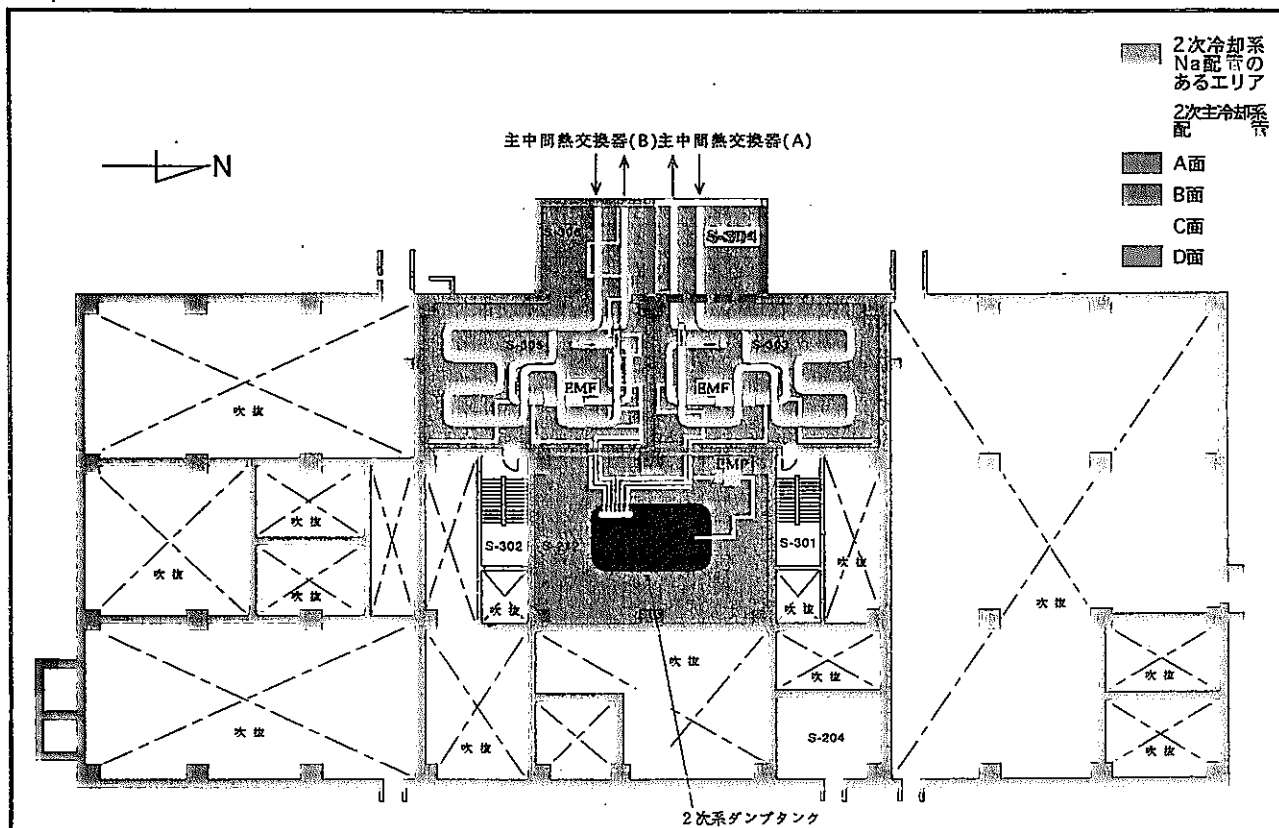
注) 本図におけるドレン管は、省略している。



S-303壁面貫通部の密封対策箇所数

	貫通部種類				計	確認	備考
	Na配管	空調ダクト	その他配管類等	開口部			
A面		2	3		5	済	
B面			1		1	済	
C面							対策なし
D面			2		2	済	
S-303天井	1				1	済	
S-303床			2		2	済	
S-303壁貫通部密封対策箇所数				合計	11		

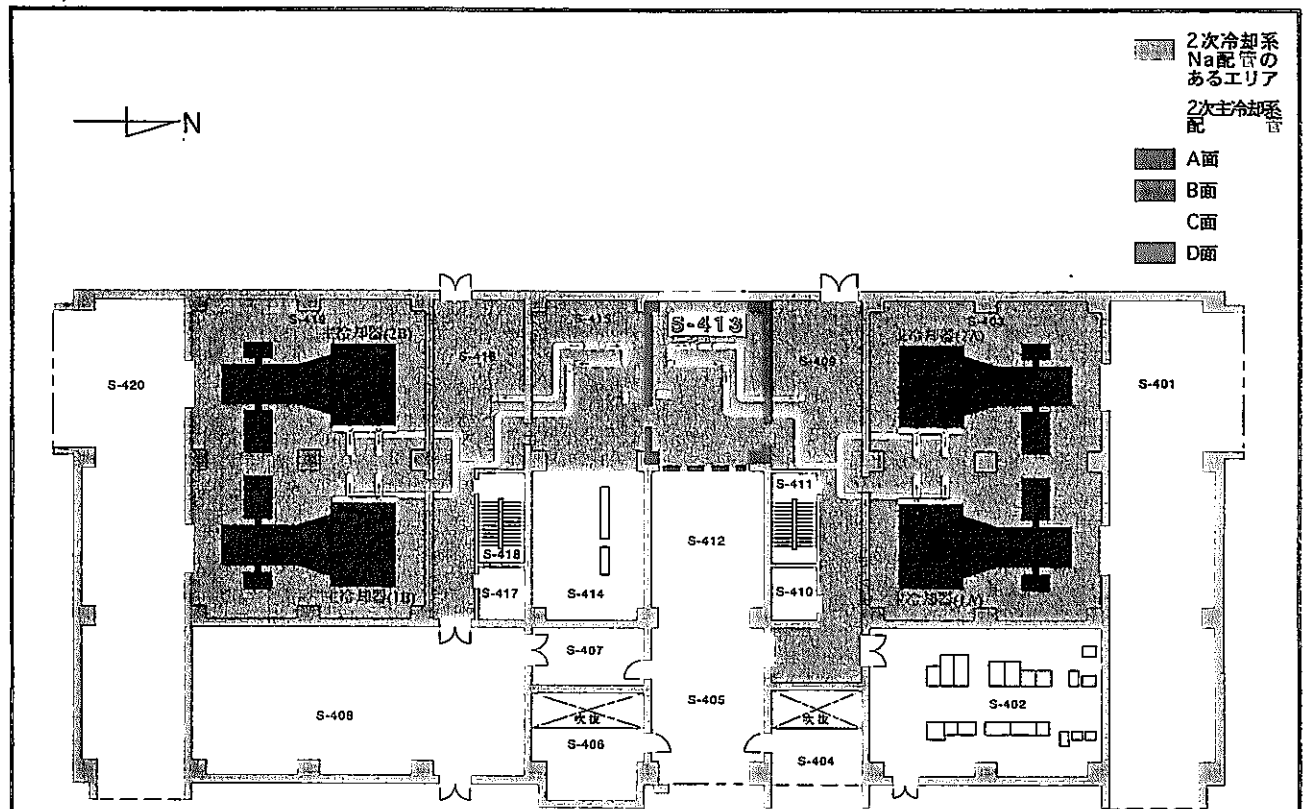
主冷却機建家BM1F
 [対策対象エリア：S-303]



S-304壁面貫通部の密封対策箇所数

	貫通部種類				計	確認	備考
	Na配管	空調ダクト	その他配管類等	開口部			
A面						/	対策なし (壁なし)
B面						/	対策なし
C面	2		2		4	済	
D面						/	対策なし
S-304 天井						/	対策なし
S-304 床						/	対策なし
S-304壁貫通部密封対策箇所数				合計	4	/	

主 冷 却 機 建 家 B M 1 F
〔対策対象エリア：S-304〕



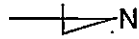
S-413 壁面貫通部の密封対策箇所数

	貫通部種類				計	確認	備考
	Na配管	空調ダクト	その他配管類等	開口部			
A面							対策なし (壁なし)
B面							対策なし
C面							対策なし
D面							対策なし
S-413 天井							対策なし
S-413 床	2				2	済	
S-413壁貫通部密封対策箇所数				合計	2		

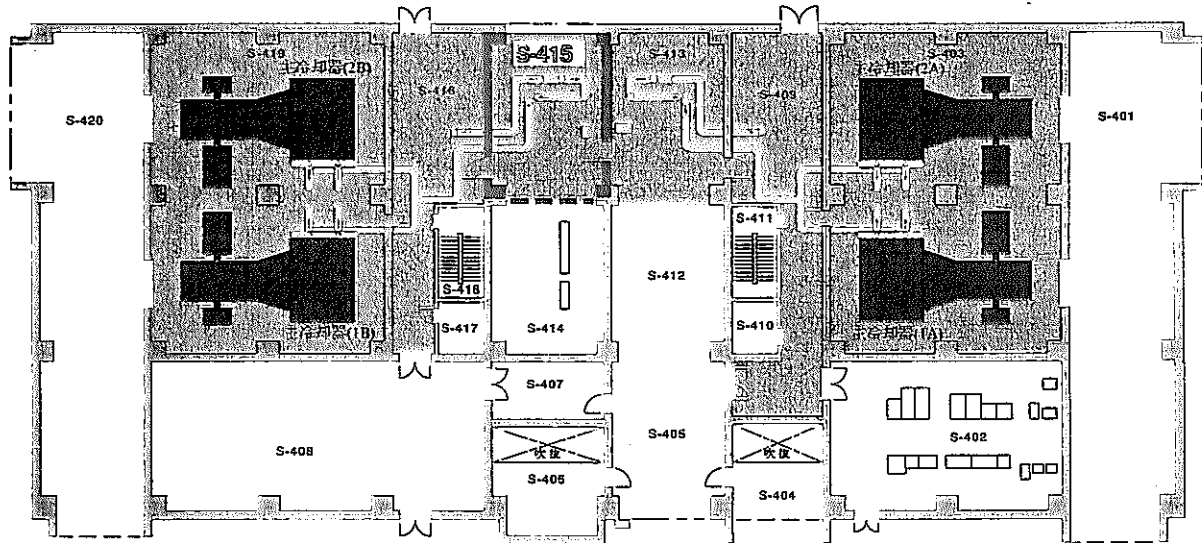
主冷却機建家1F
[対策対象エリア：S-413]

10

注) 本図におけるドレン管は、省略している。



- 2次冷却系Na配管のあるエリア
- 2次主冷却系配管
- A面
- B面
- C面
- D面



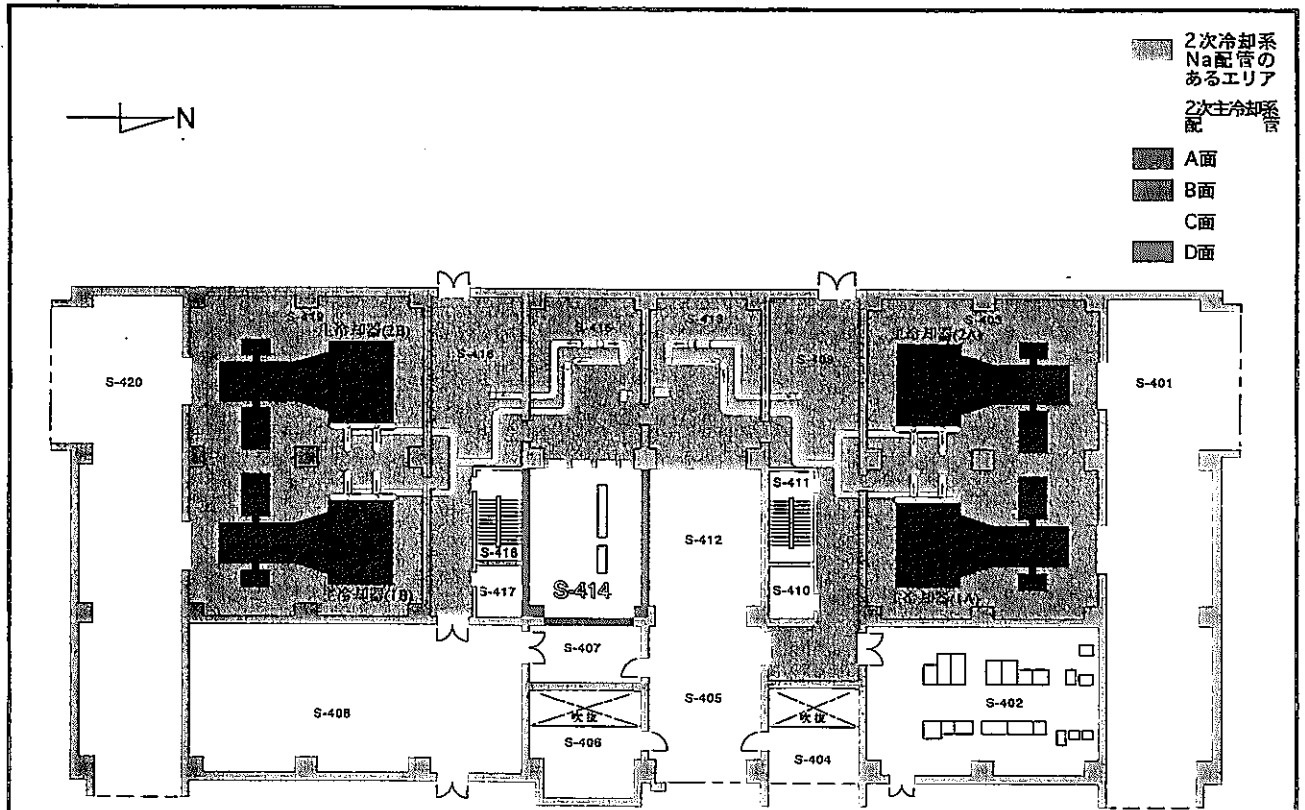
S-415壁面貫通部の密封対策箇所数

	貫通部種類				計	確認	備考
	Na配管	空調ダクト	その他配管類等	開口部			
A面						/	対策なし(壁なし)
B面						/	対策なし
C面						/	対策なし
D面	2		2		4	済	
S-415天井						/	対策なし
S-415床	2		3		5	済	
S-415壁貫通部密封対策箇所数				合計	9	/	

主冷却機建家1F
[対策対象エリア：S-415]

11

注) 本図におけるドレン管は、省略している。



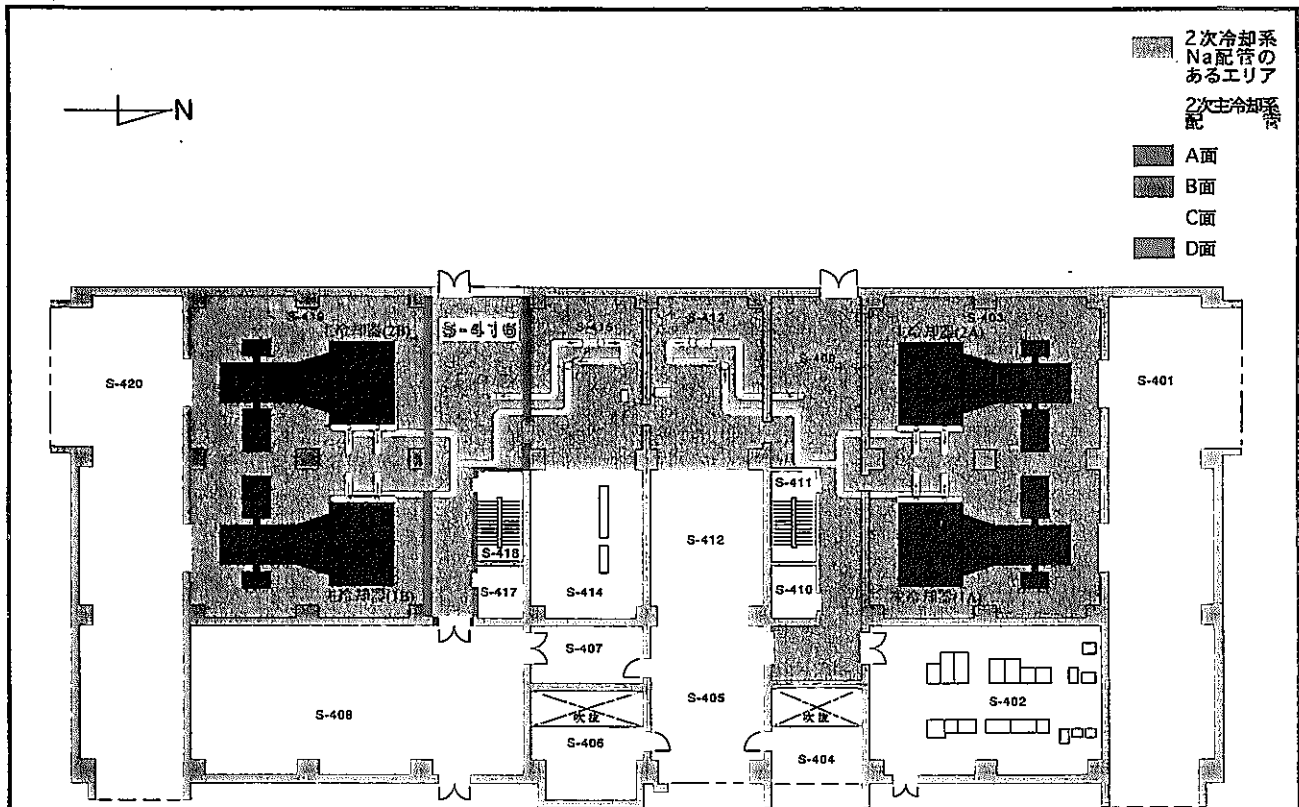
S-414 壁面貫通部の密封対策箇所数

	貫通部種類				計	確認	備考
	Na配管	空調ダクト	その他配管類等	開口部			
A面			2		2	済	
B面							対策なし
C面							対策なし (壁なし)
D面							対策なし
S-414 天井							対策なし (吹抜け)
S-414 床			3	2	5	済	
S-414壁貫通部密封対策箇所数				合計	7		

主冷却機建家1F
〔対策対象エリア：S-414〕

12

注) 本図におけるドレン管は、省略している。



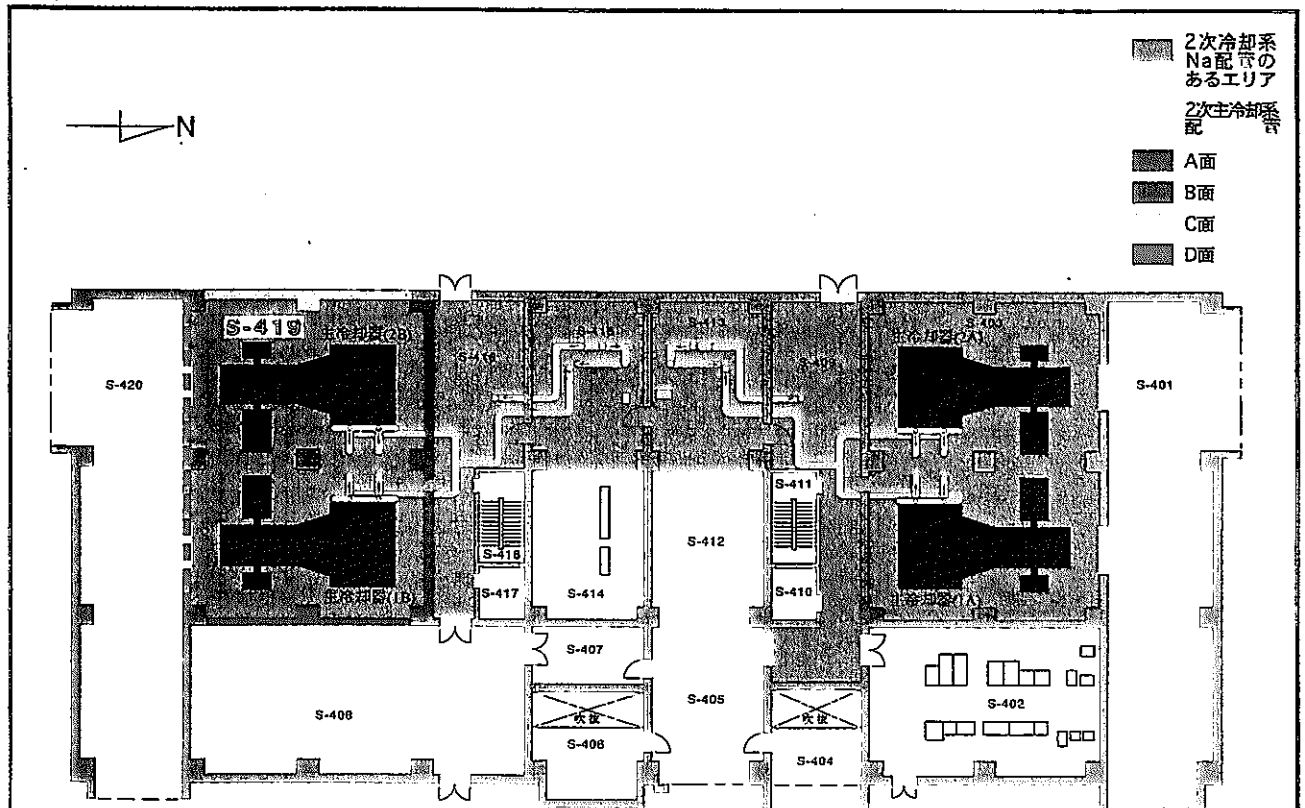
S-416壁面貫通部の密封対策箇所数

	貫通部種類				計	確認	備考
	Na配管	空調ダクト	その他配管類等	開口部			
A面		1			1	済	
B面						/	対策なし
C面						/	対策なし
D面			1		1	済	
S-416天井						/	対策なし
S-416床						/	対策なし
S-416壁貫通部密封対策箇所数				合計	2	/	

主冷却機建家1F
〔対策対象エリア：S-416〕

13

注) 本図におけるドレン管は、省略している。



S-419 壁面貫通部の密封対策箇所数

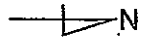
	貫通部種類				計	確認	備考
	Na配管	空調ダクト	その他配管類等	開口部			
A面						/	対策なし
B面	2		1		3	済	
C面						/	対策なし
D面						/	対策なし (壁なし)
S-419 天井						/	対策なし (吹抜け)
S-419 床			1		1	済	
S-419壁貫通部密封対策箇所数				合計	4	/	

主冷却機建家1F

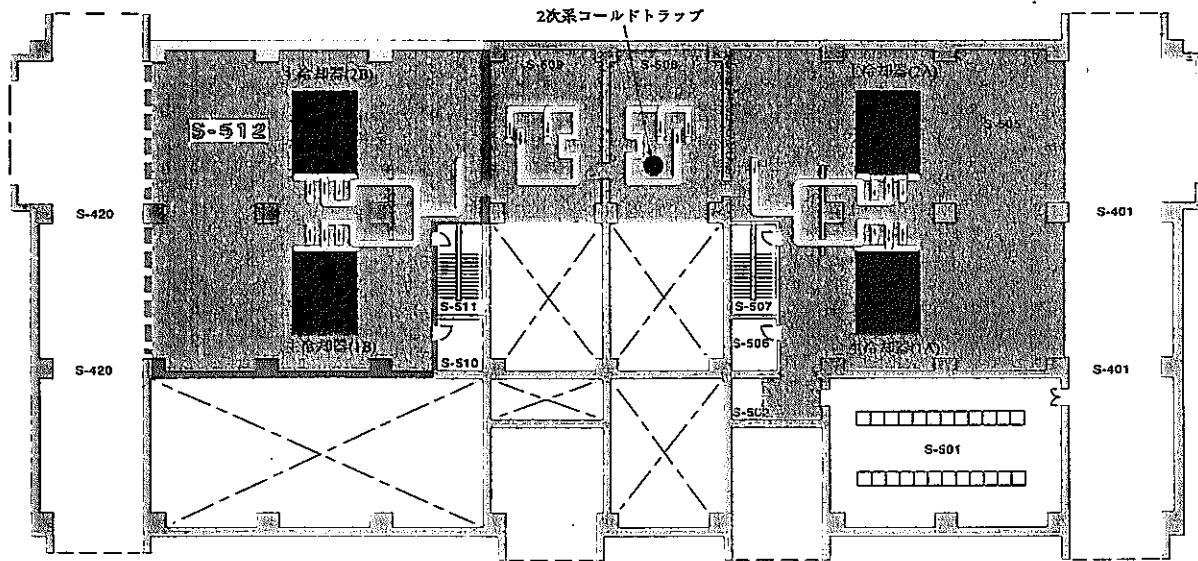
[対策対象エリア：S-419]

14

注) 本図におけるドレン管は、省略している。



- 2次冷却系
Na配管の
あるエリア
- 2次主冷却系
配管
- A面
- B面
- C面
- D面



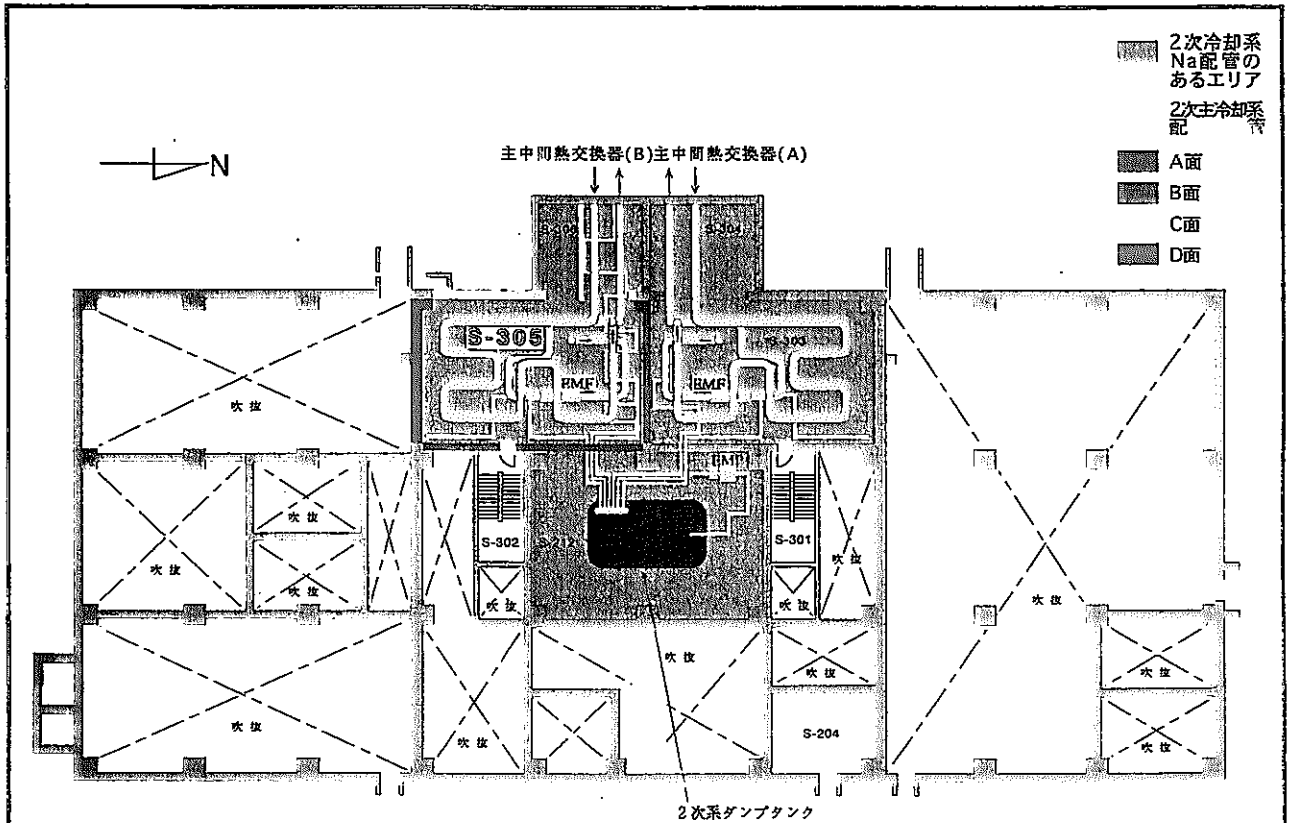
S-512壁面貫通部の密封対策箇所数

	貫通部種類				計	確認	備考
	Na配管	空調ダクト	その他配管類等	開口部			
A面						/	対策なし
B面	1				1	済	
C面						/	対策なし
D面						/	対策なし (壁なし)
S-512 天井						/	対策なし
S-512 床						/	対策なし
S-512壁貫通部密封対策箇所数				合計	1	/	

主冷却機建家2F
〔対策対象エリア：S-512〕

15

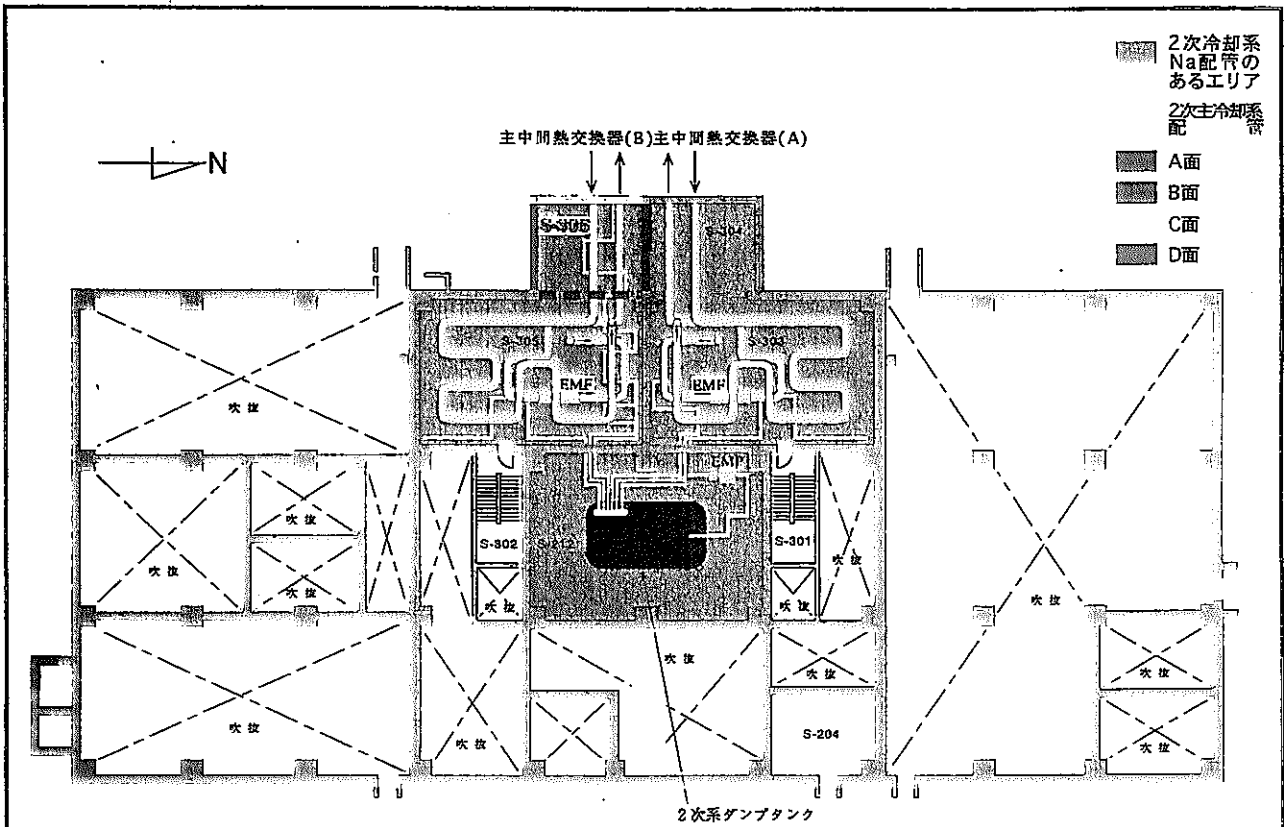
注) 本図におけるドレン管は、省略している。



S-305壁面貫通部の密封対策箇所数

	貫通部種類				計	確認	備考
	Na配管	空調ダクト	その他配管類等	開口部			
A面	1	2	2		5	済	
B面							対策なし
C面				1	1	済	
D面			1	1	2	済	
S-305天井	1		3		4	済	
S-305床			3		3	済	
S-305壁面貫通部密封対策箇所数				合計	15		

主冷却機建家 B M 1 F
 [対策対象エリア: S-305]



S-306壁面貫通部の密封対策箇所数

	貫通部種類				計	確認	備考
	Na配管	空調ダクト	その他配管類等	開口部			
A面							対策なし (壁なし)
B面							対策なし
C面	3		1	4	済		
D面							対策なし
S-306 天井							対策なし
S-306 床							対策なし
S-306壁貫通部密封対策箇所数				合計	4		

主冷却機建家B M I F
 [対策対象エリア: S-306]

ナトリウム漏えい対策に係る中央制御室モニタチェックシート

確認年月日 平成8年12月18日

モニタ名称	確認内容	結果
2次系Na 漏えい監視支援 システムモニタ	設置台数 1台	済
	漏えい検出器信号による警報表示機能	済
	漏えい検出器設置場所のITV連動	済
火災感知器モニタ	設置台数 1台	済
	火災感知器信号による警報表示機能	済
	火災感知器設置場所のITV連動	済
	火災感知器設置場所の換気空調ダンパ連動	済
監視用ITVモニタ	設置台数 2台	済
	Na漏えい検出器信号及び火災感知器信号との連動	済
	自動及び手動切り替えによる監視	済

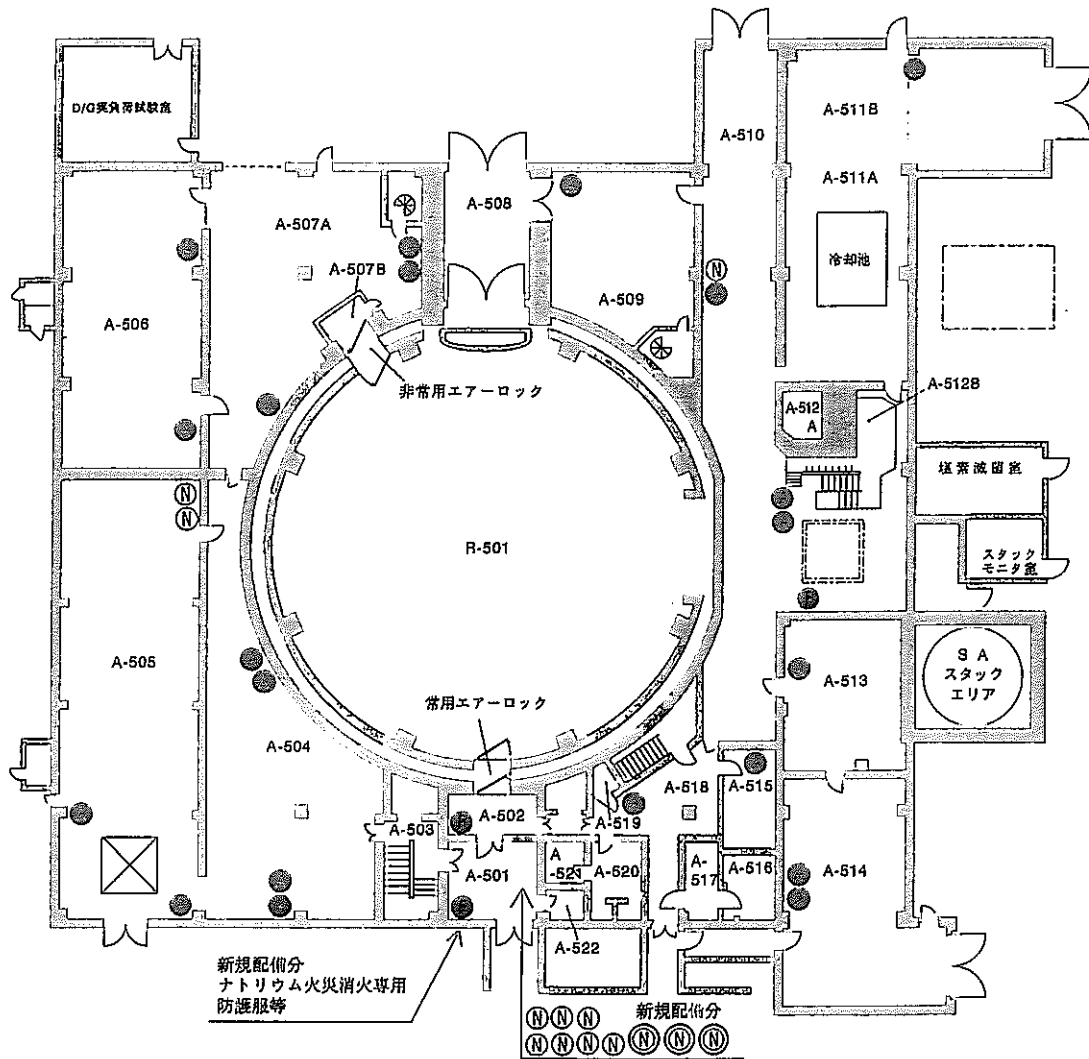
防護服、ナトレックス消火器のチェックシート

確認年月日 平成8年12月18日

		原子炉付属建家 (A-501)		主冷却機建家 (S-409)	
		配備数量	確認	配備数量	確認
防護服等	耐熱上衣	6	済	6	済
	耐熱ズボン	6	済	6	済
	耐熱頭巾	6	済	6	済
	耐熱手袋	6	済	6	済
	耐熱靴	6	済	6	済
	ヘルメット	6	済	6	済
	空気呼吸器	6	済	6	済
ナトレックス 消火器	可搬式(20型)	7	済	7	済
	移動式(50型)	3	済	3	済

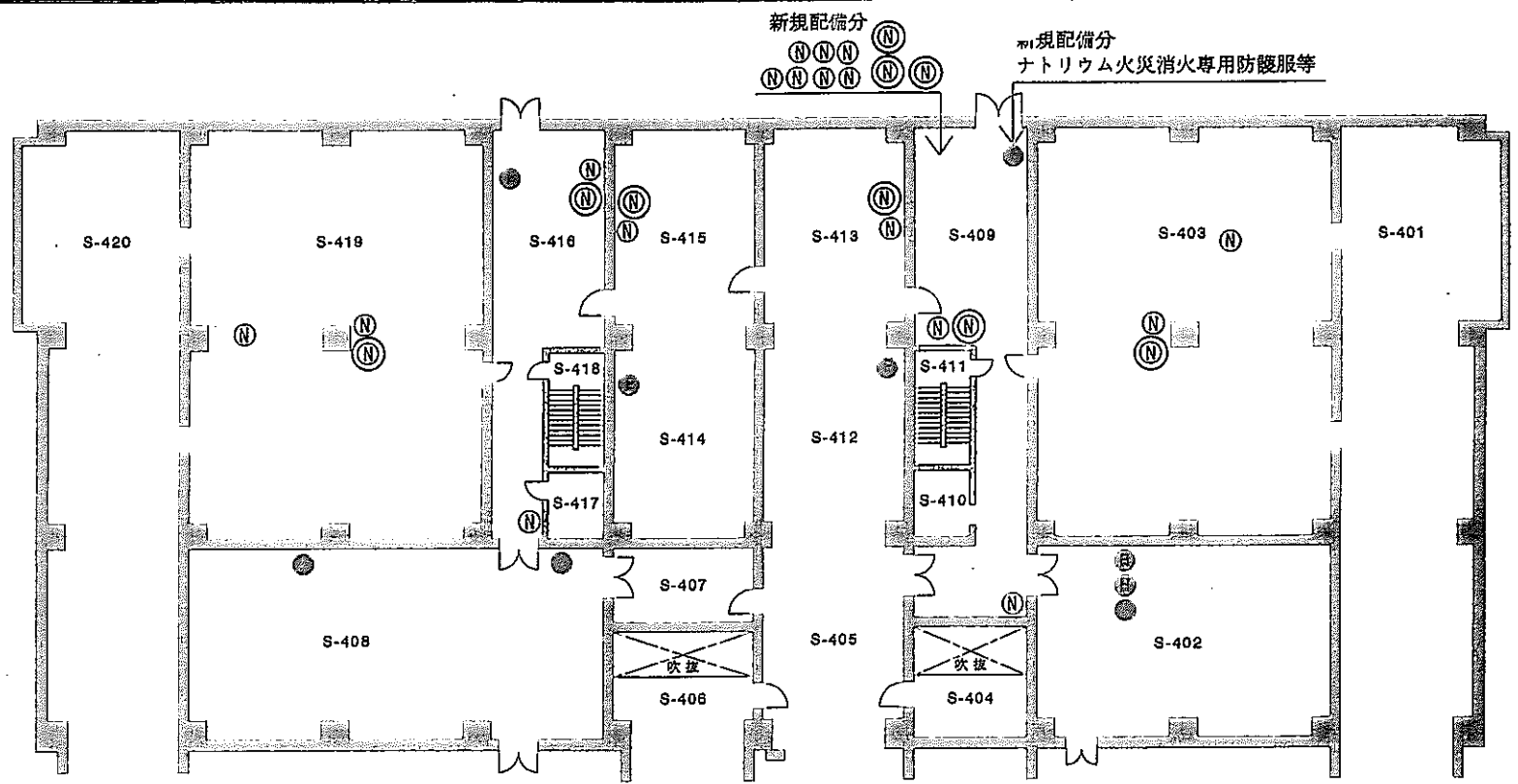
部屋番号	部屋名称	部屋番号	部屋名称	部屋番号	部屋名称
A-501	エントランスホール	A-509	燃料取扱系現場制御室	A-516	ダクトスペース
A-502	パーソナルエアロック前室	A-510	キャスタカー移動エリア	A-517	防護器材室
A-503	階段	A-511A	冷却池室	A-518	ホール
A-504	1次冷却系現場制御室	A-511B	使用済燃料移送容器搬出エリア	A-519	倉庫
A-505	補助冷却系(2次機)機器室	A-512B	缶詰操作エリア	A-520	除染室
A-506	1次冷却系予熱換熱器室	A-512A	缶詰詰室	A-521	トイレ(ホット)
A-507A	機器搬入室	A-513	新燃料検査貯蔵室	A-522	トイレ(コールド)
A-507B	非常用エアロック前室	A-514	新燃料受入室	EV-1	エレベータ(No.1)
A-508	機器搬入路	A-515	ホット実験室	EV-2	エレベータ(No.2)

- 印…ABC消火器
- Ⓝ 印…ナトレックス消火器 20型
- Ⓝ 印…ナトレックス消火器 50型
- Ⓜ 印…ハロン消火器
- 印…保護具



保護具・消火器配置図

図面名称	図番
原子炉付属建家 1F	12



部屋番号	部屋名称
S-401	風 洞 室 (A)
S-402	2 次 系 電 気 室
S-403	主 冷 却 機 室 (A)
S-404	ダクトスペース (A)
S-405	機 器 取 入 路
S-406	ダクトスペース (B)
S-407	ガ ス 供 給 系 前 室
S-408	ガ ス 供 給 系 室
S-409	前 室 (No.1)
S-410	便 所
S-411	階 段 室 (A)
S-412	2 次 系 メンテナンス室 (A)
S-413	2 次 系 配 管 室 (A)
S-414	2 次 系 メンテナンス室 (B)
S-415	2 次 系 配 管 室 (B)
S-416	前 室 (No.2)
S-417	パイプシャフト
S-418	階 段 室 (B)
S-419	主 冷 却 機 室 (B)
S-420	風 洞 室 (B)

- 印 … ABC 消火器
- ⊙ 印 … ナトレックス消火器 20型
- ⊙ 印 … ナトレックス消火器 50型
- ⊙ 印 … ハロン消火器
- ⊙ 印 … 保護具

保護具・消火器配置図

図 面 名 称	図 番
主 冷 却 機 建 家 1 F	2 0

異常予運転マニュアル見直しの確認

確認年月日 平成8年12月18日

PNC PN9440 97-009

No.	見直し点	マニュアル確認内容	確認
1	設備改造のマニュアルへの反映	Na漏洩対策の一環として新規に設備された次のモニタを用いて、警報の発生位置の確認や監視などを行う旨を追記した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ナトリウム漏洩検出器モニタ ・監視ITVモニタ ・火災感知器モニタ 	済
2	Na漏洩発生の判断基準の明確化	「次のいずれかに該当する場合、当直長はNa漏洩と判断する。」ことを明確に定めた。 <ul style="list-style-type: none"> ・現場調査にて、白煙（Naエアロゾル）又はNaエアロゾル特有の刺激臭を認めた場合 ・同一エリア内でNa漏洩警報と火災警報が発報した場合 ・Na漏洩警報の発報と監視ITVモニタにより白煙を認めた場合 ・複数個のNa漏洩警報が発報した場合 	済
3	Na漏洩と判断した後の措置手順記述方法の改善	Na漏洩発生と判断した後、次の措置が同時並行的に行われることが分かるよう記述方法を改善した。 <ul style="list-style-type: none"> ・当該エリアからの退避命令 ・通報連絡 ・空調換気の停止 ・手動制御棒一斉挿入による原子炉の停止 ・ボイラの停止と退避命令（主冷却機建家での発生の場合） ・初期消火（可能な場合） ・当該室の扉の閉鎖 ・当該エリアの監視 	済
4	Na漏洩規模と拡大状況の把握・監視の強化	Na漏洩規模と拡大状況の把握・監視を強化する観点から、次の手順を追記した。 <ul style="list-style-type: none"> ・2次ダンプタンク、2次オーバフロタンク及び2次主ポンプの液位の確認と監視 ・Na漏洩警報と火災警報の追加発報に対する注意 また、漏洩規模を判断する一助とするため、データを定量的に確認することのできる2次ダンプタンクについては、液面計から読み取ることで可能な最小変化量を備考欄に付記した。	済
5	ドレン促進操作の追記	ドレンに時間のかかる水平配管部からの漏洩の場合は、ドレンを促進させるため、ダンプタンク真空引き操作を実施する手順を追記した。	済

第 4 編 第 11 回 定期 検 査 に お け る 検 査 項 目 の 見 直 し

I. 温度計ウエルの定期検査

1. 概要

「常陽」の定期検査においては、「高速実験炉「常陽」設置者自主検査長期計画書（平成4年11月）」に基づき、動燃の自主検査として、温度計ウエルを含めた機器配管等の外観検査を実施してきているが、「もんじゅ」事故を踏まえ、平成7年5月から実施されている第11回定期検査において温度計ウエルの検査及びプラント全体に渡っての定期検査の見直しが実施された。本章では、温度計ウエルの定期検査内容について記述した。

なお、温度計ウエルの定期検査は、「常陽」建設当時の温度計ウエル使「常陽」建設当時の温度計ウエル使用前検査を考慮して実施された。

2. 建設当時の使用前検査

「常陽」の建設当時（昭和48年当時）における2次冷却系温度計ウエルの検査は以下に示す状況であった。

- ① 製作メーカー工場において材料検査、素材のUT、機械加工後の外表面PT、寸法検査（限界ゲージによる穴径の検査を含む）、溶接検査（材料確認、開先面PT、溶接部PT、熱処理確認、外観検査、耐圧漏えい検査）を動燃自主検査として実施。
- ② 現地据付後、耐圧漏えい検査を科技庁立ち合い（立合い日 S48, 12, 20 S49, 1, 29）のもとに実施。

これらを考慮して「常陽」第11回定期検査における温度計ウエルの検査内容が定められた。

3. 第11回定期検査内容

(1) 検査要領の概要

- ① 運転再開前に系統のナトリウムをドレンし熱電対を抜き出して、ファイバースコープを温度計ウエルに挿入し内面の目視検査を行うことによりナトリウムの滞留、液滴等のナトリウム漏えい痕跡のないことを確認することとした。

② 系統予熱状態（約 200℃）にて温度計ウェル上部に試験用治具を取り付け、2次冷却系カバーガス圧力（系統圧力約0.2～0.3Kg/cm²G）による温度計ウェルの漏えい検査によって漏えいのないことを確認することとした。

ここで、検査時のプラント状態を予熱状態としたのは、仮に温度計ウェルに貫通欠陥が存在すると仮定した場合、常温ではナトリウムが固化しているため漏えい検査が行えなくなる可能性があると考えたためである。

(2) 検査対象

「常陽」は1次冷却系に65点、2次冷却系に17点の温度計ウェルが設置されているが、これら温度計ウェルのうちASME N1300による揚力・抗力方向のロックイン回避判定により共振の恐れのないことが明らかであるもの（無次元流速 $V_r < 1.0$ ）を除外すると、2次主冷却系12B配管に設置している温度計ウェル8点となる。しかし、「もんじゅ」ナトリウム漏えい事故を踏まえて、第11回定期検査においては、最初の温度計ウェルの立合検査であることを考慮し、念のため2次主冷却系温度計ウェル全数12点が検査対象となった。

(3) 国の検査立合程度

検査にあたっては、全ての温度計ウェルを動燃の自主検査（全ての温度計ウェル内面の写真を添付するものとした。）として行い、このうち一部を立合検査対象とし、残りを動燃の自主検査記録の確認とした。また、今後の定期検査においても同様の検査を継続して実施していくものとしたが、MK-Ⅲ冷却系改造等において温度計ウェルが交換される予定であるため、この時点でこれらの検査を見直すこととした。

(4) 検査結果

検査記録 I-1 及び I-2 に定期検査として実施された温度計ウェルの外観検査及び漏えい検査の検査記録を自主検査記録と併せて示す。検査の結果、いずれの検査判定基準を満足しており、良好であることが確認された。

添付書類 - (3) 定期検査記録様式

定期検査記録

検査年月日	平成 8 年 10 月 29 日
要領書 No.	II - 316
検査対象	原子炉冷却系統施設のうち 2次冷却系統設備の 温度計ウェル
検査項目	外観検査
<p>1. 結果</p> <p style="text-align: center;">良</p> <p>2. 記録</p> <p>詳細は、別紙「外観検査記録」及び自主検査記録のとおり。</p> <p>3. 判定基準</p> <p>ナトリウムの滞留，液滴等のナトリウム漏えい痕跡のないこと。</p>	
備考	

外観検査記録

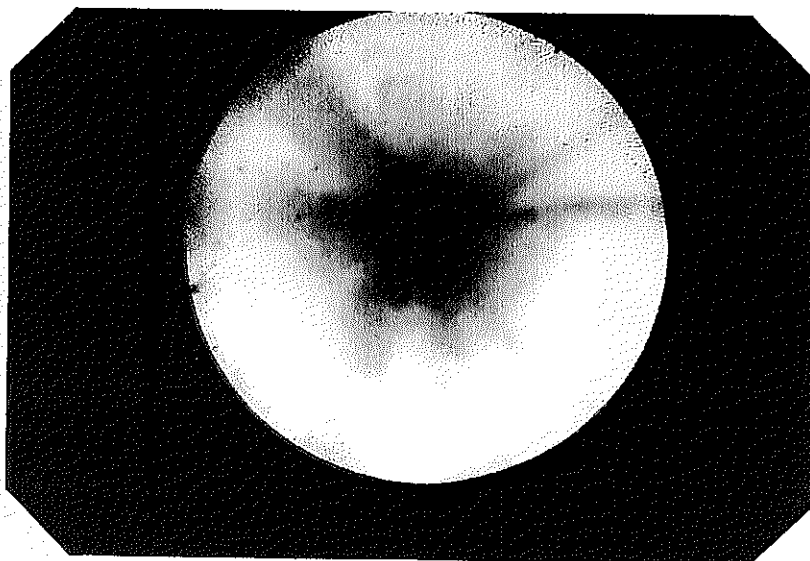
機 器 名 称		温 度 計 ウ ェ ル		
No.	温 度 計 名 称	TAG No.	判 定 基 準	結 果
(1)	主中間熱交換器入口ナトリウム 温度計 (A)	TW31・2-4A	ナトリウムの滞留 液滴等のナトリウ ム漏えい痕跡のな いこと。	良
(7)	主中間熱交換器入口ナトリウム 温度計 (B)	TW31・2-4B		良

自 主 検 査 記 録

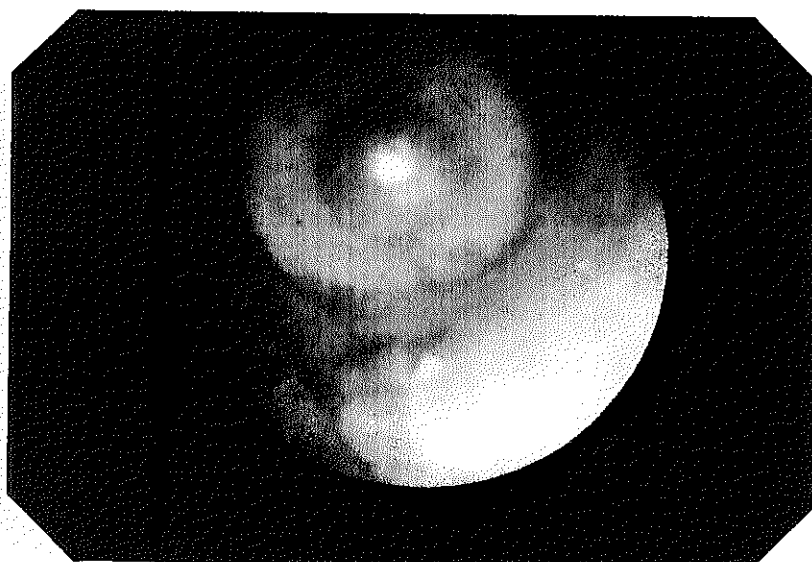
動 燃 責 任 者	坂井 茂
動 燃 実 施 者	小 川 徹
検 査 年 月 日	平成 8 年 10 月 22 日 ~ 平成 8 年 10 月 25 日
要 領 書 No	II-316
検 査 対 象	原子炉冷却系統施設のうち 2次冷却系統設備の 温度計ウェル
検 査 項 目	外 観 検 査
<p>1. 記 録</p> <p>詳細は、別紙「外観検査記録」のとおり。</p> <p>2. 判定基準</p> <p>ナトリウムの滞留、液滴等のナトリウム漏えい痕跡のないこと。</p> <p>3. 判 定</p> <p>合格</p>	
備 考	写真添付

外観検査記録

機器名称		温度計ウェル			
No	温度計名称	TAG No	判定基準	実施年月日	結果
(1)	主中間熱交換器入口ナトリウム 温度計 (A)	TW31・2-4A	ナトリウムの滞留、 液滴等のナトリウ ム漏えい痕跡のな いこと。	平成8年 10月25日	良
(2)	主中間熱交換器出口ナトリウム 温度計 (A)	TW31・2-5A		平成8年 10月25日	良
(3)	空冷式主空気冷却器入口ナトリウム 温度計 (A)	TW31・2-1A		平成8年 10月22日	良
(4)	空冷式主空気冷却器出口ナトリウム 温度計 (1A)	TW31・2-2A-1		平成8年 10月22日	良
(5)	空冷式主空気冷却器出口ナトリウム 温度計 (2A)	TW31・2-2A-2		平成8年 10月23日	良
(6)	空冷式主空気冷却器出口ナトリウム 温度計 (A)	TW31・2-3A		平成8年 10月23日	良
(7)	主中間熱交換器入口ナトリウム 温度計 (B)	TW31・2-4B		平成8年 10月25日	良
(8)	主中間熱交換器出口ナトリウム 温度計 (B)	TW31・2-5B		平成8年 10月25日	良
(9)	空冷式主空気冷却器入口ナトリウム 温度計 (B)	TW31・2-1B		平成8年 10月22日	良
(10)	空冷式主空気冷却器出口ナトリウム 温度計 (1B)	TW31・2-2B-1		平成8年 10月22日	良
(11)	空冷式主空気冷却器出口ナトリウム 温度計 (2B)	TW31・2-2B-2		平成8年 10月23日	良
(12)	空冷式主空気冷却器出口ナトリウム 温度計 (B)	TW31・2-3B		平成8年 10月23日	良

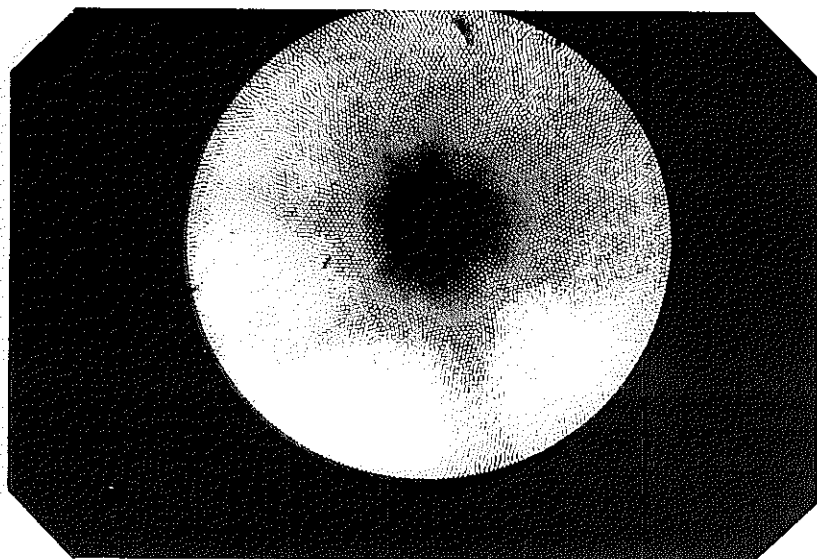


段付部

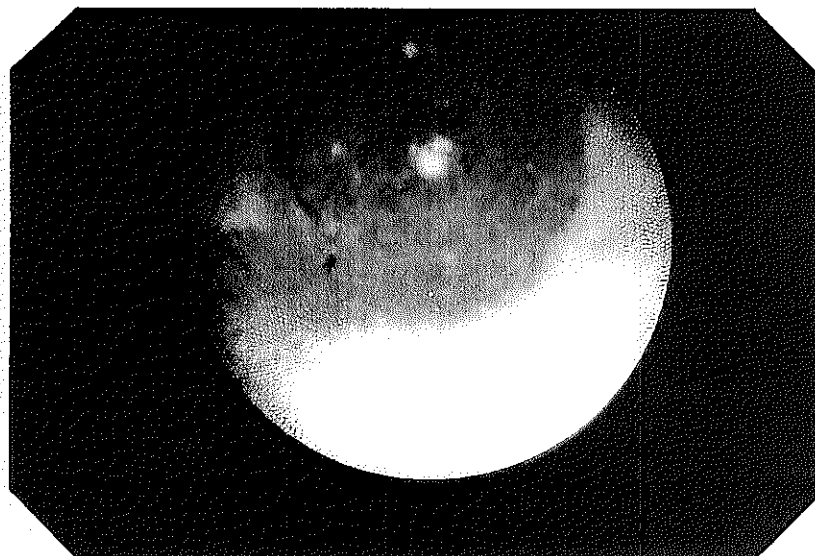


底部

T W 3 1 . 2 - 4 A

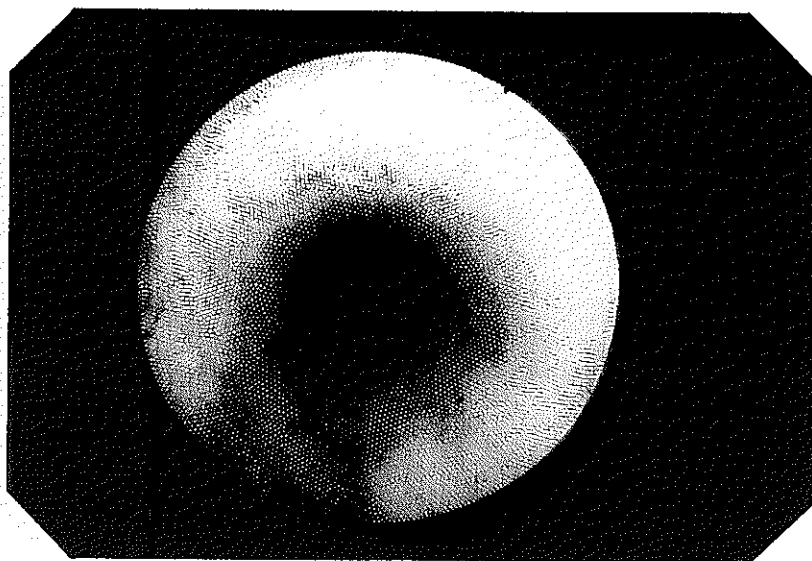


段付部

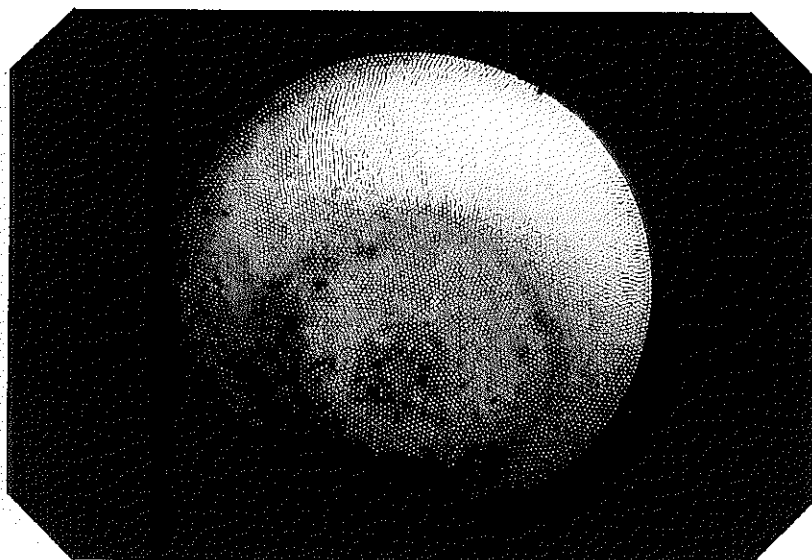


底部

TW3 1. 2 - 5 A

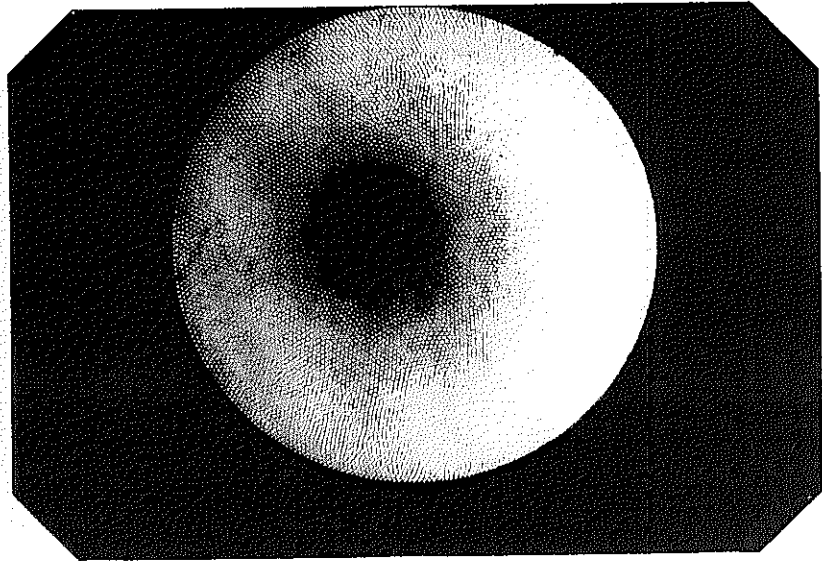


段付部

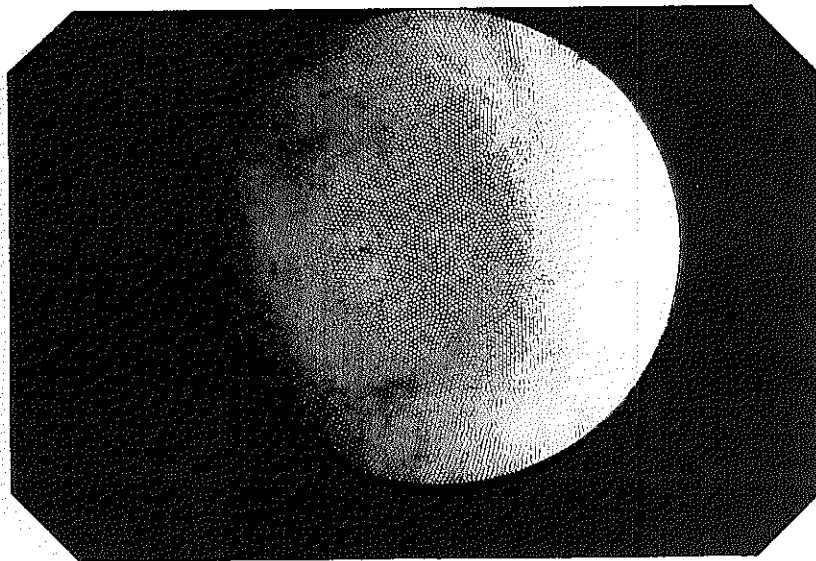


底部

TW3 1. 2 - 1 A

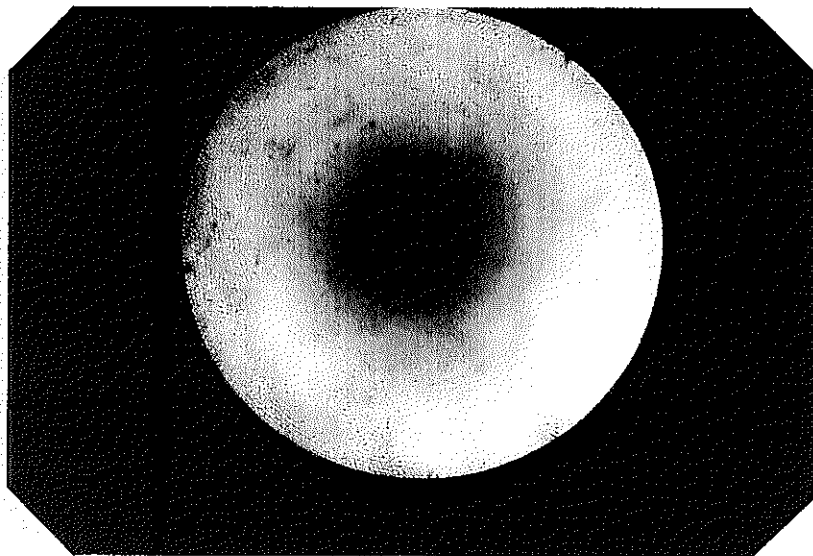


段付部

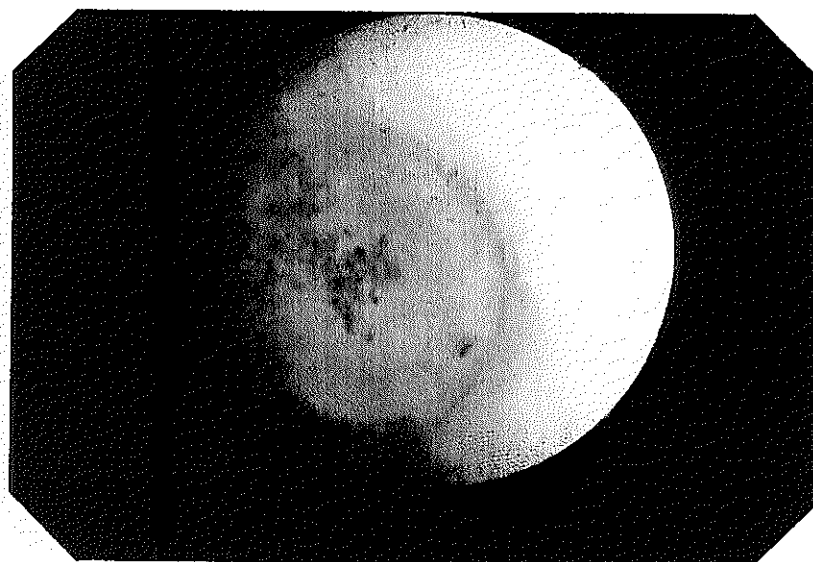


底部

TW3 1. 2 - 2 A - 1

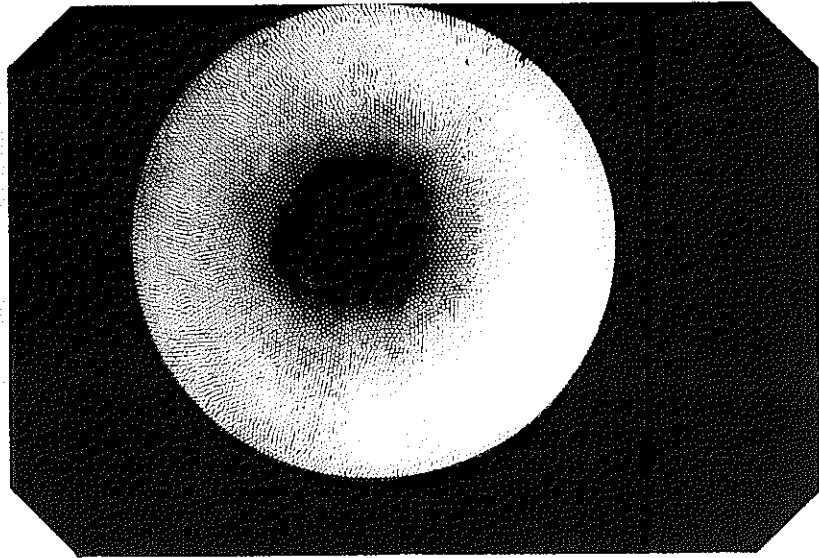


段付部

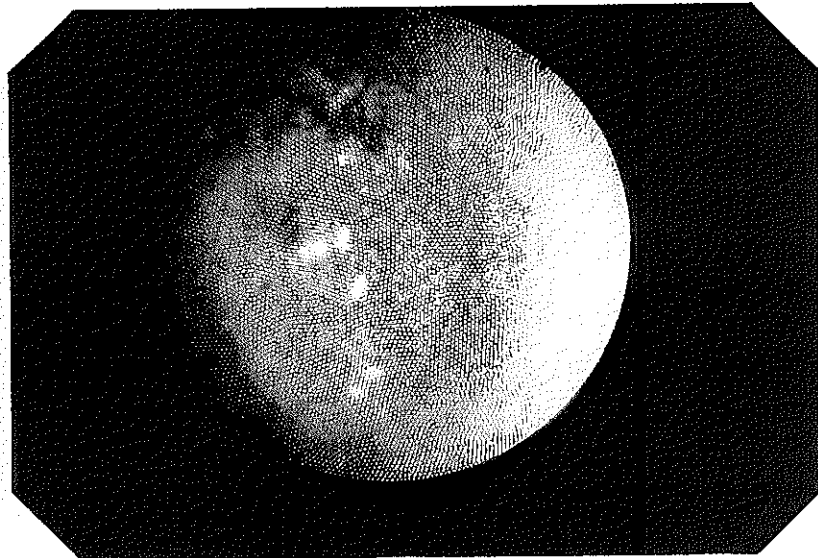


底部

TW3 1. 2 - 2 A - 2

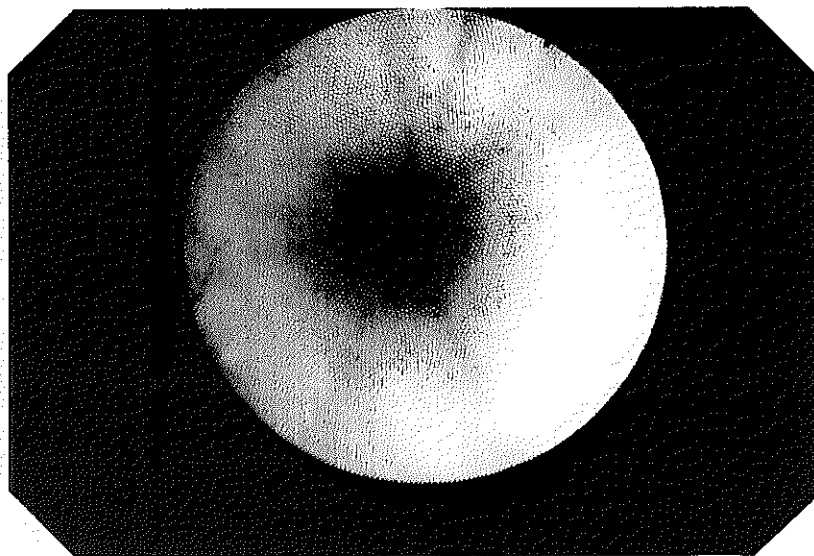


段付部

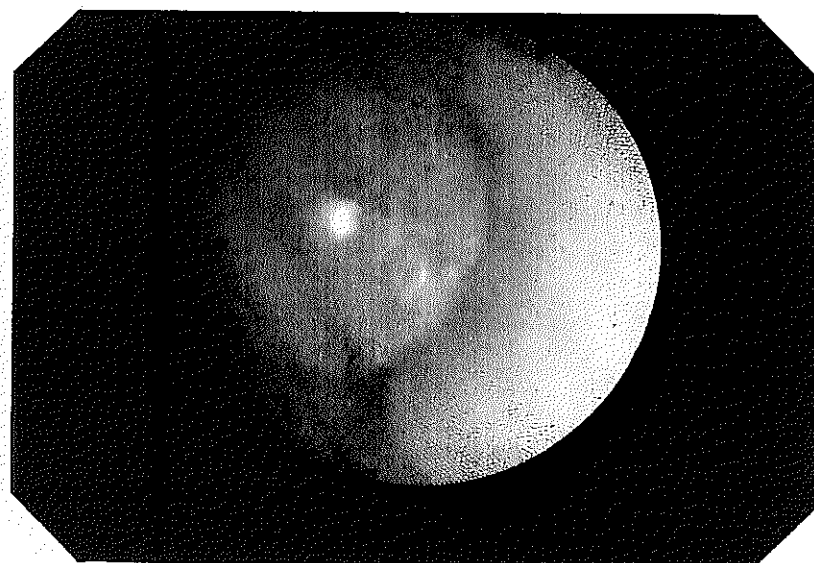


底部

TW 3 1 . 2 - 3 A

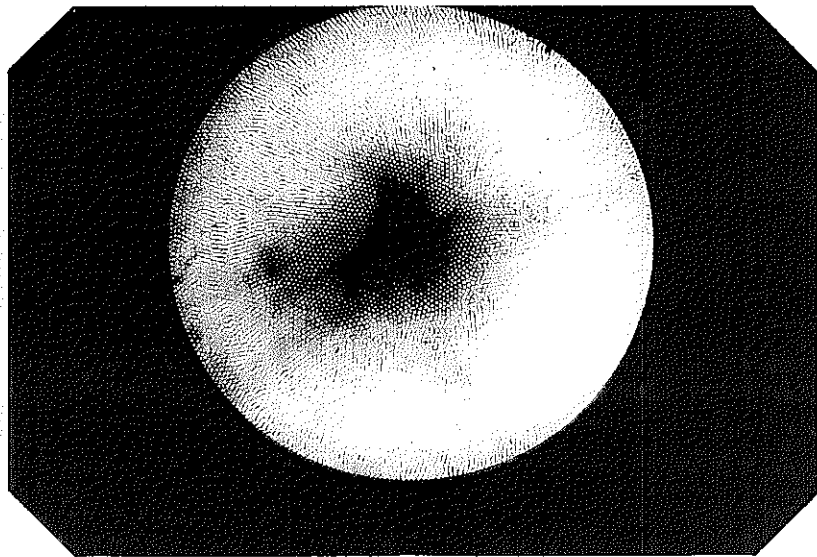


段付部

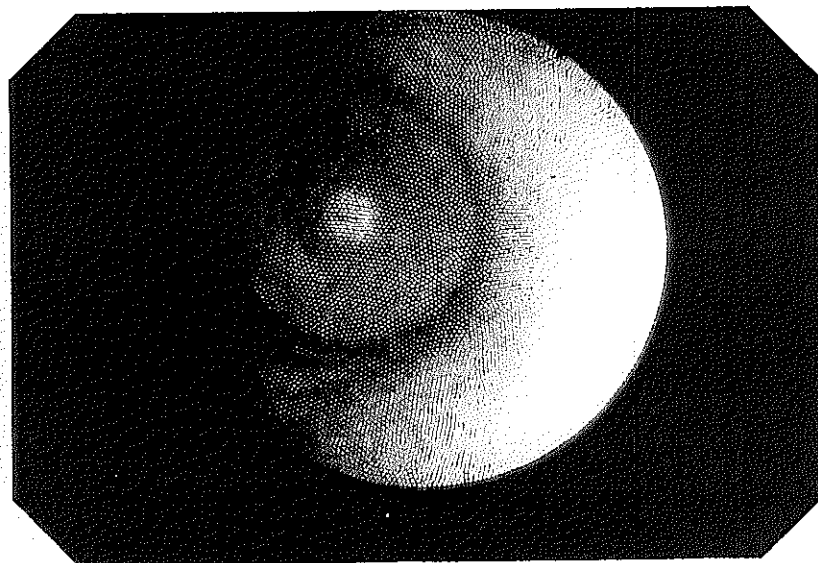


底部

TW3 1. 2 - 4 B

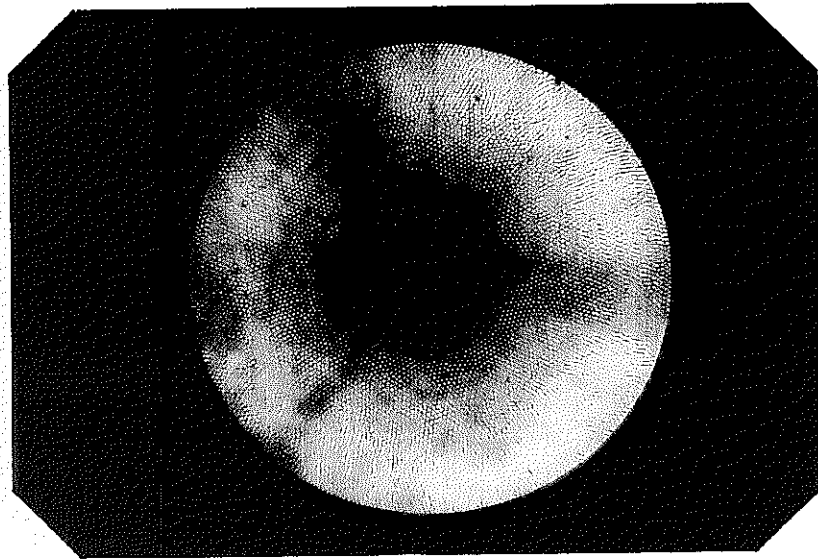


段付部

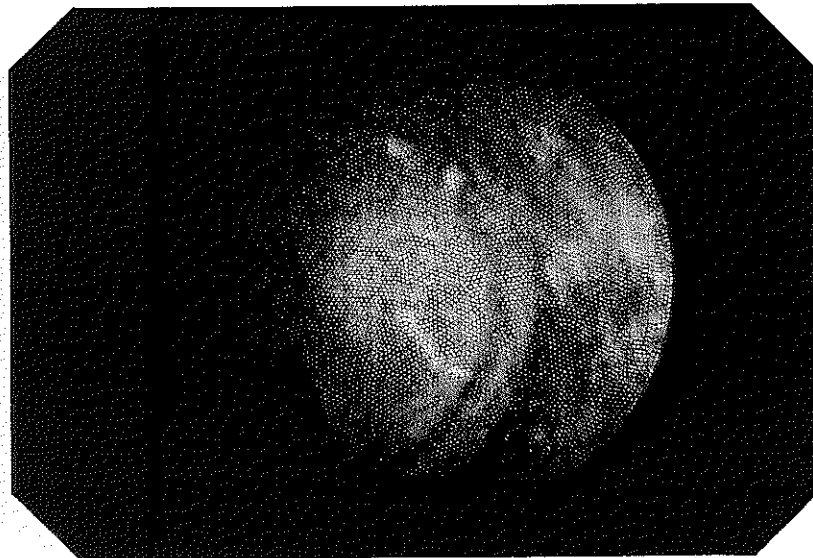


底部

T W 3 1 . 2 - 5 B

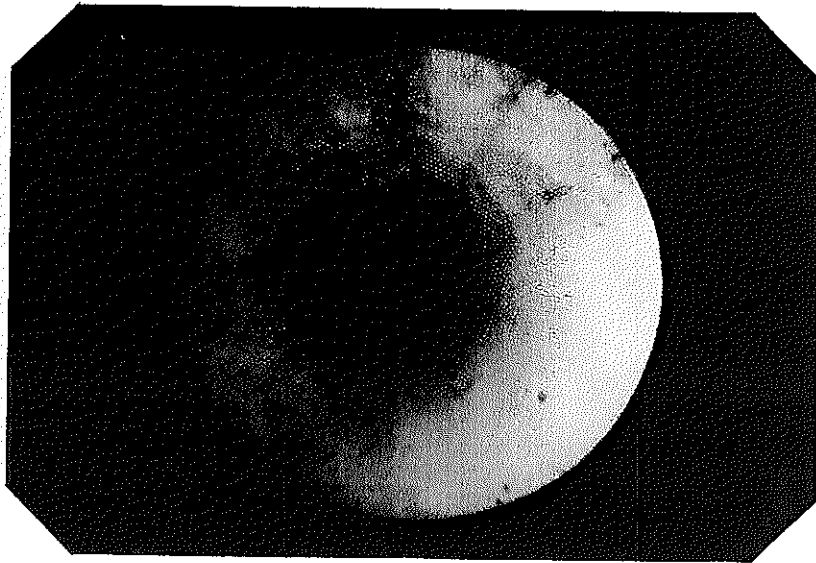


段付部



底部

TW 3 1 . 2 - 1 B

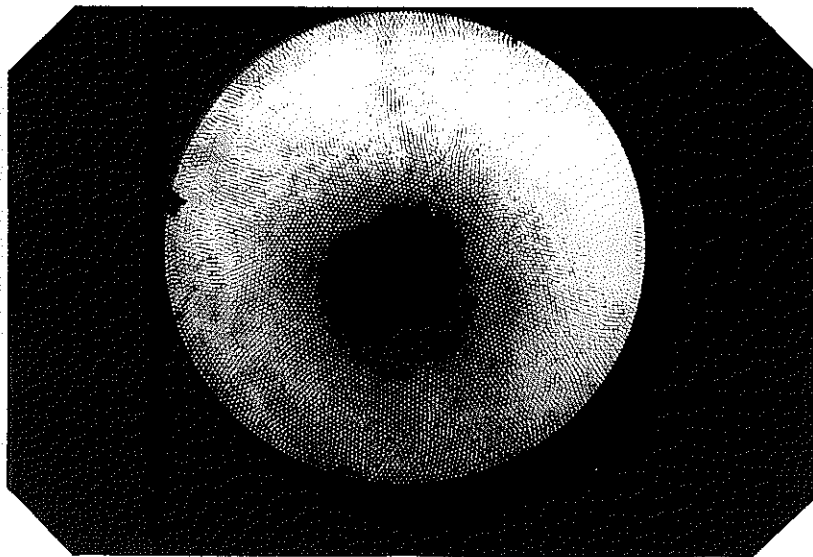


段付部

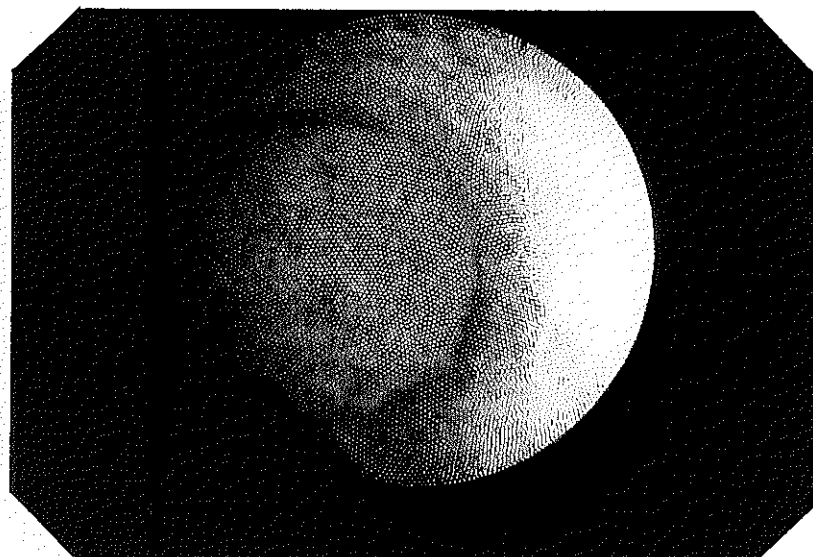


底部

TW3 1. 2 - 2 B - 1

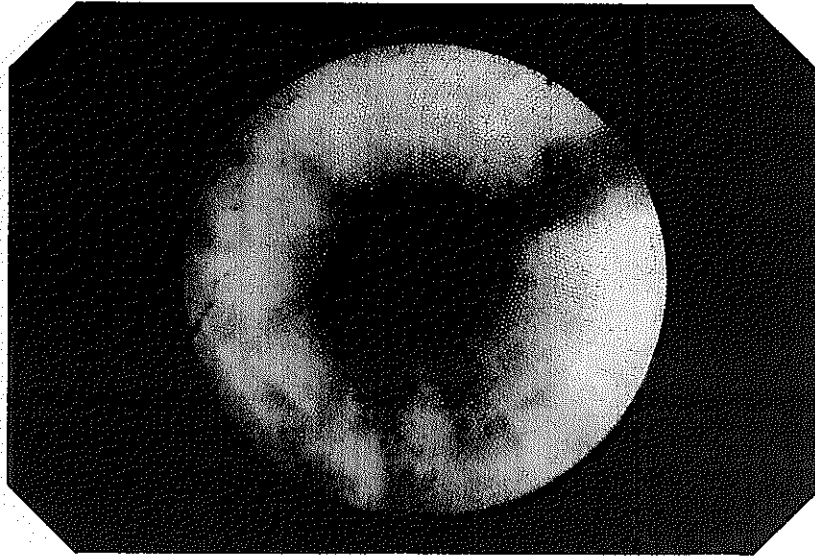


段付部

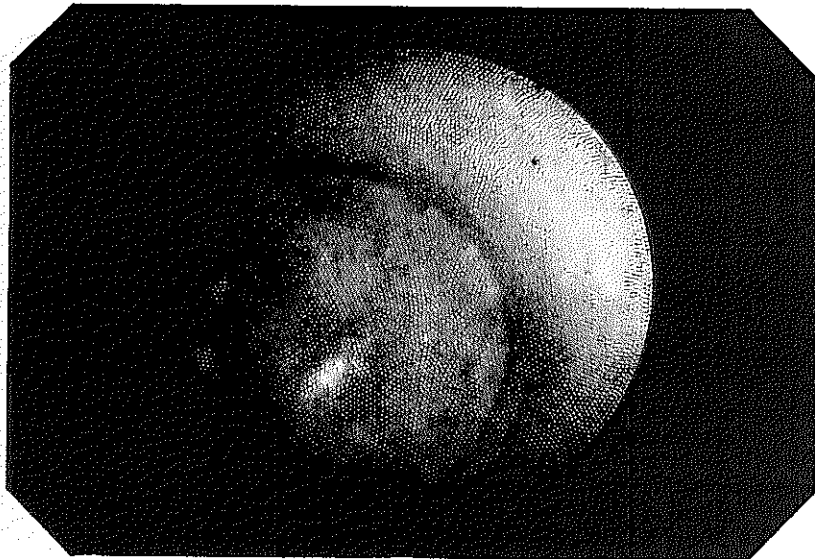


底部

T W 3 1 . 2 - 2 B - 2



段付部



底部

T W 3 1 . 2 - 3 B

定期検査記録

検査年月日	平成 8 年 11 月 12 日
要領書 No.	II - 316
検査対象	原子炉冷却系統施設のうち 2次冷却系統設備の 温度計ウェル
検査項目	漏洩検査
<p>1. 結果</p> <p style="text-align: center;">良</p> <p>2. 記録</p> <p>詳細は、別紙「漏洩検査記録」及び自主検査記録のとおり。</p> <p>3. 判定基準</p> <p>発泡水による発泡がないこと。</p>	
備考	

漏洩検査記録

機器名称		温度計ウェル		
2次系カバーガス圧力		PICA36.2-3	0.26 (kg/cm ²)	
No.	温度計名称	TAG No.	判定基準	結果
(3)	空冷式主空気冷却器入口ナトリウム温度計(A)	TW31・2-1A	発泡水による 発泡がないこと	良
(9)	空冷式主空気冷却器入口ナトリウム温度計(B)	TW31・2-1B		良

自主検査記録

動 燃 責 任 者	坂井 茂
動 燃 実 施 者	小川 徹
検 査 年 月 日	平成 8 年 11 月 5 日 ~ 平成 8 年 11 月 6 日
要 領 書 No.	II-316
検 査 対 象	原子炉冷却系統施設のうち 2次冷却系統設備の 温度計ウェル
検 査 項 目	漏 洩 検 査
<p>1. 記 録</p> <p>詳細は、別紙「漏洩検査記録」のとおり。</p> <p>2. 判定基準</p> <p>発泡水による発泡がないこと。</p> <p>3. 判 定</p> <p>合格</p>	
備 考	

漏洩検査記録

機器名称		温度計ウェル				
No.	温度計名称	TAG No.	判定基準	結果	実施年月日	検査圧力 (kg/cm ²)
(1)	主中間熱交換器入口 ナトリウム温度計 (A)	TW31・2-4A	発泡水による 発泡がないこ と。	良	平成8年 11月6日	0.30
(2)	主中間熱交換器出口 ナトリウム温度計 (A)	TW31・2-5A		良	平成8年 11月6日	0.30
(3)	空冷式主空気冷却器入口 ナトリウム温度計 (A)	TW31・2-1A		—	平成 年 月 日	—
(4)	空冷式主空気冷却器出口 ナトリウム温度計 (1A)	TW31・2-2A-1		良	平成8年 11月5日	0.28
(5)	空冷式主空気冷却器出口 ナトリウム温度計 (2A)	TW31・2-2A-2		良	平成8年 11月5日	0.28
(6)	空冷式主空気冷却器出口 ナトリウム温度計 (A)	TW31・2-3A		良	平成8年 11月6日	0.29
(7)	主中間熱交換器入口 ナトリウム温度計 (B)	TW31・2-4B		良	平成8年 11月6日	0.30
(8)	主中間熱交換器出口 ナトリウム温度計 (B)	TW31・2-5B		良	平成8年 11月6日	0.30
(9)	空冷式主空気冷却器入口 ナトリウム温度計 (B)	TW31・2-1B		—	平成 年 月 日	—
(10)	空冷式主空気冷却器出口 ナトリウム温度計 (1B)	TW31・2-2B-1		良	平成8年 11月5日	0.28
(11)	空冷式主空気冷却器出口 ナトリウム温度計 (2B)	TW31・2-2B-2		良	平成8年 11月5日	0.28
(12)	空冷式主空気冷却器出口 ナトリウム温度計 (B)	TW31・2-3B		良	平成8年 11月5日	0.28

Ⅱ．プラント全体に係る検査

1. 概要

I章と同様に「もんじゅ」ナトリウム漏えい事故を踏まえて、定期検査について「常陽」プラント全体を見直し、ナトリウム漏えいに対する健全性確認を目的として、1次系、2次系ナトリウム（ナトリウム蒸気を含む）に接液する冷却系機器配管及びライナ等の外観目視検査、点検校正検査を定期検査に追加することとした。また、今後の定期検査においても同様の検査を継続して実施していくものとした。

2. プラント全体に係る検査項目の内容

(1) 冷却系機器配管及びライナー等

1次冷却系、2次冷却系のナトリウムに接液する機器配管について、温度計ウェル、ナトリウム液面計据付け部、小口径配管分岐部等を含め外観検査を行い、ナトリウムの滞留、液滴等のナトリウム漏えい痕跡のないこと及び据え付け状態に異常のないことを確認するものとした。また、「常陽」の原子炉建物、付属建物、主冷却機建物にナトリウム漏えい対策として設置されているライナ、ナトリウム受け樋等について、外観検査を行い破損、脱落等の異常がないことを確認することとした。

ここで、冷却系機器配管の検査にあたっては保温材、カバーシート、予熱ヒータ等の取り外し、系統からの機器の取り外しまたは開放は行わないこととした。

検査は全ての1次冷却系、2次冷却系のナトリウムに接液する機器配管及びライナ等を動燃の自主検査として行い、このうち被曝等の関係から空気雰囲気中に設置されている2次冷却系機器配管及び主冷却機建物のライナ等の一部を立合検査対象とし、残りを動燃の自主検査記録の確認とした。

(2) ナトリウム漏えい検出器

1次系ナトリウム漏えい検出器については、従来より定期検査Ⅱ410にてポンプトリップ（1次主循環ポンプ、1次補助電磁ポンプ）のインターロックを構成する103点について点検校正検査が実施されているが、全数216点について点検校正検査を行い、その機能に異常のないことを確認することとなった。検査は国の立合の基に実施

された。

なお、2次系ナトリウム漏えい検出器については、定期検査Ⅱ413にて全数59回路(232点)の点検校正検査を実施していることから変更はない。

3. 検査結果

検査記録Ⅱ-1に定期検査として実施された1次ナトリウム漏えい検出器の点検校正検査の検査記録を示す。また、検査記録Ⅱ-2には同様に実施されたライナ等の外観検査の検査記録を自主検査記録と併せて示す。いずれの検査も判定基準を満足しており、良好であることが確認された。

4. 定期検査計画書及び設置者自主検査長期計画書の見直し

I章及び本章の1～3項で述べた温度計ウェル及びプラント全体の定期検査見直しを踏まえて、第11回定期検査計画書を改訂した。また、設置者自主検査長期計画書(10年計画)を見直しの上再提出することとした。第11回定期検査計画書の変更該当部分を添付Ⅱ-1に、10年計画の変更該当部分を添付Ⅱ-2に示す。

添付書類-(2) 定期検査記録様式

検査記録Ⅱ-1

定期検査記録

検査年月日	平成 8 年 11 月 29 日
要領書 No.	Ⅱ-410
検査対象	計測制御系統施設のうち 1次冷却系ナトリウム漏洩検出器
検査項目	点検校正検査
<p>1. 結果</p> <p style="text-align: center;">良</p> <p>2. 記録</p> <p>詳細は、別紙「点検校正検査記録」のとおり。</p> <p>3. 判定基準</p> <p>各々のナトリウム漏洩検出器の「漏洩」ランプ（レッドランプ又はイエローランプ）が点灯すること。</p>	
備考	

点検校正検査記録

機 器 名 称	1次冷却系ナトリウム漏洩検出器		
	検 出 器 名 称		判 定 基 準
原 子 炉 容 器	炉容器下部-1 (XS13-1)		各々の「漏洩」ランプ(レッドランプ)が点灯すること。
	" -2 (XS13-2)		
	炉容器入口配管(A) (XS31.1-17A)		
	" (A) (XS31.1-17B)		
	V35.1-16底部 (XS35.1-59)		
主冷却系Aループ	炉容器出口配管(A)-1 (XS31.1-1A)		
	" (A)-2 (XS31.1-2A)		
	" (A)-3 (XS31.1-3A)		
	" (A)-4 (XS31.1-4A)		
	" (A)-5 (XS31.1-5A)		
	IHX(A)下部-1 (XS31.1-6A)		
	" -2 (XS31.1-7A)		
	IHX(A)出口配管-1 (XS31.1-8A)		
	" -2 (XS31.1-9A)		
	" -3 (XS31.1-10A)		
	" -4 (XS31.1-11A)		
	主ポンプ(A)下部-1 (XS31.1-12A)		
	" -2 (XS31.1-13A)		
	主ポンプ(A)出口配管-1 (XS31.1-14A)		
	" -2 (XS31.1-15A)		
	V31.1-1A底部 (XS31.1-16A)		
	SB配管(A)-1 (XS31.1-18A)		
	" -2 (XS31.1-19A)		
	オーバフロカラム(A)下部 (XS31.1-20A)		
	V31.1-80A底部 (XS31.1-21A)		
RV~IHX(A)ドレン-1 (XS35.1-4)			

点検校正検査記録

機器名称	1次冷却系ナトリウム漏洩検出器			
	検出器名称	判定基準	結果	
主冷却系Aループ	RV~IHX(A)ドレン-2 (XS35.1-5)	各々の「漏洩」ランプ(レッドランプ)が点灯すること。	良	
	" -3 (XS35.1-6)		良	
	" -4 (XS35.1-7)		良	
	IHX(A)~主ポンプ(A)フロ-1 (XS35.1-16)		良	
	" -2 (XS35.1-17)		良	
	" -3 (XS35.1-18)		良	
	" -4 (XS35.1-19)		良	
	主ポンプ(A)~RVフロ-1 (XS35.1-27)		良	
	" -2 (XS35.1-28)		良	
	" -3 (XS35.1-29)		良	
	" -4 (XS35.1-30)		良	
	" -5 (XS35.1-31)		良	
	主冷却系Bループ		炉容器出口配管(B)-1 (XS31.1-1B)	良
			" -2 (XS31.1-2B)	良
" -3 (XS31.1-3B)		良		
" -4 (XS31.1-4B)		良		
" -5 (XS31.1-5B)		良		
IHX(B)下部-1 (XS31.1-6B)		良		
" -2 (XS31.1-7B)		良		
IHX(B)出口配管-1 (XS31.1-8B)		良		
" -2 (XS31.1-9B)		良		
" -3 (XS31.1-10B)		良		
" -4 (XS31.1-11B)		良		
主ポンプ(B)下部-1 (XS31.1-12B)		良		
" -2 (XS31.1-13B)		良		
主ポンプ(B)出口配管-1 (XS31.1-14B)		良		

点検校正検査記録

機 器 名 称	1次冷却系ナトリウム漏洩検出器		
	検 出 器 名 称	判 定 基 準	結 果
主冷却系Bループ	主ポンプ(B) 出口配管-2 (XS31.1-15B)	各々の「漏洩」ランプ(レッドランプ)が点灯すること。	良
	V31.1-1B底部 (XS31.1-16B)		良
	SB配管(B)-1 (XS31.1-18B)		良
	" -2 (XS31.1-19B)		良
	オーバフロカラム(B)下部 (XS31.1-20B)		良
	V31.1-80B底部 (XS31.1-21B)		良
	RV~IHX(B)ドレン-1 (XS35.1-9)		良
	" -2 (XS35.1-10)		良
	" -3 (XS35.1-11)		良
	" -4 (XS35.1-12)		良
	" -5 (XS35.1-13)		良
	" -6 (XS35.1-14)		良
	IHX(B)~主ポンプ(B)ドレン-1 (XS35.1-21)		良
	" -2 (XS35.1-22)		良
	" -3 (XS35.1-23)		良
	" -4 (XS35.1-24)		良
	" -5 (XS35.1-25)		良
	主ポンプ(B)~RVドレン-1 (XS35.1-33)		良
	" -2 (XS35.1-34)		良
	" -3 (XS35.1-35)		良
" -4 (XS35.1-36)	良		
" -5 (XS35.1-37)	良		
" -6 (XS35.1-38)	良		
補 助 冷 却 系	炉容器出口配管 (XS32.1-1)	良	
	V32.1-1底部 (XS32.1-2)	良	
	IHX入口配管-1 (XS32.1-3)	良	

点検校正検査記録

機 器 名 称	1次冷却系ナトリウム漏洩検出器		
	検 出 器 名 称	判 定 基 準	結 果
補 助 冷 却 系	I H X入口配管 - 2 (X S 32.1-4)	各々の「漏洩」ランプ (レッドランプ) が点灯すること。	良
	" - 3 (X S 32.1-5)		良
	" - 4 (X S 32.1-24)		良
	I H X下部 - 1 (X S 32.1-6)		良
	" - 2 (X S 32.1-7)		良
	I H X出口配管 - 1 (X S 32.1-8)		良
	" - 2 (X S 32.1-23)		良
	" - 3 (X S 32.1-9)		良
	電磁ポンプ (X S 32.1-10)		良
	電磁ポンプ出口配管 (X S 32.1-12)		良
	V 32.1-2 底部 (X S 32.1-13)		良
	炉容器入口配管 - 1 (X S 32.1-25)		良
	" - 2 (X S 32.1-14)		良
	V 32.1-3 底部 (X S 32.1-15)		良
	炉容器入口配管 - 3 (X S 32.1-16)		良
	V 32.1-6 底部 (X S 32.1-17)		良
	" - 7 底部 (X S 32.1-18)		良
	" - 8 底部 (X S 32.1-19)		良
	" - 9 底部 (X S 32.1-20)		良
	" - 4 底部 (X S 32.1-11)		良
	" - 80底部 (X S 32.1-21)		良
	I H X~R Vドレン - 1 (X S 35.1-40)		良
	" - 2 (X S 35.1-41)		良
	" - 3 (X S 35.1-42)		良
" - 4 (X S 35.1-43)	良		

点検校正検査記録

機器名称	1次冷却系ナトリウム漏洩検出器			
	検出器名称	判定基準	結果	
主冷却系	V31.1-80Aベローズ (XS31.1-22A)	各々の「漏洩」ランプ (イエローランプ) が点灯すること。	良	
	NaK圧力計 (A) (XS31.1-23A)		良	
	V31.1-80Bベローズ (XS31.1-22B)		良	
	NaK圧力計 (B) (XS31.1-23B)		良	
オーバフロー系	OFタンク-1 (XS33-1)		各々の「漏洩」ランプ (イエローランプ) が点灯すること。	良
	" -2 (XS33-2)			良
	" -3 (XS33-3)			良
	OFタンク液上配管-1 (XS33-4)			良
	" -2 (XS33-5)			良
	" -3 (XS33-6)			良
	V33-1底部 (XS33-7)			良
	OFタンク液上配管-4 (XS33-8)			良
	電磁ポンプ-1 (XS33-9)			良
	" -2 (XS33-10)			良
	" 出口配管 (XS33-11)			良
	V33-5底部 (XS33-12)			良
	V33-6底部 (XS33-13)			良
	炉容器入口配管-1 (XS33-14)			良
	" -2 (XS33-15)			良
	" -3 (XS33-16)			良
	" -4 (XS33-17)			良
	炉容器出口配管-1 (XS33-18)	良		
	" -2 (XS33-19)	良		
	" -3 (XS33-20)	良		
	" -4 (XS33-21)	良		

点検校正検査記録

機 器 名 称	1次冷却系ナトリウム漏洩検出器			
	検 出 器 名 称	判 定 基 準	結 果	
オーバフロー系	炉容器出口配管 - 5 (X S 33-22)	各々の「漏洩」ランプ (イエローランプ) が点灯すること。	良	
	V 33-5 底部 (X S 33-23)		良	
	O F タンク入口配管 (X S 33-24)		良	
補助冷却系	V 32.1-1 ベローズ (X S 32.1-26)			良
	I H X 上部 - 1 (X S 32.1-34)			良
	" - 2 (X S 32.1-35)			良
	V 32.1-3 ベローズ (X S 32.1-27)			良
	V 32.1-6 ベローズ (X S 32.1-29)			良
	V 32.1-8 ベローズ (X S 32.1-30)			良
	V 32.1-4 ベローズ (X S 32.1-28)			良
	V 32.1-80 ベローズ (X S 32.1-31)			良
	N a K 圧力計 (X S 32.1-22)			良
純 化 系	電磁ポンプ入口配管 (X S 34.1-30)			良
	電磁ポンプ出口配管 (X S 34.1-31)			良
	電磁流量計下部 (X S 34.1-32)			良
	O F タンク汲上配管 (X S 34.1-6)	良		
	V 34.1-1 底部 (X S 34.1-14)	良		
	V 34.1-2 底部 (X S 34.1-15)	良		
	電磁ポンプ - 1 (X S 34.1-4)	良		
	" - 2 (X S 34.1-5)	良		
	V 34.1-3 底部 (X S 34.1-16)	良		
	V 34.1-4 A 底部 (X S 34.1-17A)	良		
	コールドトラップ (A) (X S 34.1-1A)	良		
	V 34.1-5 A 底部 (X S 34.1-18A)	良		
V 34.1-4 B 底部 (X S 34.1-17B)	良			

点検校正検査記録

機 器 名 称		1次冷却系ナトリウム漏洩検出器		
検 出 器 名 称			判 定 基 準	結 果
純 化 系	コールドトラップ (B)	(XS34.1-1B)	各々の「漏洩」ランプ (イエローランプ) が点灯すること。	良
	V34.1-5B底部	(XS34.1-18B)		良
	V34.1-6底部	(XS34.1-19)		良
	V34.1-7底部	(XS34.1-20)		良
	OFタンク戻り配管-1	(XS34.1-7)		良
	" -2	(XS34.1-8)		良
	" -3	(XS34.1-9)		良
	" -4	(XS34.1-10)		良
	V34.1-8底部	(XS34.1-21)		良
	V34.1-9底部	(XS34.1-22)		良
	SP-1	(XS34.1-3)		良
	SP-2	(XS34.1-29)		良
	V34.1-33底部	(XS34.1-26)		良
	V34.1-10底部	(XS34.1-23)		良
	プラグング計	(XS34.1-2)		良
	V34.1-80底部	(XS34.1-27)		良
	NaK圧力計	(XS34.1-28)		良
	V34.1-11底部	(XS34.1-24)		良
	緊急汲上配管-1	(XS34.1-11)		良
	" -2	(XS34.1-12)		良
	" -3	(XS34.1-13)		良
	V34.1-12底部	(XS34.1-25)		良
PL計電磁流量計入口配管	(XS34.1-33)	良		
PL計電磁流量計下部	(XS34.1-34)	良		
自動連続式PL計	(XS34.1-35)	良		

点検校正検査記録

機 器 名 称	1次冷却系ナトリウム漏洩検出器		
	検 出 器 名 称	判 定 基 準	結 果
充填・ドレン系	V 35.1-2 A 底部 (X S 35.1-49)	各々の「漏洩」ランプ (イエローランプ) が点灯すること。	良
	V 35.1-3 底部 (X S 35.1-51)		良
	ダンプタンク (B) - 1 (X S 35.1-1 B)		良
	" - 1 (X S 35.1-2 B)		良
	" - 1 (X S 35.1-3 B)		良
	V 35.1-2 B 底部 (X S 35.1-50)		良
	V 35.1-4 底部 (X S 35.1-52)		良
	V 35.1-5 底部 (X S 35.1-53)		良
	V 35.1-7 底部 (X S 35.1-55)		良
	V 35.1-10 A 底部 (X S 35.1-8)		良
	V 35.1-9 A 底部 (X S 35.1-20)		良
	V 35.1-8 A 底部 (X S 35.1-32)		良
	V 35.1-10 B 底部 (X S 35.1-15)		良
	V 35.1-9 B 底部 (X S 35.1-26)		良
	V 35.1-8 B 底部 (X S 35.1-39)		良
	V 35.1-11 底部 (X S 35.1-44)		良
	V 35.1-13 底部 (X S 35.1-57)		良
	V T 36.1-1 ドレン (X S 35.1-45)		良
	V 35.1-15 底部 (X S 35.1-58)		良
	V 35.1-16 ベローズ (X S 35.1-64)		良
	V 35.1-17 底部 (X S 35.1-60)		良
	V 35.1-21 底部 (X S 35.1-63)		良
	V 35.1-20 底部 (X S 35.1-62)		良
V 35.1-22 底部 (X S 35.1-65)	良		
V 35.1-23 底部 (X S 35.1-66)	良		

点検校正検査記録

機器名称	1次冷却系ナトリウム漏洩検出器		
	検出器名称	判定基準	結果
充填・ドレン系	V 35.1-24底部 (X S 35.1-67)	各々の「漏洩」ランプ (イエローランプ) が点灯すること。	良
	V 35.1-6底部 (X S 35.1-54)		良
	V 35.1-1 A底部 (X S 35.1-47)		良
	V 35.1-1 B底部 (X S 35.1-48)		良
	V 35.1-19底部 (X S 35.1-61)		良
	V 35.1-12底部 (X S 35.1-56)		良
	OFタンク ~ V 35.1-12配管 (X S 35.1-46)		良
	ダンプタンク (A) - 1 (X S 35.1-1 A)		良
	" - 2 (X S 35.1-2 A)		良
	" - 3 (X S 35.1-3 A)		良
純化系	C sトラップ入口配管 (X S 34.1-101)	各々の「漏洩」ランプ (イエローランプ) が点灯すること。	良
	C sトラップ (X S 34.1-102)		良
	C sトラップ出口配管 (X S 34.1-103)		良

検査記録Ⅱ - 2

添付書類 - (2) 定期検査記録様式

定期検査記録

検査年月日	平成 8 年 11 月 ¹¹ / ₁₂ / ₁₃ 日
要領書 No.	Ⅱ - 804
検査対象	原子炉冷却系統施設のうち ナトリウムに接液する機器配管 その他原子炉の附属施設のうち ライナー等
検査項目	外観検査
<p>1. 結果</p> <p style="text-align: center; margin: 10px 0;">良</p> <p>2. 記録</p> <p style="margin-left: 20px;">詳細は、別紙「外観検査記録」及び自主検査記録のとおり。</p> <p>3. 判定基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ① ナトリウムの滞留、液滴等のナトリウム漏えい痕跡のないこと。 ② 機能上有害な損傷、脱落等がないこと。 	
備考	

自主検査記録

動燃責任者	取井 茂
動燃実施者	小川 徹
検査年月日	平成 8 年 11 月 1 日 ~ 平成 8 年 11 月 7 日
要領書 No.	II-804
検査対象	原子炉冷却系統施設のうち ナトリウムに接液する機器配管 その他原子炉の附属施設のうち ライナー等
検査項目	外観検査
<p>1. 記録</p> <p>詳細は、別紙「外観検査記録」のとおり。</p> <p>2. 判定基準</p> <p>① ナトリウムの滞留、液滴等のナトリウム漏えい痕跡のないこと。</p> <p>② 機能上有害な損傷、脱落等がないこと。</p> <p>3. 判定</p> <p>合格</p>	
備考	

部 屋 №		R-「02 (遮蔽コンクリート冷却系室)		
検 査 年 月 日		平 成 8 年 11 月 1 日		
No.	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
1	オーバフロ戻り配管	オーバフロ系	ナトリウムの滞留、液滴等のナトリウム漏えい痕跡のないこと。	良
2	純化系配管 (緊急汲上げ配管)	1次Na 純化系		良
3	純化系配管 (IHX A 汲上げ配管)	"		良
4	純化系配管 (EMP ~EMF)	"		良
5	ライナー	——	機能上有害な損傷、脱落等がないこと。	良
備 考				

部 屋 №		R-103 (ダンプタンク (A) 室)		
検 査 年 月 日		平 成 8 年 11 月 1 日		
Nn	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
1	ダンプタンク A (TK35.1-1A)	1次Na充填 ドレン系	ナトリウムの滞留, 液滴 等のナトリウム漏えい痕 跡のないこと。	良
2	ドレンヘッド	"		良
3	Nak 圧力計導圧管	"		良
4	ダンプタンク A ナトリウム液面計	"		良
5	ナトリウム液面計 据付け部	"		良
6	カバーガス配管	1次Arガス系		良
7	ライナー	—	機能上有害な損傷, 脱落 等がないこと。	良
備 考				

部 屋 No		R-104 [ダンプタンク (B) 室]			
検 査 年 月 日		平 成 8 年 11 月 1 日			
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果	
1	ダンプタンク B (TK35.1-1B)	1次Na充填 ドレン系	ナトリウムの滞留、液滴等のナトリウム漏えい痕跡のないこと。	良	
2	ドレン配管 (V35.1-1B ~TK35.1-1B)	"		良	
3	カバーガス配管 (TK36.1-2 ~TK35.1-1B)	1次Arガス系		良	
4	自動プラグイン計	1次Na 純化系		良	
5	Nak 圧力計導圧管	1次Na充填 ドレン系		良	
6	セシウムトラップ ドレン配管	"		良	
8	ダンプタンク B ナトリウム液面計	"		良	
9	ナトリウム液面計 据付け部	"		良	
10	ドレン配管 (V35.1-2B ~TK35.1-1B)	"		良	
11	補助系ドレン配管 (EP32.1-1 ~TK35.1-11)	"		良	
12	自動PL計 出入口配管	1次Na 純化系		良	
13	ライナー	—		機能上有害な損傷、脱落等がないこと。	良
備 考					

部 屋 No		R-105 [オーバーフロータンク室] (1/3)		
検 査 年 月 日		平成 8 年 11 月 1 日		
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
1	オーバーフロータンク	オーバーフロー系	ナトリウムの滞留，液滴等のナトリウム漏えい痕跡のないこと。	良
2	オーバーフローEMP	"		良
3	オーバーフローEMF	"		良
4	オーバーフロー戻り配管 (RV~TK33-1)	"		良
5	オーバーフロー汲上配管 (TK33-1~EMP)	"		良
6	オーバーフロー汲上配管 (EMP ~RV)	"		良
7	V33-1	"		良
8	V33-4	"		良
9	V33-5 (逆止弁)	"		良
10	V33-6	"		良
11	V33-80	"		良
12	Nak 圧力計導管	"		良
備 考				

部 屋 No		R-105 [オーバフロタンク室] (2/3)		
検 査 年 月 日		平成 8 年 11 月 1 日		
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
13	純化系EMP	1次Na 純化系	ナトリウムの滞留、液滴等のナトリウム漏えい痕跡のないこと。	良
14	純化系戻り配管 (CT ECO~O/F TK)	"		良
15	V34.1-1	"		良
16	V34.1-2	"		良
17	オーバフロ系 ドレン配管 (V33-5出口~TK33-1)	1次Na充填 ドレン系		良
18	V35.1-5	"		良
19	V35.1-7	"		良
20	V35.1-19	"		良
21	ベーパートラップ	1次Arガス系		良
22	カバーガス配管	"		良
23	補助サイフォン ブレーク配管	1次補助系		良
24	V35.1-12	1次Na充填 ドレン系		良
備 考				

部 屋 №		R-105 (オーバフロタンク室) (3/3)		
検 査 年 月 日		平成 8 年 11 月 1 日		
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
25	自動ブラギング計 配 管	1次Na 純化系	ナトリウムの滞留、液滴等のナトリウム漏えい痕跡のないこと。	良
26	純化系汲上げ配管	"		良
27	オーバフロタンク Na液面計	オーバフロ系		良
28	Na液面計 据付け部	"		良
29	ドレン配管	1次Na充填 ドレン系		良
30	O/F系充填ライン (フレックハグ~V35.1-7)	"		良
31	純化系充填ライン (フレックハグ~V34.1-2)	"		良
32	ライナー	—	機能上有害な損傷、脱落等がないこと。	良
備 考				

部 屋 №		R-106 [ダクトスペース(3)]		
検 査 年 月 日		平 成 8 年 11 月 [日		
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
1	オーバフロ液上配管	オーバフロ系	ナトリウムの滞留、液滴等のナトリウム漏えい痕跡のないこと。	良
2	ライナー	——	機能上有害な損傷、脱落等がないこと。	良
備 考				

部 屋 No		R-201 (主中間熱交換器 (A) 室)		
検 査 年 月 日		平 成 8 年 11 月 5 日		
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
1	主 IHX A	1次主冷却系	ナトリウムの滞留、液滴等のナトリウム漏えい痕跡のないこと。	良
2	主 配 管 (RV~IHX)	"		良
3	主 配 管 (IHX~P)	"		良
4	オーバフロ戻り配管	オーバフロ系		良
5	小口径配管分岐部 (主配管~ ドレン系配管)	1次Na充填 ドレン系		良
6	ドレン系配管 (IHX A ~A 主ポンプ間)	"		良
7	ドレン系配管 (A 主ポンプ ~RV間)	"		良
8	ドレン系配管 (RV~IHX A 間)	"		良
9	ライナー	——		機能上有害な損傷、脱落等がないこと。
備 考				

外観検査記録

(9/76)

部 屋 No.		R-202 (プラグング計室) (1/6)		
検 査 年 月 日		平 成 8 年 11 月 1 日		
No.	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
1	プラグング計 (PL34.1-1)	1次Na 純化系	ナトリウムの滞留、液滴等のナトリウム漏えい痕跡のないこと。	良
2	コールドトラップ エコノマイザ	"		良
3	プラグング計 エコノマイザ	"		良
4	純化系 EMF	"		良
5	プラグング計 EMF	"		良
6	プラグング計 ニードル絞り弁	"		良
7	純化系配管 (EMP ~ EMF)	"		良
8	CT (A) 入口弁 (V34.1-4A)	"		良
9	CT (B) 入口弁 (V34.1-4B)	"		良
10	CT (A) 出口弁 (V34.1-5A)	"		良
11	CT (B) 出口弁 (V34.1-5B)	"		良
12	ECO管側 バイパス弁 (V34.1-6)	"		良
備 考				

部 屋 №		R-202 [プラグング計室] (2/6)		
検 査 年 月 日		平成 8 年 11 月 1 日		
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
13	O/F.タンク入口弁 (V34.1-7)	1次Na 純化系	ナトリウムの滞留、液滴 等のナトリウム漏えい痕 跡のないこと。	良
14	PL計 ECO胴側入口弁 (V34.1-8)	"		良
15	SP34.1-1入口弁 (V34.1-9)	"		良
16	SP34.1-1出口弁 (V34.1-10)	"		良
17	緊急汲上げ弁 (V34.1-11)	"		良
18	IHX(A)汲上げ弁 (V34.1-12)	"		良
19	SP34.1-1バイパス弁 (V34.1-33)	"		良
20	緊急汲上げ切替弁 (V34.1-3)	"		良
21	Nak 圧力計元弁 (V32.1-80)	1次補助系		良
22	補助系Nak 圧力計 (PX32.1-1)	"		良
23	Nak 圧力計導管	"		良
24	ドレン配管	1次Na充填 ドレン系		良
備 考				

部 屋 No		R-202 (プラグイン計室) (3/6)		
検 査 年 月 日		平成 8 年 11 月 1 日		
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
25	Nak 圧力計元弁 (V35.1-80A)	1次Na充填 ドレン系	ナトリウムの滞留, 液滴 等のナトリウム漏えい痕 跡のないこと。	良
26	D/T A Nak 圧力計 (PX35.1-1A)	"		良
27	Nak 圧力計導管	"		良
28	主ポンプA～ 炉容器間ドレン弁 (V35.1-8A)	"		良
29	IHX A～主ポンプA 間ドレン弁 (V35.1-9A)	"		良
30	炉容器～IHX A間 ドレン弁 (V35.1-10A)	"		良
31	主ポンプB～ 炉容器間ドレン弁 (V35.1-8B)	"		良
32	IHX B～主ポンプB 間ドレン弁 (V35.1-9B)	"		良
33	炉容器～IHX B間 ドレン弁 (V35.1-10B)	"		良
34	補助系ドレン弁 (V35.1-11)	"		良
35	純化系戻り配管止弁 (V35.1-6)	"		良
36	D/T A 入口弁 (V35.1-1A)	"		良
備 考				

部 屋 No		R-202 [プラグイン計室] (4/6)		
検 査 年 月 日		平 成 8 年 11 月 (日		
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
37	D/T B 入口弁 (V35.1-1B)	1次Na充填 ドレン系	ナトリウムの滞留, 液滴 等のナトリウム漏えい痕 跡のないこと。	良
38	D/T A 出口弁 (V35.1-2A)	"		良
39	D/T B 出口弁 (V35.1-2B)	"		良
40	V35.1-2A 漏れ弁 (V35.1-3)	"		良
41	ドレンヘッド止弁 (V35.1-4)	"		良
42	Nak 圧力計元弁 (V35.1-80B)	"		良
43	D/T B Nak 圧力計 (PX35.1-1B)	"		良
44	Nak 圧力計導管	"		良
45	炉容器部分ドレン 第2止弁 (V35.1-17)	"		良
46	CT ECO 胴側 出口ドレン弁 (V35.1-23)	"		良
47	CT ECO 管側 入口ドレン弁 (V35.1-24)	"		良
48	カバーガス配管 (TK36.1-2 ~TK35.1-1A)	1次Arガス系		良
備 考				

部 屋 No		R-202 [プラグング計室] (5/6)		
検 査 年 月 日		平成 8 年 11 月 1 日		
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
49	V36.1-37	1次Arガス系	ナトリウムの滞留, 液滴等のナトリウム漏えい痕跡のないこと。	良
50	V35.1-13	1次Na充填 ドレン系		良
51	セシウムトラップ 入口配管	1次Na 純化系		良
52	セシウムトラップ 出口配管	"		良
53	純化系配管 (EMF ~C/T ECO)	"		良
54	純化系配管 (C/T ECO ~CsTr)	"		良
55	純化系配管 (C/T ~ECO)	"		良
56	純化系配管 (C/T ECO/4/1/1配管)	"		良
57	純化系配管 (C/T ECO~TK33-1)	"		良
58	純化系配管 (C/T ECO戻り ~PL ECO)	"		良
59	純化系配管 (PL ECO ~PL34.1-1)	"		良
60	純化系配管 (PL34.1-1 ~PL ECO)	"	良	
備 考				

部 屋 №		R-202 [プラグイン計室] (6/6)		
検 査 年 月 日		平成 8 年 11 月 1 日		
№	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
61	純化系配管 (PL ECO ~ PL EMF)	1次Na 純化系	ナトリウムの滞留、液滴等のナトリウム漏えい痕跡のないこと。	良
62	純化系配管 (PL EMF ~ TK33-1戻り)	"		良
63	純化系配管 (C/T 入口配管)	"		良
64	純化系配管 (PuEMF ~ 緊急汲上配管)	"		良
65	純化系配管 (Pu系 ~ IHX(A)汲上配管)	"		良
66	ライナー	—	機能上有害な損傷、脱落等がないこと。	良
備 考				

部 屋 №		R-203 (コールドトラップ室) (1/2)		
検 査 年 月 日		平成 8 年 11 月 5 日		
No.	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
1	補助EMP	1次補助系	ナトリウムの滞留、液滴等のナトリウム漏えい痕跡のないこと。	良
2	補助EMF	"		良
3	3B逆止弁	"		良
4	補助系配管 (IHx~EMP)	"		良
5	補助系配管 (EMP~RV)	"		良
6	Nak 圧力計導管	"		良
7	コールドトラップA	1次Na 純化系		良
8	コールドトラップB	"		良
9	純化系配管 (ECO~CT)	"		良
10	純化系配管 (CT~ECO)	"		良
11	炉容器部分 ドレン配管 (35.1-13 ライン)	1次Na 充填 ドレン系		良
12	セシウムトラップ	1次Na 純化系		良
備 考				

外観検査記録

(16/76)

部 屋 No		R-203 [コールドトラップ室] (2/2)		
検 査 年 月 日		平成 8 年 11 月 5 日		
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
13	純化系配管 (ECO ~CsTr)	1次Na 純化系	ナトリウムの滞留, 液滴 等のナトリウム漏えい痕 跡のないこと。	良
14	純化系配管 (CsTr~CT)	"		良
15	純化系配管 (CsTrバイパス)	"		良
16	セシウムトラップ E M F	"		良
17	C s T r 入 口 弁 (V34.1-101)	"		良
18	C s T r 出 口 弁 (V34.1-102)	"		良
19	主系統流量調節弁 (V34.1-103)	"		良
20	C s T r 廻 り ドレン弁 (V34.1-104)	"		良
21	ドレン配管 (CsTrドレン)	1次Na充填 ドレン系		良
22	ライナー	——		機能上有害な損傷, 脱落 等がないこと。
備 考				

部 屋 No		R-204 (主中間熱交換器 (B) 室) (1/2)		
検 査 年 月 日		平成 8 年 11 月 5 日		
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
1	主 IHX B	1次主冷却系	ナトリウムの滞留、液滴等のナトリウム漏えい痕跡のないこと。	良
2	主 配 管 (RV~IHX)	"		良
3	主 配 管 (IHX~P)	"		良
4	補助 IHX	1次補助系		良
5	補助系配管 (IHX~EMP)	"		良
6	補助系配管 (RV ~IHX)	"		良
7	Nak 圧力計導管	オーバフロ系		良
8	Nak 圧力計元弁 (V33-80)	"		良
9	Nak 圧力計 (PX33-1)	"		良
10	小口径配管分岐部 (主配管~ ドレン系配管)	1次充填 ドレン系		良
11	ドレン系配管 (IHX B ~B 主キップ間)	"		良
12	ドレン系配管 (B 主キップ ~RV間)	"		良
備 考				

外観検査記録

(18/76)

部 屋 No		R-204 (主中間熱交換器.(B)室) (2/2)		
検 査 年 月 日		平成 8 年 11 月 5 日		
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
13	ドレン系配管 (RV~IXH B 間)	1次充填 ドレン系	ナトリウムの滞留、液滴等のナトリウム漏えい痕跡のないこと。	良
14	ライナー	——	機能上有害な損傷、脱落等がないこと。	良
備 考				

部 屋 No		R-205 (主循環ポンプ.(B)室) (1/3)		
検 査 年 月 日		平成 8 年 11 月 5 日		
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
1	主循環ポンプB	1次主冷却系	ナトリウムの滞留, 液滴等のナトリウム漏えい痕跡のないこと。	良
2	オーバフロカラムB	"		良
3	オーバフロカラムB ナトリウム液面計	"		良
4	ナトリウム液面計 据付け部	"		良
5	主 配 管 (RV~IHX)	"		良
6	主 配 管 (IHX~P)	"		良
7	主 配 管 (P~RV)	"		良
8	12B逆止弁	"		良
9	12B EMF	"		良
10	小口径配管分岐部 (主配管~ サイフォンブレーク配管)	"		良
11	サイフォンブレーク 配 管	"		良
12	サイフォンブレーク E M F	"		良
備 考				

部 屋 No		R-205 (主循環ポンプ (B) 室) (2/3)			
検 査 年 月 日		平 成 8 年 11 月 5 日			
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果	
13	Nak 圧力計 (PX31.1-1B)	1次主冷却系	ナトリウムの滞留, 液滴等のナトリウム漏えい痕跡のないこと。	良	
14	Nak 圧力計導管	"		良	
15	Nak 圧力計用元弁 (V31.1-80B)	"		良	
16	主ポンプB ベーパートラップ (VT36.1-2B)	1次Arガス系		良	
17	カバーガス配管 (主ポンプB ベーパートラップ)	"		良	
18	主ポンプB ベーパートラップ ドレン配管 (1B)	"		良	
19	小口径配管分岐部 (12B主配管～ ドレン系配管)	1次Na充填 ドレン系		良	
20	ドレン系配管 (B主ポンプ～RV間)	"		良	
21	小口径配管分岐部 (18B主配管～ ドレン系配管)	"		良	
22	ドレン系配管 (RV～IXH B間)	"		良	
23	温度計ウエル (炉容器出口側)	1次主冷却系		良	
24	温度計ウエル (炉容器入口側)	"		良	
備 考					

部 屋 No		R-205 (主循環ポンプ(B)室) (3/3)		
検 査 年 月 日		平成 8 年 11 月 5 日		
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
25	主循環ポンプB オーバフロ配管	1次主冷却系	ナトリウムの滞留、液滴等のナトリウム漏えい痕跡のないこと。	良
26	オーバフロコラム ドレン	"		良
27	温度計ウエル (主系統FV配管)	1次Na充填 ドレン系		良
28	RV FFDライン ドレン弁 (V35.1-21)	"		良
29	FFD サンプリング 配 管	FFDCG法		良
30	オーバフロ液上配管	オーバフロ系		良
31	ライナー	——	機能上有害な損傷、脱落等がないこと。	良
備 考				

部 屋 №		R-206〔主循環ポンプ(A)室〕(1/3)		
検 査 年 月 日		平 成 8 年 11 月 5 日		
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
1	主循環ポンプA	1次主冷却系	ナトリウムの滞留、液滴等のナトリウム漏えい痕跡のないこと。	良
2	オーバフロカラムA	"		良
3	オーバフロカラムA ナトリウム液面計	"		良
4	ナトリウム液面計 据付け部	"		良
5	主 配 管 (RV~IHX)	"		良
6	主 配 管 (IHX~P)	"		良
7	主 配 管 (P~RV)	"		良
8	12B 逆止弁	"		良
9	12B EMF	"		良
10	小口径配管分岐部 (主配管~ サイフォンブレイク配管)	"		良
11	サイフォンブレイク 配 管	"		良
12	サイフォンブレイク E M F	"		良
備 考				

部 屋 No.		R-206 [主循環ポンプ(A)室] (2/3)		
検 査 年 月 日		平成8年11月5日		
No.	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
13	Nak 圧力計 (PX31.1-1A)	1次主冷却系	ナトリウムの滞留、液滴等のナトリウム漏えい痕跡のないこと。	良
14	Nak 圧力計導管	"		良
15	Nak 圧力計用元弁 (V31.1-80A)	"		良
16	主ポンプA ベーパートラップ (VT36.1-2A)	1次Arガス系		良
17	カバーガス配管 (主ポンプA ベーパートラップ)	"		良
18	主ポンプA ベーパートラップ ドレン配管(1B)	"		良
19	小口径配管分岐部 (主配管～ ドレン系配管)	1次Na充填 ドレン系		良
20	ドレン系配管 (A主ポンプ～RV間)	"		良
21	小口径配管分岐部 (主配管～ ドレン系配管)	"		良
22	ドレン系配管 (RV～IHX A間)	"		良
23	温度計ウエル (炉容器出口側)	1次主冷却系		良
24	温度計ウエル (炉容器入口側)	"		良
備 考				

部 屋 No		R-206 [主循環ポンプ(A)室] (3/3)		
検 査 年 月 日		平成 8 年 11 月 5 日		
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
25	主循環ポンプA オーバフロ配管	1次主冷却系	ナトリウムの滞留, 液滴 等のナトリウム漏えい痕 跡のないこと。	良
26	オーバフロコラム ドレン配管	"		良
27	温度計ウエル (主系統Flw配管)	1次Na充填 ドレン系		良
28	ライナー	——	機能上有害な損傷, 脱落 等がないこと。	良
備 考				

部 屋 No.		R - 3 0 2 (主中間熱交換器 (A) 室)		
検 査 年 月 日		平 成 8 年 11 月 6 日		
No.	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
1	主 I H X A	1次主冷却系	ナトリウムの滞留, 液滴等のナトリウム漏えい痕跡のないこと。	良
2	主 配 管 (RV~IHX)	"		良
3	主 配 管 (IHX~P)	"		良
4	オーバフロ戻り配管	オーバフロ系		良
5	小口径配管分岐部 (主配管~ ドレン系配管)	1次Na充填 ドレン系		良
6	ドレン系配管 (IHX A ~A 主制御間)	"		良
7	ドレン系配管 (A 主制御 ~RV間)	"		良
8	ドレン系配管 (RV~IHX A 間)	"		良
9	ライナー	——		機能上有害な損傷, 脱落等がないこと。
備 考				

部 屋 番 号		R-303 [バルブ操作室(東側)]		
検 査 年 月 日		平成 8 年 11 月 1 日		
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
1	Naサンプリング装置	1次Na 純化系	ナトリウムの滞留、液滴等のナトリウム漏えい痕跡のないこと。	良
備 考				

部 屋 No		R-305 (主中間熱交換器.(B)室) (1/2)		
検 査 年 月 日		平 成 8 年 11 月 6 日		
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
1	主 IHX B	1次補助系	ナトリウムの滞留, 液滴等のナトリウム漏えい痕跡のないこと。	良
2	主 配 管 (RV~IHX)	"		良
3	補助 IHX	"		良
4	補助系配管 (RV~IHX)	"		良
5	補助系配管 (EMP~RV)	"		良
6	サイフォンブレイク 配 管	"		良
7	炉容器出口弁 (V32.1-1)	"		良
8	炉容器入口弁 (V32.1-3)	"		良
9	補助 IHX ガス抜き 配管止弁 (V32.1-4)	"		良
10	サイフォンブレイク 弁 (V32.1-6)	"		良
11	カバーガス配管	1次Arガス系		良
12	炉容器 部分ドレン配管	"		良
備 考				

部 屋 Na		R-305 (主中間熱交換器 (B) 室) (2/2)			
検 査 年 月 日		平 成 8 年 11 月 6 日			
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果	
13	炉容器部分ドレン 第1止弁 (V35.1-16)	1次Na充填 ドレン系	ナトリウムの滞留、液滴 等のナトリウム漏えい痕 跡のないこと。	良	
14	炉容器部分ドレン サイフォンブレイク弁 (V35.1-18)	"		良	
15	FFDサンプル配管	FFDCG法		良	
16	V32.1-7	1次補助系		良	
17	V32.1-8	"		良	
18	V32.1-9	"		良	
19	ライナー	——		機能上有害な損傷、脱落 等がないこと。	良
備 考					

部 屋 No		R-407 (カバーガス法FFD室)		
検 査 年 月 日		平成8年11月7日		
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
1	FFDベーパー トラップ (VT46-1)	FFDCG法	ナトリウムの滞留, 液滴 等のナトリウム漏えい痕 跡のないこと。	良
2	ベーパー ドレン弁 (V46-14)	"		良
3	ベーパー 入口弁 (V46-1)	"		良
4	ベーパー 入口弁 (V46-15)	"		良
備 考				

外観検査記録

(31/76)

部 屋 No		R-412 (主循環ポンプ (A) 上蓋室)		
検 査 年 月 日		平 成 8 年 11 月 7 日		
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
1	主ポンプA Na液面計	1次主冷却系	ナトリウムの滞留、液滴等のナトリウム漏えい痕跡のないこと。	良
2	Na液面計据付け部	"		良
備 考				

部 屋 No		R P - U (炉上部ビット)		
検 査 年 月 日		平 成 8 年 11 月 7 日		
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
1	炉容器 Na 液面計 - 1	1次主冷却系	ナトリウムの滞留、液滴等のナトリウム漏えい痕跡のないこと。	良
2	Na液面計 - 1 据付け部	"		良
3	炉容器 Na 液面計 - 2	"		良
4	Na液面計 - 2 据付け部	"		良
5	炉容器 Na 液面計 - 3	"		良
6	Na液面計 - 3 据付け部	"		良
7	ライナー	—	機能上有害な損傷、脱落等がないこと。	良
備 考				

部 屋 No		A-305 [配管路 (コールドA)]		
検 査 年 月 日		平 成 8 年 11 月 7 日		
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
1	Na 供給配管	1次Na充填 ドレン系	ナトリウムの滞留, 液滴 等のナトリウム漏えい痕 跡のないこと。	良
2	Na 供給配管 閉止キャップ (V35.1-14)	"		良
3	漏洩試験用元弁 (V35.1-120)	"		良
4	漏洩試験用元弁 (V35.1-121)	"		良
5	圧 力 計 (PI35.1-2)	"		良
6	漏洩試験用配管	"		良
7	ライナー	——	機能上有害な損傷, 脱落 等がないこと。	良
備 考				

部 屋 No		R-203 (コールドトラップ室)		
検 査 年 月 日		平 成 8 年 // 月 / 日		
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
1	2次補助冷却系配管高温側 〔IHX32.2-1 出口～ V32.2-1〕	2次補助冷却系	ナトリウムの滞留、 液滴等のナトリウム 漏えい痕跡のないこ と。	良
2	2次補助冷却系配管低温側 〔V32.2-2出口～ IHX32.2-1 入口〕	〃		良
3	ライナー	——	機能上有害な損傷、 脱落等がないこと。	良
備 考				

部 屋 No.		R - 2 0 4 (主中間熱交換器 (B) 室)		
検 査 年 月 日		平 成 8 年 11 月 / 日		
No.	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
1	補助中間熱交換器 (IH32.2-1)	2次補助冷却系	ナトリウムの滞留、 液滴等のナトリウム 漏えい痕跡のないこ と。	良
2	2次補助冷却系配管高温側 〔IH32.2-1 出口～ V32.2-1入口〕	”		良
3	2次補助冷却系配管低温側 〔V32.2-2出口～ IH32.2-1 入口〕	”		良
4	2次Na充填ドレン系配管 〔IH32.2-1 出口～ V35.2-8 入口〕	2次Na充填ドレ ン系		良
5	温度計ウェル (TW32.2-3)	2次補助冷却系		良
6	温度計ウェル (TW32.2-4)	”		良
7	小口径配管分岐部 〔IH32.2-1 出口から2次 Na充填ドレン系配管〕	”		良
8	ライナー	—		機能上有害な損傷、 脱落等がないこと。
備 考				

部 屋 No		R - 4 0 2 [主中間熱交換器上蓋室 (A)]		
検 査 年 月 日		平 成 8 年 11 月 1 日		
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
1	主中間熱交換器 (IH31.2-1A)	2次主冷却系	ナトリウムの滞留、 液滴等のナトリウム 漏えい痕跡のないこ と。	良
2	IHX (A) ドレン弁 (V35.2-9A)	2次Na充填ドレ ン系		良
3	2次主冷却系配管A高温側 〔IH31.1-1A出口～主空気 冷却器 (1A・2A) 入口〕	2次主冷却系		良
4	2次主冷却系配管A低温側 〔主冷却系電磁流量計A出 口～IH31.1-1A入口〕	"		良
5	2次Na充填ドレン系配管 〔IH31.1-1A出口～ V35.2-9A 入口〕	2次Na充填ドレ ン系		良
6	2次Na充填ドレン系配管 〔V35.2-9A出口～ V35.2-9B出口配管〕	"		良
7	温度計ウェル (TW31.2-5A)	2次主冷却系		良
8	温度計ウェル (TW31.2-4A)	"		良
9	小口径配管分岐部 〔IH31.1-1A出口から2次 Na充填ドレン系配管〕	"		良
10	ライナー	——		機能上有害な損傷、 脱落等がないこと。
備 考				

部 屋 No		R - 4 0 4 [2 次主配管室 (A)]		
検 査 年 月 日		平 成 8 年 11 月 1 日		
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
1	2次主冷却系配管A高温側 〔IHX31.1-1A出口～主空気 冷却器(1A・2A)入口〕	2次主冷却系	ナトリウムの滞留、 液滴等のナトリウム 漏えい痕跡のないこ と。	良
2	2次主冷却系配管A低温側 〔主冷却系電磁流量計A出 口～IHX31.1-1A入口〕	〃		良
3	2次Na充填ドレン系配管 〔V35.2-9A出口～ V35.2-9B出口配管〕	2次Na充填ドレ ン系		良
4	ライナー	——		機能上有害な損傷、 脱落等がないこと。
備 考				

部 屋 No		R-405 (2次主配管室 (B))		
検 査 年 月 日		平 成 8 年 11 月 1 日		
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
1	2次主冷却系配管B高温側 〔IHX31.1-1B出口～主空気 冷却器 (1B・2B) 入口〕	2次主冷却系	ナトリウムの滞留, 液滴等のナトリウム 漏えい痕跡のないこ と。	良
2	2次主冷却系配管B低温側 〔主冷却系電磁流量計B出 口～IHX31.1-1B入口〕	〃		良
3	2次Na充填ドレン系配管 〔V35.2-9B出口～ V35.2-7 入口〕	2次Na充填ドレ ン系		良
4	ライナー	—		機能上有害な損傷, 脱落等がないこと。
備 考				

部 屋 No		R-408 [主中間熱交換器上蓋室(B)] (1/2)		
検 査 年 月 日		平成 8 年 11 月 1 日		
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
1	主中間熱交換器 (IH31.2-1B)	2次主冷却系	ナトリウムの滞溜、 液滴等のナトリウム 漏えい痕跡のないこ と。	良
2	IHX(B)ドレン弁 (V35.2-9B)	2次Na充填ドレ ン系		良
3	補助IH3ドレン止弁 (V35.2-8)	2次主冷却系		良
4	2次主冷却系配管B高温側 [IH31.1-1B出口~主空気 冷却器(1B・2B)入口]	2次主冷却系		良
5	2次主冷却系配管B低温側 (主冷却系電磁流量計B出 口~ IH31.1-1B 入口)	"		良
6	2次Na充填ドレン系配管 [IH31.1-1B 口~ V35.2-9B 入口]	2次Na充填ドレ ン系		良
7	2次Na充填ドレン系配管 (V35.2-9B出口~ V35.2-7 入口)	"		良
8	2次Na充填ドレン系配管 [IH32.2-1 出口~ V35.2-8 入口]	"		良
9	2次Na充填ドレン系配管 [V35.2-8 出口~ V35.2-9B出口配管]	"		良
10	温度計ウェル (TW31.2-5B)	2次主冷却系		良
11	温度計ウェル (TW31.2-4B)	"		良
12	小口径配管分岐部 [IH31.1-1B出口からドレ ン配管]	"		良
備 考				

部 屋 No		R-408 (主中間熱交換器上蓋 (B) 室) (2/2)		
検 査 年 月 日		平 成 8 年 11 月 1 日		
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
13	ライナー	——	機能上有害な損傷、脱落等がないこと。	良
備 考				

部 屋 No		A-305 [配管路 (コールドA)]		
検 査 年 月 日		平 成 8 年 〃 月 〃 日		
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
1	2次主冷却系配管A高温側 〔IHX31.1-1A出口～主空気 冷却器 (1A・2A) 入口〕	2次主冷却系	ナトリウムの滞留、 液滴等のナトリウム 漏えい痕跡のないこ と。	良
2	2次主冷却系配管A低温側 〔主冷却系電磁流量計A出 口～IHX31.1-1A入口〕	〃		良
3	2次補助冷却系配管 〔2次主冷却系配管A低温 側～ V32.2-3入口〕	2次補助系		良
4	小口径配管分岐部 〔2次主冷却系配管A低温 側から2次補助系配管〕	〃		良
5	ライナー	――	機能上有害な損傷、 脱落等がないこと。	良
6	ナトリウム受け樋	――		良
7	連通管	――		良
備 考				

部 屋 No		A-306 (配管路 (コールドB)) (1/2)		
検 査 年 月 日		平 成 8 年 / / 月 / / 日		
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
1	ホットレグ止弁 (V32.2-1)	2次補助系	ナトリウムの滞留、 液滴等のナトリウム 漏えい痕跡のないこ と。	良
2	コールドレグ止弁 (V32.2-2)	"		良
3	2次補助冷却系配管高温側 (IH32.2-1 出口～ V32.2-1 入口)	"		良
4	2次補助冷却系配管高温側 (V32.2-1 出口～2次補助 空気冷却器入口)	"		良
5	2次補助冷却系配管低温側 (電磁流量計出口～ V32.2-2 入口)	"		良
6	2次補助冷却系配管低温側 (V32.2-2 出口～ IH32.2-1 入口)	"		良
7	IHXドレン集合止弁 (主・補助 IHX) (V35.2-7)	2次Na充填ドレ ン系		良
8	2次充填ドレン系配管 (V35.2-7入口配管)	"		良
9	2次充填ドレン系配管 (V35.2-7 出口～ドレンハ グ入口)	"		良
10	2次充填ドレン系配管 (V35.2-6 出口～V35.2-7 出口配管)	"		良
11	2次主冷却系配管B高温側 (IH31.1-1B出口～主空気 冷却器 (1B・2B) 入口)	2次主冷却系		良
12	2次主冷却系配管B低温側 (主冷却系電磁流量計B出 口～IH31.1-1B入口)	"		良
備 考				

部 屋 No		A-306 [配管路 (コールドB)] (2/2)		
検 査 年 月 日		平 成 8 年 // 月 // 日		
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
13	ライナー	——	機能上有害な損傷、脱落等がないこと。	良
14	ナトリウム受け樋	——		良
15	連通管	——		良
備 考				

部 屋 No		A-505 (2次補助冷却系機器室) (1/4)		
検 査 年 月 日		平成 8 年 // 月 // 日		
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
1	2次補助空気冷却器 (AC32.2-1)	2次補助系	ナトリウムの滞留、 液滴等のナトリウム 漏えい痕跡のないこと。	良
2	2次補助冷却系循環ポンプ (EP32.2-1)	"		良
3	電磁流量計 (FE32.2-1)	"		良
4	2次補助冷却系プラグイン 計 (PL32.2-1)	"		良
5	2次補助冷却系膨張タンク (TK32.2-1)	"		良
6	(補助系) 充填ライン調節 弁 (V32.2-3)	"		良
7	膨張タンク用ベーパートラッ プ (VT36.2-3)	2次Arガス系		良
8	膨張タンク用ベーパートラッ プ入口配管 (膨張タンク 出口~ベーパー トラップ入口)	"		良
9	補助冷却系ドレン止弁 (V35.2-5)	2次Na充填ドレ ン系		良
10	膨張タンクオーバーフロー止弁 (V35.2-6)	"		良
11	補助冷却系ベント止弁 (V35.2-10)	"		良
12	補助冷却系ベント配管 〔2次補助冷却系配管高温 側~V35.2-10〕	"		良
備 考				

部 屋 No		A-505 [2次補助冷却系機器室] (2/4)		
検 査 年 月 日		平 成 8 年 // 月 // 日		
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
13	補助冷却系ベント配管 〔V35.2-10～2次補助冷却系配管低温側〕	2次Na充填ドレン系	ナトリウムの滞溜、液滴等のナトリウム漏えい痕跡のないこと。	良
14	2次補助冷却系配管低温側 〔2次補助冷却系膨張タンク入口～2次補助空気冷却器出口配管〕	2次補助系		良
15	2次補助冷却系配管高温側 〔V32.2-1 出口～2次補助空気冷却器入口〕	〃		良
16	2次補助冷却系配管低温側 〔2次補助空気冷却器出口～2次補助冷却系循環ポンプ入口〕	〃		良
17	2次補助冷却系配管低温側 〔2次補助冷却系循環ポンプ出口～電磁流量計入口〕	〃		良
18	2次補助冷却系配管低温側 〔電磁流量計出口～V32.2-2入口〕	〃		良
19	2次補助冷却系プラグイン計入口配管 〔2次補助冷却系配管低温側～プラグイン計入口〕	〃		良
20	2次補助冷却系プラグイン計出口配管 〔プラグイン計出口～2次補助冷却系配管低温側〕	〃		良
21	2次補助冷却系配管 〔2次主冷却系配管A低温側～V32.2-3 入口〕	〃		良
22	2次補助冷却系配管 〔V32.2-3 出口～2次補助冷却系配管低温側〕	〃		良
23	2次充填ドレン系配管 〔2次補助冷却系膨張タンク出口～V35.2-6入口〕	2次Na充填ドレン系		良
24	2次充填ドレン系配管 〔V35.2-6 出口～V35.2-7 出口配管〕	〃		良
備 考				

部 屋 No		A-505〔2次補助冷却系機器室〕(3/4)		
検 査 年 月 日		平 成 8 年 11 月 11 日		
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
25	2次充填ドレン系配管 〔V35.2-5入口配管〕	2次Na充填ドレン系	ナトリウムの滞留、液滴等のナトリウム漏えい痕跡のないこと。	良
26	2次充填ドレン系配管 〔V35.2-5出口配管〕	"		良
27	NaK 圧力計及び圧力計導管 〔補助冷却系循環ポンプ入口、出口〕	2次補助系		良
28	2次補助冷却系膨張タンク液面計据付け部 (LE32.2-1-1)	"		良
29	2次補助冷却系膨張タンク液面計据付け部 (LE32.2-1-2)	"		良
30	温度計ウェル (TW32.2-1)	"		良
31	温度計ウェル (TW32.2-2)	"		良
32	小口径配管分岐部 〔2次補助空気冷却器出口配管から膨張タンク入口配管〕	"		良
33	小口径配管分岐部 〔2次補助空気冷却器入口配管からV35.2-10入口配管〕	"		良
34	小口径配管分岐部 〔2次補助冷却系配管低温側から2次補助ブリッジ計入口配管〕	"		良
35	小口径配管分岐部 〔2次補助ブリッジ計出口配管から2次補助冷却系配管低温側〕	"	良	
36	小口径配管分岐部 〔2次補助冷却系配管高温側からV35.2-5 入口配管〕	"	良	
備 考				

部 屋 No		A-505 [2次補助冷却系機器室] (4/4)		
検 査 年 月 日		平 成 8 年 11 月 11 日		
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
37	ライナー	—	機能上有害な損傷、脱落等がないこと。	良
38	ナトリウム受け樋	—		良
39	連通管	—		良
備 考				

部 屋 No		S-212〔2次系ダンプタンク室〕 (1/3)		
検 査 年 月 日		平 成 8 年 11 月 13 日		
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
1	2次Na純化系電磁流量計1 (FE34.2-1-1)	2次Na純化系	ナトリウムの滞留、 液滴等のナトリウム 漏えい痕跡のないこ と。	良
2	純化系電磁ポンプ (EP34.2-1)	"		良
3	2次系ダンプタンク (TK35.2-1)	2次Na充填ドレ ン系		良
4	Aループコールドレグドレ ン弁 (V35.2-2A)	"		良
5	Bループコールドレグドレ ン弁 (V35.2-2B)	"		良
6	Aループポンプ入口配管ド レン弁 (V35.2-3A)	"		良
7	Bループポンプ入口配管ド レン弁 (V35.2-3B)	"		良
8	ドレンヘッド	"		良
9	ナトリウム供給元弁 (V72-1)	2次Na供給系		良
10	ナトリウム供給管 〔V72-1～ 2次系ダンプタンク〕	"		良
11	2次Arガス系 ベーパー トラップ (VT36.2-2)	2次Arガス系		良
12	2次Arガス系配管 〔2次系ダンプタンク～ ベーパートラップ〕	"		良
備 考				

部 屋 Na		S-212〔2次系ダンプタンク室〕 (2/3)		
検 査 年 月 日		平 成 8 年 11 月 13 日		
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
13	2次Na純化系配管 〔2次系ダンプタンク～純化系電磁ポンプ入口〕	2次Na純化系	ナトリウムの滞留、液滴等のナトリウム漏えい痕跡のないこと。	良
14	2次Na純化系配管 〔純化系電磁ポンプ～純化系電磁流量計1〕	〃		良
15	2次Na純化系配管 〔純化系電磁流量計1～V34.2-1〕	〃		良
16	2次Na充填ドレン系配管 〔V35.2-2A～ドレンヘッド〕	2次Na充填ドレン系		良
17	2次Na充填ドレン系配管 〔V35.2-2B～ドレンヘッド〕	〃		良
18	2次Na充填ドレン系配管 〔V35.2-3A～ドレンヘッド〕	〃		良
19	2次Na充填ドレン系配管 〔V35.2-3B～ドレンヘッド〕	〃		良
20	2次Na充填ドレン系配管 〔主冷却系電磁流量計A入口配管～V35.2-2A〕	〃		良
21	2次Na充填ドレン系配管 〔主冷却系電磁流量計B入口配管～V35.2-2B〕	〃		良
22	2次Na充填ドレン系配管 〔主空気冷却器(1A・2A)出口配管～V35.2-3A〕	〃		良
23	2次Na充填ドレン系配管 〔主空気冷却器(1B・2B)出口配管～V35.2-3B〕	〃	良	
24	2次Na充填ドレン系配管 〔V35.2-7出口～ドレンヘッド入口〕	〃	良	
備 考				

部 屋 No.		S-212 [2次系ダンプタンク室] (3/3)		
検 査 年 月 日		平 成 8 年 11 月 13 日		
No.	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
25	2次Na純化系配管 (V34.2-6 ~ ドレンヘッド)	2次Na純化系	ナトリウムの滞留, 液滴等のナトリウム 漏えい痕跡のないこ と。	良
26	2次系ダンプタンク液面計 据付け部 (LE35.2-1)	2次Na充填ドレ ン系		良
27	2次系ダンプタンク液面計 据付け用予備ウェル (3個)	"		良
28	2次系ダンプタンク内装ヒ ータ据付け部	"		良
29	温度計ウェル (TW35.2-1)	"		良
30	ライナー	——	機能上有害な損傷, 脱落等がないこと。	良
31	ナトリウム受け樋	——		良
32	連通管	——		良
備 考				

部 屋 No		S-217 (ナトリウム溜室 (A))		
検 査 年 月 日		平 成 8 年 11 月 13 日		
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
1	ライナー	—	機能上有害な損傷、脱落等がないこと。	良
2	連通管	—		良
備 考				

部 屋 No		S-218 [ナトリウム溜室 (B)]		
検 査 年 月 日		平 成 8 年 11 月 13 日		
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
1	ライナー	—	機能上有害な損傷、脱落等がないこと。	良
2	連通管	—		良
備 考				

部 屋 No		S-303〔2次系配管室(A)〕		
検 査 年 月 日		平 成 8 年 11 月 12 日		
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
1	2次主冷却系電磁流量計A (FE31.2-1A)	2次主冷却系	ナトリウムの滞留、 液滴等のナトリウム 漏えい痕跡のないこ と。	良
2	2次主冷却系配管A高温側 〔IHX31.1-1A出口～主空気 冷却器(1A・2A)入口〕	〃		良
3	2次主冷却系配管A低温側 〔2次冷却系循環ポンプ出口 ～主冷却系電磁流量計A 入口〕	〃		良
4	2次主冷却系配管A低温側 (主冷却系電磁流量計A出 口～IHX31.1-1A入口)	〃		良
5	2次Na充填ドレン系配管 (主冷却系電磁流量計A入 口配管～V35.2-2A)	2次Na充填ドレ ン系		良
6	2次Na充填ドレン系配管 (主空気冷却器(1A・2A) 出口配管～V35.2-3A)	〃		良
7	小口径配管分岐部 (主冷却系電磁流量計A入 口配管から2次Na充填 ドレン系配管)	2次主冷却系		良
8	ライナー	――	機能上有害な損傷、 脱落等がないこと。	良
9	連通管	――		良
備 考				

部 屋 No		S - 3 0 4 [2 次 系 配 管 路 (A)]		
検 査 年 月 日		平 成 〇 年 〇 月 〇 日		
No.	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
1	2次主冷却系配管A高温側 〔IHX31.1-1A出口～主空気 冷却器(1A・2A)入口〕	2次主冷却系	ナトリウムの滞留、 液滴等のナトリウム 漏えい痕跡のないこ と。	良
2	2次主冷却系配管A低温側 〔主冷却系電磁流量計A出 口～IHX31.1-1A入口〕	〃		良
3	ライナー	——	機能上有害な損傷、 脱落等がないこと。	良
備 考				

部 屋 No		S-305〔2次系配管室(B)〕		
検 査 年 月 日		平 成 8 年 11 月 12 日		
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
1	2次主冷却系電磁流量計B (FE31.2-1B)	2次主冷却系	ナトリウムの滞留、 液滴等のナトリウム 漏えい痕跡のないこ と。	良
2	2次主冷却系配管B高温側 〔IH31.1-1B出口～主空気 冷却器(1B・2B)入口〕	〃		良
3	2次主冷却系配管B低温側 〔2次冷却系循環ポンプ出口 ～主冷却系電磁流量計B 入口〕	〃		良
4	2次主冷却系配管B低温側 〔主冷却系電磁流量計B出 口～IH31.1-1B入口〕	〃		良
5	2次Na充填ドレン系配管 〔主冷却系電磁流量計B入 口配管～V35.2-2B入口〕	2次Na充填ドレ ン系		良
6	2次Na充填ドレン系配 〔主空気冷却器(1B・2B) 出口配管～V35.2-3B入口〕	〃		良
7	2次Na充填ドレン系配管 〔V35.2-7出口～ ドレンヘッド入口〕	〃		良
8	小口径配管分岐部 〔主冷却系電磁流量計B入 口配管から2次Na充填 ドレン系配管〕	2次主冷却系		良
9	ライナー	——	機能上有害な損傷、 脱落等がないこと。	良
10	連通管	——		良
備 考				

部 屋 No		S - 3 0 6 (2 次 系 配 管 路 (B))		
検 査 年 月 日		平 成 8 年 11 月 12 日		
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
1	2次主冷却系配管B高温側 〔IHX31.1-1B出口～主空気 冷却器(1B・2B)入口〕	2次主冷却系	ナトリウムの滞留、 液滴等のナトリウム 漏えい痕跡のないこ と。	良
2	2次主冷却系配管B低温側 〔主冷却系電磁流量計B出 口～IHX31.1-1B入口〕	〃		良
3	2次Na充填ドレン系配管 〔V35.2-7 出口～ ドレンヘッド入口〕	2次Na充填ドレ		良
4	ライナー	—	機能上有害な損傷、 脱落等がないこと。	良
備 考				

部 屋 No		S - 4 0 3 [主冷却機室 (A)]		
検 査 年 月 日		平 成 8 年 11 月 12 日		
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
1	主空気冷却器 1 A (AC31.2-1A)	2 次主冷却系	ナトリウムの滞留、 液滴等のナトリウム 漏えい痕跡のないこ と。	良
2	主空気冷却器 2 A (AC31.2-2A)	"		良
3	2 次主冷却系配管 A 低温側 〔主空気冷却器 (1A・2A) 出口～1A・2A出口配管合 流部〕	"		良
4	温度計ウェル (TW31.2-2A-1)	"		良
5	温度計ウェル (TW31.2-2A-2)	"		良
6	ナトリウム受け樋	—	機能上有害な損傷、 脱落等がないこと。	良
7	連通管	—		良
備 考 No 1, No 2 については、II - 3 0 8 にて開放検査を実施。				

部 屋 Na		S - 4 0 9 [前室 (Na 1)]		
検 査 年 月 日		平 成 8 年 11 月 12 日		
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
1	2次主冷却系配管A高温側 〔IH31.1-1A出口～主空気 冷却器 (1A・2A) 入口〕	2次主冷却系	ナトリウムの滞留、 液滴等のナトリウム 漏えい痕跡のないこ と。	良
2	2次主冷却系配管A低温側 〔主空気冷却器 (1A・2A) 出口配管合流部～2次冷 却系循環ポンプ入口〕	"		良
3	2次主冷却系配管A低温側 〔主空気冷却器 (1A・2A) 出口～1A・2A出口配管合 流部〕	"		良
4	2次Na充填ドレン系配管 〔主空気冷却器 (1A・2A) 出口配管合流部～ V35.2-3A 入口〕	2次Na充填ドレ ン系		良
5	温度計ウェル (TW31.2-3A)	2次主冷却系		良
6	小口径配管分岐部 〔主空気冷却器 (1A・2A) 出口配管合流部から2次 Na充填ドレン系配管〕	"		良
7	ナトリウム受け樋	—	機能上有害な損傷、 脱落等がないこと。	良
8	連通管	—		良
備 考				

部 屋 No		S-413 [2次系配管室(A)] (1/2)		
検 査 年 月 日		平成 8 年 11 月 12 日		
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
1	2次主冷却系配管A高温側 [IH31.1-1A出口~主空気 冷却器(1A・2A)入口]	2次主冷却系	ナトリウムの滞留、 液滴等のナトリウム 漏えい痕跡のないこ と。	良
2	2次主冷却系配管A低温側 [主空気冷却器(1A・2A) 出口~2次冷却系循環ポ ンプ入口]	"		良
3	2次主冷却系配管A低温側 [2次冷却系循環ポンプ出 口~主冷却系電磁流量計 A入口]	"		良
4	2次Na純化系コールドト ラップ (CT34.2-1)	2次Na純化系		良
5	2次Na純化系プラグング 計 (PL34.2-1)	"		良
6	純化系汲み上げ逆止弁 (V34.2-1)	"		良
7	逆止弁下流ドレン止弁 (V35.2-1)	2次Na充填ドレ ン系		良
8	2次Na純化系配管 [純化系電磁流量計1出口 ~V34.2-1入口]	2次Na純化系		良
9	2次Na純化系配管 [V34.2-1出口~ V34.2-10入口]	"		良
10	V35.2-1入口配管 [2次Na純化系配管~ V35.2-1入口]	2次Na充填ドレ ン系		良
11	V35.2-1出口配管 [V35.2-1出口~ 2次Na純化系配管]	"		良
12	2次Na純化系配管 [V34.2-6出口~ ドレンヘッダ入口]	2次Na純化系		良
備 考				

部 屋 №		S-413 (2次系配管室(A)) (2/2)		
検 査 年 月 日		平成 8 年 11 月 12 日		
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
13	2次Na純化系配管 (V34.2-7 入口配管)	2次Na純化系	ナトリウムの滞溜、 液滴等のナトリウム 漏えい痕跡のないこ と。	良
14	2次Na純化系配管 (V34.2-8 出口配管)	"		良
15	2次Na純化系プラグ 計入口配管 (2次Na純化系配管～ プラグ計入口)	"		良
16	2次Na純化系プラグ 計出口配管 (プラグ計出口～ 2次Na純化系配管)	"		良
17	ライナー	—	機能上有害な損傷、 脱落等がないこと。	良
18	ナトリウム受け樋	—		良
19	連通管	—		良
備 考				

部 屋 No.		S-415 (2次系配管室 (B))		
検 査 年 月 日		平 成 8 年 11 月 12 日		
No.	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
1	2次主冷却系配管B高温側 〔IH31.1-1B出口～主空気 冷却器 (1B・2B) 入口〕	2次主冷却系	ナトリウムの滞留、 液滴等のナトリウム 漏えい痕跡のないこ と。	良
2	2次主冷却系配管B低温側 〔主空気冷却器 (1B・2B) 出口～2次冷却系循環ポ ンプ入口〕	〃		良
3	2次主冷却系配管B低温側 〔2次冷却系循環ポンプ出 口～主冷却系電磁流量計 B入口〕	〃		良
4	サンプリング装置 (SP34.2-1)	2次Na純化系		良
5	サンプリングチューブ入口 止弁 (V34.2-7)	〃		良
6	サンプリングチューブ出口 止弁 (V34.2-8)	〃		良
7	2次Na純化系配管 〔V34.2-7 入口配管〕	〃		良
8	2次Na純化系配管 〔V34.2-8 出口配管〕	〃		良
9	サンプリング装置入口配管 〔V34.2-7 ～サンプリング 装置〕	〃		良
10	サンプリング装置出口配管 〔サンプリング装置～ V34.2-8〕	〃		良
11	ライナー	――	機能上有害な損傷、 脱落等がないこと。	良
12	連通管	――		良
備 考				

部 屋 No		S - 4 1 6 [前室 (No.2)]			
検 査 年 月 日		平 成 8 年 11 月 12 日			
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果	
1	2次主冷却系配管B高温側 〔IHX31.1-1B出口～主空気 冷却器(1B・2B)入口〕	2次主冷却系	ナトリウムの滞留、 液滴等のナトリウム 漏えい痕跡のないこと。	良	
2	2次主冷却系配管B低温側 〔主空気冷却器(1B・2B) 出口配管合流部～2次冷 却系循環ポンプ入口〕	〃		良	
3	2次主冷却系配管B低温側 〔主空気冷却器(1B・2B) 出口～1B・2B出口配管合 流部〕	〃		良	
4	2次Na充填ドレン系配管 〔主空気冷却器(1B・2B) 出口配管合流部～ V35.2-3B入口〕	2次Na充填ドレ ン系		良	
5	温度計ウェル (TW31.2-3B)	2次主冷却系		良	
6	小口径配管分岐部 〔主空気冷却器(1B・2B) 出口配管合流部から2次 Na充填ドレン系配管〕	〃		良	
7	ナトリウム受け樋	――		機能上有害な損傷、 脱落等がないこと。	良
8	連通管	――			良
備 考					

部 屋 No		S-419 [主冷却機室 (B)]		
検 査 年 月 日		平 成 8 年 11 月 12 日		
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
1	主空気冷却器 1 B (AC31.2-1B)	2次主冷却系	ナトリウムの滞留、 液滴等のナトリウム 漏えい痕跡のないこ と。	良
2	主空気冷却器 2 B (AC31.2-2B)	"		良
3	2次主冷却系配管 B 低温側 〔主空気冷却器 (1B・2B) 出口～1B・2B出口配管合 流部〕	"		良
4	温度計ウェル (TW31.2-2B-1)	"		良
5	温度計ウェル (TW31.2-2B-2)	"		良
6	ナトリウム受け樋	—	機能上有害な損傷、 脱落等がないこと。	良
7	連通管	—		良
備 考 No 1, No 2 については、II-308 にて開放検査を実施。				

部 屋 Na		S - 5 0 5 (主冷却機上部室 (A))			
検 査 年 月 日		平 成 8 年 11 月 12 日			
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果	
1	主空気冷却器 1 A (AC31.2-1A)	2次主冷却系	ナトリウムの滞留、 液滴等のナトリウム 漏えい痕跡のないこ と。	良	
2	主空気冷却器 2 A (AC31.2-2A)	"		良	
3	2次主冷却系配管 A 高温側 〔IH31.1-1A出口～主空気 冷却器 (1A・2A) 入口配 管分岐部〕	"		良	
4	2次主冷却系配管 A 高温側 〔主空気冷却器 (1A・2A) 入口配管分岐部～主空気 冷却器 (1A・2A) 入口〕	"		良	
5	2次主冷却系配管 A 高温側 (サーベイランス部)	"		良	
6	2次主冷却系配管 A 低温側 〔主空気冷却器 (1A・2A) 出口～主空気冷却器 (1A ・2A) 出口配管合流部〕	"		良	
7	2次Na充填ドレン系配管 〔主空気冷却器 (1A・2A) 入口配管～V35.2-4A入口〕	2次Na充填ドレ ン系		良	
8	温度計ウェル (TW31.2-1A)	2次主冷却系		良	
9	小口径配管分岐部 〔主空気冷却器 (1A・2A) 入口配管から2次Na充 填ドレン系配管〕	"		良	
10	ナトリウム受け樋	—		機能上有害な損傷、 脱落等がないこと。	良
11	連通管	—			良
備 考 No.1, No.2 については、II-308にて開放検査を実施。					

部 屋 Na		S-508 [コールドトラップエリア (A) (1/3)]		
検 査 年 月 日		平 成 9 年 11 月 11 日		
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
1	NaK 圧力計及び圧力計導管 〔A-主ポンプ入口Na圧力計〕	2次主冷却系	ナトリウムの滞留、 液滴等のナトリウム 漏えい痕跡のないこと。	良
2	2次Na純化系コールドトラップ (CT34.2-1)	2次Na純化系		良
3	Aループ充填第1元弁 (V34.2-5A)	"		良
4	Aループ充填第2元弁 (V34.2-4A)	"		良
5	コールドトラップバイパス弁 (V34.2-2)	"		良
6	初期純化バイパス止弁 (V34.2-3)	"		良
7	オーバフローライン止弁 (V34.2-6)	"		良
8	コールドトラップ出口止弁 (V34.2-9)	"		良
9	コールドトラップ入口止弁 (V34.2-10)	"		良
10	エコマイザ入口止弁 (V34.2-11)	"		良
11	エコマイザバイパス弁 (V34.2-12)	"		良
12	2次Na純化系配管 〔V34.2-1 出口～ V34.2-10 入口〕	"		良
13	2次Na純化系配管 〔V34.2-10 出口～ V34.2-11 入口〕	"		良
備 考				

部 屋 No		S-508 (コールドトラップエリア (A) (2/3))		
検 査 年 月 日		平成 8 年 11 月 11 日		
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
14	2次Na純化系配管 〔V34.2-11.12 入口配管分岐部～V34.2-12 入口〕	2次Na純化系	ナトリウムの滞留、液滴等のナトリウム漏えい痕跡のないこと。	良
15	2次Na純化系配管 〔V34.2-11出口～2次Na純化系コールドトラップ入口〕	〃		良
16	2次Na純化系配管 〔V34.2-12出口～2次Na純化系コールドトラップ入口〕	〃		良
17	2次Na純化系配管 〔2次Na純化系コールドトラップ出口～V34.2-9 入口〕	〃		良
18	2次Na純化系配管 〔V34.2-9 出口～V34.2-4A 入口〕	〃		良
19	2次Na純化系配管 〔V34.2-4A出口～V34.2-5A 入口〕	〃		良
20	2次Na純化系配管 〔V34.2-5A出口～2次冷却系循環ポンプ 入口配管〕	〃		良
21	2次Na純化系配管 〔2次純化系配管A, B 分岐部～FE34.2-1-2入口〕	〃		良
22	2次Na純化系配管 〔V34.2-2入口配管〕	〃		良
23	2次Na純化系配管 〔V34.2-2出口配管〕	〃		良
24	2次Na純化系配管 〔V34.2-3入口配管〕	〃		良
25	2次Na純化系配管 〔V34.2-3出口配管〕	〃	良	
26	2次Na純化系配管 〔V34.2-6 出口～ドレンヘッダ入口〕	〃	良	
備 考				

部 屋 No		S-5-08 [コールドトラップエリア (A) (3/3)]		
検 査 年 月 日		平成 8 年 11 月 11 日		
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
27	2次Na純化系配管 〔2次Na純化系配管A,B 分岐部～V34.2-6 入口〕	2次主冷却系	ナトリウムの滞留、 液滴等のナトリウム 漏えい痕跡のないこ と。	良
28	2次Na純化系配管 〔ナトリウムバフタンクA出口～2次 Na純化系配管A,B 分岐部〕	〃		良
29	2次Na純化系配管 〔ナトリウムバフタンクB出口～2次 Na純化系配管A,B 分岐部〕	〃		良
30	2次主冷却系配管A低温側 〔主空気冷却器 (1A・2A) 出口～2次冷却系循環ポ ンプ入口〕	〃		良
31	2次主冷却系配管A低温側 〔2次冷却系循環ポンプA 出口～主冷却系電磁流量 計入口〕	〃		良
32	2次主冷却系配管A低温側 〔ナトリウムバフタンクA出口～2次 冷却系循環ポンプ入口配管〕	〃		良
33	温度計ウェル (TW34.2-2-1)	〃		良
34	小口径配管分岐部 〔2次冷却系循環ポンプA 入口配管からポンプオー バフタンク出口配管〕	〃		良
35	小口径配管分岐部 〔2次冷却系循環ポンプ入 口配管からV34.2-5A出口 配管〕	〃		良
36	ライナー	――		機能上有害な損傷、 脱落等がないこと。
37	ナトリウム受け樋	――	良	
38	連通管	――	良	
備 考				

部 屋 No		S-509 (コールドトラップエリア (B) (1/2))		
検 査 年 月 日		平成 8 年 11 月 11 日		
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
1	2次Na純化系電磁流量計 (FE34.2-1-2)	2次Na純化系	ナトリウムの滯溜、 液滴等のナトリウム 漏えい痕跡のないこと。	良
2	Bループ充填第1元弁 (V34.2-5B)	"		良
3	Bループ充填第2元弁 (V34.2-4B)	"		良
4	2次Na純化系配管 (FE34.2-1-2入口配管)	"		良
5	2次Na純化系配管 〔FE34.2-1-2出口～ V34.2-4B入口〕	"		良
6	2次Na純化系配管 〔V34.2-4B出口～ V34.2-5B入口〕	"		良
7	2次Na純化系配管 〔V34.2-5B出口～2次冷却 系循環ポンプ入口配管〕	"		良
8	Nak 圧力計及び圧力計導管 〔B-主ポンプ入口Na圧 力計〕	2次主冷却系		良
9	2次主冷却系配管B低温側 〔主空気冷却器 (1B・2B) 出口～2次冷却系循環ポ ンプ入口〕	"		良
10	2次主冷却系配管B低温側 〔2次冷却系循環ポンプ出 口～主冷却系電磁流量計 B入口〕	"		良
11	2次主冷却系配管B低温側 〔2次冷却系循環ポンプ入口 配管～ポンプ-パワータンクB出口〕	"		良
12	2次Na純化系配管 〔ポンプ-パワータンクB出口～2次 Na純化系配管A、B分岐部〕	2次Na純化系		良
備 考				

部 屋 No		S-509 [コールドトラップエリア (B) (1/2)]		
検 査 年 月 日		平成 8 年 11 月 11 日		
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
13	小口径配管分岐部 〔2次冷却系循環ポンプ入口 配管～ポンプオーバーフロー出口 配管〕	2次主冷却系	ナトリウムの滞留、 液滴等のナトリウム 漏えい痕跡のないこ と。 機能上有害な損傷、 脱落等がないこと。	良
14	小口径配管分岐部 〔2次冷却系循環ポンプ入口 配管からV34.2-5B出口配 管〕	”		良
15	ライナー	—		良
16	ナトリウム受け樋	—		良
17	連通管	—		良
備 考				

部 屋 Na		S - 5 1 2 (主冷却機上部室 (B))		
検 査 年 月 日		平 成 8 年 // 月 // 日		
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
1	主空気冷却器 1 B (AC31.2-1B)	2次主冷却系	ナトリウムの滞留、 液滴等のナトリウム 漏えい痕跡のないこ と。	良
2	主空気冷却器 2 B (AC31.2-2B)	"		良
3	2次主冷却系配管B高温側 (IH31.1-1B出口～主空気 冷却器 (1B・2B) 入口配 管分岐部)	"		良
4	2次主冷却系配管B高温側 (主空気冷却器 (1B・2B) 入口配管分岐部～主空気 冷却器 (1B・2B) 入口)	"		良
5	2次主冷却系配管B高温側 (サーベランス部)	"		良
6	2次主冷却系配管B低温側 (主空気冷却器 (1B・2B) 出口～主空気冷却器 (1B ・2B) 出口配管合流部)	"		良
7	2次Na充填ドレン系配管 (主空気冷却器 (1B・2B) 入口配管～V35.2-4B入口)	2次Na充填ドレ ン系		良
8	小口径配管分岐部 (主空気冷却器 (1B・2B) 入口配管から2次Na充 填ドレン系配管)	2次主冷却系		良
9	温度計ウェル (TW31.2-1B)	"	機能上有害な損傷、 脱落等がないこと。	良
10	ナトリウム受け樋	—		良
11	連通管	—		良
備 考 Na 1, Na 2 については、II - 3 0 8 にて開放検査を実施。				

部 屋 No		S-60I〔2次系オーバーフロータンク室(A)〕(1/2)		
検 査 年 月 日		平成 8 年 11 月 11 日		
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
1	2次冷却系循環ポンプA (P31.2-1A)	2次主冷却系	ナトリウムの滞留、 液滴等のナトリウム 漏えい痕跡のないこ と。	良
2	NaK 圧力計及び圧力計導管 〔A-主ポンプ出口Na圧 力計〕	〃		良
3	ポンプオーバーフロータンクA (TK31.2-1A)	〃		良
4	オーバーフロータンクA液面計 据付け部 (LE31.2-2A)	〃		良
5	2次Arガス系ベーパートラ ップA (VT36.2-1A)	2次Arガス系		良
6	2次Arガス系配管 〔ポンプオーバーフロータンクA出口～2次 Arガス系ベーパー 入口〕	〃		良
7	ホットレグベント弁 (V35.2-4A)	2次Na充填ドレ ン系		良
8	2次Na充填ドレン系配管 〔主空気冷却器(1A・2A) 入口配管～V35.2-4A入口〕	〃		良
9	2次Na充填ドレン系配管 〔V35.2-4A出口～ポンプオーバ フロータンクA入口〕	〃		良
10	2次Na充填ドレン系配管 〔ポンプオーバーフロータンクA出口～2次 Na純化系配管A,B分岐部〕	〃		良
11	2次主冷却系配管A低温側 〔2次冷却系循環ポンプ出 口～主冷却系電磁流量計 A入口〕	2次主冷却系		良
12	2次主冷却系配管A低温側 〔ポンプオーバーフロータンクA～2次冷却 系循環ポンプ入口配管〕	〃		良
備 考				

外観検査記録

(72/76)

部 屋 No		S-601〔2次系オーバーフロータンク室(A)〕(2/2)		
検 査 年 月 日		平成 8 年 11 月 11 日		
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
13	2次主冷却系配管A低温側〔2次冷却系循環ポンプ胴部～ポンプオーバーフロータンクA入口〕	2次主冷却系	ナトリウムの滞留、液滴等のナトリウム漏えい痕跡のないこと。	良
14	ライナー	—	機能上有害な損傷、脱落等がないこと。	良
15	ナトリウム受け樋	—		良
16	連通管	—		良
備 考				

部 屋 No.		S-602〔2次系オーバーフロータンク室(B)〕(1/2)		
検 査 年 月 日		平成 8 年 11 月 11 日		
No.	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
1	2次冷却系循環ポンプB (P31.2-1B)	2次主冷却系	ナトリウムの滞留、 液滴等のナトリウム 漏えい痕跡のないこ と。	良
2	NaK 圧力計及び圧力計導管 〔B-主ポンプ出口Na圧 力計〕	〃		良
3	ポンプオーバーフロータンクB (TK31.2-1B)	〃		良
4	ポンプオーバーフロータンクB 液面計据付け部 (LE31.2-2B)	〃		良
5	2次Arガス系ベーパートラ ップB (VT36.2-1B)	2次Arガス系		良
6	2次Arガス系配管 〔ポンプオーバーフロータンクB出口～2次 Arガス系ベーパートラップ 入口〕	〃		良
7	ホットレグベント弁 (V35.2-4B)	2次Na充填ドレ ン系		良
8	2次Na充填ドレン系配管 〔主空気冷却器(1B・2B) 入口配管～V35.2-4B入口〕	〃		良
9	2次Na充填ドレン系配管 〔V35.2-4B出口～ポンプオーバー フロータンクB入口〕	〃		良
10	2次Na充填ドレン系配管 〔ポンプオーバーフロータンクB出口～2次 Na純化系配管A,B分岐部〕	〃		良
11	2次主冷却系配管B低温側 〔2次冷却系循環ポンプ出 口～主冷却系電磁流量計 B入口〕	2次主冷却系		良
12	2次主冷却系配管B低温側 〔ポンプオーバーフロータンクB～2次冷却 系循環ポンプ 入口配管〕	〃		良
備 考				

部 屋 №		S-602〔2次系オーバーフロータンク室(B)〕(2/2)		
検 査 年 月 日		平 成 8 年 11 月 11 日		
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
13	2次主冷却系配管B低温側 〔2次冷却系循環ポンプ胴部～ポンプオーバーフロータンクB入口〕	2次主冷却系	ナトリウムの滞留、液滴等のナトリウム漏えい痕跡のないこと。	良
14	ライナー	——	機能上有害な損傷、脱落等がないこと。	良
15	ナトリウム受け樋	——		良
16	連通管	——		良
備 考				

部 屋 No		S-701 [2次系主循環ポンプ室(A)]		
検 査 年 月 日		平 成 8 年 11 月 11 日		
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
1	2次冷却系循環ポンプA据付け部 (P31.2-1A)	2次主冷却系	ナトリウムの滞留、液滴等のナトリウム漏えい痕跡のないこと。	良
2	2次冷却系循環ポンプ液面計据付け部 (LE31.2-1A-1)	"		良
3	2次冷却系循環ポンプ液面計据付け部 (LE31.2-1A-2)	"		良
4	温度計ウェル (予備ウェル含む) (TW31.2-6A)	"		良
備 考				

部 屋 No		S-702〔2次系主循環ポンプ室(B)〕		
検 査 年 月 日		平 成 8 年 11 月 11 日		
No	機 器 名 称	系 統 名	判 定 基 準	結 果
1	2次冷却系循環ポンプB据 付け部 (P31.2-1B)	2次主冷却系	ナトリウムの滞留、 液滴等のナトリウム 漏えい痕跡のないこ と。	良
2	2次冷却系循環ポンプ液面 計据付け部 (LE31.2-1B-1)	"		良
3	2次冷却系循環ポンプ液面 計据付け部 (LE31.2-1B-2)	"		良
4	温度計ウェル (予備ウェル含む) (TW31.2-6B)	"		良
備 考				

第 11 回 定 期 検 査 計 画 書
(抜 粋)

高速実験炉「常陽」

第11回定期検査計画書

平成7年 3月

(平成8年12月)改訂

第 1 1 回 定期検査計画書改訂来歴

(1/4)

回	内 容	頁	改 訂 日																																																																																																												
0	定期検査申請書 平成7年3月10日付け 6動燃(安)794による。 定期検査計画書 初版作成		(平成7年 3月10日)																																																																																																												
1	(3)原子炉の設置及び設置変更に関する書類 並びに定期検査申請に関する書類の提出年月日及び申請番号 ④定期検査申請書の変更申請年月日及び申請番号を追加する。	5	平成8年 6月13日 8動燃(安)642																																																																																																												
2	(3)原子炉の設置及び設置変更に関する書類 並びに定期検査申請に関する書類の提出年月日及び申請番号 ⑤定期検査申請書の変更申請年月日及び申請番号を追加する。	5	平成8年 6月25日 8動燃(安)686																																																																																																												
	(4)定期検査実施期間を変更する。 変更前 { 自:平成7年 5月10日 至:平成8年 7月10日 変更後 { 自:平成7年 5月10日 至:平成8年12月10日																																																																																																														
	2. 主要工程表の変更 定期検査期間延長のため、工程表を変更した。	10																																																																																																													
	3. 立会日程表の検査予定日を見直したため、下記のように一部検査予定日を変更した。 また、実施済の検査については実績を記載した。	11 5 15																																																																																																													
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>要領No</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> <th>要領No</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>I-101</td><td>8年 4月～ 5月</td><td>8年 9月</td><td>I-701</td><td>8年 6月</td><td>8年10月</td></tr> <tr><td>I-102</td><td>8年 4月～ 5月</td><td>8年 9月</td><td>I-702</td><td>8年 6月</td><td>8年 7月</td></tr> <tr><td>I-103</td><td>8年 6月</td><td>8年11月</td><td>I-703</td><td>8年 5月～ 6月</td><td>8年 9月～10月</td></tr> <tr><td>I-104</td><td>8年 6月</td><td>8年11月</td><td>I-704</td><td>8年 5月～ 6月</td><td>8年 9月～10月</td></tr> <tr><td>I-105</td><td>8年 6月</td><td>8年11月</td><td>I-705</td><td>8年 6月</td><td>8年10月</td></tr> <tr><td>I-106</td><td>8年 6月</td><td>8年11月</td><td>I-706</td><td>8年 6月</td><td>8年10月</td></tr> <tr><td>I-107</td><td>8年 6月</td><td>8年11月</td><td>I-707</td><td>8年 6月</td><td>8年10月</td></tr> <tr><td>I-109</td><td>8年 6月</td><td>8年11月</td><td>I-708</td><td>8年 6月</td><td>8年10月</td></tr> <tr><td>I-201</td><td>8年 4月～ 5月</td><td>8年 9月</td><td>I-709</td><td>8年 6月</td><td>8年10月</td></tr> <tr><td>I-202</td><td>8年 6月</td><td>8年11月</td><td>I-710</td><td>8年 6月</td><td>8年10月</td></tr> <tr><td>I-301</td><td>8年 6月</td><td>8年11月～12月</td><td>I-711</td><td>8年 6月</td><td>8年10月</td></tr> <tr><td>I-302</td><td>8年 6月</td><td>8年11月～12月</td><td>I-712</td><td>8年 6月</td><td>8年10月</td></tr> <tr><td>I-303</td><td>8年 6月</td><td>8年11月～12月</td><td>I-713</td><td>8年 6月</td><td>8年10月</td></tr> <tr><td>I-401</td><td>8年 6月</td><td>8年11月～12月</td><td>I-802</td><td>8年 6月</td><td>8年11月</td></tr> <tr><td>I-501</td><td>8年 7月</td><td>8年12月</td><td>I-803</td><td>8年 7月</td><td>8年12月</td></tr> <tr><td>I-601</td><td>8年 7月</td><td>8年12月</td><td>I-901</td><td>8年 7月</td><td>8年12月</td></tr> <tr><td>I-602</td><td>8年 7月</td><td>8年12月</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>				要領No	変更前	変更後	要領No	変更前	変更後	I-101	8年 4月～ 5月	8年 9月	I-701	8年 6月	8年10月	I-102	8年 4月～ 5月	8年 9月	I-702	8年 6月	8年 7月	I-103	8年 6月	8年11月	I-703	8年 5月～ 6月	8年 9月～10月	I-104	8年 6月	8年11月	I-704	8年 5月～ 6月	8年 9月～10月	I-105	8年 6月	8年11月	I-705	8年 6月	8年10月	I-106	8年 6月	8年11月	I-706	8年 6月	8年10月	I-107	8年 6月	8年11月	I-707	8年 6月	8年10月	I-109	8年 6月	8年11月	I-708	8年 6月	8年10月	I-201	8年 4月～ 5月	8年 9月	I-709	8年 6月	8年10月	I-202	8年 6月	8年11月	I-710	8年 6月	8年10月	I-301	8年 6月	8年11月～12月	I-711	8年 6月	8年10月	I-302	8年 6月	8年11月～12月	I-712	8年 6月	8年10月	I-303	8年 6月	8年11月～12月	I-713	8年 6月	8年10月	I-401	8年 6月	8年11月～12月	I-802	8年 6月	8年11月	I-501	8年 7月	8年12月	I-803	8年 7月	8年12月	I-601	8年 7月	8年12月	I-901	8年 7月	8年12月	I-602	8年 7月	8年12月			
要領No	変更前	変更後	要領No	変更前	変更後																																																																																																										
I-101	8年 4月～ 5月	8年 9月	I-701	8年 6月	8年10月																																																																																																										
I-102	8年 4月～ 5月	8年 9月	I-702	8年 6月	8年 7月																																																																																																										
I-103	8年 6月	8年11月	I-703	8年 5月～ 6月	8年 9月～10月																																																																																																										
I-104	8年 6月	8年11月	I-704	8年 5月～ 6月	8年 9月～10月																																																																																																										
I-105	8年 6月	8年11月	I-705	8年 6月	8年10月																																																																																																										
I-106	8年 6月	8年11月	I-706	8年 6月	8年10月																																																																																																										
I-107	8年 6月	8年11月	I-707	8年 6月	8年10月																																																																																																										
I-109	8年 6月	8年11月	I-708	8年 6月	8年10月																																																																																																										
I-201	8年 4月～ 5月	8年 9月	I-709	8年 6月	8年10月																																																																																																										
I-202	8年 6月	8年11月	I-710	8年 6月	8年10月																																																																																																										
I-301	8年 6月	8年11月～12月	I-711	8年 6月	8年10月																																																																																																										
I-302	8年 6月	8年11月～12月	I-712	8年 6月	8年10月																																																																																																										
I-303	8年 6月	8年11月～12月	I-713	8年 6月	8年10月																																																																																																										
I-401	8年 6月	8年11月～12月	I-802	8年 6月	8年11月																																																																																																										
I-501	8年 7月	8年12月	I-803	8年 7月	8年12月																																																																																																										
I-601	8年 7月	8年12月	I-901	8年 7月	8年12月																																																																																																										
I-602	8年 7月	8年12月																																																																																																													

回	内 容	頁	改 訂 日																																																																																																																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>要領No</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> <th>要領No</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>Ⅱ-102</td><td>8年 7月</td><td>8年12月</td><td>Ⅱ-405</td><td>8年 5月～ 6月</td><td>8年 9月～10月</td></tr> <tr><td>Ⅱ-203</td><td>8年 6月</td><td>8年10月</td><td>Ⅱ-406</td><td>8年 5月～ 6月</td><td>8年 9月～10月</td></tr> <tr><td>Ⅱ-204</td><td>8年 6月</td><td>8年10月</td><td>Ⅱ-407</td><td>8年 6月</td><td>8年10月～11月</td></tr> <tr><td>Ⅱ-207</td><td>8年 6月</td><td>8年10月</td><td>Ⅱ-408</td><td>8年 6月</td><td>8年10月～11月</td></tr> <tr><td>Ⅱ-209</td><td>8年 6月</td><td>8年10月</td><td>Ⅱ-409</td><td>8年 6月</td><td>8年10月～11月</td></tr> <tr><td>Ⅱ-210</td><td>8年 6月</td><td>8年10月</td><td>Ⅱ-411</td><td>8年 2月</td><td>8年 9月～10月</td></tr> <tr><td>Ⅱ-211</td><td>8年 6月</td><td>8年10月</td><td>Ⅱ-414</td><td>8年 5月～ 6月</td><td>8年 9月～10月</td></tr> <tr><td>Ⅱ-212</td><td>8年 6月</td><td>8年10月</td><td>Ⅱ-601</td><td>8年 6月</td><td>8年10月～11月</td></tr> <tr><td>Ⅱ-213</td><td>8年 6月</td><td>8年10月</td><td>Ⅱ-602</td><td>8年 6月</td><td>8年10月～11月</td></tr> <tr><td>Ⅱ-301</td><td>8年 3月～ 4月</td><td>8年10月～11月</td><td>Ⅱ-603</td><td>8年 6月</td><td>8年10月～11月</td></tr> <tr><td>Ⅱ-304</td><td>8年 3月～ 4月</td><td>8年10月～11月</td><td>Ⅱ-604</td><td>8年 6月</td><td>8年10月～11月</td></tr> <tr><td>Ⅱ-305</td><td>8年 3月～ 4月</td><td>8年10月～11月</td><td>Ⅱ-605</td><td>8年 6月</td><td>8年10月～11月</td></tr> <tr><td>Ⅱ-306</td><td>8年 6月</td><td>8年10月～11月</td><td>Ⅱ-606</td><td>8年 6月</td><td>8年10月～11月</td></tr> <tr><td>Ⅱ-310</td><td>8年 7月</td><td>8年12月</td><td>Ⅱ-701</td><td>8年 6月</td><td>8年11月</td></tr> <tr><td>Ⅱ-311</td><td>8年 4月</td><td>8年10月～11月</td><td>Ⅱ-702</td><td>8年 6月</td><td>8年11月</td></tr> <tr><td>Ⅱ-312</td><td>8年 6月</td><td>8年10月～11月</td><td>Ⅱ-706</td><td>8年 4月</td><td>8年11月</td></tr> <tr><td>Ⅱ-313</td><td>8年 6月</td><td>8年10月～11月</td><td>Ⅱ-707</td><td>8年 4月</td><td>8年11月</td></tr> <tr><td>Ⅱ-402</td><td>8年 4月～ 5月</td><td>8年 9月</td><td>Ⅱ-708</td><td>8年 4月</td><td>8年11月</td></tr> <tr><td>Ⅱ-403</td><td>8年 4月</td><td>8年 9月</td><td>Ⅱ-709</td><td>8年 4月</td><td>8年11月</td></tr> <tr><td>Ⅱ-404</td><td>8年 4月</td><td>8年10月～11月</td><td>Ⅱ-802</td><td>8年 5月～ 6月</td><td>8年 9月～10月</td></tr> </tbody> </table>	要領No	変更前	変更後	要領No	変更前	変更後	Ⅱ-102	8年 7月	8年12月	Ⅱ-405	8年 5月～ 6月	8年 9月～10月	Ⅱ-203	8年 6月	8年10月	Ⅱ-406	8年 5月～ 6月	8年 9月～10月	Ⅱ-204	8年 6月	8年10月	Ⅱ-407	8年 6月	8年10月～11月	Ⅱ-207	8年 6月	8年10月	Ⅱ-408	8年 6月	8年10月～11月	Ⅱ-209	8年 6月	8年10月	Ⅱ-409	8年 6月	8年10月～11月	Ⅱ-210	8年 6月	8年10月	Ⅱ-411	8年 2月	8年 9月～10月	Ⅱ-211	8年 6月	8年10月	Ⅱ-414	8年 5月～ 6月	8年 9月～10月	Ⅱ-212	8年 6月	8年10月	Ⅱ-601	8年 6月	8年10月～11月	Ⅱ-213	8年 6月	8年10月	Ⅱ-602	8年 6月	8年10月～11月	Ⅱ-301	8年 3月～ 4月	8年10月～11月	Ⅱ-603	8年 6月	8年10月～11月	Ⅱ-304	8年 3月～ 4月	8年10月～11月	Ⅱ-604	8年 6月	8年10月～11月	Ⅱ-305	8年 3月～ 4月	8年10月～11月	Ⅱ-605	8年 6月	8年10月～11月	Ⅱ-306	8年 6月	8年10月～11月	Ⅱ-606	8年 6月	8年10月～11月	Ⅱ-310	8年 7月	8年12月	Ⅱ-701	8年 6月	8年11月	Ⅱ-311	8年 4月	8年10月～11月	Ⅱ-702	8年 6月	8年11月	Ⅱ-312	8年 6月	8年10月～11月	Ⅱ-706	8年 4月	8年11月	Ⅱ-313	8年 6月	8年10月～11月	Ⅱ-707	8年 4月	8年11月	Ⅱ-402	8年 4月～ 5月	8年 9月	Ⅱ-708	8年 4月	8年11月	Ⅱ-403	8年 4月	8年 9月	Ⅱ-709	8年 4月	8年11月	Ⅱ-404	8年 4月	8年10月～11月	Ⅱ-802	8年 5月～ 6月	8年 9月～10月		
要領No	変更前	変更後	要領No	変更前	変更後																																																																																																																												
Ⅱ-102	8年 7月	8年12月	Ⅱ-405	8年 5月～ 6月	8年 9月～10月																																																																																																																												
Ⅱ-203	8年 6月	8年10月	Ⅱ-406	8年 5月～ 6月	8年 9月～10月																																																																																																																												
Ⅱ-204	8年 6月	8年10月	Ⅱ-407	8年 6月	8年10月～11月																																																																																																																												
Ⅱ-207	8年 6月	8年10月	Ⅱ-408	8年 6月	8年10月～11月																																																																																																																												
Ⅱ-209	8年 6月	8年10月	Ⅱ-409	8年 6月	8年10月～11月																																																																																																																												
Ⅱ-210	8年 6月	8年10月	Ⅱ-411	8年 2月	8年 9月～10月																																																																																																																												
Ⅱ-211	8年 6月	8年10月	Ⅱ-414	8年 5月～ 6月	8年 9月～10月																																																																																																																												
Ⅱ-212	8年 6月	8年10月	Ⅱ-601	8年 6月	8年10月～11月																																																																																																																												
Ⅱ-213	8年 6月	8年10月	Ⅱ-602	8年 6月	8年10月～11月																																																																																																																												
Ⅱ-301	8年 3月～ 4月	8年10月～11月	Ⅱ-603	8年 6月	8年10月～11月																																																																																																																												
Ⅱ-304	8年 3月～ 4月	8年10月～11月	Ⅱ-604	8年 6月	8年10月～11月																																																																																																																												
Ⅱ-305	8年 3月～ 4月	8年10月～11月	Ⅱ-605	8年 6月	8年10月～11月																																																																																																																												
Ⅱ-306	8年 6月	8年10月～11月	Ⅱ-606	8年 6月	8年10月～11月																																																																																																																												
Ⅱ-310	8年 7月	8年12月	Ⅱ-701	8年 6月	8年11月																																																																																																																												
Ⅱ-311	8年 4月	8年10月～11月	Ⅱ-702	8年 6月	8年11月																																																																																																																												
Ⅱ-312	8年 6月	8年10月～11月	Ⅱ-706	8年 4月	8年11月																																																																																																																												
Ⅱ-313	8年 6月	8年10月～11月	Ⅱ-707	8年 4月	8年11月																																																																																																																												
Ⅱ-402	8年 4月～ 5月	8年 9月	Ⅱ-708	8年 4月	8年11月																																																																																																																												
Ⅱ-403	8年 4月	8年 9月	Ⅱ-709	8年 4月	8年11月																																																																																																																												
Ⅱ-404	8年 4月	8年10月～11月	Ⅱ-802	8年 5月～ 6月	8年 9月～10月																																																																																																																												
	<p>Ⅲ その他</p> <p>4. 定期検査時の保安管理，品質保証活動，放射線管理 品質保証活動の項目に，もんじゅでのナトリウム漏えいに関連した対応を追記した。</p>	19																																																																																																																															
	<p>添付資料1 運転実績及び運転予定 ・定期検査完了日を変更する。</p>	—																																																																																																																															
	<p>添付資料2 定期検査中の変更工事及び使用前検査 ・燃料交換機の改造における最終使用前検査の時期を変更する。 ・取替用制御棒下部案内管の製作における最終使用前検査の時期を変更する。</p>	—																																																																																																																															
3	<p>I はじめに</p> <p>2. 定期検査の基本方針 ②性能検査Ⅱの検査項目中の1. 外観検査，3. 漏洩検査の検査概要に温度計ウエルの確認項目を追加した。</p>	3	平成8年10月 7日 8動燃（安）737																																																																																																																														
	<p>定期検査項目（性能検査Ⅱ）の表中の原子炉冷却系統施設・2次冷却系設備欄に温度計ウエルの外観，漏洩検査を，その他原子炉の付属施設にライナー等の欄を設けライナー，ナト</p>	4																																																																																																																															

回	内 容	頁	改 訂 日
	リウム受け樋等の外観検査の項目をそれぞれ追加した。	4	
	Ⅱ 定期検査計画 1. 計画概要 (3)原子炉の設置及び設置変更に関する書類 並びに定期検査申請に関する書類の提出年月日及び申請番号 ⑥定期検査申請書の変更申請年月日及び申請番号を追加する。	5	
	(7)定期検査実施計画の概要 ②性能検査Ⅱの表中に温度計ウェル, ライナー等の検査項目を追加し, 備考欄に注釈を設けた。内容は以下のとおりである。 ・注*5 「もんじゅ」ナトリウム漏えい事故に関連し 2次冷却系温度計ウェル部の検査を追加する。 ・注*6 「もんじゅ」ナトリウム漏えい事故に関連し 1次冷却系ナトリウム漏洩検出器の点検校正検査を全数検査に変更する。 ・注*7 1次冷却系および2次冷却系統施設が設置されているエリア内のナトリウムに接液する機器配管およびライナー等の外観検査を追加する。	8 9 10 11	
	3. 立会日程表(性能検査Ⅱ)に上記の理由により, 表中に新たに検査の追加及び再検査の日程を設けた。	14 15	
	2. 定期検査長期計画 (2)性能検査Ⅱの表中も同様に関連する箇所を追加した。	17 18	
	4. 定期検査時の保安全管理, 品質保証活動, 放射線管理 (1)品質保証活動 ②に2次系温度計ウェルの定期検査項目を追加することを追記した。	19	
	添付資料2 定期検査期間中の変更工事及び使用前検査 (2)設工認及び使用前検査の申請・認可状況 ・使用前検査申請書の変更申請年月日及び申請番号を追加修正した。	-	

回	内 容	頁	改 訂 日																																																																																																												
4	<p>Ⅱ 定期検査計画</p> <p>1. 計画概要</p> <p>(3)原子炉の設置及び設置変更に関する書類 並びに定期検査申請に関する書類の提出年月日及び申請番号</p> <p>⑦定期検査申請書の変更申請年月日及び申請番号を追加する。</p> <p>(4)定期検査実施期間を変更する。</p> <p>変更前 { 自：平成7年 5月10日 至：平成8年12月10日</p> <p>変更後 { 自：平成7年 5月10日 至：平成9年 3月24日</p>	5	平成8年12月9日 8動燃(安)																																																																																																												
	<p>2. 主要工程表の変更</p> <p>定期検査期間延長のため、工程表を変更した。</p>	10 11																																																																																																													
	<p>3. 立会日程表の検査予定日を見直したため、下記のように一部検査予定日を変更した。</p> <p>また、実施済の検査については実績を記載した。</p>	11 15																																																																																																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>要領No</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> <th>要領No</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>I-103</td> <td>8年11月</td> <td>9年2月</td> <td>Ⅱ-102</td> <td>8年12月</td> <td>9年3月</td> </tr> <tr> <td>I-104</td> <td>8年11月</td> <td>9年2月</td> <td>Ⅱ-310</td> <td>8年12月</td> <td>9年3月</td> </tr> <tr> <td>I-105</td> <td>8年11月</td> <td>9年2月</td> <td>Ⅱ-701</td> <td>8年11月</td> <td>9年2月</td> </tr> <tr> <td>I-106</td> <td>8年11月</td> <td>9年2月</td> <td>Ⅱ-702</td> <td>8年11月</td> <td>9年2月</td> </tr> <tr> <td>I-107</td> <td>8年11月</td> <td>9年2月</td> <td>Ⅱ-706</td> <td>8年11月</td> <td>9年2月</td> </tr> <tr> <td>I-109</td> <td>8年11月</td> <td>9年2月</td> <td>Ⅱ-707</td> <td>8年11月</td> <td>9年2月</td> </tr> <tr> <td>I-202</td> <td>8年11月</td> <td>9年2月</td> <td>Ⅱ-708</td> <td>8年11月</td> <td>9年2月</td> </tr> <tr> <td>I-301</td> <td>8年11月～12月</td> <td>9年3月</td> <td>Ⅱ-709</td> <td>8年11月</td> <td>9年2月</td> </tr> <tr> <td>I-302</td> <td>8年11月～12月</td> <td>9年3月</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>I-303</td> <td>8年11月～12月</td> <td>9年3月</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>I-401</td> <td>8年11月～12月</td> <td>9年3月</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>I-501</td> <td>8年12月</td> <td>9年3月</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>I-601</td> <td>8年12月</td> <td>9年3月</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>I-602</td> <td>8年12月</td> <td>9年3月</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>I-803</td> <td>8年12月</td> <td>9年3月</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>I-802</td> <td>8年11月</td> <td>9年2月</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>I-901</td> <td>8年12月</td> <td>9年3月</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				要領No	変更前	変更後	要領No	変更前	変更後	I-103	8年11月	9年2月	Ⅱ-102	8年12月	9年3月	I-104	8年11月	9年2月	Ⅱ-310	8年12月	9年3月	I-105	8年11月	9年2月	Ⅱ-701	8年11月	9年2月	I-106	8年11月	9年2月	Ⅱ-702	8年11月	9年2月	I-107	8年11月	9年2月	Ⅱ-706	8年11月	9年2月	I-109	8年11月	9年2月	Ⅱ-707	8年11月	9年2月	I-202	8年11月	9年2月	Ⅱ-708	8年11月	9年2月	I-301	8年11月～12月	9年3月	Ⅱ-709	8年11月	9年2月	I-302	8年11月～12月	9年3月				I-303	8年11月～12月	9年3月				I-401	8年11月～12月	9年3月				I-501	8年12月	9年3月				I-601	8年12月	9年3月				I-602	8年12月	9年3月				I-803	8年12月	9年3月				I-802	8年11月	9年2月				I-901	8年12月	9年3月			
要領No	変更前	変更後	要領No	変更前	変更後																																																																																																										
I-103	8年11月	9年2月	Ⅱ-102	8年12月	9年3月																																																																																																										
I-104	8年11月	9年2月	Ⅱ-310	8年12月	9年3月																																																																																																										
I-105	8年11月	9年2月	Ⅱ-701	8年11月	9年2月																																																																																																										
I-106	8年11月	9年2月	Ⅱ-702	8年11月	9年2月																																																																																																										
I-107	8年11月	9年2月	Ⅱ-706	8年11月	9年2月																																																																																																										
I-109	8年11月	9年2月	Ⅱ-707	8年11月	9年2月																																																																																																										
I-202	8年11月	9年2月	Ⅱ-708	8年11月	9年2月																																																																																																										
I-301	8年11月～12月	9年3月	Ⅱ-709	8年11月	9年2月																																																																																																										
I-302	8年11月～12月	9年3月																																																																																																													
I-303	8年11月～12月	9年3月																																																																																																													
I-401	8年11月～12月	9年3月																																																																																																													
I-501	8年12月	9年3月																																																																																																													
I-601	8年12月	9年3月																																																																																																													
I-602	8年12月	9年3月																																																																																																													
I-803	8年12月	9年3月																																																																																																													
I-802	8年11月	9年2月																																																																																																													
I-901	8年12月	9年3月																																																																																																													

② 性能検査II

(1/3)

施設区分	設備名	検査項目	点検周期	前回実施	今回実施	備考
原子炉本体	燃料体	燃料集合体	外観検査	1回/1定検	1/1	1/1
			F P 漏洩検査	1回/1定検	1/1	1/1
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	燃料交換機設備	グリッパ	分解検査	1回/1定検	1/1	0/1 注*1
		燃料交換機 孔ドアバルブ	分解検査	1回/4定検	0/1	0/1
			漏洩検査	1回/1定検	1/1	1/1
	燃料出入機設備	グリッパ	分解検査	1回/1定検	1/1	1/1
		グリッパ駆動装置	分解検査	1回/3定検	0/1	0/1
		ドアバルブ	分解検査	1回/4定検	1/1	0/1
			漏洩検査	1回/1定検	1/1	1/1
	コフィン	分解検査	1回/6定検	0/1	0/1	
	燃料取扱用キャスクカー設備	ドアバルブ	分解検査	1回/2定検	0/1	1/1
			漏洩検査	1回/1定検	1/1	1/1
	グリッパ	分解検査	1回/1定検	1/1	1/1	
	使用済燃料輸送容器	使用済燃料輸送容器	漏洩検査	1回/1定検	1/1	1/1
新燃料構内移送容器	新燃料構内移送容器	漏洩検査	1回/1定検	3/3	3/3	
原子炉冷却系統施設	1次冷却系統設備	1次冷却系主循環ポンプ	作動検査	1回/1定検	2/2	2/2
		1次冷却系主循環ポンプ ノカニカルシール	分解検査	1回/5定検	0/2	0/2
		1次冷却系配管	供用期間中検査	1回/1定検	4/4	4/4
		配管支持装置	外観検査	1回/1定検	58/58	58/58
	1次冷却材純化系統設備	電磁ポンプ	作動検査	1回/1定検	1/1	1/1
		配管支持装置	外観検査	1回/1定検	11/11	11/11
	オーバフロー系統設備	汲上電磁ポンプ	作動検査	1回/1定検	1/1	1/1
		配管支持装置	外観検査	1回/1定検	15/15	15/15
	補助冷却1次系統設備	配管支持装置	外観検査	1回/1定検	28/28	28/28
	1次ナトリウム充填 ドレン系統設備	配管支持装置	外観検査	1回/1定検	17/17	17/17
	1次アルゴンガス系統 設備	配管支持装置	外観検査	1回/1定検	5/5	5/5
	2次冷却系統設備	2次冷却系主循環ポンプ ノカニカルシール	2次冷却系主循環ポンプ	作動検査	1回/1定検	2/2
2次冷却系主循環ポンプ			分解検査	1回/2定検	2/2	0/2
主冷却器			開放検査	1回/1定検	4/4	4/4
主冷却器入口ダンパ 主送風機インレットベーン			作動検査	1回/1定検	8/8 4/4	8/8 4/4

施設区分	設備名	検査項目	点検周期	前回実施	今回実施	備考	
原子炉冷却系統施設	2次冷却系統設備	主送風機	開放検査	1回/1定検	4/4	4/4	
			作動検査	1回/1定検	4/4	4/4	
		配管支持装置	外観検査	1回/1定検	142/142	142/142	
		温度計ウェル	外観検査	1回/1定検	—	12/12	注*5
		漏洩検査	1回/1定検	—	12/12	注*5	
	補助冷却2次系統設備	循環ポンプ	作動検査	1回/1定検	1/1	1/1	
		配管支持装置	外観検査	1回/1定検	16/16	16/16	
2次冷却材純化系統設備	電磁ポンプ	作動検査	1回/1定検	1/1	1/1		
計測制御系統施設	プロセス計装設備	1次冷却系、補助冷却1次系流量計	点検校正検査	1回/1定検	9/9	9/9	
		1次冷却系液面計	点検校正検査	1回/1定検	3/3	3/3	
		1次冷却系温度計	点検校正検査	1回/1定検	16/16	16/16	
		1次冷却系トリウム漏洩検出器	点検校正検査	1回/1定検	103/103	216/216	注*6
		2次冷却系、補助冷却2次系流量計	点検校正検査	1回/1定検	7/7	7/7	
		空冷式主冷却器出口、補助冷却系冷却器出口トリウム温度計	点検校正検査	1回/1定検	5/5	5/5	
		2次冷却系トリウム漏洩検出器	点検校正検査	1回/1定検	59/59	59/59	
		地震計	点検校正検査	1回/1定検	3/3	3/3	注*2
	原子炉制御設備	制御棒駆動機構駆動部	分解検査	100%/2定検	3/6	3/6	
		制御棒駆動機構	作動検査	1回/1定検	6/6	6/6	
		制御棒荷重計	点検校正検査	1回/1定検	6/6	6/6	
	核計装設備	起動系、中間出力系、線形出力系計装	点検校正検査	1回/1定検	8/8	8/8	
	燃料破損検出設備	遅発中性子検出法設備 カバーガス法設備	点検校正検査	1回/1定検	6/6	6/6	
燃料集合体出口温度計装設備	燃料集合体出口温度計	点検校正検査	1回/1定検	4/4	4/4		
放射性廃棄物の廃棄施設	気体廃棄物の廃棄設備	廃ガス圧縮機	分解検査	1回/1定検	3/3	3/3	
			作動検査	1回/1定検	3/3	3/3	
	液体廃棄物の廃棄設備	蒸発濃縮処理蒸発缶	漏洩検査	1回/1定検	1/2	1/1	注*3
		廃液タンク	外観検査	1回/1定検	0/0	23/23	注*3

施設区分	設備名	検査項目	点検周期	前回実施	今回実施	備考	
放射線管理施設	放射線管理設備	ガンマ線エリアモニタ	点検校正検査	1回/1定検	44/44	47/47	注*4
		中性子線エリアモニタ	点検校正検査	1回/1定検	2/2	2/2	
		ダストモニタ	点検校正検査	1回/1定検	12/12	12/12	
		ガスモニタ	点検校正検査	1回/1定検	14/14	14/14	
		水モニタ	点検校正検査	1回/1定検	2/2	2/2	
		野外管理用モニタリングポスト	点検校正検査	1回/1定検	6/6	6/6	
原子炉格納施設	原子炉格納容器	格納容器貫通部	漏洩検査	1回/1定検	34/34	34/34	
		格納容器隔離弁	漏洩検査	1回/1定検	26/26	26/26	
	原子炉安全容器	原子炉安全容器溶接部	漏洩検査	1回/3定検	0/1	1/1	
	格納容器雰囲気調整系	フレオン冷凍機	分解検査	1回/2定検	2/2	0/2	
			作動検査	1回/1定検	2/2	2/2	
	格納容器雰囲気調整系及びアニュラス部排気系統設備	空気雰囲気系温度計 空気雰囲気系圧力計 窒素雰囲気系温度計 窒素雰囲気系圧力計 アニュラス部排気系圧力計	点検校正検査	1回/1定検	42/42	42/42	
			原子炉安全容器、炉周囲遮蔽体及びコンクリート遮蔽体冷却系（炉容器ピット部）	窒素ガスブロウ	分解検査	100%/2定検	1/2
	ベデスタル部ブースタブロウ	作動検査		1回/1定検	2/2	2/2	
				分解検査	100%/2定検	1/2	1/2
	作動検査			1回/1定検	2/2	2/2	
その他原子炉の附属施設	非常用電源設備	ディーゼル発電機	作動検査	1回/1定検	2/2	2/2	
	無停電電源設備	交流無停電電源設備用蓄電池 直流無停電電源設備用蓄電池	外観検査	1回/1定検	320/320	320/320	
			除湿装置	作動検査	1回/1定検	1/1	1/1
	ライナー等	ライナー、ナトリウム受け樋等	外観検査	1回/1定検	—	1/1	注*7

注*1 燃料交換機設備グリッパの分解検査（Ⅱ-201）は、燃料交換機の改造により当該グリッパを本定期検査期間中に更新するため実施しない。

注*2 地震計の点検校正検査は、要領番号（Ⅱ-403）で原子炉制御設備の制御棒荷重計と併せて実施してきたが、第11回定期検査からは要領番号（Ⅱ-414）として地震計点検校正検査を単独で実施す。

注*3 廃棄物処理建家の設置（新設）及び旧廃棄物処理建家の使用停止により蒸発濃縮処理蒸発缶及び廃液タンクの定期検査対象員数を変更する。又、これに伴い点検周期についても変更する。

なお、廃液タンクの外観検査は、第10回定期検査までは要領番号（Ⅰ-805）で廃液タンク貯蔵能力確認検査で実施していたが、第11回定期検査からは要領番号（Ⅱ-504）として単独で実施する。

蒸発濃縮処理蒸発缶漏洩検査

1 / 2 缶 (新設 1 缶, 使用停止 2 缶) → 1 / 1 缶 (点検周期 100% / 2 定検 → 1 回 / 1 定検)

廃液タンク外観検査

16 / 16 基 (新設 13 基, 使用停止 6 基) → 23 / 23 基 (点検周期 1 回 / 1 定検 → 変更なし)

注*4 廃棄物処理建家の設置 (新設) 及び旧廃棄物処理建家の使用停止に伴いガンマ線エリアモニタの定期検査対象員数を変更する。

ガンマ線エリアモニタ

44 / 44 台 (追加 5 台, 削除 2 台) → 47 / 47 台

注*5 「もんじゅ」ナトリウム漏えい事故に関連し, 2 次冷却計温度計ウェル部の検査を追加する。

注*6 「もんじゅ」ナトリウム漏えい事故に関連し, 1 次冷却系ナトリウム漏洩検出器の点検校正検査を全数検査に変更する。

注*7 1 次冷却系および 2 次冷却系統施設が設置されているエリア内のナトリウムに接液する機器配管およびライナー等の外観検査を追加する。

(検査対象施設は原子炉冷却系統及びその他原子炉の附属施設であるが, 本検査 (II-8 0.4) の区分としては「その他原子炉の附属施設」に記載することとする。)

2. 主要工程表 (1 / 2)

クリティカルパス

	平成7年度											
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
運 転 計 画	▼5/10 第11回定期検査開始 運転											
原 子 炉 本 体	反射体等移動	サーベランス材取出										
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設				核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設の点検					核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設の点検			
原子炉冷却系統施設						燃料交換機の改造						
						1次冷却系配管ISI						
						主冷却器、主送風機の点検						
						1次冷却系配管支持装置の点検						
						主循環ポンプフィルタユニット点検		2次冷却系配管支持装置の点検				
計測制御系統施設	制御棒駆動機構取外し							プロセス計装設備点検				
				中性子検出器の更新							核計装設備点検	
放射性廃棄物の廃棄施設								気体廃棄物の廃棄設備点検				
								液体廃棄物の廃棄設備点検				
放射線管理施設								放射線管理モニタ点検校正				
原子炉格納施設						格納容器貫通部、隔離弁漏洩試験				窒素ガス7・ベスタル部7-スタ707点検		
その他原子炉の附属施設			電源設備点検		炉外材料照射装置取扱試験				非常用電源設備点検			

主要工程表 (2 / 2)

	平成8年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
運 転 計 画												定期検査完了予定 3/24 炉運転 (第30サイクル運転) 起動前点検 定検受検 (75%全般) 自主点検
原 子 炉 本 体												
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設の点検			燃料交換機の改造			燃料交換	燃料交換				
原子炉冷却系統施設							2次系熱電対ウェル検査					
計測制御系統施設		プロセス計装設備点検			制御棒下部案内管の更新			制御棒駆動機構据付、調整				
	燃料破損検出設備点検											
放射性廃棄物の廃棄施設												
放射線管理施設				放射線管理モニタ点検校正								
原子炉格納施設		格納容器貫通部、隔離弁漏洩試験										
その他原子炉の附属施設		蓄電池点検						制御型材料照射装置調整				

3. その他留意すべき事項等

該当なし

4. 定期検査時の保安管理、品質保証活動、放射線管理

(1) 保安管理

定期検査中の保安管理は、動力炉・核燃料開発事業団大洗工学センター原子炉施設保安規定 第1編 総論 第6条（保安管理組織）の規定による。

(2) 品質保証活動

①品質管理活動は、動力炉・核燃料開発事業団の品質保証管理規程に基づく高速実験炉「常陽」施設品質保証計画書により実施する。

②トラブルを反映した定期点検時の点検等

高速増殖原型炉「もんじゅ」の温度計ウエル部からのナトリウム漏えいについては、現在、原因等について調査中であるが、実験炉「常陽」の冷却系温度計のウエルについて健全性の確認を実施している。なお、本定期検査から2次冷却系温度計ウエルの外観・漏洩検査及び冷却系統機器配管、ライナー等の外観検査を追加実施することとした。

また、今後はナトリウム漏えい対策について検討を行い、必要な対策を施して、「常陽」の安全性確保に努める。

(3) 放射線管理

定期検査中の放射線管理及び検査に伴い発生する放射性廃棄物の管理は、大洗工学センター原子炉施設保安規定に基づき実施する。
官庁立会に伴う推定線量当量は以下の表に示すとおりである。

No.	施設区分	設備名	検査項目	要領書No.	検査所要時間 (hr)	推定線量当量 (mSv)	
1	原子炉本体	燃料体	外観検査	II-101	2.0	< 0.1	
2	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	原子炉本体、核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	回転プラグ、燃料交換機	作動検査	I-702	1.0	< 0.1
		燃料出入機、新燃料貯蔵設備、燃料取扱用キスカー、トランスファーロー、使用済燃料貯蔵設備	作動検査	I-703	5.0	< 0.1	
		第一使用済燃料貯蔵建物内使用済燃料貯蔵設備	作動検査	I-706	0.5	< 0.1	
		第二使用済燃料貯蔵建物内使用済燃料貯蔵設備	作動検査	I-712	0.5	< 0.1	
3	原子炉冷却系統施設	1次冷却系配管	供用期間中検査	II-315	0.5	< 0.1	
4	放射性廃棄物の廃棄施設	蒸発濃縮処理蒸発缶	漏洩検査	II-503	0.5	< 0.1	
5	施設全般	原子炉施設全般	線量当量率の測定検査	I-601	1.0	< 0.1	

※ 上表検査以外の推定線量当量は検出限界以下である。

「常陽」設置者自主検査長期計画書（10年計画）

（抜粋）

高速実験炉「常陽」
設置者自主検査長期計画書

平成 8 年 1 2 月 改訂

動力炉・核燃料開発事業団

施設区分：原子炉冷却系統施設（8 / 14）

設備名	機器名	機器 個数	検査項目	点検周期	定 検										備考
					8回	9回	10回	11回	12回	13回	14回	15回	16回	17回	
9. 2次冷却系統 設備	(1)2次冷却系 主循環ポンプ	2	外観検査	1回/1定検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			作動検査	1回/1定検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(2)2次冷却系主循環 ポンプメカニカル シール	2	分解検査	1回/2定検	○		○		○		○		○		
			外観検査	1回/1定検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(3)2次冷却系主循環 ポンプオイルプレッ シャーユニット	2	分解検査	1回/2定検	○		○		○		○		○		
			外観検査	1回/1定検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(4)2次冷却系 主循環ポンプ電動機	2	分解検査	1回/4定検	○				○				○		
			絶縁抵抗検査	1回/1定検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			外観検査	1回/1定検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(5)主冷却器	4	開放検査	1回/1定検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			外観検査	1回/1定検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(6)主冷却器出入口ダンパ	8	作動検査	1回/1定検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			外観検査	1回/1定検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

施設区分：原子炉冷却系統施設（9/14）

設備名	機器名	機器 個数	検査項目	点検周期	定 検										備考	
					8回	9回	10回	11回	12回	13回	14回	15回	16回	17回		
	(7)主送風機	4	外観検査	1回/1定検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			開放検査	1回/1定検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			分解検査	1回/4定検	○				○					○		
			作動検査	1回/1定検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(8)主送風機電動機	4	外観検査	1回/1定検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			分解検査	1回/4定検	○				○				○			
			絶縁抵抗検査	1回/1定検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(9)主送風機 インレットベーン	4	外観検査	1回/1定検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			分解検査	1回/4定検	○				○				○			
			作動検査	1回/1定検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(10)主送風機ブレーキ	4	外観検査	1回/1定検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			分解検査	1回/4定検	○				○				○			
作動検査			1回/1定検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
(11)オーバフロータンク		2	外観検査	1回/1定検	○	○	○	○	○	○	○	○	○			

施設区分：原子炉冷却系統施設（10/14）

設備名	機器名	機器 個数	検査項目	点検周期	定 検										備考	
					8回	9回	10回	11回	12回	13回	14回	15回	16回	17回		
10. 補助冷却2次系 設備	(1)配管	1式	外観検査	1回/1定検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	(2)配管支持装置	1式	外観検査	100%/10定検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	(3)ナトリウム温度計 ウェル	12本	外観検査	100%/1定検				○	○	○	○	○	○	○		
			漏洩検査	100%/1定検				○	○	○	○	○	○	○		
	(1)循環ポンプ	1	外観検査	1回/1定検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			作動検査	1回/1定検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			絶縁抵抗検査	1回/1定検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(2)循環ポンプ冷却ファン	2	外観検査	1回/1定検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			作動検査	1回/1定検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(3)補助冷却器	1	外観検査	1回/1定検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			開放検査	1回/1定検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(4)補助冷却器出入口 ダンパ	2	外観検査	1回/1定検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
作動検査			1回/1定検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

施設区分：その他原子炉の附属施設（4 / 4）

設備名	機器名	機器 個数	検査項目	点検周期	定 検										備考
					8回	9回	10回	11回	12回	13回	14回	15回	16回	17回	
4. ライナ等	(5)制御盤	1式	外観検査	1回/1定検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			絶縁抵抗検査	1回/1定検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(6)計装品	1式	外観検査	1回/1定検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			点検校正検査	1回/1定検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(1)ライナ	1式	外観検査	1回/1定検				○	○	○	○	○	○	○	
	(2)ナトリウム受け樋	1式	外観検査	1回/1定検				○	○	○	○	○	○	○	
	(3)ナトリウム溜り室	1式	外観検査	1回/1定検				○	○	○	○	○	○	○	

第 5 編 その他関連設備の点検

I. 火報設備（主冷却機建物）の動作試験

1. 目的

火報設備の点検は、消防法により年2回の点検の実施が義務づけられている。

本点検は、今年度2回目の法定点検として実施したものであり、これによりナトリウム漏えい対策で更新した主冷却機建物内火災感知器の健全性を確認するものである。

2. 点検内容

主冷却機建物の各部屋の感知器について、動作確認を行う。

3. 点検実施日

平成9年2月12日～2月18日

4. 点検結果

各々の感知器が正常に動作したことを確認した。試験結果を点検記録I-1に示す。

火報設備の点検記録

点検実施日：平成9年2月12日～2月18日

点検実施者：実験炉部原子炉第二課

別記様式第11

(子の1)

自動火災報知設備点検票

名称	動燃団 大洗工学センター 主冷却機建家			防火管理者	澁谷 栄男
所在	茨城県東茨城郡大洗町成田町4002			立会者	鹿志村盛久
点検種別	外觀・機能・総合		点検年月日	9年 2月 12日 ~ 9年 2月 18日	
点検者	資格 甲種 4類 茨城県 00046	番号	00046	社名	能美防災株式会社 TEL 029-225-2600
	氏名	広瀬 定夫	所属会社	住所	茨城県水戸市城南町 3-16-27
点検設備名	受信機	製造者名	能美防災(株)		
		型式等	複合盤 FCRG 090型 受第6~9号		
点検項目	点検結果			措置内容	
	種別・容量等の内容	判定	不良内容		
外 観 点 検					
予備電源 非常電源 (内蔵型)	外形	円筒型(Ni-Cd蓄電池)	○		
	表示	24V 6.0AH	○		
受信機	周囲の状況	2F 中央制御室	○		
	外形	R型 自立型	○		
	警戒区域表示装置	354/510 アドレス	○		
	電圧計	表示灯 24 V	○		
中継器	スイッチ類		○		
	表示		○		
	予備品等		○		
感知器	設定表示温度等		○		
	外形		○		
	警戒未警戒部分		○		
	感知区域		○		
発信機	適応性		○		
	機能障害		○		
標識	周囲の状況		○		
	外形		○		
標識板	常夜灯		/		
	表示灯	AC 24V	○		
音響装置	外形	DC 24V	○		
	取付状態		○		

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第11

自動火災報知設備（その2）

		機能点検（自動試験機能を有しないもの）					
予非 備常 電電 源源 内内 蔵蔵 型型	端子電圧		V	/			
	切替装置			/			
	充電装置			/			
	結線接続			/			
受信機 ・ 中継器	スイッチ類			/			
	ヒューズ類		A	/			
	継電器			/			
	表示灯			/			
	通話装置			/			
	結線接続			/			
	接地			/			
	附属装置			/			
	火災表示等 注意表示 回路導通			/			
※ 感 知 器	熱感知器	スポット型	差動式		/		
			定温式		/		
			熱アナログ式		/		
		分布型	空気管式		○		
			熱電対式		/		
			熱半導体式		/		
	感知線型			/			
	煙感知器	スポット型	イオン化式		/		
			光電式		/		
			体化7加グ式		/		
		分離型	光電7加グ式		/		
			光電式		/		
			光電7加グ式		/		
	炎感知器			/			
熱複合式			/				
熱煙複合式			/				
煙複合式			/				
※ 発信機			/				
※ 音響装置	音量等		/				
	鳴動方式	一斉区分相互	/				
蓄積機能			/				
二信号機能			/				

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
 6 ※印のあるものについては、（その5）、（その6）に警戒区域ごとの点検結果を記入すること。
 7 多信号感知器にあっては、該当する欄にその旨を記入すること。
 8 自動試験機能を有するものについては、異常の発生状況、異常が発生した箇所の整備状況等を記録した書類を添付すること。

別記様式第11

自動火災報知設備 (その3)

機 能		点 検 (自動試験機能を有するもの)		
予備電源・非常電源 (内蔵型)		26.6 V	○	
受信機・中継器	通 話 装 置		○	
	接 地	第三種接地工事	○	
	附 属 装 置	備考へ記入	○	
	火 災 表 示		○	
	注 意 表 示		/	
	制 御 機 能 及 び 電 路		○	
記 録 装 置		プリンター方式	○	
※ 感 知 器			○	
※ 発 信 機			○	
※ 音響装置	音 量 等		○	
	鳴 動 方 式	㊦ 区分 相互	○	
蓄 積 機 能		熱 10秒・煙 50秒	○	
二 信 号 機 能			/	
総 合		点 検 (自動試験機能を有しないもの)		
同 時 作 動			/	
※※ 煙 感 知 器 等 感 度			/	
※※ 地 区 音 響 装 置 音 圧			/	
総 合 作 動			/	
配 線	絶 縁 抵 抗	電 源 回 路	常用 MΩ 非常 MΩ	/
		表 示 灯 回 路	MΩ	/
		警 報 回 路	MΩ	/
		感 知 器 回 路	MΩ	/
		附 属 装 置 回 路	MΩ	/
線 保 護	耐 熱	電 源 回 路		/
	保 護	警 報 回 路 等		/
		専 用 回 路		/
開 閉 器 ・ 遮 断 器			/	

- 備考
- この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 - 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 - 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 - 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 - 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
 - ※印のあるものにあつては、(その5)、(その6)に警戒区域ごとの点検結果を記入すること。
 - ※※印のあるもので不良のものは、(その7)に機器ごとの点検結果を記入すること。
 - 多信号感知器にあつては、該当する欄にその旨を記入すること。
 - 自動試験機能を有するものにあつては、異常の発生状況、異常が発生した箇所の整備状況等を記録した書類を添付すること。

総 合 点 検 (自動試験機能を有するもの)								
同 時 作 動								
※※ 地区音響装置音圧								
配 線	絶 縁 抵 抗	電 源 回 路	常用 50 MΩ		○			
			非常 MΩ		○			
		表 示 灯 回 路	50 MΩ		○			
		警 報 回 路	50 MΩ		○			
		感 知 器 回 路	50 MΩ		○			
		附 属 装 置 回 路	50 MΩ		○			
	耐 熱 保 護	電 源 回 路				○		
		警 報 回 路 等				○		
	専 用 回 路		2F A-707 分電盤			○		
	開 閉 器 ・ 遮 断 器		30A NFB			○		
備 考	附属装置名 1. 中制 原子炉及び附属建家の受信機へ移報 2. 防火ダンパー連動 3. CRT連動 4. モニターカメラ連動							
測 定 機 器	機 器 名	型 式	校 正 年 月 日	製 造 者 名	機 器 名	型 式	校 正 年 月 日	製 造 者 名
	加熱試験器				マノメーター			
	加煙試験器				空気注入器 試験器	TV3004C		日本信号
	煙感知器用 感度試験器				メーターリ レー試験器			
	普通騒音計	S-11		横河	回路計			
減光フィル ター				メーター	3110-02		ヒ特	

- 備考
- この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 - 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 - 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 - 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 - 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
 - ※※印のあるもので不良のものは、(その7)に機器ごとの点検結果を記入すること。
 - 自動試験機能を有するものにあつては、異常の発生状況、異常が発生した箇所の整備状況等を記録した書類を添付すること。

別記様式第11

自動火災報知設備 (その5)

番 号 No	警 戒 区 域 名 称	感 知 器											※地区音響装置	※発信機	点 検 結 果		
		差 動 式			定温式		※熱線アナログ式スポット型	※ 煙 式									
		※ 分布型			ス ポ ット 型	ス ポ ット 型		ス ポ ッ ト 型			分 離 型						
		空 気 管 式	熱 電 対 式	熱 半 導 体 式				イ オ ン 化 式	光 電 式	イ オ ン 化 ア ナ ロ グ 式	光 電 ア ナ ロ グ 式	光 電 式				光 電 ア ナ ロ グ 式	
					非 蓄 積	蓄 積	非 蓄 積	蓄 積		非 蓄 積	蓄 積						
1	主冷却 B2F S-101				1												○
2	" " "				1												○
3	" " "				1												○
4	" " "				1												○
5	" " "				1												○
6	" " "				1												○
7	" " S-102								1						1		○
8	" " "								1								○
9	" " "								1								○
10	" " "								1								○
11	" " "								1								○
12	" " "								1								○
13	" " "								1								○
14	" " "								1								○
15	" " "								1								○
16	" " "								1								○
17	" " "								1								○
合 計																	
備 考																	

- 備考
- この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 - 受信機の表示番号又は警戒区域ごとに個数を記入すること。
 - ※印のあるもので不良のものは、(その7)に機器ごとの点検結果を記入すること。
 - 点検結果欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、点検の際措置した内容は備考欄に記入すること。
 - 警戒区域内の感知器の個数が1の場合、階ごとに感知器の個数を記入すること。

別記様式第11

自動火災報知設備 (その5)

警戒区域		感 知 器												※地区音響装置	発信機	点検結果	
番号 No	名称	差動式			定温式		※熱線式スポット型	※煙式									
		※分布型			スポット型	※感知線型		スポット型				分離型					
		空気管式	熱電対式	熱半導体式				イオン化式	光電式	イオン化アナログ式	光電アナログ式	光電式					光電アナログ式
												非蓄積	蓄積	非蓄積	蓄積		
18	主冷却 B2F S-102									1							○
19	" " "									1							○
20	" " S-104									1							○
21	" " "									1							○
22	" " S-105									1							○
23	" " "									1							○
24	" " "									1							○
25	" " S-106									1							○
26	" " "									1							○
27	" " S-108									1							○
28	" " S-110									1							○
29	" " S-111									1							○
30	" " "									1							○
31	" " "									1							○
32	" " "									1							○
33	" " S-112									1							○
34	" " "									1							○
合 計																	
備考																	

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 2 受信機の表示番号又は警戒区域ごとに個数を記入すること。
 3 ※印のあるもので不良のものは、(その7)に機器ごとの点検結果を記入すること。
 4 点検結果欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、点検の際措置した内容は備考欄に記入すること。
 5 警戒区域内の感知器の個数が1の場合、階ごとに感知器の個数を記入すること。

別記様式第11

自動火災報知設備 (その5)

番号 No	警戒区域 名称	感 知 器										※地区 音響装置	発信機	点検結果		
		差動式		定温式		※熱電 アナログ式 スポット型	※煙式									
		※分布型		ス ポ ット 型	ス ポ ット 型		スポット型			分離型						
		空 気 管 式	熱 電 対 式				熱 半 導 体 式	イ オ ン 化 式	光 電 式	イ オ ン 化 ア ナ ロ グ 式	光 電 ア ナ ロ グ 式				光 電 式	光 電 ア ナ ロ グ 式
				非 蓄 積	蓄 積	非 蓄 積	蓄 積		非 蓄 積	蓄 積						
52	主冷却 B2F S-122								1							○
53	" " S-123								1							○
54	" " "								1							○
55	" " "								1							○
56	" " S-124								1							○
57	" " "								1							○
58	" " S-125													1		○
59	" " "													1		○
60	" " "													1		○
61	" " "													1		○
62	" " "													1		○
63	" " "													1		○
64	" " "													1		○
65	" " S-126													1		○
66	" " "													1		○
67	" " S-127	1														○
68	" " S-129													1		○
合 計																
備考																

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 2 受信機の表示番号又は警戒区域ごとに個数を記入すること。
 3 ※印のあるもので不良のものは、(その7)に機器ごとの点検結果を記入すること。
 4 点検結果欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、点検の際措置した内容は備考欄に記入すること。
 5 警戒区域内の感知器の個数が1の場合、階ごとに感知器の個数を記入すること。

別添様式第11

自動火災報知設備 (その5)

番 号 No	警 戒 区 域 名 称	感 知 器										※ 地 区 音 響 装 置	※ 発 信 機	点 検 結 果		
		差 動 式		定 温 式		※ 熱 ア ナ ロ グ 式 ス ポ ット 型	※ 煙 式									
		※ 分 布 型		ス ポ ット 型	ス ポ ット 型		ス ポ ッ ト 型				分 離 型					
		空 気 管 式	熱 電 対 式				熱 半 導 体 式	イ オ ン 化 式	光 電 式	イ オ ン 化 ア ナ ロ グ 式	光 電 ア ナ ロ グ 式				光 電 式	光 電 ア ナ ロ グ 式
				非 蓄 積	蓄 積	非 蓄 積	蓄 積	非 蓄 積	蓄 積	非 蓄 積	蓄 積					
69	主冷却 B2F S-129					1										○
70	" " "					1										○
71	" " "					1										○
72	" " S-130				1									1		○
73	" " "				1											○
74	" " "				1											○
75	" " "				1											○
76	" " "				1											○
77	" " "				1											○
78	" " "				1											○
79	" " "				1											○
80	" " S-129					1										○
81																
82																
83	主冷却 B1F S-201									1				1		○
84	" " "									1						○
85	" " "									1						○
合 計																
備 考																

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 2 受信機の表示番号又は警戒区域ごとに個数を記入すること。
 3 ※印のあるもので不良のものは、(その7)に機器ごとの点検結果を記入すること。
 4 点検結果欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、点検の際措置した内容は備考欄に記入すること。
 5 警戒区域内の感知器の個数が1の場合、階ごとに感知器の個数を記入すること。

別記様式第11

自動火災報知設備 (その5)

番号 No	警戒区域 名称	感 知 器											※地区 音響装置	発信機	点検 結果		
		差 動 式			定温式		熱 ア ナ ログ 式 ス ポ ット 型	※ 煙 式									
		※ 分布型		ス ポ ット 型	ス ポ ット 型	ス ポ ッ ト 型			分 離 型								
		空 気 管 式	熱 電 対 式			熱 半 導 体 式		イ オ ン 化 式	光 電 式	イ オ ン 化 ア ナ ログ 式	光 電 ア ナ ログ 式	光 電 式				光 電 ア ナ ログ 式	
非 蓄 積	蓄 積	非 蓄 積	蓄 積	非 蓄 積	蓄 積	非 蓄 積	蓄 積										
86	主冷却 B1F S-201																○
87	" " "																○
88	" " "																○
89	" " "																○
90	" " "																○
91	" " "																○
92	" " "																○
93	" " "																○
94	" " "																○
95	" " "																○
96	" " "																○
97	" " "																○
98	" " "																○
99	" " "																○
100	" " "																○
101	" " "																○
102	" " S-202																○
合 計																	
備考																	

- 備考
- この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 - 受信機の表示番号又は警戒区域ごとに個数を記入すること。
 - ※印のあるもので不良のものは、(その7)に機器ごとの点検結果を記入すること。
 - 点検結果欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、点検の際措置した内容は備考欄に記入すること。
 - 警戒区域内の感知器の個数が1の場合、階ごとに感知器の個数を記入すること。

別記様式第11

自動火災報知設備 (その5)

番 号 No	警 戒 区 域 名 称	感 知 器											※地区音響装置	発 信 機	点 検 結 果		
		差 動 式			定温式		※アナログ式スポット型	※ 煙 式									
		※ 分布型			ス ポ ット 型	ス ポ ット 型		ス ポ ッ ト 型			分 離 型						
		空 気 管 式	熱 電 対 式	熱 半 導 体 式				イ オ ン 化 式	光 電 式	イ オ ン 化 ア ナ ロ グ 式	光 電 ア ナ ロ グ 式	光 電 式				光 電 ア ナ ロ グ 式	
非 蓄 積	蓄 積	非 蓄 積	蓄 積	非 蓄 積	蓄 積	非 蓄 積	蓄 積	非 蓄 積	蓄 積	非 蓄 積	蓄 積						
103	主冷却 B1F S-202								1								○
104	" " S-203								1								○
105	" " "								1								○
106	" " S-204					1											○
107	" " S-205								1								○
108	" " S-206								1								○
109	" " "								1								○
110	" " "								1								○
111	" " "								1								○
112	" " "								1								○
113	" " S-207								1								○
114	" " "								1								○
115	" " S-208					1											○
116	" " S-209								1								○
117	" " S-211								1								○
118	" " S-212								1								○
119	" " "								1								○
合 計																	
備 考																	

- 備考
- この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 - 受信機の表示番号又は警戒区域ごとに個数を記入すること。
 - ※印のあるもので不良のものは、(その7)に機器ごとの点検結果を記入すること。
 - 点検結果欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、点検の際措置した内容は備考欄に記入すること。
 - 警戒区域内の感知器の個数が1の場合、階ごとに感知器の個数を記入すること。

別記様式第11

自動火災報知設備 (その5)

番号 No	警戒区域 名称	感 知 器												※地区 音響装置	発 信 機	点 検 結 果	
		差 動 式			定温式		熱 ア ナ ロ グ 式 ス ポ ット 型	※ 煙 式									
		※ 分布型			ス ポ ット 型	ス ポ ット 型		ス ポ ッ ト 型			分 離 型						
		空 気 管 式	熱 電 対 式	熱 半 導 体 式				イ オ ン 化 式	光 電 式	イ オ ン 化 ア ナ ロ グ 式	光 電 ア ナ ロ グ 式	光 電 式					光 電 ア ナ ロ グ 式
非 蓄 積	蓄 積				非 蓄 積	蓄 積	非 蓄 積					蓄 積					
120	主冷却 BIF S-212									1							○
121	" " "									1							○
122	" " "									1							○
123	" " "									1							○
124	" " S-214									1							○
125	" " S-215									1							○
126	" " S-216									1							○
127	" " S-217									1							○
128	" " S-218									1							○
129	" " S-219									1							○
130	" " S-220					1									1		○
131	" " "					1											○
132	" " "					1											○
133	" " "					1											○
134	" " "					1											○
135	" " "					1											○
136	" " "					1											○
合 計																	
備 考	<p>1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。</p> <p>2 受信機の表示番号又は警戒区域ごとに個数を記入すること。</p> <p>3 ※印のあるもので不良のものは、(その7)に機器ごとの点検結果を記入すること。</p> <p>4 点検結果欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、点検の際措置した内容は備考欄に記入すること。</p> <p>5 警戒区域内の感知器の個数が1の場合、階ごとに感知器の個数を記入すること。</p>																

別記様式第11

自動火災報知設備 (その5)

警戒区域		感知器										※地区音響装置	※発信機	点検結果			
番号 No	名称	差動式		定温式		※熱アナログ式スポット型	※煙式										
		※分布型			スポット型		スポット型				分離型						
		空気管式	熱電対式	熱半導体式			イオン化式	光電式	イオン化アナログ式	光電アナログ式	光電式						
											非蓄積	蓄積	非蓄積	蓄積			
137	主冷却 BIF S-221																○
138	" " "																○
139	" " "																○
140	" " "																○
141	" " "																○
142	" " "																○
143	" " "																○
144	" " S-222																○
145	" " S-223																○
146	" " "					1											○
147	" " S-224																○
148	" " "																○
149	" " "																○
150	" " "																○
151	" " S-225~6	1															○
152	" " S-227~8	1															○
153	" " S-223																○
合計																	
備考																	

- 備考
- この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 - 受信機の表示番号又は警戒区域ごとに個数を記入すること。
 - ※印のあるもので不良のものは、(その7)に機器ごとの点検結果を記入すること。
 - 点検結果欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、点検の際措置した内容は備考欄に記入すること。
 - 警戒区域内の感知器の個数が1の場合、階ごとに感知器の個数を記入すること。

別添記様式第11

自動火災報知設備 (その5)

番 号 No	警 戒 区 域 名 称	感 知 器											※ 地 区 音 響 装 置	※ 発 信 機	点 検 結 果	
		差 動 式			定 温 式		※ アナログ式スポット型	※ 煙 式								
		※ 分布型			ス ポ ット 型	※ 感 知 線 型		ス ポ ッ ト 型			分 離 型					
		空 気 管 式	熱 電 対 式	熱 半 導 体 式				イ オ ン 化 式	光 電 式	イ オ ン 化 ア ナ ロ グ 式	光 電 ア ナ ロ グ 式	光 電 式				光 電 ア ナ ロ グ 式
					非 蓄 積	蓄 積	非 蓄 積	蓄 積		非 蓄 積	蓄 積					
154																
155																
156	主冷却 MBI S-303															○
157	" " "															○
158	" " "															○
159	" " S-304															○
160	" " S-305															○
161	" " "															○
162	" " "															○
163	" " S-306															○
164																
165																
166	主冷却 IF S-401															○
167	" " "															○
168	" " "															○
169	" " "															○
170	" " "															○
合 計																
備 考																

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 2 受信機の表示番号又は警戒区域ごとに個数を記入すること。
 3 ※印のあるもので不良のものは、(その7)に機器ごとの点検結果を記入すること。
 4 点検結果欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、点検の際措置した内容は備考欄に記入すること。
 5 警戒区域内の感知器の個数が1の場合、階ごとに感知器の個数を記入すること。

別記様式第11

自動火災報知設備 (その5)

番 号 No	警 戒 区 域 名 称	感 知 器											※地区 音響装置	発 信 機	点 検 結 果	
		差 動 式		定温式		熱 ア ナ ログ 式 ス ポ ット 型	※ 煙 式									
		※ 分布型			ス ポ ット 型		ス ポ ッ ト 型				分 離 型					
		空 気 管 式	熱 電 対 式	熱 半 導 体 式			イ オ ン 化 式	光 電 式	イ オ ン 化 ア ナ ログ 式	光 電 ア ナ ログ 式	光 電 式	光 電 ア ナ ログ 式				
非蓄積		蓄積		非蓄積		蓄積		非蓄積		蓄積						
171	主冷却 1F S-401								1							○
172	" " "				1											○
173	" " "				1											○
174	" " S-402								1							○
175	" " "								1							○
176	" " "								1							○
177	" " "								1							○
178	" " S-403								1							○
179	" " "								1							○
180	" " "								1							○
181	" " "								1							○
182	" " S-505								1							○
183	" " "								1							○
184	" " "								1							○
185	" " "								1							○
186	" " "								1							○
187	" " "								1							○
合 計																
備 考																

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 - 2 受信機の表示番号又は警戒区域ごとに個数を記入すること。
 - 3 ※印のあるもので不良のものは、(その7)に機器ごとの点検結果を記入すること。
 - 4 点検結果欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、点検の際措置した内容は備考欄に記入すること。
 - 5 警戒区域内の感知器の個数が1の場合、階ごとに感知器の個数を記入すること。

別添様式第11

自動火災報知設備 (その5)

警戒区域		感 知 器											※地区音響装置	発信機	点検結果		
番号 No	名称	差動式			定温式		※熱線式スポット型	※煙式									
		※分布型			スポット型	※感知線型		スポット型				分離型					
		空気管式	熱電対式	熱半導体式				イオン化式	光電式	イオン化アナログ式	光電アナログ式	光電式					
												非蓄積	蓄積	非蓄積	蓄積		
188	主冷却 1F S-505									1							○
189	" " "									1							○
190	" " S-503					1											○
191	" " "									1							○
192	" " S-405									1							○
193	" " "									1							○
194	" " S-504					1											○
195	" " "									1							○
196	" " S-407									1							○
197	" " "									1							○
198	" " S-408									1							○
199	" " "									1							○
200	" " "									1							○
201	" " "									1							○
202	" " "									1							○
203	" " "									1							○
204	" " "									1							○
合 計																	
備考																	

- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
- 2 受信機の表示番号又は警戒区域ごとに個数を記入すること。
- 3 ※印のあるもので不良のものは、(その7)に機器ごとの点検結果を記入すること。
- 4 点検結果欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、点検の際措置した内容は備考欄に記入すること。
- 5 警戒区域内の感知器の個数が1の場合、階ごとに感知器の個数を記入すること。

別記様式第11

自動火災報知設備 (その5)

番 号 No	警 戒 区 域 名 称			感 知 器										※ 地 区 音 響 装 置	※ 信 機	点 検 結 果		
				差 動 式			定 温 式		※ アナログ式スポット型	※ 煙 式								
				※ 分布型			ス ポ ット 型	ス ポ ット 型		ス ポ ッ ト 型							分 離 型	
				空 気 管 式	熱 電 対 式	熱 半 導 体 式				イ オ ン 化 式	光 電 式	イ オ ン 化 ア ナ ロ グ 式	光 電 ア ナ ロ グ 式				光 電 式	光 電 ア ナ ロ グ 式
					非 蓄 積	蓄 積	非 蓄 積	蓄 積		非 蓄 積	蓄 積							
205	主冷却	1F	S-409														○	
206	"	"	"														○	
207	"	"	"														○	
208	"	"	"														○	
209	"	"	S-412														○	
210	"	"	"														○	
211	"	"	S-413												1		○	
212	"	"	"														○	
213	"	"	"														○	
214	"	"	S-414														○	
215	"	"	"														○	
216	"	"	"														○	
217	"	"	S-415												1		○	
218	"	"	"														○	
219	"	"	"														○	
220	"	"	S-416														○	
221	"	"	"														○	
合 計																		
備 考																		

- 備考
- この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 - 受信機の表示番号又は警戒区域ごとに個数を記入すること。
 - ※印のあるもので不良のものは、(その7)に機器ごとの点検結果を記入すること。
 - 点検結果欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、点検の際措置した内容は備考欄に記入すること。
 - 警戒区域内の感知器の個数が1の場合、階ごとに感知器の個数を記入すること。

別記様式第11

自動火災報知設備 (その5)

番号 No	警戒区域 名称	感 知 器											※地区音響装置	発信機	点検結果	
		差動式			定温式		※熱電アログ式スポット型	※煙式								
		※分布型			スポット型	※感知線型		スポット型			分離型					
		空気管式	熱電対式	熱半導体式				イオン化式	光電式	イオン化アログ式	光電アログ式	光電式				光電アログ式
					非蓄積	蓄積	非蓄積	蓄積		非蓄積	蓄積					
222	主冷却 1F S-416								1							○
223	" " S-417								1							○
224	" " S-419								1							○
225	" " "								1							○
226	" " "								1							○
227	" " "								1							○
228	" " S-512								1							○
229	" " "								1							○
230	" " "								1							○
231	" " "								1							○
232	" " "								1							○
233	" " "								1							○
234	" " "								1							○
235	" " "								1							○
236	" " S-420							1								○
237	" " "							1								○
238	" " "								1							○
合 計																
備考																

- 備考
- この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 - 受信機の表示番号又は警戒区域ごとに個数を記入すること。
 - ※印のあるもので不良のものは、(その7)に機器ごとの点検結果を記入すること。
 - 点検結果欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、点検の際措置した内容は備考欄に記入すること。
 - 警戒区域内の感知器の個数が1の場合、階ごとに感知器の個数を記入すること。

別記様式第11

自動火災報知設備 (その5)

番 号 No	警 戒 区 域 名 称	感 知 器											※地区音響装置	発 信 機	点 検 結 果		
		差 動 式			定温式		※アナログ式スポット型	※ 煙 式									
		※ 分布型			ス ポ ット 型	ス ポ ット 型		ス ポ ッ ト 型			分 離 型						
		空 気 管 式	熱 電 対 式	熱 半 導 体 式				イ オ ン 化 式	光 電 式	イ オ ン 化 ア ナ ロ グ 式	光 電 ア ナ ロ グ 式	光 電 式				光 電 ア ナ ロ グ 式	
非蓄積		蓄積		非蓄積		蓄積		非蓄積		蓄積							
239	主冷却 1F S-420																○
240	" " "																○
241	" " "																○
242	" " "															1	○
243	" " "															1	○
244																	
245																	
246	主冷却 2F S-501																○
247	" " "																○
248	" " "																○
249	" " "																○
250	" " "																○
251	" " "																○
252	" " S-502																○
253	" " "																○
254	" " S-505																○
255	" " "																○
合 計																	
備 考																	

- 備考
- この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 - 受信機の表示番号又は警戒区域ごとに個数を記入すること。
 - ※印のあるもので不良のものは、(その7)に機器ごとの点検結果を記入すること。
 - 点検結果欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、点検の際措置した内容は備考欄に記入すること。
 - 警戒区域内の感知器の個数が1の場合、階ごとに感知器の個数を記入すること。

別記様式第 1 1

自動火災報知設備 (その 5)

番 号 No	警 戒 区 域 名 称	感 知 器											※ 地 区 音 響 装 置	発 信 機	点 検 結 果		
		差 動 式			定温式		熱 ア ナ ロ グ 式 ス ポ ット 型	※ 煙 式									
		※ 分布型			ス ポ ット 型	※ 感 知 線 型		ス ポ ッ ト 型			分 離 型						
		空 気 管 式	熱 電 対 式	熱 半 導 体 式				イ オ ン 化 式	光 電 式	イ オ ン 化 ア ナ ロ グ 式	光 電 ア ナ ロ グ 式	光 電 式				光 電 ア ナ ロ グ 式	
					非 蓄 積	蓄 積	非 蓄 積	蓄 積		非 蓄 積	蓄 積						
256	主冷却 2F S-505											1					○
257	" " "											1					○
258	" " S-506											1					○
259	" " S-508											1					○
260	" " "											1					○
261	" " S-509											1					○
262	" " "											1					○
263	" " S-510											1					○
264	" " S-512											1					○
265	" " "											1					○
266	" " "											1					○
267	" " "											1					○
268																	
269																	
270	主冷却 3F S-601											1					○
271	" " "											1					○
272	" " "											1					○
合 計																	
備 考																	

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 - 2 受信機の表示番号又は警戒区域ごとに個数を記入すること。
 - 3 ※印のあるもので不良のものは、(その7)に機器ごとの点検結果を記入すること。
 - 4 点検結果欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、点検の際措置した内容は備考欄に記入すること。
 - 5 警戒区域内の感知器の個数が1の場合、階ごとに感知器の個数を記入すること。

別添様式第11

自動火災報知設備 (その5)

番号 No	警戒区域 名称	感知器											※地区音響装置	発信機	点検結果			
		差動式			定温式		※熱アナログ式スポット型	※煙式										
		※分布型			スポット型	※感知線型		スポット型				分離型						
		空気管式	熱電対式	熱半導体式				イオン化式	光電式	イオン化アナログ式	光電アナログ式	光電式				光電アナログ式		
非蓄積		蓄積		非蓄積		蓄積		非蓄積		蓄積								
273	主冷却 3F S-601											1						○
274	" " S-602											1						○
275	" " "											1						○
276	" " "											1						○
277																		
278																		
279	主冷却 4F S-701											1						○
280	" " "											1						○
281	" " S-702											1						○
282	" " "											1						○
283	" " S-703											1						○
284	" " S-704											1						○
285	" " 給気7F/屋											1						○
286	" " 給気7F/屋											1						○
287	" 階段 S-210											1						○
288	" " S-213											1						○
289	" " S-301											1						○
合計																		
備考																		

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 - 2 受信機の表示番号又は警戒区域ごとに個数を記入すること。
 - 3 ※印のあるもので不良のものは、(その7)に機器ごとの点検結果を記入すること。
 - 4 点検結果欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、点検の際措置した内容は備考欄に記入すること。
 - 5 警戒区域内の感知器の個数が1の場合、階ごとに感知器の個数を記入すること。

別記様式第11

自動火災報知設備 (その5)

警戒区域		感 知 器										※地区音響装置	※発信機	点検結果			
番号 No	名称	差動式			定温式		※熱アナログ式スポット型	※煙式									
		※分布型			スポット型	※感知線型		スポット型			分離型						
		空気管式	熱電対式	熱半導体式				イオン化式	光電式	イオン化アナログ式	光電アナログ式				光電式		光電アナログ式
												非蓄積	蓄積	非蓄積	蓄積		
290	主冷却 階段 S-302																○
291	" " S-507																○
292	" " S-511																○
293	" B2F S-104														1	1	○
294	" " S-119														1	1	○
295	" B1F S-209														1	1	○
296	" " S-214														1	1	○
297	" 1F S-409														1	1	○
298	" " S-416														1	1	○
299	" 2F S-505														1	1	○
300	" " S-512														1	1	○
301	R101~9・202																○
302	R201・203-6他																○
303	R301・303・304																○
304	R401・403 他																○
305	R402・404 他																○
306	R407・409																○
合 計																	
備考	NO.301~306 移報回路																

- 備考
- この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 - 受信機の表示番号又は警戒区域ごとに個数を記入すること。
 - ※印のあるもので不良のものは、(その7)に機器ごとの点検結果を記入すること。
 - 点検結果欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、点検の際措置した内容は備考欄に記入すること。
 - 警戒区域内の感知器の個数が1の場合、階ごとに感知器の個数を記入すること。

別記様式第11

自動火災報知設備 (その5)

番 号 No	警 戒 区 域 名 称	感 知 器										※地区 音響装置	※発信機	点 検 結 果		
		差 動 式		定温式		※熱 ア ナ ログ 式 ス ポ ット 型	※ 煙 式									
		※分布型		ス ポ ット 型	ス ポ ッ ト 型				分 離 型							
		空 気 管 式	熱 電 対 式		イ オ ン 化 式		光 電 式	イ オ ン 化 ア ナ ログ 式	光 電 ア ナ ログ 式	光 電 式	光 電 ア ナ ログ 式					
		非 蓄 積	蓄 積	非 蓄 積		蓄 積						非 蓄 積	蓄 積			
307	R501・601															○
308	A105~116															○
309	A104															○
310	A101~103															○
311	A117・118															○
312	A309・410															○
313	A209~212															○
314	A207・208・307															○
315	A201~206															○
316	A215															○
317	付B2F~1F 東側階段															○
318	A308															○
319	A305・306															○
320	A301~304															○
321	A311															○
322	A213・214 他															○
323	A406~409															○
合 計																
備 考	NO.307~323 移報回路															

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 - 2 受信機の表示番号又は警戒区域ごとに個数を記入すること。
 - 3 ※印のあるもので不良のものは、(その7)に機器ごとの点検結果を記入すること。
 - 4 点検結果欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、点検の際措置した内容は備考欄に記入すること。
 - 5 警戒区域内の感知器の個数が1の場合、階ごとに感知器の個数を記入すること。

別記様式第11

自動火災報知設備 (その5)

番 号 No	警 戒 区 域 名 称	感 知 器											※地区 音響装置	※発信機	点 検 結 果		
		差 動 式			定温式			※熱 ア ナ ロ グ 式 ス ポ ット 型	※ 煙 式								
		※ 分布型			ス ポ ット 型	ス ポ ット 型	※ 感 知 線 型		ス ポ ッ ト 型		分 離 型						
		空 気 管 式	熱 電 対 式	熱 半 導 体 式					イ オ ン 化 式	光 電 式	イ オ ン 化 ア ナ ロ グ 式	光 電 ア ナ ロ グ 式				光 電 式	光 電 ア ナ ロ グ 式
						非 蓄 積	蓄 積	非 蓄 積	蓄 積		非 蓄 積	蓄 積					
324	A405																○
325	A401・403・404																○
326	A413-415																○
327	A412																○
328	A402																○
329	A509-512B																○
330	A506-507A 他																○
331	A504-505																○
332	A501-502 他																○
333	付EV1,2-PSN																○
334	A503-602 西側階段																○
335	A604-606																○
336	A510-511B 他																○
337	A603-707-708																○
338	A704-706																○
339	A701																○
340	A710-712																○
合 計																	
備 考	NO.324~340 移報回路																

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 - 2 受信機の表示番号又は警戒区域ごとに個数を記入すること。
 - 3 ※印のあるもので不良のものは、(その7)に機器ごとの点検結果を記入すること。
 - 4 点検結果欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、点検の際措置した内容は備考欄に記入すること。
 - 5 警戒区域内の感知器の個数が1の場合、階ごとに感知器の個数を記入すること。

別記様式第11

自動火災報知設備 (その5)

番 号 No	警 戒 区 域 名 称	感 知 器										※地区 音響装置	※発信機	点 検 結 果		
		差 動 式		定温式		※熱 ア ナ ロ グ 式 ス ポ ット 型	※ 煙 式									
		※ 分布型		ス ポ ット 型	ス ポ ット 型		ス ポ ッ ト 型				分 離 型					
		空 気 管 式	熱 電 対 式				イ オ ン 化 式	光 電 式	イ オ ン 化 ア ナ ロ グ 式	光 電 ア ナ ロ グ 式	光 電 式				光 電 ア ナ ロ グ 式	
				非 蓄 積	蓄 積	非 蓄 積	蓄 積		非 蓄 積	蓄 積						
341	付出入管理室															○
342	メンテナンス B2F															○
343	" B1F															○
344	" 1F															○
345	" 2F・3F															○
346	" 地下階段															○
347	" 地上階段															○
348	廃棄物処理施設															○
349	旧廃棄物処理建家1F東側															○
350	中央															○
351	旧廃棄物タンク室・貯蔵室															○
352	旧廃棄物処理建家 B1F															○
353	第3倉庫															○
354	第2SFF															○
355	1RAF															○
356	運転訓練施設															○
357	運転管理棟															○
合 計																
備 考	NO.341~357 移報回路															

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 - 2 受信機の表示番号又は警戒区域ごとに個数を記入すること。
 - 3 ※印のあるもので不良のものは、(その7)に機器ごとの点検結果を記入すること。
 - 4 点検結果欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、点検の際措置した内容は備考欄に記入すること。
 - 5 警戒区域内の感知器の個数が1の場合、階ごとに感知器の個数を記入すること。

Ⅱ．空調設備（主冷却機建物）の動作試験

1. 目的

本点検は、主冷却機建物の空調設備について、健全性を確認するために実施したものである。尚、本点検は毎週実施している。

2. 点検内容

各々の送排風機について動作試験を行い、異常音ないこと、及び電流値が正常であることを確認する。

3. 点検実施日

平成9年1月5日

4. 点検結果

各々の送排風機について、良好であることを確認した。その結果を点検記録Ⅱ－1示す。

空調設備（主冷却機建物）の動作試験記録

点検実施日：平成9年 1月 5日

点検実施者：実験炉部原子炉第一課

高速実験炉「常陽」運転記録

平成 9 年 / 月 5 日 日曜日 天候 晴

原 1-A-16

特定施設巡視点検表：主冷却機建家

課長	課長代理	運営Gr	当直長

直		日 勤	夜 勤	階 別	部 屋	系 統 別	点 検 項 目	C/R	確 認	確 認		
点 検 者		三浦	鬼沢									
点 検 開 始 時 刻		10:50	20:10									
階 別	部 屋	系 統 別	点 検 項 目	C/R	確 認	確 認						
B2F	S-101	脱塩水供給設備	動力盤, 操作盤, 電磁弁箱	C	✓	✓						
			A・B 伊過器	C	S	S						
			A・Bイオン交換塔	C	S	S						
			苛性ソーダ25%貯槽TK-77-5 0~1300 (mm)	R	250	250						
			苛性ソーダ計量槽TK-77-6 440~655 (mm)	R	650	650						
			塩酸計量槽TK-77-8 370~605 (mm)	R	600	600						
			廃液中和塩酸槽 0~850 (mm)	R	440	440						
			廃液混合槽	C	✓	✓						
			A・Bイオン交換塔, 脱湿器	C	✓	✓						
			A・B再生ポンプ	C	S	S						
			ブ ロ ヲ	C	S	S						
			A・B原水ポンプ	C	S	S						
			逆洗ポンプ	C	S	S						
B2F	S-121, S122, S-124, S-122, S-124, S-130, S-130, S-129, S-125, S-106, S-106, S-105, S-105, S-118, S-112, S-112	空調換気系 排水設備 空調換気系 排水設備 空調換気系 空調換気系 空調換気系 空調換気系 排水設備 空調換気系	B2F換気系送風機	C	✓	✓	B2F S-112	空調換気系 P-1盤 (3φ, AC400V)	A Na管路排風機 (15Kw) <30 A	C	✓	✓
			A・B雑排水槽ポンプ	C	S	S			B Na管路送風機 (15Kw) <28.8 A	C	✓	✓
			休養室パッケージ	C	✓	✓			B Na管路排風機 (11Kw) <22.6 A	C	✓	✓
			No.2ディーゼル排風機	C	✓	S			Arガス室送風機 (5.5Kw) <11 A	C	✓	✓
			袖水ポンプ (2.2Kw)×2台	C	S	✓			Arガス室排風機 (7.5Kw) <15 A	C	✓	✓
			ユニットヒーター 2台	C	✓	✓			2F・3F Na機器送風機 (2.2Kw) <4.6 A	C	✓	✓
			ユニットヒーター 1台	C	✓	✓			2F・3F Na機器排風機 (3.7Kw) <7.4 A	C	✓	✓
			ユニットヒーター 2台	C	✓	✓			1F Na配管送風機 (15Kw) <30 A	C	✓	✓
			No.1ディーゼル送風機	C	✓	✓			1F Na配管排風機 (15Kw) <30 A	C	✓	✓
			No.1ディーゼル排風機	C	✓	✓			4 F 排風機 (1.5Kw) <3.3 A	C	✓	✓
			B2F換気系排風機	C	✓	✓			冷却水循環ポンプ (5.5Kw) <11.2 A	C	✓	✓
			No.2ディーゼル送風機	C	✓	✓			冷却塔ファン (1.5Kw) <3.6 A	C	✓	✓
			A・B汚水ポンプ	C	✓	✓			冷却塔ヒーター (2.0Kw) <3 A	C	✓	✓
P-3操作盤	C	✓	✓	手洗浴室排風機 (0.75Kw) <1.5 A	C	✓	✓					
No.1ディーゼル送風機 (30Kw) <57.5 A	C	✓	✓	A Na管路送風機 (11Kw) <22 A	C	✓	✓					
No.1ディーゼル排風機 (22Kw) <43 A	C	✓	✓	A Na管路排風機 (15Kw) <30 A	C	✓	✓					
A Na管路送風機 (11Kw) <22 A	C	✓	✓	B Na管路送風機 (15Kw) <28.8 A	C	✓	✓					
				B Na管路排風機 (11Kw) <22.6 A	C	✓	✓					
				No.2ディーゼル送風機 (22Kw) <43 A	C	✓	✓					
				No.2ディーゼル排風機 (15Kw) <30 A	C	✓	✓					
				2F・3F Na機器送風機 (2.2Kw) <4.6 A	C	✓	✓					
				2F・3F Na機器排風機 (3.7Kw) <7.4 A	C	✓	✓					
				1F Na配管送風機 (15Kw) <30 A	C	✓	✓					
				1F Na配管排風機 (15Kw) <30 A	C	✓	✓					
				B2F換気系送風機 (15Kw) <30 A	C	✓	✓					
				B2F換気系排風機 (11Kw) <22 A	C	✓	✓					
				4 F 排風機 (1.5Kw) <3.3 A	C	✓	✓					

記事

確認欄への記号

R=指示値記入
C=異常なし
S=停止中

階別	部 屋	系 統 別	点 検 項 目	C/R	確 認	確 認	階 別	部 屋	系 統 別	点 検 項 目	C/R	確 認	確 認			
B1F	S-225	ボイラー設備	Na 1 重油タンク	C	✓	✓	4 F	S-703	空調設備	P-2盤(D系) 2F・3F Na機器排風機	C	✓	✓			
	S-226		Na 2 重油タンク	C	✓	✓		S-705		P-1盤(C系) 1F Na配管送風機	C	✓	✓			
	S-227		Na 3 重油タンク	C	✓	✓				P-2盤(D系) 1F Na配管送風機	C	✓	✓			
	S-228		Na 4 重油タンク	C	✓	✓				P-1盤(C系) 1F Na配管排風機	C	✓	✓			
	S-220		真空給水ポンプ	C	✓	✓				P-2盤(D系) 1F Na配管排風機	C	✓	✓			
	S-207	ボイラー室送風機(15kw) <59A	C	✓	✓	S-704				P-1盤(C系) 2F・3F Na機器排風機	C	✓	✓			
			ボイラー室排風機(11kw) <45.1A	C	✓			✓		S-705	冷 却 塔	C	✓	✓		
		S-206	空調設備	P-1盤(C系) A Na管路送風機	C	✓		✓			冷却水循環ポンプ	C	✓	✓		
				P-1盤(C系) A Na管路排風機	C	✓		✓			屋外 純水移送 ポンプ 小屋	脱塩水設備	純水貯槽 TK77-4 2150~3550mm(mm)	R	3030	3020
				P-1盤(C系) B Na管路送風機	C	✓		✓					純水移送ポンプ P77-3A.B(3.7kw) <14.4A	C	✓	✓
				P-1盤(C系) B Na管路排風機	C	✓	✓	塩酸(35%)貯槽TK77-7 0~1100mm(mm)	R				500	500		
				P-2盤(D系) A Na管路送風機	C	✓	✓	換気ファン (1台)	C				✓	✓		
				P-2盤(D系) A Na管路排風機	C	✓	✓	記 事								
	P-2盤(D系) B Na管路送風機	C		✓	✓											
	P-2盤(D系) B Na管路排風機	C		✓	✓											
	S-201		P-1盤(C系) 電源室パッケージ	C	✓	✓										
			P-2盤(C系) 電源室パッケージ	C	✓	✓										
	S-221	消火設備	ハロン消火設備操作盤	C	✓	✓										
	S-222	ボイラー設備	ボイラー電源盤	C	✓	✓										
			P-4 電 源 盤	C	✓	✓										
			煤 煙 濃 度 計	C	✓	✓										
		空調設備	主冷却建家空調監視盤	C	✓	✓										
			主冷却建家空調警報盤	C	✓	✓										
			ボイラー制御室パッケージ	C	✓	✓										
	S-222	空調設備	防煙ダンパー連動操作盤	C	✓	✓										
S-222	保安設備	O ₂ 濃度計	C	✓	✓											
1 F	S-402	空調設備	P-1盤(C系) 電気室パッケージ	C	✓	✓										
	S-404	空調設備	A r ガス室送風機	C	✓	✓										
	S-406		手洗室浴室排風機	C	✓	✓										
	S-408		A r ガス室排風機	C	✓	✓										
3 F	S-601		空調設備	P-2盤(D系) 2F・3F Na機器送風機	C	✓	✓									
		P-2盤(D系) 4F 排風機		C	✓	✓										
		P-1盤(C系) 2F・3F Na機器送風機		C	✓	✓										
		P-1盤(C系) 4F 排風機		C	✓	✓										

確認欄への記号
R-指示値記入
C-異常なし
S-停止中

Ⅲ. 防護具の点検

1. 目的

本点検は、主冷却機建物の各部屋に設けられているナトリウム防護具及び呼吸器等の防護具が、健全に保管されていることを確認するために実施したものである。尚、本点検は毎月実施している。

2. 点検内容

各々の防護具について、各設置場所に指定数量が保管されていること、及び損傷等がなく使用可能であることを確認する。

3. 点検実施日

平成8年11月7・18・22日（11月分）

4. 点検結果

各々の防護具が指定数量保管されていること、及び良好な状態で保管されていることを確認した。11月分の点検結果を点検記録Ⅲ-1に示す。また、併せて防護具配置図及び設置状況写真（代表例；S-409）を添付する。

保護具点検記録

点検実施日：平成8年11月7・18・22日

点検実施者：実験炉部原子炉第一課

保護具月例点検記録 (自主点検)

11月分

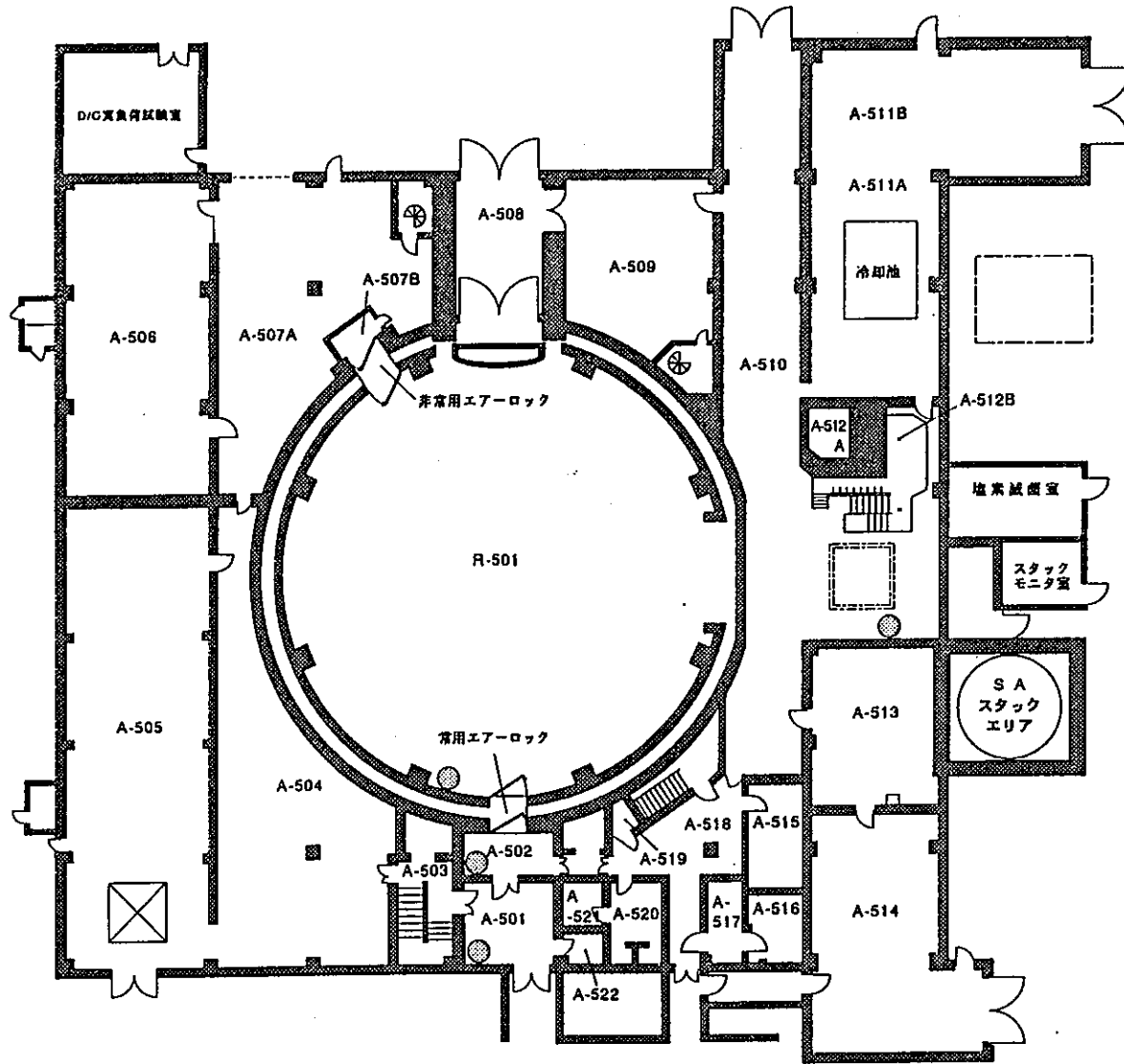
点検日 H.J. 11/7, 11/18, 11/22

課長	課代	Gr. L	担当者
			

部屋No	保護具名	数量	結果	備考	部屋No	保護具名	数量	結果	備考	部屋No	保護具名	数量	結果	備考
S-104	耐薬品保護具一式 保護衣, 手袋, 靴 ガスマスク フィルター (A077) 常備灯	各2②	⊕		A-102	避難用空気呼吸器	2②	⊕		A-510	防熱エプロン 空気呼吸器 革手袋 (厚・薄手) シールド面 ポケットマスク 常備灯	2② 3② 各2② 2② 2 1①	⊕	数量欄の①は最低限配備すべき数1個以上であることを示す。
	S-109	避難用空気呼吸器			2②	⊕	A-106	避難用空気呼吸器 常備灯			2② 1①	⊕		
S-113	担架	1①	⊕		A-209	避難用空気呼吸器 イヤーマフ 常備灯	2② 4 1①	⊕		A-709	縄梯子	1①	⊕	
S-117	避難用空気呼吸器	2②	⊕		A-306	避難用空気呼吸器	2②	⊕		A-712	酸素濃度計 硫化水素測定器 ポケットマスク	5② 1① 2	⊕	
S-126	避難用空気呼吸器 イヤーマフ 革手袋 (厚・薄手) 常備灯	2② 4 各2 1①	⊕		A-407	防熱エプロン 避難用空気呼吸器 シールド面 革手袋 (薄手) 常備灯	2② 2② 2② 2② 1①	⊕		R-106	避難用空気呼吸器 救出ベルト	2② 2①	⊕	
	S-221	避難用空気呼吸器 酸素濃度計 硫化水素測定器			4④ 1① 1①	⊕	A-411			避難用空気呼吸器	2②	⊕		
S-303	避難用空気呼吸器	2②	⊕		A-501	Na 消火用保護具一式 (上衣、下衣、手袋、靴) 頭巾、ヘルメット Na 消火補助作業用一式 (防熱エプロン、手袋) シールド面、マフ	6式⑥ 3式③	⊕		R-205	避難用空気呼吸器 救出ベルト	2② 2①	⊕	
S-305	避難用空気呼吸器	2②	⊕			空気呼吸器 保護メガネ 革手袋 (厚手) 洗浄用具一式 洗眼用具一式 流動パラフィン 担架 常備灯 予備空気ボンベ	6⑥ 3 3 2① 2① 5⑤ 1① 1① 2②			R-206	避難用空気呼吸器 救出ベルト	2② 2①		
S-409	Na 消火用保護具一式 (上衣、下衣、手袋、靴) 頭巾、ヘルメット Na 消火補助作業用一式 (防熱エプロン、手袋) シールド面、マフ	6式⑥ 3式③	⊕		A-502	防熱エプロン 空気呼吸器 酸素発生式呼吸器 革手袋 (厚・薄手) 安全带 救出ロープ 救出ベルト シールド面 ポケットマスク 担架 局所換気装置一式 常備灯	2② 3② 4② 各2② 2② 2① 2① 2② 2 1① 1① 2① 1①	⊕		R-303	避難用空気呼吸器	2②	⊕	
	S-413	避難用空気呼吸器				2②	⊕				R-304	避難用空気呼吸器	2②	⊕
S-415	避難用空気呼吸器	2②	⊕			革手袋 (薄手) 保護メガネ ポケットマスク 常備灯	2 2 2 1①	⊕		R-403	避難用空気呼吸器	2②	⊕	
S-416	革手袋 (薄手) 保護メガネ ポケットマスク 常備灯	2 2 2 1①	⊕			酸素発生式呼吸器 避難用空気呼吸器 常備灯	2② 2② 1①			⊕		R-406	避難用空気呼吸器	2②
										R-501	救出ロープ	1①	⊕	
										R-701	救出ロープ	1①	⊕	

図-1

「常陽」保護具配置図



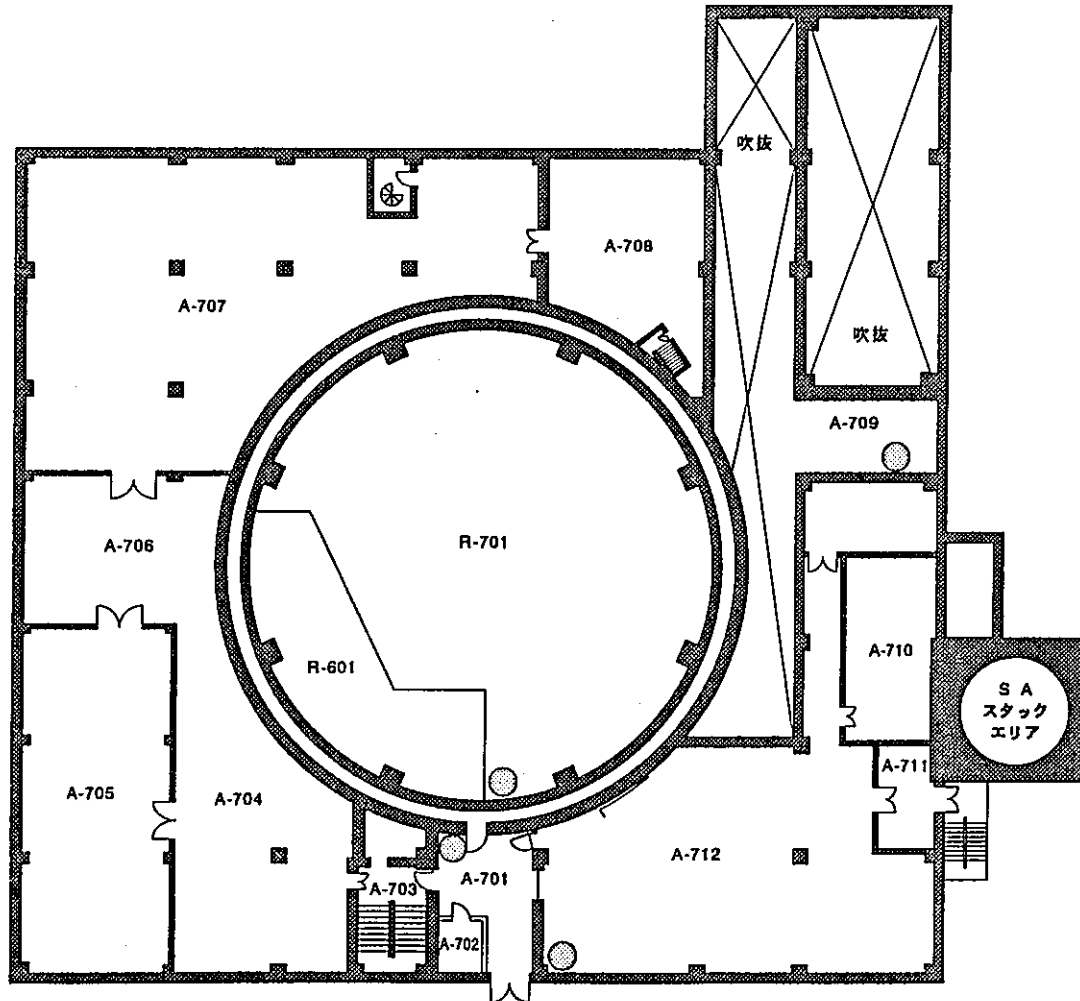
原子炉建家及び原子炉付属建家 1F

設置場所	保護具名	必要数量	配置数量
A-501	Na 消火用保護具一式	6	6
	Na 消火補助者用保護具	3	3
	空気呼吸器	6	6
	保護メガネ	1	3
	洗浄用具一式	1	2
	洗眼用具一式	1	2
	流動パラフィン	5ℓ	5ℓ以上
	担架(毛布含む)	1	1
	革手袋(厚)	1	3
	常備空気ボンベ	12	20
A-502	防熱エアロック	2	2
	酸素発生式呼吸器	2	3
	担架(毛布含む)	2	4
	救出ベルト	1	1
	安全救出シボ	2	2
	ケットマ	1	2
	常備革手袋	1	2
	所換厚・薄手袋	各2	各2
	空気呼吸器	各1	各1
	装置		
A-510	防熱革シボ	2	2
	手袋	2	3
	ケットマ	各2	各2
	常備	1	2
	装置		
R-501	酸素発生式呼吸器	2	2
	避難用呼吸器	1	1

部屋番号	部屋名称
A-501	エントランスホール
A-502	パーソナルエアロック前室
A-510	キャスクカー移動エリア
R-501	オペフロ

図-2

「常陽」保護具配置図

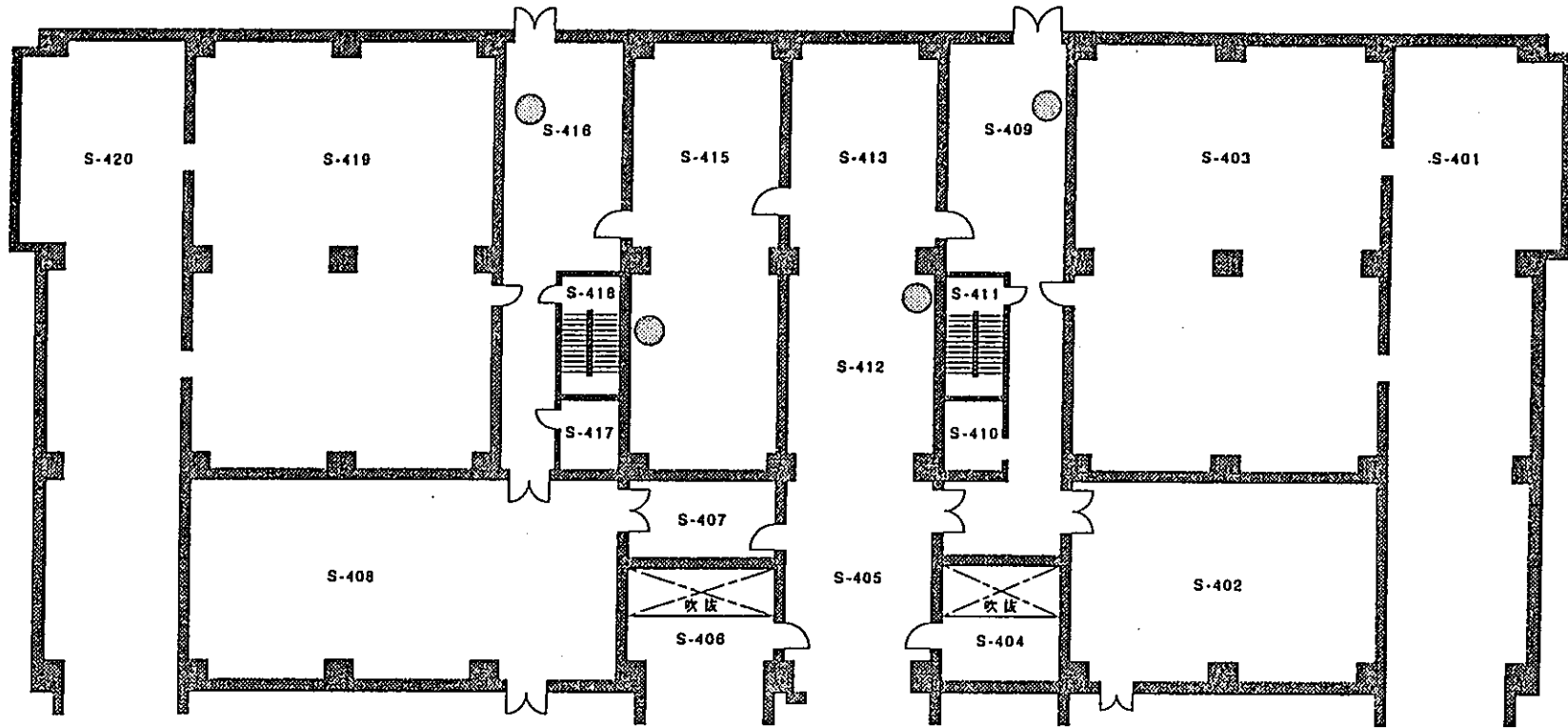


設置場所	保護具名	必要数量	配置数量
A-701	空気呼吸器	2	2
	酸素発生式呼吸器	2	2
	担架(毛布含む)	1	1
A-709	縄梯子	1	1
A-712	酸素濃度計	2	5
	硫化水素測定器	1	1
	ポケットマスク	—	2
R-701	救出ロープ	1	1

部屋番号	部屋名称
A-701	ホール
A-709	回転移送機駆動装置室
A-712	中央制御室
R-701	天井クレーン運転台

原子炉建家及び原子炉付属建家 2F

「常陽」保護具配置図



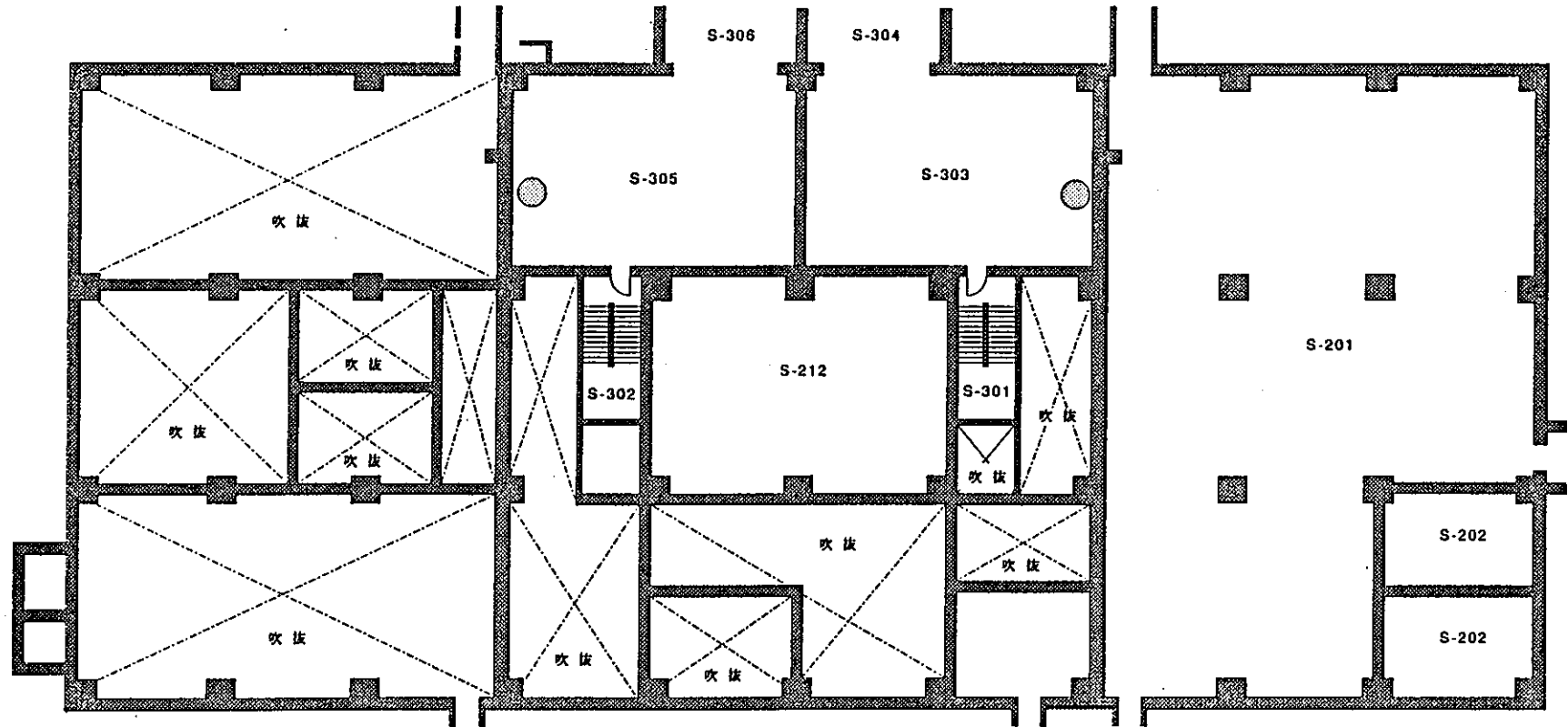
主冷却機建家 1F

設置場所	保護具名	必要数量	配置数量
S-409	Na 消防用保護具一式	6	6
	Na 消防補助用保護具	3	3
	空気呼吸器	6	6
	革手袋 (厚)	—	3
	保護メガネ	—	3
	ポケットマスク	—	2
	担架 (毛布含む)	1	1
	局所換気装置一式	1	1
S-413	避難用呼吸器	2	2
S-415	避難用呼吸器	2	2
S-416	革手袋 (薄)	—	2
	保護メガネ	—	2
	ポケットマスク	—	2
	常備	1	1

部屋番号	部屋名称
S-409	前室 (No.1)
S-413	2次系配管室 (A)
S-415	2次系配管室 (B)
S-416	前室 (No.2)

図-4

「常陽」保護具配置図



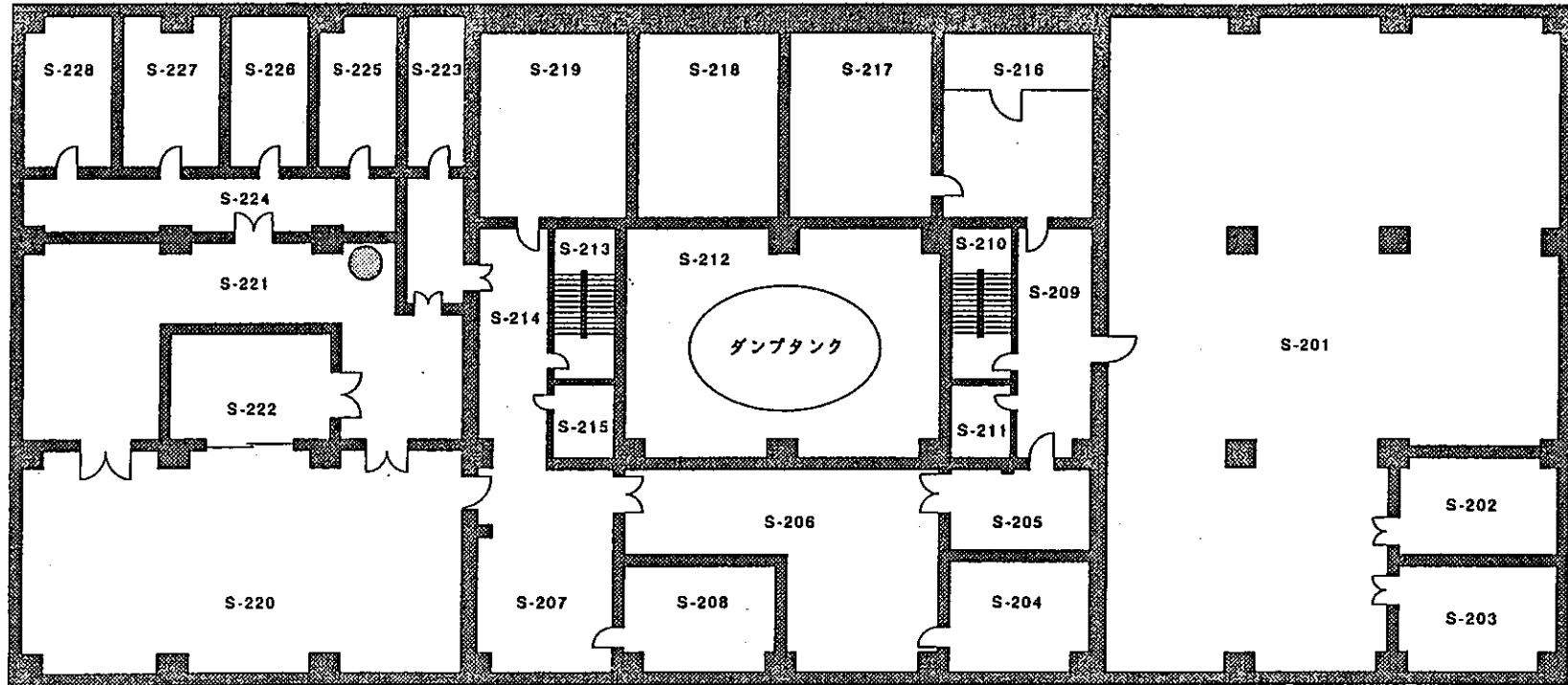
主冷却機建家 BM1F

設置場所	保護具名	必要数量	配置数量
S-303	避難用呼吸器	2	2
S-305	避難用呼吸器	2	2

部屋番号	部屋名称
S-303	2次系配管室 (A)
S-305	2次系配管室 (B)

図-5

「常陽」保護具配置図

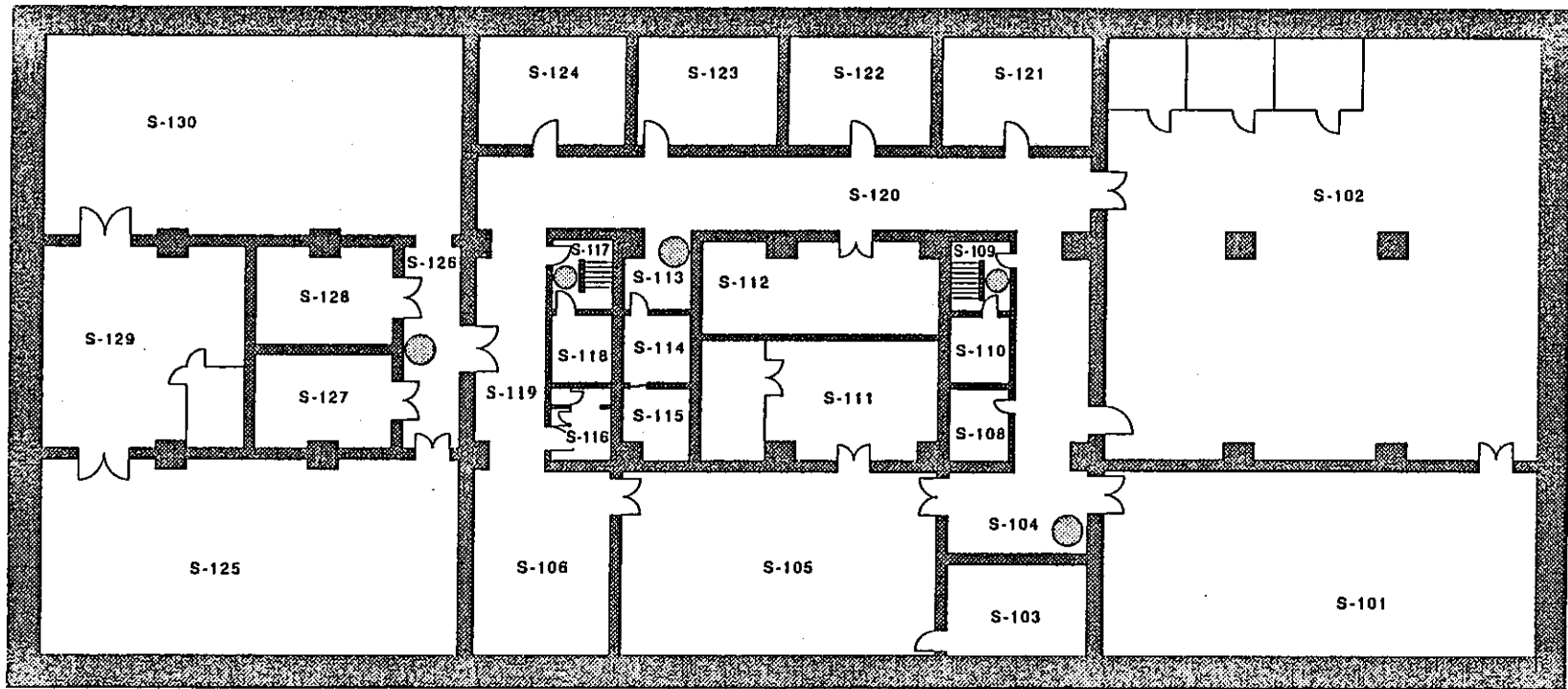


主冷却機建家 B1F

設置場所	保護具名	必要数量	配置数量
S-221	避難用呼吸器	4	4
	硫化水素測定器	1	1
	酸素濃度計	1	1

部屋番号	部屋名称
S-221	機器搬入エリア

「常陽」保護具配置図



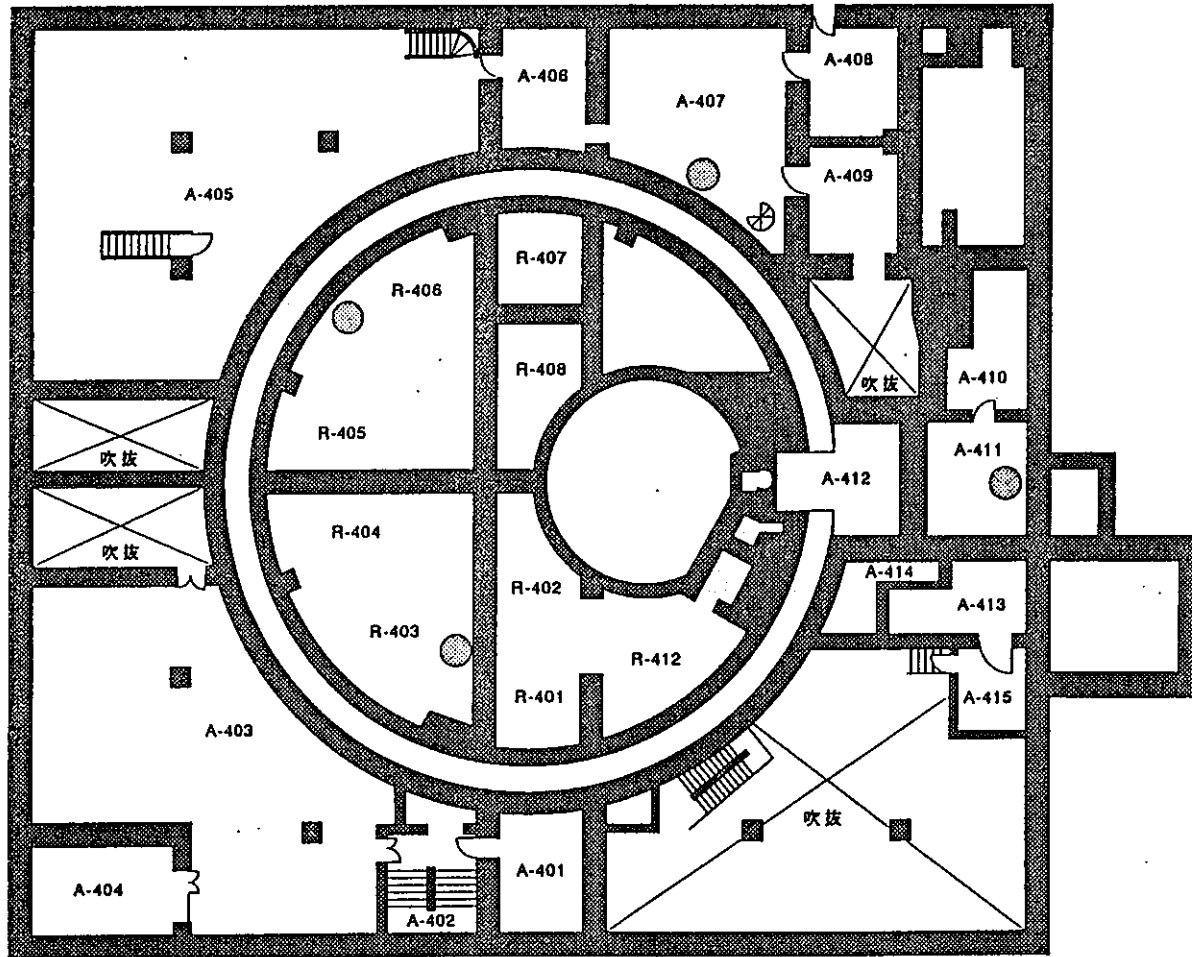
主冷却機建家 B2F

設置場所	保護具名	必要数量	配置数量
S-104	耐薬品保護具一式 (保護衣, ゴム手袋 ゴム靴, ガスマスク フィルター(ハロゲンガス))	2	2
	常備灯	1	1
S-109	避難用呼吸器	2	2
S-113	担架(毛布含む)	1	1
S-117	避難用呼吸器	2	2
S-126	避難用呼吸器	2	2
	厚手袋	—	4
	薄手袋	—	各2
	常備灯	1	1

部屋番号	部屋名称
S-104	前室(No.1)
S-109	階段室(A)
S-113	前室(No.3)
S-117	階段室(B)
S-126	ディーゼル前室

図-7

「常陽」保護具配置図



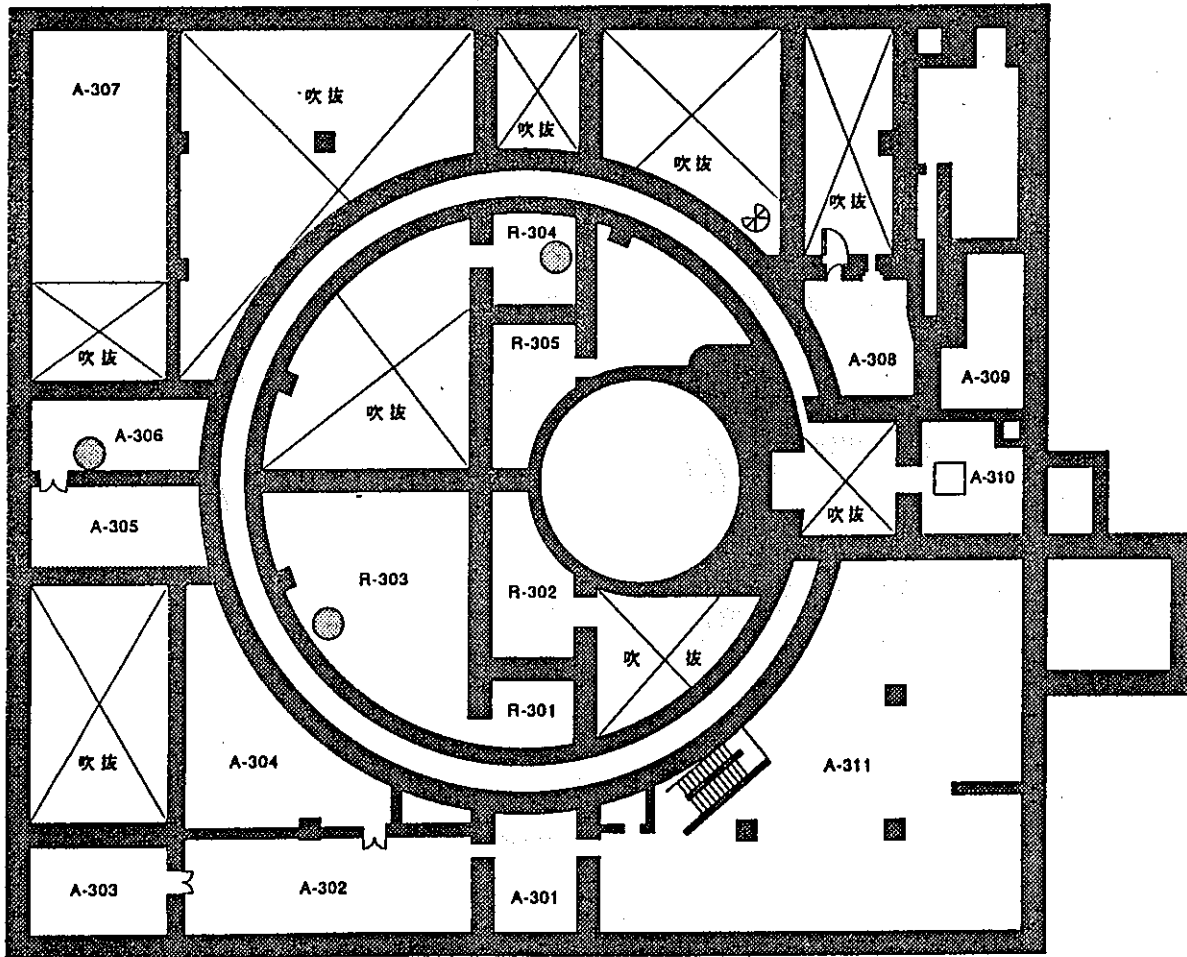
設置場所	保護具名	必要数量	配置数量
A-407	避難用呼吸器	2	2
	防熱エプロン	2	2
	非常用ヘルメット	2	2
	革手袋	1	1
	薄面灯	2	2
A-411	避難用呼吸器	2	2
R-403	避難用呼吸器	2	2
R-406	避難用呼吸器	2	2

部屋番号	部屋名称
A-407	NW送風機室
A-411	トランスファーロータ予備室
R-403	ダクトスペース
R-406	機器ビット室

原子炉建家及び原子炉付属建家 BM1F

図-8

「常陽」保護具配置図



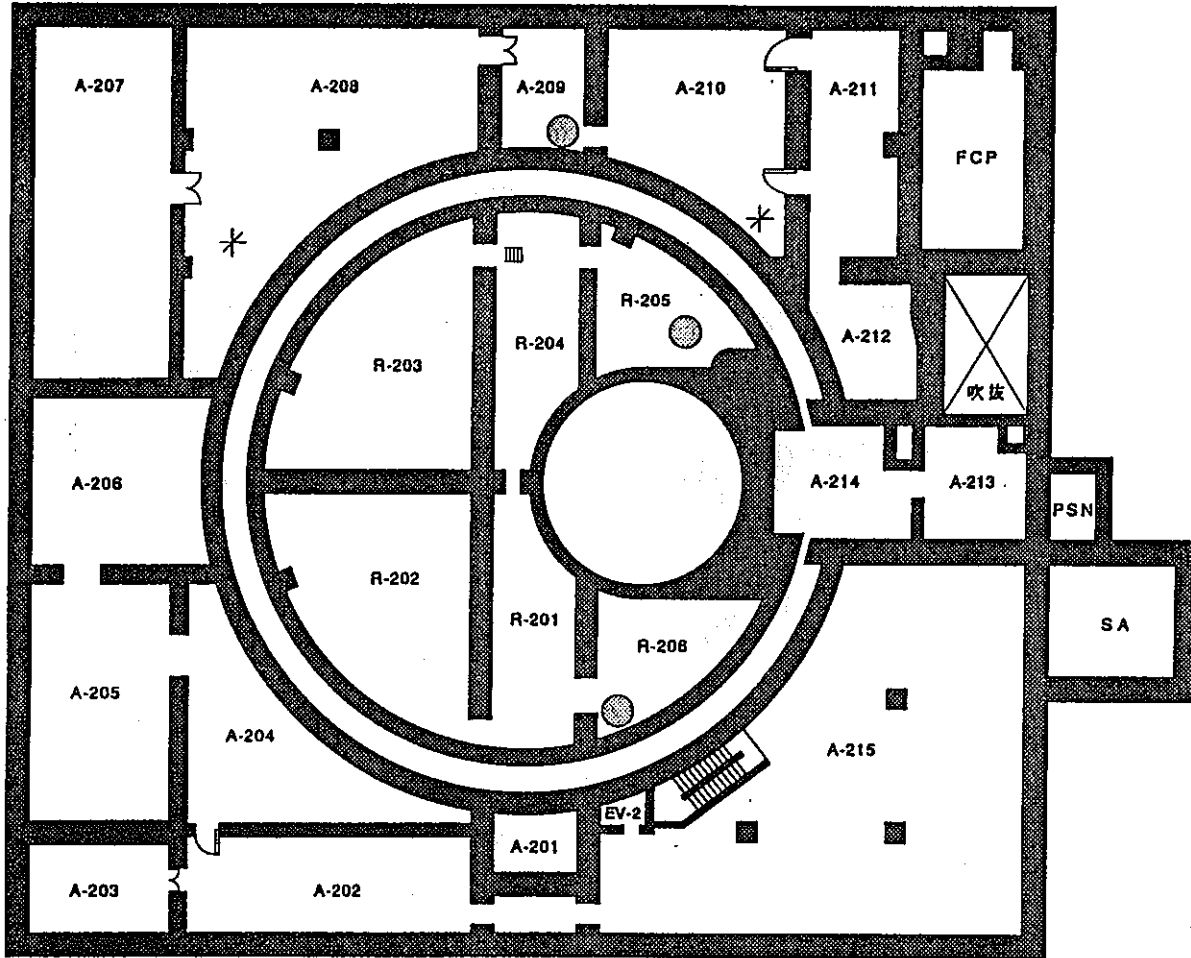
設置場所	保護具名	必要数量	配置数量
A-306	避難用呼吸器	2	2
R-303	避難用呼吸器	2	2
R-304	避難用呼吸器	2	2

部屋番号	部屋名称
A-306	配管路 (コールドA)
R-303	バルブ操作室 (東側)
R-304	バルブ操作室 (西側)

原子炉建家及び原子炉付属建家 B1F

図-9

「常陽」保護具配置図



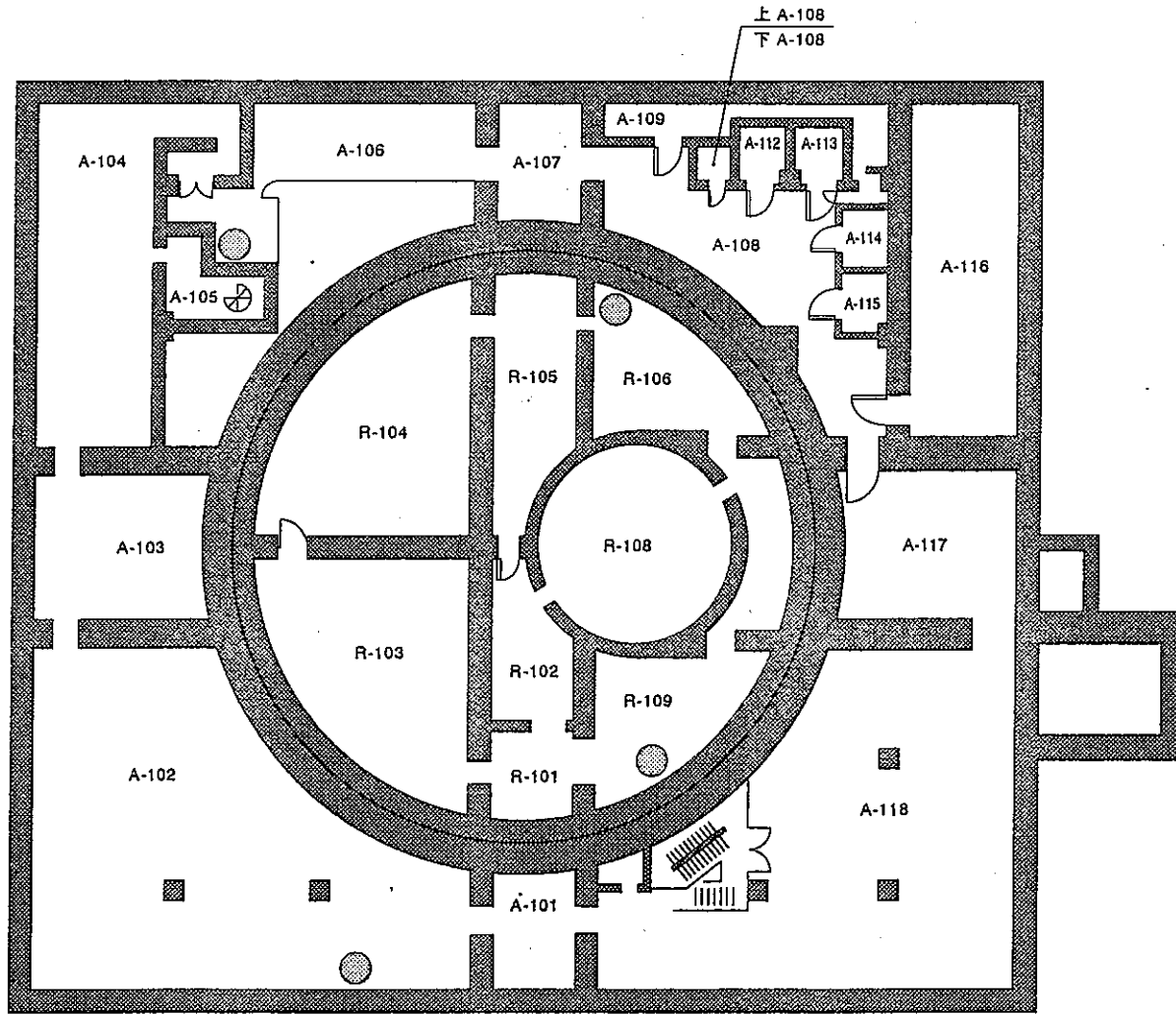
設置場所	保護具名	必要数量	配置数量
A-209	避難用呼吸器	2	2
	ヤーマフ灯	1	1
R-205	避難用呼吸器	2	2
R-206	避難用呼吸器	2	2
	吹抜	1	2

部屋番号	部屋名称
A-209	NW送風機室
R-205	主循環ポンプ(B)室
R-206	主循環ポンプ(A)室

原子炉建家及び原子炉付属建家 BM2F

図-10

「常陽」保護具配置図



設置場所	保護具名	必要数量	配置数量
A-102	避難用呼吸器	2	2
A-106	避難用呼吸器 常備灯	2 1	2 1
R-106	避難用呼吸器 救出ベル	2 1	2 2
R-109	避難用呼吸器 救出ベル	2 1	2 2

部屋番号	部屋名称
A-102	格納容器空調換気設備室
A-106	廃液タンク室
R-106	ダクトスペース (3)
R-109	ダクトスペース (1)

原子炉建家及び原子炉付属建家 B2F



IV. 消火設備（主冷却機建物）の点検

1. 目的

本点検は、消火設備の健全性を確認するために実施したものである。

2. 点検内容

配置図をもとに、主冷却機建物内各部屋の消火設備の外観点検、機能点検を行う。

3. 点検実施日

平成8年9月9・10・12日

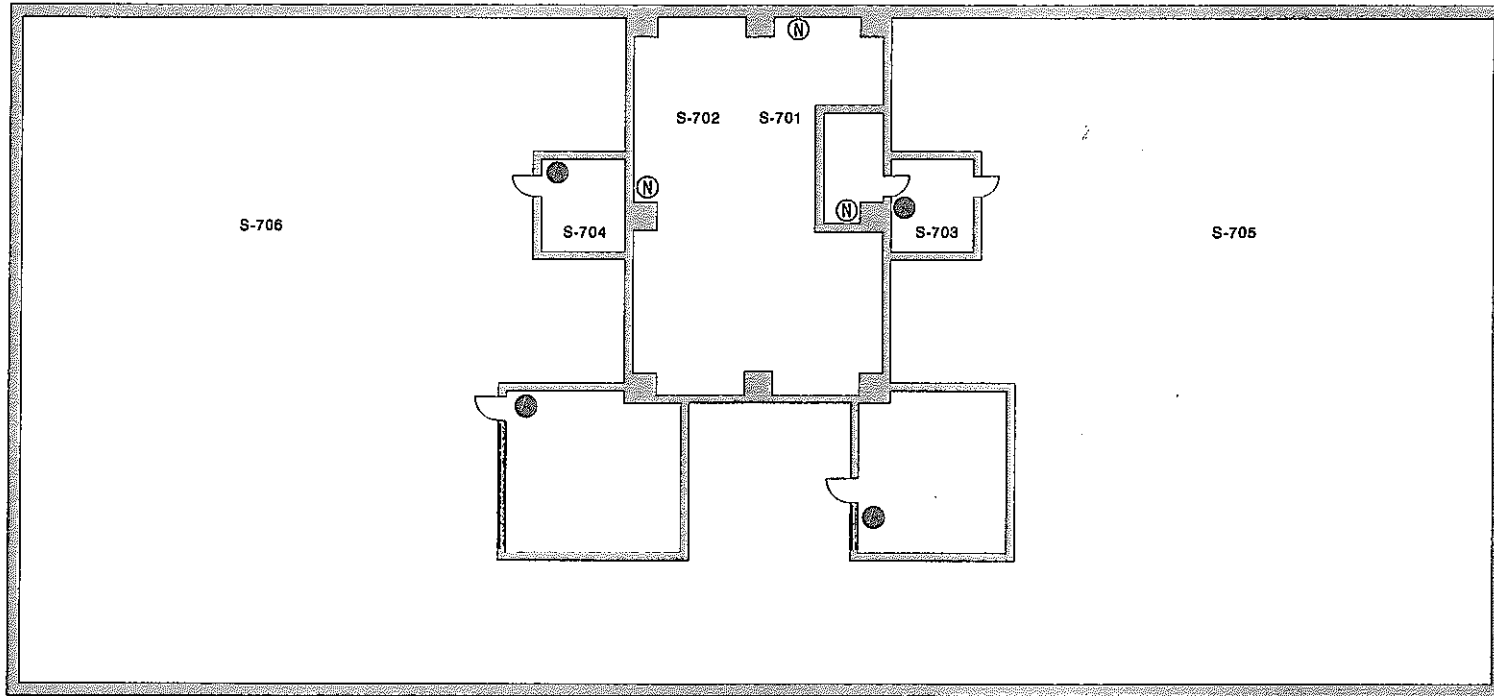
4. 点検結果

各部屋の消火設備が良好であることを確認した。消火設備の配置図を点検記録IV-1に示す。

消火設備の点検記録

点検実施日：平成8年9月9・10・12日

点検実施者：実験炉部原子炉第二課

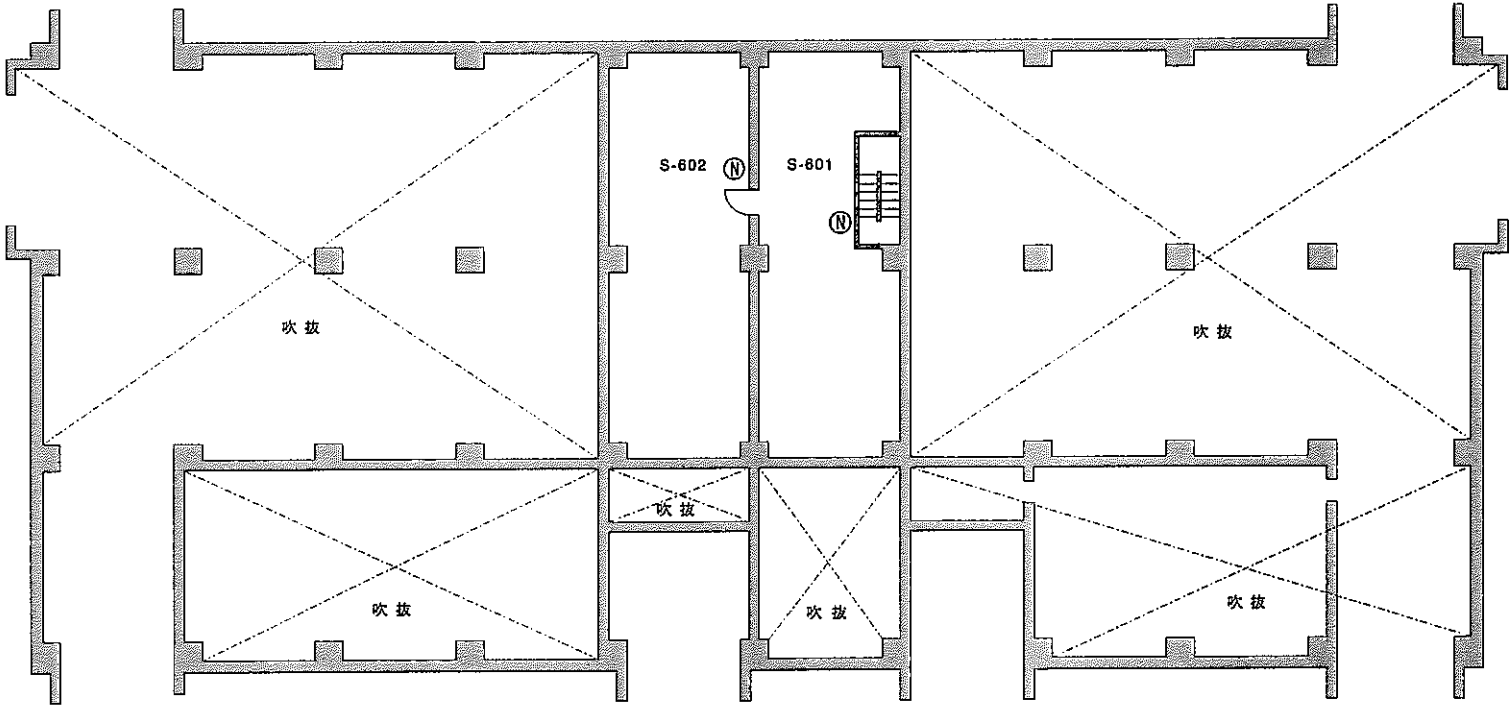


●印…ABC消火器
 (N)印…ナトレックス消火器

部屋番号	部屋名称
S-701	2次系主循環ポンプ室(A)
S-702	2次系主循環ポンプ室(B)
S-703	ファン室(No.1)
S-704	ファン室(No.2)
S-705	屋上(A)

消火器配置図

図面名称	図番
主冷却機建家 4F	17

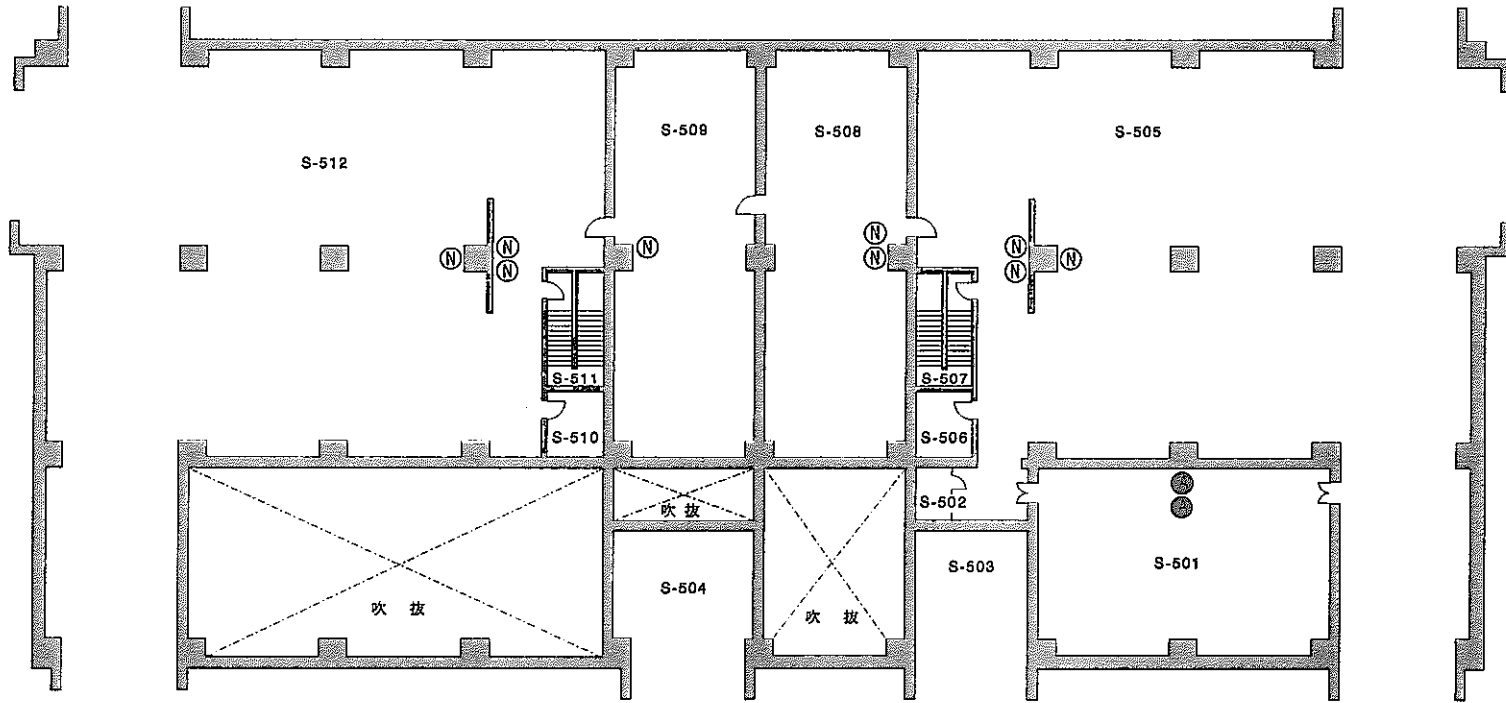


Ⓝ印…ナトレックス消火器

部屋番号	部屋名称
S-601	2次系オーバーフロータンク室(A)
S-602	2次系オーバーフロータンク室(B)

消火器配置図

図面名称	図番
主冷却機建家 3F	18



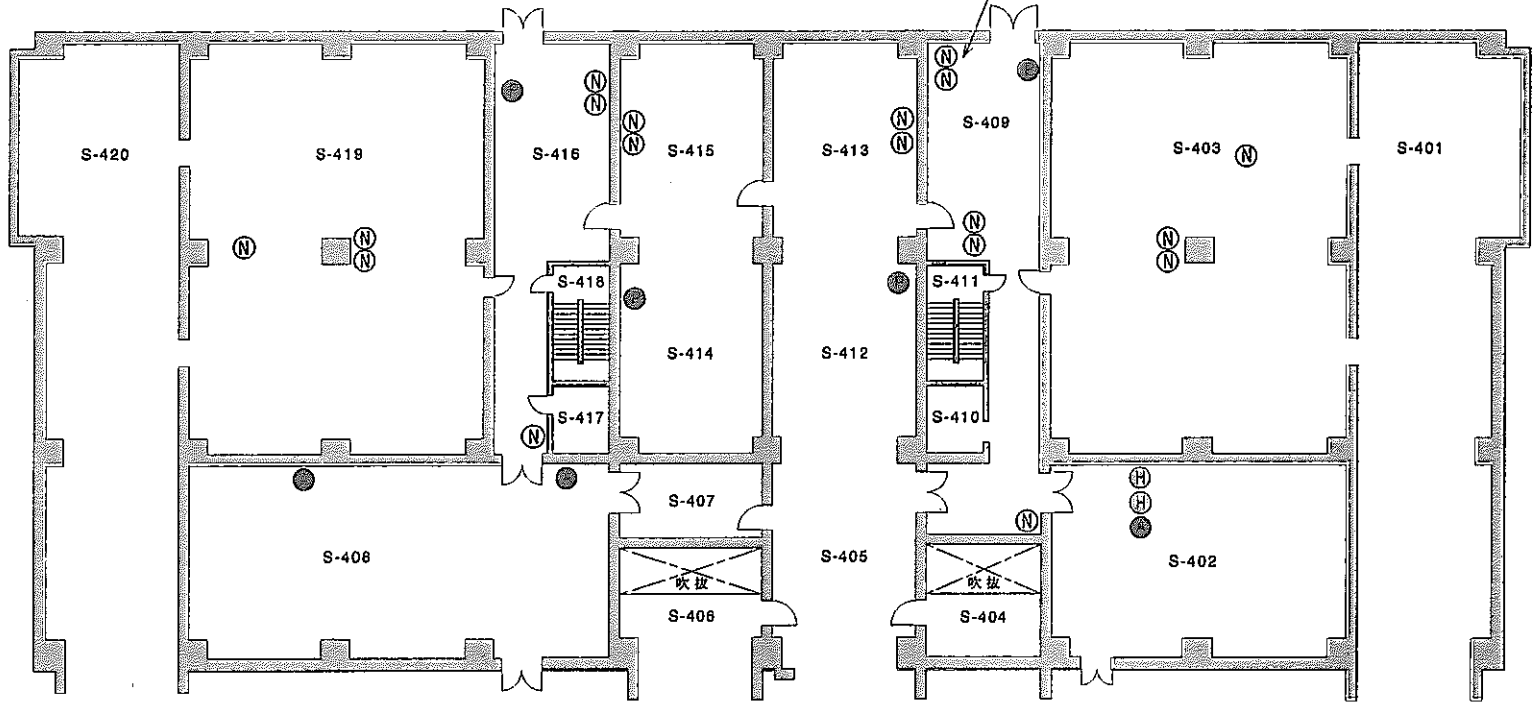
●印…ABC消火器
 ○N印…ナトレックス消火器

部屋番号	部屋名称
S-501	2次系電気室
S-502	電気室前室
S-505	主冷却機上部室(A)
S-506	倉庫
S-507	階段室(A)
S-508	2次系コールドトラップエリア(A)
S-509	2次系コールドトラップエリア(B)
S-510	パイプシャフト
S-511	階段室(B)
S-512	主冷却機上部室(B)

消火器配置図

図面名称	図番
主冷却機建家 2F	19

ナトレックス6Kg 7本,15Kg 3本新規追加



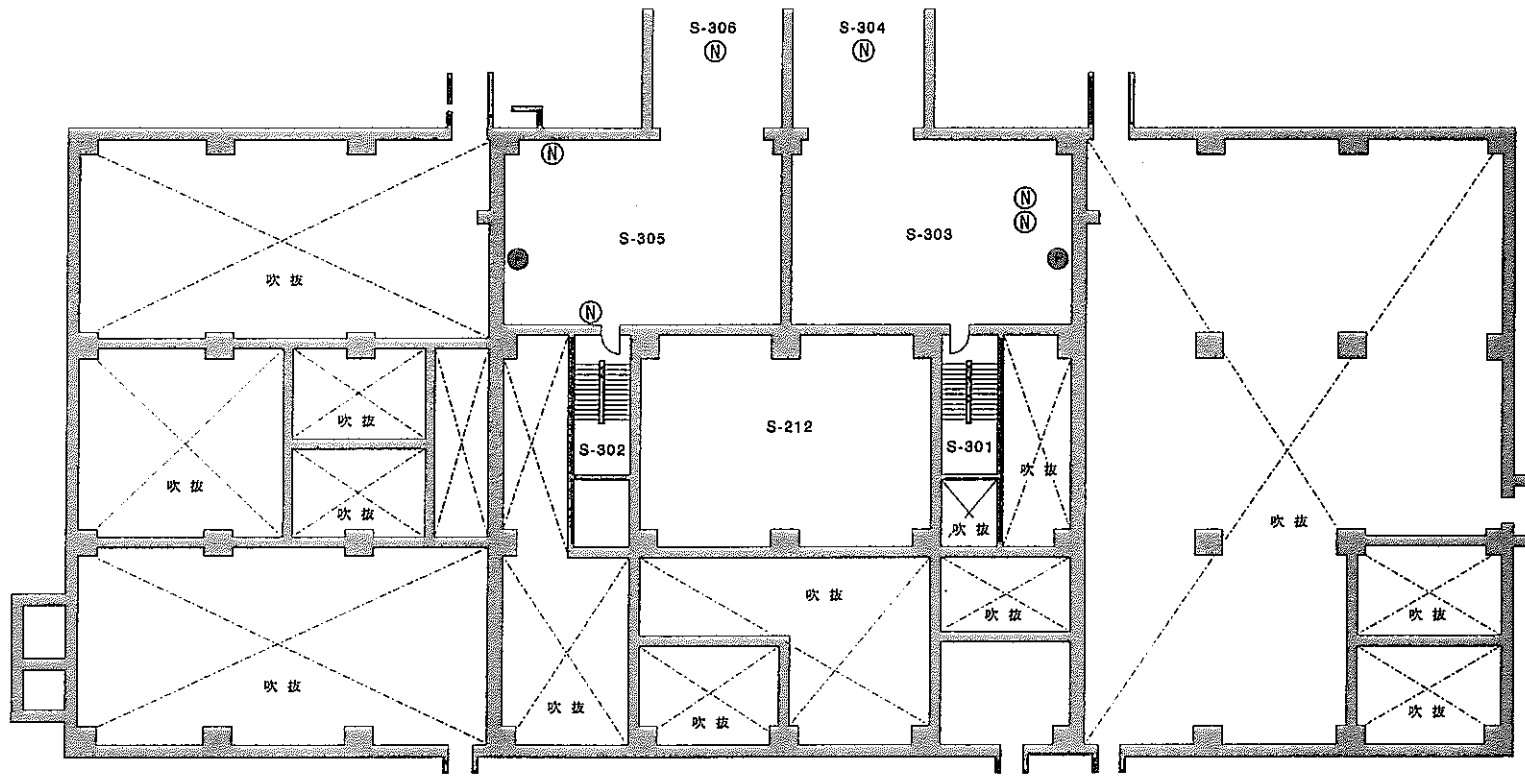
設置場所	保護具名	配置数量	備考
S-409	Na消火用防熱衣等	6	新規追加 新規追加
	空気呼吸器	6	
	Na消火用防熱エプロン等	3	
	革手袋(厚)	3	
	保護メガネ	3	
	ポケットマスク	2	
	担架(毛布含む)	1	
局所換気装置一式	1		
常備灯	1		
S-413	避難用呼吸器	2	
S-415	避難用呼吸器	2	
S-416	革手袋(薄)	2	
	保護メガネ	2	
	ポケットマスク	2	
	常備灯	1	

部屋番号	部屋名称
S-401	風洞室(A)
S-402	2次系電気室
S-403	主冷却機室(A)
S-404	ダクトスペース(A)
S-405	機器搬入路
S-406	ダクトスペース(B)
S-407	ガス供給系前室
S-408	ガス供給系室
S-409	前室(No.1)
S-410	便所
S-411	階段室(A)
S-412	2次系メンテナンス室(A)
S-413	2次系配管室(A)
S-414	2次系メンテナンス室(B)
S-415	2次系配管室(B)
S-416	前室(No.2)
S-417	パイプシャフト
S-418	階段室(B)
S-419	主冷却室(B)
S-420	風洞室(B)

- 印…ABC消火器
- (N)印…ナトレックス消火器
- (H)印…ハロン消火器
- 印…保護具

保護具・消火器配置図

図面名称	図番
主冷却機建家 1 F	20

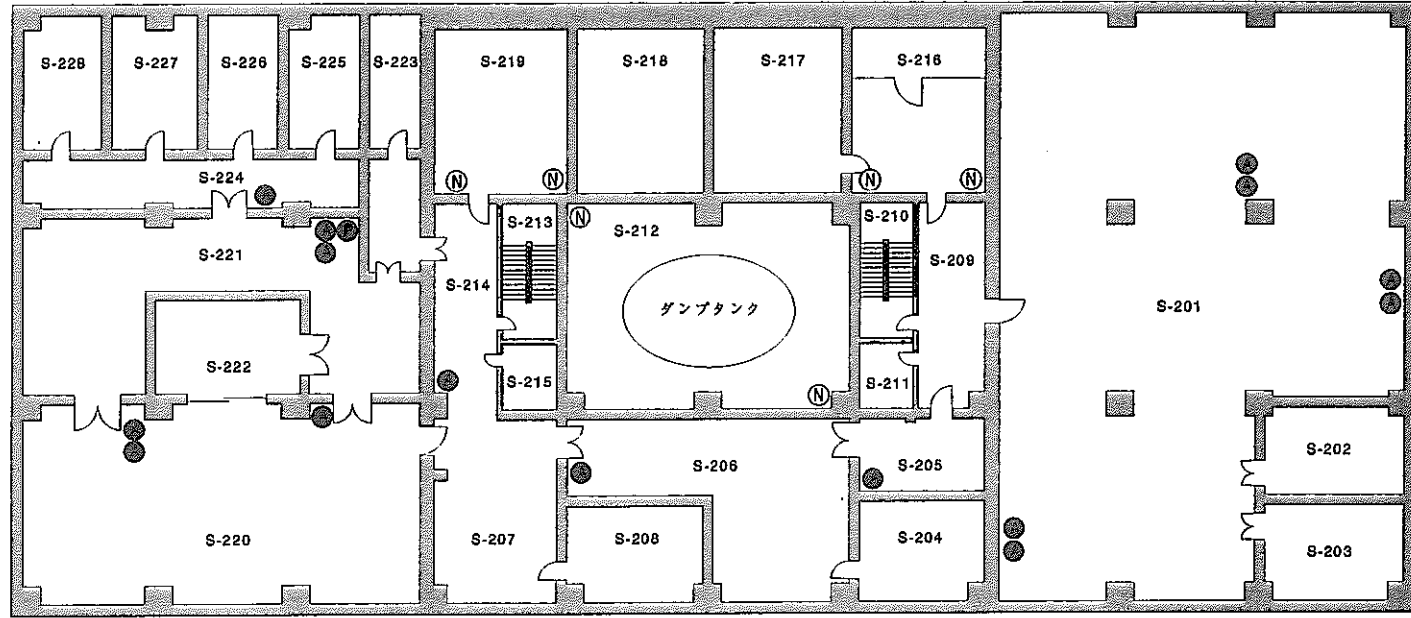


Ⓝ印…ナトレックス消火器
●印…防護具

部屋番号	部屋名称
S-301	階 段 (A)
S-302	階 段 (B)
S-303	2次系配管室 (A)
S-304	2次系配管路 (A)
S-305	2次系配管室 (B)
S-306	2次系配管路 (B)
S-212	2次系ダンパタンク室

消火器配置図

図面名称	図番
主冷却機建家 B M 1 F	21

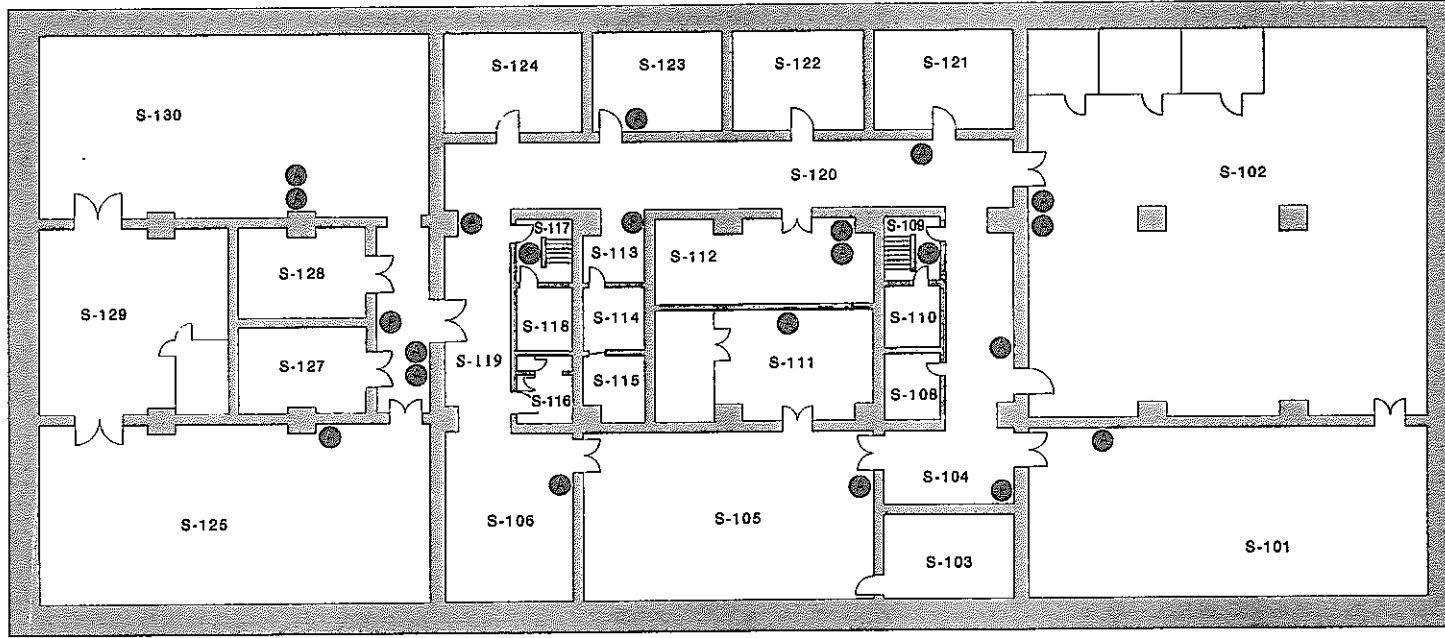


- 印…ABC消火器
- (N)印…ナトレックス消火器
- 印…防護具

部屋番号	部屋名称	部屋番号	部屋名称
S-201	一般系電源盤室	S-215	パイプシャフト
S-202	変圧器室(No.1)	S-216	ナトリウム漏点検査(A)
S-203	変圧器室(No.2)	S-217	ナトリウム溜室(A)
S-204	ダクトスペース(A)	S-218	ナトリウム溜室(B)
S-205	前室(No.3)	S-219	ナトリウム漏点検査(B)
S-206	ファン室(No.1)	S-220	ボイラー室
S-207	ファン室(No.2)	S-221	操縦搬入エリア
S-208	ダクトスペース(B)	S-222	ボイラー制御室
S-209	前室(No.1)	S-223	ケーブル室
S-210	階段室(A)	S-224	油タンク室部下
S-211	倉庫	S-225	油タンク室(No.1)
S-212	2次系ダンプタンク室	S-226	油タンク室(No.2)
S-213	階段室(B)	S-227	油タンク室(No.3)
S-214	前室(No.2)	S-228	油タンク室(No.4)

消火器配置図

図面名称	図番
主冷却機建家 B1F	22



●印…ABC消火器
 ●印…防護具

部屋番号	部屋名称	部屋番号	部屋名称
S-101	脱塩水処理室	S-117	階 段 室(B)
S-102	空調換気室	S-118	汚物(水)ポンプ室(No.3)
S-103	ダクトスペース(A)	S-119	前 室(2)
S-104	前 室(1)	S-120	廊 下
S-105	フ ァ ン 室(No.1)	S-121	雑排水ポンプ室(No.1)
S-106	フ ァ ン 室(No.2)	S-122	倉 庫(No.1)
S-108	倉 庫(No.2)	S-123	湯 沸 室 ・ 休 憩 室
S-109	階 段 室(A)	S-124	雑排水ポンプ室(No.2)
S-110	倉 庫(No.3)	S-125	ディーゼル発電機室(No.1)
S-111	空調制御室(A)	S-126	ディーゼル前室
S-112	空調制御室(B)	S-127	ディーゼル発電機油タンク室(No.1)
S-113	前 室(3)	S-128	ディーゼル発電機油タンク室(No.2)
S-114	脱 衣 室	S-129	機 器 搬 入 エ リ ア
S-115	浴 室	S-130	ディーゼル発電機室(No.2)
S-116	便 所		

消火器配置図

図 面 名 称	図 番
主 冷 却 機 建 家 B 2 F	2 3